

IBM Application Performance Analyzer for z/OS



メッセージ・ガイド

バージョン13 リリース1

IBM Application Performance Analyzer for z/OS



メッセージ・ガイド

バージョン13 リリース1

お願い

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、特記事項に記載されている情報をお読みください。

- 本書は、IBM Application Performance Analyzer for z/OS バージョン 13 リリース 1 (5697-Q03) 、および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースに適用されます。 Application Performance Analyzer のレベルとして正しい版を使用されていることをご確認ください。

以下の、Application Performance Analyzer のための IBM Web サイトにアクセスしていただきますと、IBM Application Performance Analyzer for z/OS についてより詳しい情報が入手できます: www.ibm.com/software/awdtools/apa/

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： SC14-7599-00
IBM Application Performance Analyzer for z/OS
Messages Guide
Version 13 Release 1

発行： 日本アイ・ピー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

第1刷 2013.11

Copyright © 2010, 2013 BankNet. All rights reserved.

© Copyright IBM Corporation 1992, 2013.

目次

本書について	v	RSS フィードおよびソーシャル・メディアへの 加入	140
第 1 章 概要	1	My Notifications	141
第 2 章 Application Performance Analyzer メッセージ	3	IBM サポートへの連絡	142
第 3 章 ISPF メッセージ	105	問題の定義と重大度の判別	143
第 4 章 Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能メッセージ	129	診断情報の収集	143
付録 A. サポート・リソースおよび問題 解決情報	137	IBM サポートへの問題の送信	144
知識ベースの探索	137	付録 B. 特記事項	147
インフォメーション・センターで探す	137	付録 C. アクセシビリティ	149
製品サポート文書で探す	137	支援機能の使用	149
修正の入手	139	ユーザー・インターフェースのキーボード・ナビゲ ーション	149
サポート更新のサブスクライブ	139	本書のアクセシビリティ	149
		商標	151
		索引	153

本書について

I 本書では、IBM® Application Performance Analyzer for z/OS® バージョン 13 リリース 1

最新の Application Performance Analyzer PTF 情報については、
<http://www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/> を参照してください。

付録 A には、お客様の疑問に答え、問題の解決に役立つ、IBM の Web サイトに関する情報が記載されています。

IBM Application Performance Analyzer for z/OS (Application Performance Analyzer と呼ばれる) は、設計、開発、および保守のサイクルを通じて、ユーザー・アプリケーションのパフォーマンスを分析できるツールです。

Application Performance Analyzer をインストールする必要がある場合は、インストール手順について「Application Performance Analyzer Program Directory」を参照してください。

第 1 章 概要

Application Performance Analyzer は、以下の例のような形式でメッセージを表示します。

メッセージ番号の形式は `AJTnnnnx` です。 `nnnn` は数値、 `x` は以下のいずれかの文字です。

I (通知)

情報が提供されます。

W (警告)

処理を続行しようとします。

E (エラー)

処理は終了します。

S (重大)

Application Performance Analyzer は終了します。

AJT0000W Messages were generated by your current request. (現行の要求によってメッセージが生成されました。) You might enter a MESSAGES command to view them. (メッセージを表示するには、MESSAGES コマンドを入力します。)

説明: 現行の要求の処理中にエラーが発生しました。このエラーを説明する 1 つ以上のメッセージが出されました。メッセージは、ISPF コマンド行で MESSAGES コマンドを入力することで表示できます。

オペレーターの応答: 現行画面のコマンド行で MESSAGES を入力します。リストされているメッセージを読み、必要な場合は、メッセージに示されているアクションを実行してください。

第 2 章 Application Performance Analyzer メッセージ

この章では、Application Performance Analyzer for z/OS メッセージがログに記録される場所について説明し、メッセージ ID および説明をリストします。

Application Performance Analyzer for z/OS が開始したタスクは、通知、エラー、および診断メッセージをさまざまな JES の宛先に記録します。これらの出力ファイルの内容は、その DD 名別にここに記載されます。

JESMSGLG

重大なメッセージはすべて JES メッセージ・ログに表示されます。開始タスクが正常に開始できない場合は、障害を報告するメッセージについて JES メッセージ・ログを調べてください。

COMMANDS

開始タスク (外部または内部) によって処理されるコマンドはすべて、このファイルに記録されます。コマンド・テキストは、コマンドに関連するメッセージとともにここに表示されます。

LOGR、MAIN、LOAD、CMDP、CHKP

それぞれ、Application Performance Analyzer for z/OS が開始したタスクによって接続された単一のサブタスクを表しており、そのタスクがログに記録したメッセージが含まれています。これらは主に通知メッセージであり、通常の操作では、これらのファイルの内容について考える必要はありません。問題診断に役立つことがあります。

REQ#request_number、DATWrequest_number、ESDErequest_number、HVXTrequest_number

Application Performance Analyzer for z/OS が開始したタスクは、ユーザーが実行依頼したサンプリング要求ごとに 4 つまでの SYSOUT データ・セットを割り振ります。これらのデータ・セットの形式は以下のとおりです。

```
REQ#request_number  
DATWrequest_number  
ESDErequest_number  
HVXTrequest_number
```

ここで、*request_number* はサンプリング要求番号を示します。これらは主に通知メッセージであり、通常の操作では、これらのファイルの内容について考える必要はありません。問題診断に役立つことがあります。

REQ#request_number

サンプリング要求のサンプリング・フェーズに関連するメッセージが含まれています。

DATWrequest_number

サンプリング要求のサンプル・ファイル作成フェーズに関連するメッセージが含まれています。

ESDErequest_number

サンプリング要求のロード・モジュール分析フェーズに関連するメッセージが含まれています。

HVXTrequest_number

サンプリング要求の SQL ホスト変数名解決フェーズに関連するメッセージが含まれています。この SYSOUT は、DB2V 抽出が選択されたときに割り振られます。

メッセージは、アルファベット順にソートされます。

AJT0008E Invalid keyword value - error (無効な keyword 値 - error)

説明: これは、NEW コマンドの一般的な構文解析エラーです。キーワードの値について検出されたエラーを説明します。

keyword エラーのキーワードを示します。

error エラーに以下のいずれかの可能性があることを説明します。

- 長さが正しくありません。
- 日付の分離文字が無効です。
- 値が数値ではないか、範囲外です。
- 必要な時刻の値がありません。
- 修飾データが無効です。
- 修飾子がデータ・タイプには長すぎます。
- データに、無効な文字が含まれています。
- メンバー名は許可されません。
- メンバー名が無効です。
- データ・セット名がありません。
- 使用する修飾子が多すぎます。
- 時刻の分離文字が無効です。
- 修飾子の数が正しくありません。
- 値に、無効な文字が含まれています。
- 値に、無効な構文が含まれています。

システムの処置: コマンドは失敗します。

オペレーターの応答: エラーのキーワードの構文を確認して、エラーの説明を基にその内容を訂正してください。

AJT0102E Misplaced equal sign (等号の位置の誤り)

説明: 等号 (=) が、キーワードの直後に続いていますでした。メッセージ AJT0198I および AJT0199I は、エラーのステートメントの部分の詳細を示します。

システムの処置: コマンドは終了します。

オペレーターの応答: なし。

検出するモジュール: CAZC0030、CAZC0035、CAZC0390

AJT0103E Misplaced delimiter character (区切り文字の位置の誤り)

説明: 値式の区切り文字 ("~") が検出されましたが、予想されていない文字でした。メッセージ AJT0198I および AJT0199I は、エラーのステートメントの部分の詳細を示します。

システムの処置: コマンドは終了します。

オペレーターの応答: なし。

検出するモジュール: CAZC0030、CAZC0035、CAZC0390

AJT0104E Misplaced open parenthesis "(" (左括弧「(」の位置の誤り)

説明: 予期しない左括弧が検出されました。左括弧は、キーワードの定位置の値のリストを開始するために使用されます。メッセージ AJT0198I および AJT0199I は、エラーのステートメントの部分の詳細を示します。

システムの処置: コマンドは終了します。

オペレーターの応答: なし。

検出するモジュール: CAZC0030、CAZC0035、CAZC0390

AJT0105E Misplaced close parenthesis ")" (右括弧「)」の位置の誤り)

説明: 予期しない右括弧が検出されました。右括弧は、キーワードの定位置の値のリストを終了するために使用されます。メッセージ AJT0198I および AJT0199I は、エラーのステートメントの部分の詳細を示します。

システムの処置: コマンドは終了します。

オペレーターの応答: なし。

検出するモジュール: CAZC0030、CAZC0035、CAZC0390

AJT0106E Misplaced comma (コンマの位置の誤り)

説明: 予期しないコンマが検出されました。コンマは、定位置の値を区切るために使用されます。メッセージ AJT0198I および AJT0199I は、エラーのステートメントの部分の詳細を示します。

システムの処置: コマンドは終了します。

オペレーターの応答: なし。

検出するモジュール: CAZC0030, CAZC0035,
CAZC0390

AJT0107E Premature end (早期終了)

説明: 期待される終了区切り文字が検出される前に、式の終わりが検出されました。メッセージ AJT0198I および AJT0199I は、エラーのステートメントの部分の詳細を示します。

システムの処置: コマンドは終了します。

オペレーターの応答: なし。

検出するモジュール: CAZC0030, CAZC0035,
CAZC0390

AJT0110E Invalid hex character (無効な 16 進文字)

説明: 0 から 9 または「abcdefABCDEF」以外の文字が 16 進数の指定 (つまり、X'abcd') 内で検出されたか、終了アポストロフィの前に式の終わりが検出されました。メッセージ AJT0198I および AJT0199I は、エラーのステートメントの部分の詳細を示します。

システムの処置: コマンドは終了します。

オペレーターの応答: なし。

検出するモジュール: CAZC0030, CAZC0035,
CAZC0390

AJT0112E Expecting blank, comma or ")" after value (値の後にはブランク、コンマ、または「)」が预期されています)

説明: 必要なブランク、コンマ、または右括弧なしで、値式の後には新規キーワードが指定されました。メッセージ AJT0198I および AJT0199I は、エラーのステートメントの部分の詳細を示します。

システムの処置: コマンドは終了します。

オペレーターの応答: なし。

検出するモジュール: CAZC0030, CAZC0035,
CAZC0390

AJT0113E Positional value must be first (定位置の値は先頭でなければなりません)

説明: 定位置の値式が、キーワード値式の後には検出されました。メッセージ AJT0198I および AJT0199I は、エラーのステートメントの部分の詳細を示します。

システムの処置: コマンドは終了します。

オペレーターの応答: なし。

検出するモジュール: CAZC0030, CAZC0035,
CAZC0390

AJT0114E Unbalanced parenthesis (対になっていない括弧)

説明: 括弧内に指定されているキーワード値式に、1 つ以上の右括弧がありませんでした。メッセージ AJT0198I および AJT0199I は、エラーのステートメントの部分の詳細を示します。

システムの処置: コマンドは終了します。

オペレーターの応答: なし。

検出するモジュール: CAZC0030, CAZC0035,
CAZC0390

AJT0116E Zero or uneven number of hexadecimal characters (ゼロまたは奇数の 16 進文字数)

説明: 奇数の文字数で 16 進数が指定されました。メッセージ AJT0198I および AJT0199I は、エラーのステートメントの部分の詳細を示します。

システムの処置: コマンドは終了します。

オペレーターの応答: なし。

検出するモジュール: CAZC0030, CAZC0035,
CAZC0390

AJT0131E Expression contains undefined keyword (式に未定義キーワードが含まれています)

説明: ステートメントの構文の一部ではないキーワード式が検出されました。メッセージ AJT0198I および AJT0199I は、エラーのステートメントの部分の詳細を示します。

システムの処置: コマンドは終了します。

オペレーターの応答: なし。

検出するモジュール: CAZC0030, CAZC0035,
CAZC0390

AJT0135E Invalid numeric data (無効な数値データ)

説明: 式で、非数値データを含む値が指定されましたが、ここでは数値が必要です。メッセージ AJT0198I および AJT0199I は、エラーのステートメントの部分の詳細を示します。

システムの処置: コマンドは終了します。

オペレーターの応答: なし。

AJT0136E • AJT0145E

検出するモジュール: CAZC0030, CAZC0035,
CAZC0390

AJT0136E Numeric data too long (>18) (数値データが長すぎます (>18))

説明: 式で、18 を超える有効数字で構成される数値に解決される数値が指定されました。メッセージ AJT0198I および AJT0199I は、エラーのステートメントの部分の詳細を示します。

システムの処置: コマンドは終了します。

オペレーターの応答: なし。

検出するモジュール: CAZC0030, CAZC0035,
CAZC0390

AJT0137E Data too large for target field (データがターゲット・フィールドには大きすぎます)

説明: 式で、式に使用可能な最大長を超える文字で構成される値が指定されました。メッセージ AJT0198I および AJT0199I は、エラーのステートメントの部分の詳細を示します。

システムの処置: コマンドは終了します。

オペレーターの応答: なし。

検出するモジュール: CAZC0030, CAZC0035,
CAZC0390

AJT0138E Value specified not one of the allowable values for this term (指定された値は、この項に使用できる値ではありません)

説明: 入力式で、式に使用できる値の 1 つではない値が指定されました。メッセージ AJT0198I および AJT0199I は、エラーのステートメントの部分の詳細を示します。

システムの処置: コマンドは終了します。

オペレーターの応答: なし。

検出するモジュール: CAZC0030, CAZC0035,
CAZC0390

AJT0139E Invalid numeric: too many decimal digits (無効な数値。10 進数字が多すぎます)

説明: 式で、10 進数値が指定されました。小数点の右側の桁数が、式に使用できる数より多い桁数でした。メッセージ AJT0198I および AJT0199I は、エラーのステートメントの部分の詳細を示します。

システムの処置: コマンドは終了します。

オペレーターの応答: なし。

検出するモジュール: CAZC0030, CAZC0035,
CAZC0390

AJT0142E Too many occurrences of keyword: keyword (キーワード keyword の出現数が多すぎます)

説明: 式で、式の構文で許可されているより多い回数のキーワードが指定されました。keyword は、エラーになっているキーワードを表します。メッセージ AJT0198I および AJT0199I は、エラーのステートメントの部分の詳細を示します。

システムの処置: コマンドは終了します。

オペレーターの応答: なし。

検出するモジュール: CAZC0030, CAZC0035,
CAZC0390

AJT0143E Missing required positional value for keyword: keyword (キーワード keyword に必要な定位置の値がありません)

説明: 式で、必要な定位置の値なしでキーワードが指定されました。keyword は、エラーになっているキーワードを表します。メッセージ AJT0198I および AJT0199I は、エラーのステートメントの部分の詳細を示します。

システムの処置: コマンドは終了します。

オペレーターの応答: なし。

検出するモジュール: CAZC0030, CAZC0035,
CAZC0390

AJT0144E Missing required positional value (必要な定位置の値がありません)

説明: 式で、必要な定位置の値が指定されませんでした。このメッセージは、キーワードの前に必要な定位置の値に対して出されます。メッセージ AJT0198I および AJT0199I は、エラーのステートメントの部分の詳細を示します。

システムの処置: コマンドは終了します。

オペレーターの応答: なし。

検出するモジュール: CAZC0030, CAZC0035,
CAZC0390

AJT0145E Required Keyword: keyword not found (必須キーワード keyword がありません)

説明: 式で、必要なキーワード式が指定されませんでした。メッセージ AJT0198I および AJT0199I は、エラー

のステートメントの部分の詳細を示します。

システムの処置: コマンドは終了します。

オペレーターの応答: なし。

検出するモジュール: CAZC0030, CAZC0035,
CAZC0390

**AJT0146E Required Keyword: keyword not found
for Parent: parent (親 parent の必須キ
ワード keyword がありません)**

説明: 式で、必要なキーワード式が指定されませんでした。このメッセージは、下位レベルのキーワード (つまり、ParKwd=(ReqKwd=value) などの親キーワードを持つもの) について表示されます。keyword は、関連するテンプレート・マップ・キーワード・エントリーからの必要なキーワードを示します。parent は、親キーワードを示します。メッセージ AJT0198I および AJT0199I は、エラーのステートメントの部分の詳細を示します。

システムの処置: コマンドは終了します。

オペレーターの応答: なし。

**AJT0148E Expression contains invalid syntax (無効
な構文が式に含まれています)**

説明: 最初のキーワード式を指定した後で、ステートメントで定位置パラメーターが指定されました。定位置パラメーターは、キーワード・パラメーターの前に置く必要があります。メッセージ AJT0198I および AJT0199I は、エラーのステートメントの部分の詳細を示します。

システムの処置: コマンドは終了します。

オペレーターの応答: なし。

検出するモジュール: CAZC0030, CAZC0035,
CAZC0390

AJT0198I variable text

説明: このメッセージは、構文エラーに関するエラー・メッセージの詳細を提供します。variable text には、エラーのステートメントまたはコマンド式の位置が含まれています。AJT0199I の終わりにある例を参照してください。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

検出するモジュール: CAZC0030, CAZC0035,
CAZC0390

AJT0199I *

説明: このメッセージには、メッセージ AJT0198I で説明されている構文エラーが発生した場所を示す単一のアスタリスクが含まれています。このセクションの終わりにある例を参照してください。

システムの処置: コマンドは終了します。

オペレーターの応答: なし。

検出するモジュール: CAZC0030, CAZC0035,
CAZC0390

AJT0198I および AJT0199I の例

以下の例では、メッセージ AJT0102E には、CONFIG ステートメントの構文エラーの原因が説明されていません。AJT0198I はエラーのステートメントの部分を示し、AJT0199I は、エラーのステートメント (AJT0198I で説明されている) の部分を示します。

```
AJT0102E Misplaced equal sign
AJT0198I                               SystemId==CAZ1
AJT0199I                               *
```

**AJT0200S Data space could not be created - too
many data spaces exist (nnnn). (データ・
スペースを作成できませんでした - 存在
するデータ・スペースが多すぎます
(nnnn))**

説明: これは内部エラーです。新しいデータ・スペースを作成しようと試みましたが、このアドレス・スペースに Application Performance Analyzer が作成しているデータ・スペースが多すぎるために失敗しました。別のデータ・スペースを作成すると、内部テーブルにオーバーフローが発生します。nnnn は、許可されているデータ・スペースの最大数を表しています。

システムの処置: プロセスは異常終了コード U4080 で異常終了します。

オペレーターの応答: 製品サポートにお問い合わせください。

**AJT0201S DSPSERV function_code failed
RC=return_codeX, RSN=reason_codeX.
(DSPSERV function_code が失敗しまし
た。RC=return_codeX,
RSN=reason_codeX)**

説明: function_code で示されている DSPSERV 関数が失敗しました。return_codeX および reason_codeX はそれぞれ、16 進戻りおよび理由コードを表しています。DSPSERV マクロについては、「MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference」で戻りコードと理由コードを参照してください。

システムの処置: プロセスは異常終了コード U4080 で異常終了します。

オペレーターの応答: 製品サポートにお問い合わせください。

AJT0202S ALESERV function_code failed
RC=return_codeX. (ALESERV
function_code が失敗しました。
RC=return_codeX)

説明: function_code で示されている ALESERV 関数が失敗しました。 return_codeX は、16 進戻りおよび理由コードを表しています。

システムの処置: プロセスは異常終了コード U4080 で異常終了します。

オペレーターの応答: 製品サポートにお問い合わせください。

AJT0203S Data space could not be extended -
unknown requestor (id_1, id_2). (デー
タ・スペースを拡張できませんでした -
不明なリクエスター (id_1, id_2))

説明: これは内部エラーです。データ・スペースを拡張しようと試みましたが、Application Performance Analyzer がデータ・スペースのオリジナル所有者を識別できなかったために失敗しました。この問題の原因として、ストレージ・オーバーレイが考えられます。 id_1 および id_2 は、製品サポート用の診断データです。

システムの処置: プロセスは異常終了コード U4080 で異常終了します。

オペレーターの応答: 製品サポートにお問い合わせください。

AJT0204W Data space full. (データ・スペースがいっ
ぱいになっています。) Report aaa might
not be complete. (レポート aaa は不完全
である可能性があります。)

説明: レポート・データ・スペースを、その最大サイズを超えて拡張しようとしたのですが、失敗しました。レポート aaa は不完全である可能性があります。

システムの処置: Application Performance Analyzer は処理を続行します。

オペレーターの応答: 製品サポートにお問い合わせください。

AJT0205E I/O error processing input/output dataset:
aaaa; see message AJT0206I (入出力デー
タ・セット aaaa の処理中の入出力エラ
ー。メッセージ AJT0206I を参照してく
ださい。)

説明: aaaa で示されているデータ・セットの処理中に入出力エラーが検出されました。エラーの詳細を示すメッセージ AJT0206I が後に続きます。

システムの処置: 操作は取り消されます。

オペレーターの応答: 詳しくは、メッセージ AJT0206I を参照してください。

AJT0206I Error information for message AJT0205E
(メッセージ AJT0205E のエラー情報)

説明: このメッセージには、メッセージ AJT0205E で説明されている入出力エラーの詳細が示されます。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: ここに示される情報に基づいてエラーの解決を試行してください。問題を解決できない場合は、製品サポートにお問い合わせください。

AJT0207E Error detected processing input/output
dataset: aaaa; see message AJT0208I (入
出力データ・セット aaaa の処理中にエラ
ーが検出されました。メッセージ
AJT0208I を参照してください。)

説明: aaaa で示されているデータ・セットの処理中にエラーが検出されました。エラーの詳細を示すメッセージ AJT0208I が後に続きます。

システムの処置: 操作は取り消されます。

オペレーターの応答: 詳しくは、メッセージ AJT0208I を参照してください。

AJT0208I Error information for message AJT0207E
(メッセージ AJT0207E のエラー情報)

説明: このメッセージには、メッセージ AJT0207E で説明されている入出力エラーの詳細が示されます。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: ここに示される情報に基づいてエラーの解決を試行してください。問題を解決できない場合は、製品サポートにお問い合わせください。

CAZ0001I Application Performance Analyzer for z/OS Version numbers starting

説明: メインタスクの初期化中に、バージョンおよびリリース番号が *numbers* として報告されます。

システムの処置: Application Performance Analyzer for z/OS は、初期化を続行します。

オペレーターの応答: なし。

CAZ0006E Foreground mode invalid. (フォアグラウンド・モードは無効です。) Terminating. (終了中です。)

説明: CAZ00001 は、TSO フォアグラウンドで実行されました。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: Application Performance Analyzer は、バッチ領域または開始タスクで実行される必要があります。

CAZ0007E Unable to LOAD CAZ00085. (CAZ00085 をロードできません。) Terminating. (終了中です。)

説明: 初期化中に、メッセージ・ロギング・モジュール CAZ00085 をロードできませんでした。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: これは、おそらく STEPLIB の正しくないライブラリー連結が原因です。JCL を訂正し、再実行依頼してください。

CAZ0008E Unable to LOAD CAZ00002. (CAZ00002 をロードできません。) Terminating. (終了中です。)

説明: 初期化中に、モジュール CAZ00002 をロードできませんでした。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: これは、おそらく STEPLIB の正しくないライブラリー連結が原因です。JCL を訂正し、再実行依頼してください。

CAZ0009E Program is not authorized. (プログラムは許可されていません。) Terminating. (終了中です。)

説明: CAZ00001 が APF 許可ではないため、終了しました。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: 製品ロード・ライブラリーが APF 許可であり、無許可のライブラリーが STEPLIB 連結に含まれていないことを確認してください。CAZ00001 ロード・モジュールで AC=1 属性を確認してください。

CAZ0010E Unable to establish ESTAE. (ESTAE を確立できません。) R15=X'return_code' R0=X'reason_code'

説明: 初期化中に、CAZ00001 は ESTAE 出口ルーチンを確立できませんでした。ESTAEX マクロの戻りコードおよび理由コードは、X'return_code' および X'reason_code' として報告されます。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: この問題に可能な解決策を見つけるには、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト (www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/) を参照してください。

**CAZ0012I Application Performance Analyzer is licensed for the following features:
feature_1...feature_n (Application Performance Analyzer の次の機能はライセンス交付を受けています:
feature_1...feature_n)**

説明: このメッセージは開始時に表示され、この現行システムがライセンス交付を受けている Application Performance Analyzer 機能 (*feature_1...feature_n*) がリストされます。

システムの処置: Application Performance Analyzer は初期化を続行します。

オペレーターの応答: なし。

CAZ0014E Application Performance Analyzer cannot operate in sysplex mode due to errors (Application Performance Analyzer はエラーが原因でシスプレックス・モードで動作できません)

説明: 前のエラーはシスプレックスの初期化中に発生し、Application Performance Analyzer は初期化を完了できませんでした。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: エラーの原因について詳しくは、このメッセージの前のメッセージを参照してください。

CAZ0015E Request: *request_number* selecting Active JOB: *job_name* in ASID: *identifier* on: *yyyy/mm/dd hh:mm* was not found. (要求: *request_number* が *yyyy/mm/dd hh:mm* に ASID: *identifier* で選択しているアクティブ・ジョブ *job_name* が見つかりませんでした。) **Rejected.** (リジェクトされます。)

説明: 将来の日時にアクティブ・ジョブを計測する計測要求が実行依頼されました。計測要求を実行依頼した時点で、選択されたジョブは ASID 下で実行中でした。計測セッションを開始する日時になると、元のジョブは終了し、同じ *job_name* の新規ジョブが別の ASID 下で実行されます。

request_number
要求番号

job_name
選択したジョブ名

yyyy/mm/dd
選択した開始日

hh:mm
選択した開始時刻

システムの処置: Application Performance Analyzer は、要求に「Failed」のマークを付けます。

オペレーターの応答: 新規要求を再実行依頼して、失敗した要求を削除してください。

CAZ0016E SYSPLEX group name *group_name* already in use by an instance of Application Performance Analyzer with ID: *APA_ID* (シスプレックス・グループ名 *group_name* は、ID *APA_ID* を持つ Application Performance Analyzer のインスタンスによって既に使用されています。)

説明: Application Performance Analyzer は、同じグループ名の別の Application Performance Analyzer のインスタンスが同じシステムで実行されていることを検出しました。同じシステムで実行できる、同じグループ名の Application Performance Analyzer のインスタンスは 1 つだけです。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

CAZ0018E Sysplex Event Manager has terminated prematurely. (シスプレックス・イベント・マネージャーは早期終了しました。) **Application Performance Analyzer is shutting down.** (Application Performance Analyzer はシャットダウン中です。) あるいは、**IEFUSI Request Servicing subtask has terminated prematurely.** (IEFUSI 要求サービス・サブタスクが早期終了しました。) **Application Performance Analyzer is shutting down.** (Application Performance Analyzer はシャットダウン中です。)

説明: Application Performance Analyzer の指定されたコンポーネントは異常終了しました (ABEND)。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: エラーの原因について詳しくは、このメッセージの前のメッセージを参照してください。

CAZ0019E CHKP DSN mismatch with sysplex MEMBER=*member_name*; DSN=*file_name* (CHKP DSN がシスプレックス・メンバー *member_name* と一致しません。 DSN=*file_name*)

説明: Application Performance Analyzer は、同じシスプレックス・グループの別の Application Performance Analyzer メンバーが異なるチェックポイント・ファイル名を使用していることを検出しました。同じグループのすべてのメンバーが、同じチェックポイント・ファイル名を使用する必要があります。

member_name
チェックポイント・ファイル名が Application Performance Analyzer の名前と一致しないこの Application Performance Analyzer のメンバー名を示します。

file_name
この Application Performance Analyzer のチェックポイント・ファイル名を示します。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: シスプレックス・メンバー *member_name* の構成でチェックポイント・ファイル名または *file_name* (あるいはその両方) が一致するように変更してから、これらのタスクを停止して再開してください。

CAZ0020I High Level Qualifier is
high_level_qualifier (高位修飾子が
high_level_qualifier です)

説明: メインタスクの初期化中に、このメッセージは、Application Performance Analyzer のこのインスタンスによって作成された新規データ・セットに使用される高位修飾子 (*high_level_qualifier*) を報告します。

システムの処置: Application Performance Analyzer は初期化を続行します。

オペレーターの応答: なし。

CAZ0021E High Level Qualifier *high_level_qualifier*
already in use by an instance of
Application Performance Analyzer with
ID: *task_ID* (高位修飾子
high_level_qualifier は、ID *task_ID* を持つ
Application Performance Analyzer のイン
スタンスによって既に使用されています)

説明: 初期化中に、Application Performance Analyzer の別の開始タスク・インスタンスが実行されていて、同じ高位修飾子を使用していました。*high_level_qualifier* は HLQ を示し、*task_ID* は Application Performance Analyzer が開始した別のタスクの ID です。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: 開始タスク構成設定の定義については、Application Performance Analyzer の「カスタマイズ・ガイド」を参照してください。

CAZ0022S Unsupported level of the operating
system, Application Performance
Analyzer is terminating. (サポートされない
レベルのオペレーティング・システムで
す。Application Performance Analyzer は
終了中です。)

説明: Application Performance Analyzer は、Application Performance Analyzer がサポートしないオペレーティング・システムのレベルで稼働中であることを検出しました。オペレーティング・システム・レベルについては詳しくは、メッセージ CAZ0004D を参照してください。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: サポートされる製品レベルについては、Application Performance Analyzer の「Program Directory」を参照してください。

CAZ0023W Application Performance Analyzer has
detected a non-JES2 primary subsystem,
I/O sampling will not report on
SYSOUT data sets. (Application
Performance Analyzer は、非 JES2 基本
サブシステムを検出しました。I/O サン
プリングは、SYSOUT データ・セットで報
告されません。)

説明: Application Performance Analyzer は、非 JES2 システムで稼働中であることを検出しました。SYSOUT データ・セットはサンプリングされないため、I/O レポートの SYSOUT 情報は不足します。システムのアクション: Application Performance Analyzer は初期化を続行します。

オペレーターの応答: なし。

CAZ0024E Sysplex is not available on this MVS
image, processing cannot proceed.

説明: Application Performance Analyzer をシスプレックス・モードで実行するよう要求し、Application Performance Analyzer は MVS™ イメージでシスプレックスを使用できないことを判別しました。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: 非シスプレックス・モードで実行するようこの開始タスクを変更するか、シスプレックスを使用できる MVS イメージで実行してください。

CAZ0025E Request: request_number selecting Active
JOB: job_name in ASID: identifier was
not found. (要求 request_number が
ASID identifier で選択しているアクティ
ブ・ジョブ job_name が見つかりませ
んでした。) **Rejected. (リジェクトされま**
す。)

説明: 選択されたアドレス・スペース ID でもう実行されていないアクティブ・ジョブを計測する計測要求が実行依頼されました。

request_number
要求番号

job_name
選択したジョブ名

identifier
ジョブのアドレス・スペース ID。

システムの処置: Application Performance Analyzer は、要求に Failed のマークを付けます。

オペレーターの応答: 新規要求を再実行依頼して、失敗した要求を削除してください。

CAZ0026I Application Performance Analyzer waiting for outstanding sampling to complete. (Application Performance Analyzer は未解決のサンプリングが完了するのを待っています。) Wait time is: minutes:seconds (mmmm:ss). (待ち時間は、minutes:seconds (mmmm:ss) です。)

説明: Application Performance Analyzer はシャットダウン中であり、アクティブなサンプリング・セッションを検出しました。開始タスクは、これらのセッションが完了するまで待つ必要があります。推定の待ち時間は、minutes:seconds で表されます。ここで、mmmm は分を、ss は秒を示します。

システムの処置: Application Performance Analyzer は待機します。

CAZ0027E STOP operator command detected (STOP オペレーター・コマンドが検出されました)

説明: このメッセージは、オペレーターが STOP コマンドを入力し、Application Performance Analyzer 開始タスクのシャットダウンを要求したことを示しています。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: SPXGroupName の値を CONFIG BASIC で訂正し、Application Performance Analyzer を再始動してください。

CAZ0028E SYSPLEX user state mismatch. (シスプレックス・ユーザー状態が一致しません。) Possible invalid group name: SPXGroupName_variable. (考えられる無効なグループ名: SPXGroupName_variable。)

説明: Application Performance Analyzer は SYSPLEX グループを結合しようと試みましたが、不正なグループを結合していることを検出しました。誤った SPXGroupName 値が指定されたことが原因だと考えられます。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: SPXGroupName の値を CONFIG BASIC で訂正し、Application Performance Analyzer を再始動してください。

CAZ0029E Security type mismatch with SYSPLEX MEMBER=member. (セキュリティー・タイプが SYSPLEX MEMBER=member に一致しません)

説明: このメッセージは、シスプレックス・グループでの初期化を行っている間、この Application Performance Analyzer のインスタンスが、シスプレックス・グループの他のメンバーに一致しないセキュリティー・モードを使用していることを検出したことを示しています。

シスプレックス・グループのメンバーはすべて、同じセキュリティー・モードを使用しなければなりません。詳しくは、開始タスク構成設定の「CONFIG BASIC」ステートメントにある SECURITY キーワードを調べてください。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: すべてのシスプレックス・メンバーが、同じセキュリティー・タイプを使用するように構成されていることを確認してください。

CAZ0030E HFS ALESERV ADD failed at initialization. (HFS ALESERV ADD が初期化時に失敗しました。) RC=~~~~~

説明: ALESERV ADD が HFS SYSZBPX2 データ・スペースで失敗しました。

システムの処置: 処理は続行されますが、どの監視要求に対しても HFS データは抽出できません。

オペレーターの応答: 製品サポートにお問い合わせください。

CAZ0031E OMVS is not up after waiting 5 minutes. (OMVS が 5 分待っても稼働しません。)

説明: IBM Application Performance Analyzer が OMVS の始動待ちでタイムアウトになりました。OMVS が稼働していない場合、Application Performance Analyzer は HFS ファイル統計を取得できません。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: OMVS の始動後に Application Performance Analyzer を再始動してください。

CAZ0032W This Started Task is running in Service Class: aaaa, performance may be degraded. (この開始済みタスクはサービス・クラス aaaa で実行されており、パフォーマンスが低下する可能性があります。)

説明: IBM Application Performance Analyzer は、これがサービス・クラス aaaa に割り当てられていることを検出しました。このサービス・クラスの優先順位が SYSSTC よりも低い場合、Application Performance Analyzer TSO では応答の遅延やタイムアウトが発生することがあります。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: Application Performance Analyzer の開始済みタスクをサービス・クラス SYSSTC に割り当てます。

CAZ0033E CDS DSN mismatch with SYSPLEX MEMBER=aaaaaaaa; DSN=bbbbbbbb (CDS DSN が SYSPLEX MEMBER=aaaaaaaa と一致していません。DSN=bbbbbbbb)

説明: Application Performance Analyzer は、同じシスプレックス・グループの別の Application Performance Analyzer メンバーが異なる CDS ファイル名を使用していることを検出しました。同じグループのすべてのメンバーが、同じ CDS ファイル名を使用する必要があります。

- aaaaaaaaa - CDS ファイル名が Application Performance Analyzer ファイル名と一致しないこの Application Performance Analyzer のメンバー名を示します。
- bbbbbbbb - この Application Performance Analyzer の CDS ファイル名を示します。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: シスプレックス・メンバーの構成で CDS ファイル名が一致するように変更してから、これらのタスクを停止して再開してください。

CAZ0051S Unable to create global name/name token. (グローバル名/名前トークンを作成できません。) RC=return_code.

説明: Application Performance Analyzer は、失敗したグローバル名/トークン・サービス要求を (IEANTRT に) 出しました。これは、システム環境の問題を表していることがあります。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: 報告された戻りコード *return_code* を調べて、IENTRT が失敗した理由を分析してください。

CAZ0052S Unable to retrieve global name/token. (グローバル名/トークンを取得できません。) RC=return_code

説明: Application Performance Analyzer は、失敗したグローバル名/トークン・サービス要求を (IEANTRT に) 出しました。これは、システム環境の問題を表していることがあります。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: 報告された戻りコード *return_code* を調べて、IENTRT が失敗した理由を分析してください。

CAZ0053S Mismatched PAB entry lengths. (PAB エントリーの長さが一致しません。) Terminating. (終了中です。)

説明: 初期化中に、Application Performance Analyzer は既存の Application Performance Analyzer アンカー・ブロック (PAB) へのアクセスを確立しましたが、この既存の PAB の長さは無効でした。これは内部エラーです。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: この問題に可能な解決策を見つけるには、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト (www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/) を参照してください。

CAZ0058E All PAB entries used. (すべての PAB エントリーが使用されています。) Terminating. (終了中です。)

説明: Application Performance Analyzer が開始したタスクの最大数が既に実行されています。新規インスタンスを開始する前に、これらのインスタンスを 1 つ以上停止する必要があります。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: 現在使用されていない Application Performance Analyzer のインスタンスを停止して、失敗したインスタンスを再開してください。

CAZ0059E Application Performance Analyzer ID *task_ID* already in use by STC started *task_job_name* (Application Performance Analyzer ID *task_ID* は、STC *started_task_job_name* によって既に使用されています)

説明: 以下の 2 つの問題のいずれかが発生した可能性があります。

1. Application Performance Analyzer が開始したタスクの別のインスタンスが実行されていて、この開始タスクと同じ ID (*task_ID*) を使用しています。Application Performance Analyzer が開始したタスクごとに固有の ID を使用する必要があります。*started_task_job_name* は、ID を既に使用している開始タスクのジョブ名です。
2. Application Performance Analyzer が開始したタスクの前の実行は、異常終了 (ABEND) したか取り消され、開始タスクを正しくシャットダウンできませんでした。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: オプション 1 でエラーが発生した場合は、開始タスク構成設定の定義について、Application Performance Analyzer の「カスタマイズ・ガイド」を参照してください。

エラーがオプション 2 によって発生した場合は、以下の作業を実行してください。

1. 問題の Application Performance Analyzer が開始したタスクの構成ファイルの CONFIG OPER ステートメントに次の行を追加します。
PABENTReset=YES
2. Application Performance Analyzer 開始タスクを再開します。

注: PABENTReset は、この状況または製品サポートで指示されている場合のみ使用される特殊な稼働パラメータです。開始タスクが正常に開始したら、構成ファイルから PABENTReset 行を除去する必要があります。これを行わないと、Application Performance Analyzer が、重複する開始タスクが誤って実行依頼されたかどうかを検出できなくなります。

CAZ0070I Subtask starting for *job_name* request *request_number* (*job_name* 要求 *request_number* のサブタスクを開始中です)

説明: Application Performance Analyzer は、サンプリング・セッションを開始する新規サブタスクを開始しまし

た。計測されているジョブの名前は *job_name* で示され、*request_number* は要求番号です。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ0071I Subtask detached for *job_name* request *request_number* (*job_name* 要求 *request_number* のサブタスクは切り離されました)

説明: Application Performance Analyzer は、ジョブ *job_name*、要求番号 *request_number* のサンプリング・セッションを完了しました。このセッションを処理するために接続されたサブタスクは終了し、切り離されました。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ0072I Sampling started for request number *0000nnnn* by SSID *ssss* (SSID *ssss* で要求番号 *0000nnnn* に対してサンプリングが開始されました)

説明: これは、Application Performance Analyzer が開始タスク *ssss* で要求番号 *nnnn* に対してサンプリングを開始したことを示します。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ0073I Sampling ended for request number *0000nnnn* by SSID *ssss* (SSID *ssss* での要求番号 *0000nnnn* に対するサンプリングが終了しました)

説明: これは、Application Performance Analyzer が開始タスク *ssss* での要求番号 *nnnn* に対するサンプリングを終了したことを示します。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ0074I Sample DSN *dsn* (サンプル DSN *dsn*)

説明: このメッセージは、メッセージ CAZ0073I とともに表示され、作成されたサンプル・ファイルのデータ・セット名を示します。

システムの処置: ステップが完了しました。

オペレーターの応答: なし。

CAZ0080W Requested MaxUSSCM value: *aaaa*, is greater than currently configured maximum value: *bbbb*. (要求された MaxUSSCM 値: *aaaa* が、現在構成されている最大値 *bbbb* を超えています。)

説明: Application Performance Analyzer 開始タスク CONFIG ファイルで、初期プログラム・ロード (IPL) 後に開始タスクを初めて開始したときに指定されたオリジナルの値を超える MaxUSSCM 値 (*aaaa*) が指定されています。

システムの処置: Application Performance Analyzer は初期化を続行します。

オペレーターの応答: 新たな、より大きい MaxUSSCM 値を有効にするには、システムを再始動 (再 IPL) する必要があります。

CAZ0100I Application Performance Analyzer operating (Application Performance Analyzer は作動中です)

説明: Application Performance Analyzer は初期化を完了しました。これで、システムはサンプリングを処理できるようになりました。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ0150E Scheduling for JOB *job_name* failed (*record_type*). (ジョブ *job_name* のスケジューリングが失敗しました (*record_type*).) **Original request number *request_number*.** (元の要求番号は *request_number* です。)

説明: 要求番号 *request_number* の新規スケジューリング・レコードを作成しようとしたが、失敗しました。*record_type* の値は、作成していたレコードの種類を示します。

- ACTIVE ジョブ要求のステップ PME
- スケジュール済みジョブのマルチ・ステップ PME
- スケジュール済みジョブのステップ PME
- 再実行ジョブのマルチ・ステップ PME
- 再実行ジョブのステップ PME

システムの処置: 新規スケジューリング要求は失敗しました。

オペレーターの応答: 最も可能性の高いこのエラーの原因は、チェックポイント・ファイルがいっぱいになっていることです。古い要求をいくつか削除して、新規要求のスペースを作成してください。

CAZ0201E Error in OPEN of file-type (file-type のオープン・エラー)

説明: パフォーマンス分析レポートは、file-type に記載されているファイルにアクセスしようとしていました。ファイルをオープンできなかったため、この試みは失敗しました。

システムの処置: ISPF ダイアログは終了します。

オペレーターの応答: 問題の解決を判別するには、エラーが発生したときに出力された可能性のある MVS システム・メッセージを参照してください。

CAZ0203E Auxiliary storage shortage. (補助ストレージが不足しています。)

説明: サンプル・ファイルをロードしようとしていたときに、システムが補助ストレージ不足状態で稼働していることがレポート作成で検出されました。

システムの処置: サンプルはロードされず、ユーザーは R02 パネルに戻ります。

オペレーターの応答: システム・プログラマーに、より多くのページ・データ・セットを追加するよう依頼してください。

CAZ0204E Sample File not loaded. (サンプル・ファイルがロードされていません。) **Data space full, cannot be extended, size=*aaaa*.** (データ・スペースがいっぱいで拡張できません。サイズ=*aaaa*)

説明: サンプル・ファイルをロードしようとしていたときに、「データ・スペース・フル」状態がレポート作成で検出され、データ・スペースのロードを完了できませんでした。*aaaa* 値は、データ・スペースの現行サイズ (バイト) を表しています。

システムの処置: サンプルはロードされず、ユーザーは R02 パネルに戻ります。

オペレーターの応答: サイズ値 *aaaa* が 2 ギガバイトの場合は、サンプルが大きすぎるため、レポート作成でロードすることができません。サンプル要求を、より短い期間またはサンプル頻度で再実行してみてください。サイズ値 *aaaa* が 2 ギガバイト未満の場合、最も考えられる原因は、インストール済み環境で最大データ・スペースのサイズがこの値に制限されていることです。システム・プログラマーに、IEFUSI 出口でこの最大値を調整するよう依頼してください。

CAZ0205E Report creation failed. (レポートの作成に失敗しました。) **Dataspace full, cannot be extended.** (データ・スペースがいっぱいであり、拡張できません。)

説明: レポートの作成を試行したときに、Application Performance Analyzer が「データ・スペースがいっぱい」である状況を検出しました。このレポートのデータによってデータ・スペースがいっぱいになり、そのデータ・スペースを拡張することができません。

システムの処置: このレポートのサンプル・ファイルのデータが多すぎます。レポートの作成は強制終了され、R02 パネルに戻ります。

オペレーターの応答: R コマンドまたは S コマンドを再度使用してこの監視用のレポート・メニューを表示し、同様のデータを要約された形式で取得するための他のレポートの作成を試行してください。または、サンプル要求を、期間またはサンプル頻度を短くして再試行してください。

CAZ0300E ENQ failed, DB2, IMS, or WLM intercept function could not proceed. (ENQ が失敗しました。DB2、IMS、または WLM インターセプト機能を続行できませんでした。) **Try again later.** (後で再試行してください。)

説明: Application Performance Analyzer が開始したタスクは、インターセプト機能を実行するために必要な内部リソースをシリアライズできませんでした。Application Performance Analyzer が開始した別のタスクが、同じ理由でリソースを保持していました。この問題は、Application Performance Analyzer が開始したタスクの複数インスタンスが同時に開始され、それぞれがリソースを獲得しようとした場合に発生します。成功するのは 1 つのみで、残りは失敗しました。

システムの処置: 機能は実行されませんでした。この問題が開始時に発生した場合は、開始タスクは終了します。

オペレーターの応答: 開始タスクを再開します。

CAZ0301E DB2, IMS or WLM intercept aaaa not possible, following STCs are still active:
bbbb.

説明: 他の Application Performance Analyzer 開始タスクが実行中であったため、Application Performance Analyzer 開始タスクはインターセプト機能を実行できませんでした。他の Application Performance Analyzer 開始タスクがすべてダウンしている場合のみ、インターセプト機能を実行できます。

aaaa 実行できなかった機能を表します。

bbbb STC のリストを表します。

システムの処置: 機能は実行されませんでした。この問題が開始時に発生した場合は、開始タスクは終了します。

オペレーターの応答: すべての Application Performance Analyzer 開始タスクを停止し、機能を再試行してください。

CAZ0302E SRB failed, DB2, IMS or WLM intercept function could not proceed. (SRB が失敗しました。DB2、IMS または WLM インターセプト機能を続行できませんでした。) **CODE=bbbb, CC=cccc, RSN=dddd.**

説明: DB2[®]、IMS[™] または WLM インターセプトをインストールおよびアンインストールするために使用される SRB が失敗しました。

システムの処置: 機能は実行されませんでした。この問題が開始時に発生した場合は、開始タスクは終了します。

オペレーターの応答: このメッセージの情報を記録します。*MASTER* アドレス・スペースで可能なダンプを確認して、ダンプを保管してから、製品サポートにお問い合わせください。

CAZ0303E load module: aaaaaaaaa not found. (ロード・モジュール: aaaaaaaaa が検出されません。) **Component ID = #####.** (コンポーネント ID = #####。)

説明: ##### で識別されるコンポーネントが、aaaaaaaaa で指定されたロード・モジュールを検出できませんでした。次の標準の検索順序が使用されました。

- タスク・ライブラリー (存在する場合)
- ジョブ・ライブラリーまたはステップ・ライブラリー (存在する場合)
- リンク・リスト・ライブラリー

システムの処置: コンポーネント ID によって異なります。

0004 DB2 または DDF インターセプト・モジュールが見つかりません。開始タスクは初期化を続行しますが、DB2/DDF インターセプト・サポートは利用できません。

0006 IMS インターセプト・モジュールが見つかりません。開始タスクは初期化を続行しますが、IMS インターセプト・サポートは利用できません。

0007 WLM インターセプト・モジュールが見つかりません。開始タスクは初期化を続行しますが、WLM インターセプト・サポート (DB2 のマルチアドレス・スペース) は利用できません。

オペレーターの応答: 指定されたロード・モジュールが STEPLIB または LINKLIST で使用可能であることを確認してください。

CAZ0304E IEAMSCHD failed, RC=aaaa, DB2, IMS or WLM intercept function could not proceed. (IEAMSCHD が失敗しました。RC=aaaa, DB2, IMS または WLM インターセプト機能を続行できませんでした。)

説明: IEAMSCHD は、RC フィールドに示されている理由で、SRB をスケジュールに入れることができませんでした。

システムの処置: 機能は実行されませんでした。この問題が開始時に発生した場合は、開始タスクは終了します。

オペレーターの応答: このメッセージの情報を記録してから、この問題に可能な解決策を見つけるために、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト (www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/) を参照してください。

CAZ0305E SRB/IRB ended abnormally (ABEND). (SRB/IRB が異常終了しました (ABEND)。) DB2, IMS or WLM intercept function could not proceed. (DB2, IMS または WLM インターセプト機能を続行できませんでした。)

説明: DB2, IMS または WLM インターセプトをインストールおよびアンインストールするために使用される SRB または IRB が異常終了しました (ABEND)。

システムの処置: 機能は実行されませんでした。この問題が開始時に発生した場合は、開始タスクは終了します。

オペレーターの応答: 小さな診断ダンプが、DD 名 DUMP0001 のもとに作成されます。このダンプを保管して、製品サポートにお問い合わせください。

CAZ0306S Invalid SRB or IRB parameters detected. (無効な SRB または IRB パラメーターが検出されました。)

説明: インターセプトをインストールおよびアンインストールするために使用される SRB または IRB が、無

効な入力パラメーターを検出し、続行できませんでした。

システムの処置: 機能は終了します。

オペレーターの応答: この問題に可能な解決策を見つけるには、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト (www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/) を参照してください。

CAZ0307S Invalid PABX detected. (無効な PABX が検出されました。)

説明: インターセプトをインストールおよびアンインストールするために使用される SRB が、無効な内部制御ブロックを検出し、続行できませんでした。

システムの処置: 機能は終了します。

オペレーターの応答: この問題に可能な解決策を見つけるには、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト (www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/) を参照してください。

CAZ0308S CAZ00004/CAZ00006/CAZ00007 が異常終了しました。See dump for details. (詳細については、ダンプを参照してください。)

説明: DB2 (CAZ00004)、IMS (CAZ00006) または WLM (CAZ00007) インターセプトを管理するために使用されるプログラムが異常終了を検出してリカバリーしましたが、機能を続行できませんでした。

システムの処置: 機能は終了し、ダンプが作成されます。

オペレーターの応答: ダンプを保管して、製品サポートにお問い合わせください。

CAZ0309S Unable schedule IRB, Job Step TCB not found. (IRB をスケジュールに入れることができません。ジョブ・ステップ TCB が見つかりません。) DB2, IMS or WLM intercept function could not proceed. (DB2, IMS または WLM インターセプト機能を続行できませんでした。)

説明: *MASTER* アドレス・スペースのジョブ・ステップ TCB が見つからなかったため、インターセプトをインストールおよびアンインストールするために使用される IRB をスケジュールに入れることができませんでした。

システムの処置: 機能は終了します。

オペレーターの応答: この問題に可能な解決策を見つけるには、Application Performance Analyzer 技術サポート

Web サイト (www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/) を参照してください。

CAZ0310I *aaa intercept successfully uninstalled.*
(*aaa* インターセプトは正常にアンインストールされました。)

説明: DB2、DDF、IMS、または WLM インターセプトのアンインストール要求は正常に完了しました。DB2、DDF、IMS、または WLM 呼び出しは、この MVS システムでインターセプトされなくなります。

aaa インターセプト・タイプ (DB2、DDF、IMS、または WLM) を表します。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ0311I *aaa インターセプトが正常にインストールされました。LX=aaaaaaaa*

説明: DB2、DDF、IMS、または WLM インターセプトのインストール要求は正常に完了しました。DB2、DDF、IMS、または WLM 呼び出しは、この MVS システムでインターセプトされるようになります。

aaa インターセプト・タイプ (DB2、DDF、IMS、または WLM) を表します。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ0312E *DB2 or IMS intercept update unsuccessful, DB2 or IMS intercept in use.*
(*DB2* または *IMS* インターセプトの更新が失敗しました。*DB2* または *IMS* インターセプトは使用中です。)

説明: Application Performance Analyzer が、1つ以上のサンプリング・セッションが現在インターセプトを使用していることを判別したため、DB2 または IMS インターセプト・コードの更新要求を完了できませんでした。サンプリング・セッションが完了するまで待つてから、この機能を再試行してください。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: 詳しくは、Application Performance Analyzer テクニカル・サポート Web サイト (www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/) を参照してください。

CAZ0313E *DB2, IMS or WLM intercept uninstall failed, reason_code.* (DB2、IMS または WLM インターセプトのアンインストールが失敗しました。*reason_code*)

説明: DB2、IMS または WLM インターセプトのアンインストール要求は、*reason_code* で指定されている理由で失敗しました。*reason_code* に可能な値は以下のとおりです。

DB2, IMS or WLM intercept not installed

Application Performance Analyzer は、インターセプトがこの MVS システムにインストールされていないため、アンインストールできなかったことを判別しました。

DB2 or IMS intercept in use

Application Performance Analyzer は、インターセプトが 1 つ以上のサンプリング・セッションによって現在使用中であることを判別しました。サンプリング・セッションが完了するまで待つてから、この機能を再試行してください。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: 詳しくは、Application Performance Analyzer テクニカル・サポート Web サイト (www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/) を参照してください。

CAZ0314E **RESET not possible, reason_code.** (リセットを行えません。*reason_code*。)

説明: DB2 または IMS インターセプト制御データのリセット要求は、*reason_code* で指定された理由により実行できませんでした。*reason_code* に可能な値は以下のとおりです。

DB2 or IMS intercept in use

Application Performance Analyzer は、インターセプトが 1 つ以上のサンプリング・セッションによって現在使用中であることを判別しました。サンプリング・セッションが完了するまで待つてから、この機能を再試行してください。

DB2 or IMS intercept must be uninstalled first

Application Performance Analyzer は、インターセプトがまだインストールされていることを判別しました。リセットは、インターセプトの除去後にのみ実行できます。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: 詳しくは、Application Performance Analyzer テクニカル・サポート Web サイト (www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/) を参照してください。

CAZ0315I **Newer version of aaaintercept detected, attempting refresh.** (最新バージョンの *aaa* インターセプトが検出されました。更新を試みています。)

説明: 開始時に、Application Performance Analyzer が開始したタスクは、最新バージョンの DB2、DDF、IMS または WLM インターセプトが使用可能であることを判別しました。インターセプトを更新しようとします。更新では、現在のインターセプトのアンインストールおよび新規インターセプトのインストールが行われます。このプロセスを正常に実行するために、Application Performance Analyzer が開始した他のタスクはすべて停止する必要があります。

aaa インターセプト・タイプ
(DB2、DDF、IMS、WLM など) を表します。

システムの処置: インターセプトが更新されます。

オペレーターの応答: なし。

CAZ0316I **Newer version of IMS stub detected, attempting refresh.**

説明: 開始時に、Application Performance Analyzer が開始したタスクは、最新バージョンの内部スタブが使用可能であることを判別しました。スタブを更新しようとします。

システムの処置: IMS スタブが更新されます。

オペレーターの応答: なし。

CAZ0317I **Newer version of IMS stub found and refreshed.**

説明: 開始時に、Application Performance Analyzer が開始したタスクは、最新バージョンの内部 IMS スタブが使用可能であること、および正常に更新されたことを判別しました。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ0319E **BLDL error for load module: aaaaaaaaa; RC = rc, RSN = rsn.** (ロード・モジュール *aaaaaaaa* の BLDL エラー。RC = *rc*、RSN = *rsn*。)Component ID = #####. (コンポーネント ID = #####。)

説明: ##### で識別されるコンポーネントで *aaaaaaaa* の処理中に BLDL エラーが発生しました。BLDL 戻りコードおよび理由コードが、*rc* および *rsn* で提供されます。

システムの処置: コンポーネント ID によって異なります。

0004 DB2 または DDF インターセプト・モジュールが見つかりません。開始タスクは初期化を続行しますが、DB2/DDF インターセプト・サポートは利用できません。

0006 IMS インターセプト・モジュールが見つかりません。開始タスクは初期化を続行しますが、IMS インターセプト・サポートは利用できません。

0007 WLM インターセプト・モジュールが見つかりません。開始タスクは初期化を続行しますが、WLM インターセプト・サポート (DB2 のマルチアドレス・スペース) は利用できません。

オペレーターの応答: BLDL 戻りコードと BLDL 理由コードに基づく問題を訂正してください。

CAZ0321S *module_name* has abended, see SVC **dump for details.** (*module_name* が異常終了しました。詳細については SVC ダンプを参照してください。)

説明: *module_name* で指定されているプログラムが異常終了を検出し、SVC ダンプを生成しました。

システムの処置: 処理を続行します。

オペレーターの応答: ダンプを保存して、Application Performance Analyzer サポートにお問い合わせください。

CAZ0322I *aaaa* already *bbbb*. (*aaaa* は既に *bbbb* されています。)アクションは行われません。

説明: *bbbb* で記述されているアクションは、*aaaa* によって示された理由により実行されませんでした。

- *aaaa* = WLM インターセプトまたは WLM アナライザー
- *bbbb* = 「活動化」または「非活動化」

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ0323E **WLM Intercept *aaaa* not possible, vendor with jobname: *bbbb* is active.** (WLM インターセプト *aaaa* を実行できません。ジョブ名 *bbbb* のベンダーがアクティブです。)

説明: *aaaa* で記述されているアクションを実行できません。ジョブ名 *bbbb* の別のベンダーが既に WLM を

CAZ0324I • CAZ0551E

インターセプトしています。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ0324I *aaaa has been successfully bbbb. (aaaa の bbbb が正常に行われました。)*

説明: *bbbb* で記述されているアクションが *aaaa* に対して正常に完了しました。

- *aaaa* = WLM インターセプトまたは WLM アナライザー
- *bbbb* = 「活動化」または「非活動化」

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ0325E **Function not defined.** (関数が定義されていません。)

説明: ユーザーが、未定義の関数またはオペランドを使用して WLM コマンドを発行しようとしています。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: コマンドを訂正し、再発行してください。

CAZ0326E **Function failed, WLM intercept not installed.** (関数が失敗しました。WLM インターセプトがインストールされていません。)

説明: ユーザーは WLM の活動化関数または非活動化関数を実行しようとしています。WLM インターセプトがインストールされていません。インターセプトを最初にインストールしてからでないと、インターセプトを活動化したり非活動化したりすることはできません。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ0490I **Application Performance Analyzer is shutting down (Application Performance Analyzer はシャットダウン中です)**

説明: Application Performance Analyzer は、シャットダウン・プロセスを開始しました。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ0491E **PABX initialization not possible, following STCs are still active: s1, s2, s3, ...**

説明: 他の Application Performance Analyzer 開始タスクが実行中であったため、Application Performance Analyzer 開始タスクは内部制御ブロックを初期化できませんでした。他の Application Performance Analyzer 開始タスクがすべてダウンしている場合のみ、この制御ブロックを初期化できます。「s1, s2, s3,...」は、まだ実行中の Application Performance Analyzer 開始タスクの ID を表しています。

システムの処置: 開始タスクは終了します。

オペレーターの応答: すべての Application Performance Analyzer 開始タスクを停止し、開始タスクを再始動してください。

CAZ0498I **IBM Application Performance Analyzer for z/OS has abnormally terminated. (IBM Application Performance Analyzer for z/OS が異常終了しました。)**

説明: このメッセージは、Application Performance Analyzer 開始タスクが異常終了した操作を通知します。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: システム・ログの異常終了情報を記録して、製品サポートにお問い合わせください。

CAZ0499I **Application Performance Analyzer terminating (Application Performance Analyzer は終了中です)**

説明: このメッセージは、Application Performance Analyzer がシャットダウン・プロセスを完了し、終了しようとしているときに報告されます。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ0551E **Unable to LOAD xxxxxxx. (xxxxxxx をロードできません。)** R01=x"....." R15=x".....".

説明: 初期化の間、Application Performance Analyzer はモジュール xxxxxxx をロードできませんでした。R01 の値はロードからの異常終了コードで、R15 の値は理由コードです。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: システム・コード・マニュアルで異常終了コードを見つけ、エラーを訂正し、Application

Performance Analyzer 開始タスクを再始動してください。

CAZ0700I Module *module_name* found in *data_set_name* in *linklist_name* LNKLST (モジュール *module_name* が *linklist_name* LNKLST の *data_set_name* に見つかりました)

説明: *module_name* で指定される IEFUSI 出口モジュールが、*data_set_name* で指定されるデータ・セット内の *linklist_name* で指定される現在アクティブなリンク・リストに見つかりました。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ0701E CSVDYNL: Module *module_name* not found in current LNKLST (CSVDYNL: モジュール *module_name* が現在の LNKLST にありません)

説明: *module_name* で指定される IEFUSI 出口モジュールが、現在アクティブなリンク・リストに見つかりませんでした。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: 指定されたモジュールがリンク・リストのデータ・セットにあることを確認してから、Application Performance Analyzer を再始動してください。

CAZ0702E CSVDYNL: LNKLST=*linklist_name*
MODULE=*module_name* RC=*return_code*
RSN=*reason_code*

説明: Application Performance Analyzer は、*module_name* で指定される IEFUSI 出口モジュールの *linklist_name* で指定された現在アクティブなリンク・リストを検索しようとしていて、CSVDYNL エラーを検出しました。CSVDYNL 戻りコードおよび理由コードは、それぞれ *return_code* および *reason_code* で指定されません。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: CSVDYNL のエラー・コードについては、「MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference」を参照してください。問題を訂正してから、Application Performance Analyzer を再始動してください。

CAZ0703W Internal security detected. (内部セキュリティが検出されました。) This is not recommended in a SYSPLEX group and might produce undesirable results. (シスプレックス・グループでは推奨されません。好ましくない結果が生じる可能性があります。)

説明: このメッセージは、シスプレックス・グループでの初期化を行っている間、この Application Performance Analyzer のインスタンスが、内部セキュリティ規則で稼働していることを検出したことを示しています。

内部規則を使用して稼働している場合、Application Performance Analyzer はセキュリティ許可の正確性を保証しません。意図どおりにではなく、ユーザーにアクションが許可される可能性があります。

Application Performance Analyzer がシスプレックス・グループの一部として稼働している場合、インストール済み環境の外部セキュリティ・システムを使用するようお勧めします。

システムの処置: これは警告で、これ以上のアクションは行われません。すべての処理は通常どおり続行します。

オペレーターの応答: Application Performance Analyzer をインストール済み環境の外部セキュリティ・システムにマイグレーションすることを考慮してください。

CAZ0704W External security detected in compatibility mode. (外部セキュリティが互換モードで検出されました。) This is not recommended in a SYSPLEX group and might produce undesirable results. (シスプレックス・グループでは推奨されません。好ましくない結果が生じる可能性があります。)

説明: このメッセージは、シスプレックス・グループでの初期化を行っている間、この Application Performance Analyzer のインスタンスが、互換モードの外部セキュリティ規則で稼働していることを検出したことを示しています。

このような条件で稼働している場合、Application Performance Analyzer はセキュリティ許可の正確性を保証しません。意図どおりにではなく、ユーザーにアクションが許可される可能性があります。

Application Performance Analyzer がシスプレックス・グループの一部として稼働している場合、インストール済み環境の外部セキュリティ・システムをネイティブ・モードで使用するようお勧めします。

CAZ0705I • CAZ0726I

リソース・プロファイルの最初のノードとして、Application Performance Analyzer 開始タスクの STCid の代わりに MVS システム名を使用するよう、インストール済み環境がそのセキュリティ規則を更新している間のみ、互換モードを一時的に使用してください。

システムの処置: これは警告で、これ以上のアクションは行われません。すべての処理は通常どおり続行します。

オペレーターの応答: なし。

CAZ0705I **Module aaaaaaaaa found in bbbbbbbb in cccccccc.** (モジュール aaaaaaaaa が cccccccc 内の bbbbbbbb で見つかりました。)

説明: aaaaaaaaa で指定されるモジュールが、bbbbbbbb で指定されるデータ・セット内の cccccccc で指定される現在アクティブなリンク・リストに見つかりました。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ0706I **Module aaaaaaaaa not found in current LNKLIST.** (モジュール aaaaaaaaa が現在の LNKLIST で見つかりませんでした。)

説明: aaaaaaaaa で指定されているモジュールが現在の LNKLIST で見つかりませんでした。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了しました。

オペレーターの応答: 指定されたモジュールがリンク・リストのデータ・セットにあることを確認してから、Application Performance Analyzer を再始動してください。

CAZ0707I **CSVDYNL: LNKLIST=aaaa
MODULE=bbbb RC=cccc RSN=dddd
(CSVDYNL: LNKLIST=aaaa モジュール
=bbbb RC=cccc RSN=dddd)**

説明: Application Performance Analyzer は、bbbb で指定されるモジュールの aaaa で指定された現在アクティブなリンク・リストを検索しようとしていて、CSVDYNL エラーを検出しました。CSVDYNL 戻りコードおよび理由コードは、それぞれ cccc および dddd で指定されます。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: CSVDYNL のエラー・コードについては、「MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference」を参照してください。問題を訂正し

てから、Application Performance Analyzer を再始動してください。

CAZ0720I **Sampling buffer size is size bytes** (サンプリング・バッファ・サイズは size バイトです)

説明: このメッセージは、初期化中に計測要求で使用されるサンプリング・バッファの最大サイズを報告します。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ0724I **Task/subtask dispatch cycle is
time_interval X 0.01 seconds** (タスク/サブタスクのディスパッチング・サイクルは time_interval X 0.01 秒です)

説明: このメッセージは、初期化中に、ディスパッチする作業があるかどうかを調べるそれぞれの Application Performance Analyzer の「パルス」の間隔を報告します。値 time_interval は、1/100 秒単位になります。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ0725I **Default sampling duration is seconds
seconds** (デフォルトのサンプリング期間は seconds 秒です)

説明: このメッセージは、初期化中に、CONFIG メンバーで指定されたか、デフォルトに設定された値を報告します。値 seconds は、サンプリング・セッションの期間のデフォルトの秒数です。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ0726I **Default number of samples is samples** (デフォルトのサンプル数は samples です)

説明: このメッセージは、初期化中に、CONFIG メンバーで指定されたか、デフォルトに設定された値を報告します。値 samples は、サンプリング・セッション中に取得するデフォルトのサンプル数です。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ0727I Minimum sampling rate is *sampling_rate* milliseconds (最小のサンプリング率は *sampling_rate* ミリ秒です)

説明: このメッセージは、初期化中に、CONFIG メンバーで指定されたか、デフォルトに設定された値を報告します。値 *sampling_rate* は、サンプリング率として指定できるミリ秒単位の最小期間です。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ0731I Log file primary allocation is *primary_allocation_units* (ログ・ファイル 1 次割り振りは *primary_allocation_units* です)

説明: このメッセージは、初期化中に、CONFIG メンバーで指定されたか、デフォルトに設定された値を報告します。値 *primary_allocation_units* は、ログ・データ・セットの 1 次割り振り単位数です。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ0732I Log file allocation unit is *allocation_unit* (ログ・ファイル割り振り単位は *allocation_unit* です)

説明: このメッセージは、初期化中に、CONFIG メンバーで指定されたか、デフォルトに設定された値を報告します。値 *allocation_unit* は、ログ・データ・セットの割り振り単位です。T=TRK、C=CYL、B=BLK。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ0733I DASD UNIT name is *name* (DASD 装置名は *name* です)

説明: このメッセージは、初期化中に、CONFIG メンバーで指定されたか、デフォルトに設定された値を報告します。値 *name* は、新規データ・セットを割り振るための DASD 装置名です。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ0734I Checkpoint DSN: *data_set_name* (チェックポイント DSN: *data_set_name*)

説明: このメッセージは、初期化中に、Application Performance Analyzer がチェックポイント機能に使用する

るデータ・セットの名前 (*data_set_name*) を報告します。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ0735I Checkpoint file capacity is *records* (チェックポイント・ファイルの容量は *records* です)

説明: このメッセージは、初期化中に、チェックポイント・ファイルに指定されたレコード数 (*records*) (ヘッダー・レコードは除く) を報告します。この値は、チェックポイント・ファイルが存在せず、Application Performance Analyzer がファイルを作成する場合のみ意味を持ちます。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ0785I IXCJOIN started *task-sysout_file* (*MVS_system*) RC=*return_code* RSN=*reason_code*)

説明: これは通知メッセージで、この Application Performance Analyzer のインスタンスがシスプレックス・グループに正常に参加したかどうかを示します。戻りコード値 0 または 4 は、操作が成功したことを示します。4 より大きい戻りコードは、参加操作に問題があることを示します。このメッセージは *sysout_file* に書き込まれています。 *MVS_system* は、Application Performance Analyzer が稼働している MVS システムを指しています。

システムの処置: 戻りコードが 4 より大きく、このメッセージの後にメッセージ CAZ0014E が続く場合、Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: IXCJOIN の戻りコードおよび理由コードについて「MVS プログラミング: シスプレックス・サービス解説書」を参照して、修正処置を行ってください。

CAZ0788E IXCQUERY on SYSPLEX. (シスプレックスでの IXCQUERY) RC=*return_code* RSN=*reason_code*)

説明: このメッセージは、診断の目的で製品サポートによってのみ使用されます。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: 製品サポートにお問い合わせください。

CAZ0789I System ~~~~~ Status X"~" at
 ~~~~~ (システム  
 ~~~~~ 状況 X"~" 位置 ~~~~~  
 ~~~~~)

**説明:** このメッセージは、診断の目的で製品サポートによってのみ使用されます。

**システムの処置:** なし。

**オペレーターの応答:** 製品サポートにお問い合わせください。

---

**CAZ0790E** IXCQUERY on GROUP. (グループでの  
 IXCQUERY) RC=return\_code  
 RSN=reason\_code

**説明:** このメッセージは、診断の目的で製品サポートによってのみ使用されます。

**システムの処置:** なし。

**オペレーターの応答:** 製品サポートにお問い合わせください。

---

**CAZ0795I** IXCQUIES RC=return\_code  
 RSN=reason\_code

**説明:** このメッセージは、診断の目的で製品サポートによってのみ使用されます。

**システムの処置:** なし。

**オペレーターの応答:** 製品サポートにお問い合わせください。

---

**CAZ1000I** Logger started. (ロガーは開始済みです。)

**説明:** ロガー・サブタスクは開始済みであり、初期化の処理中です。

**システムの処置:** Application Performance Analyzer は初期化を続行します。

**オペレーターの応答:** なし。

---

**CAZ1020I** Logger operating. (ロガーは作動中です。)

**説明:** ロガー・サブタスクは初期化を完了し、作動可能です。

**システムの処置:** Application Performance Analyzer は初期化を続行します。

**オペレーターの応答:** なし。

---

**CAZ1030S** Allocation error for dsn E=X"error\_code"  
 I=X"information\_code"  
 SMS=X"reason\_code". (dsn  
 E=X"error\_code" I=X"  
 information\_code" SMS=X"reason\_code"  
 の割り振りエラー。)

**説明:** dsn で指定された新規ログ・ファイルを割り振ろうとしていて、動的割り振りエラーが発生しました。error\_code、information\_code、および reason\_code は、それぞれ動的割り振りエラー・コード、情報コード、および SMS 理由コードを示します。

**システムの処置:** Application Performance Analyzer は終了します。

**オペレーターの応答:** 上記のエラー・コードについては、「MVS Programming: Authorized Assembler Services Guide」を参照してください。問題を訂正してから、Application Performance Analyzer を再始動してください。

---

**CAZ1031I** New log is dsn (新規ログは dsn です)

**説明:** これは、ロガー・サブタスクが dsn で指定されたデータ・セット名の新規ログ・ファイルを割り振ったことを示す情報メッセージです。

**システムの処置:** なし。

**オペレーターの応答:** なし。

---

**CAZ1032W** Allocation error for SYSOUT data set  
 ddname E=X"error\_code"  
 I=X"information\_code"  
 SMS=X"reason\_code". (SYSOUT データ・  
 セット ddname の割り振りエラー。  
 E=X"error\_code" I=X"information\_code"  
 SMS=X"reason\_code".)

**説明:** ddname で指定されたログ SYSOUT データ・セットを割り振ろうとしていて、動的割り振りエラーが発生しました。error\_code、information\_code、および reason\_code は、それぞれ動的割り振りエラー・コード、情報コード、および SMS 理由コードを示します。

**システムの処置:** なし。

**オペレーターの応答:** 上記のエラー・コードについては、「MVS Programming: Authorized Assembler Services Guide」を参照してください。問題を訂正し、必要場合は Application Performance Analyzer を再始動してください。



---

**CAZ1040E** DEVTTYPE error for ddname *ddname*  
 RC=*return\_code* RSN=*reason\_code* (DD 名  
*ddname* RC=*return\_code* RSN=  
*reason\_code* の DEVTTYPE エラー)

**説明:** *ddname* で指定される DD 名に割り振られたログ・データ・セットの装置タイプを判別しようとしていて、DEVTTYPE エラーが発生しました。*return\_code* および *reason\_code* は、それぞれ DEVTTYPE 戻りコードおよび理由コードを示します。

**システムの処置:** Application Performance Analyzer は終了します。

**オペレーターの応答:** 上記のエラー・コードについては、「DFSMSdfp 拡張サービス」を参照してください。問題を訂正してから、Application Performance Analyzer を再始動してください。

---

**CAZ1090I** Logger stopping. (ロガーは停止中です。)

**説明:** ロガー・サブタスクは、シャットダウン・プロセスを開始しました。

**システムの処置:** なし。

**オペレーターの応答:** なし。

---

**CAZ1099I** Logger terminated. (ロガーは終了します。)

**説明:** ロガー・サブタスクはシャットダウン・プロセスを完了し、終了しようとしています。

**システムの処置:** なし。

**オペレーターの応答:** なし。

---

**CAZ1100I** Command Processor started. (コマンド・プロセッサは開始済みです。)

**説明:** コマンド・プロセッサ・サブタスクは開始済みであり、初期化の処理中です。

**システムの処置:** Application Performance Analyzer は初期化を続行します。

**オペレーターの応答:** なし。

---

**CAZ1103E** The following command is not allowed as a Modify Command: *command\_name*. (コマンド *command\_name* を変更コマンドとして使用することはできません。)

**説明:** オペレーターが、*command\_name* で指定される、許可されていない Application Performance Analyzer の変更コマンドを入力しようとしていました。

**システムの処置:** コマンドは廃棄されます。

**オペレーターの応答:** なし。

---

**CAZ1105S** Unable to open COMMANDS *ddname*. (COMMANDS *ddname* をオープンできません。)

**説明:** コマンド・プロセッサ・サブタスクが、COMMANDS *ddname* に割り振られたデータ・セットまたは SYSOUT をオープンできませんでした。推定原因: COMMANDS DD ステートメントが Application Performance Analyzer JCL にありません。

**システムの処置:** Application Performance Analyzer は終了します。

**オペレーターの応答:** 適切な COMMANDS DD ステートメントを Application Performance Analyzer JCL に追加してください。

---

**CAZ1130I** Command Processor operating. (コマンド・プロセッサは作動中です。)

**説明:** コマンド・プロセッサ・サブタスクは初期化を完了し、作動可能です。

**システムの処置:** Application Performance Analyzer は初期化を続行します。

**オペレーターの応答:** なし。

---

**CAZ1141W** Module *module\_name* already defined in exit *exit\_name*. (モジュール *module\_name* は、出口 *exit\_name* で定義済みです。)

**説明:** *exit\_name* という名前の MVS インストール・システム出口のモジュール *module\_name* は、定義済みです。

**システムの処置:** Application Performance Analyzer は、既存の定義を使用します。

**オペレーターの応答:** なし。

---

**CAZ1190I** Command Processor stopping. (コマンド・プロセッサは停止中です。)

**説明:** コマンド・プロセッサ・サブタスクは、シャットダウン・プロセスを開始しました。

**システムの処置:** なし。

**オペレーターの応答:** なし。

---

**CAZ1199I** Command Processor terminated. (コマンド・プロセッサは終了します。)

**説明:** コマンド・プロセッサ・サブタスクはシャットダウン・プロセスを完了し、終了しようとしています。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

**CAZ1200I** Exit *exit\_name* defined. (出口 *exit\_name* が定義されました。)

説明: *exit\_name* という名前の MVS インストール・システム出口が、MVS に正常に定義されました。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

**CAZ1201W** Exit *exit\_name* already defined. (出口 *exit\_name* は定義済みです。)

説明: *exit\_name* という名前の MVS インストール・システム出口は、別のアプリケーションによって MVS に定義済みです。

システムの処置: Application Performance Analyzer は、既存の定義を使用します。

オペレーターの応答: なし。

**CAZ1202E** Unable to define exit *exit\_name*  
**RC=X"return\_code" RSN=X"reason\_code"**  
 (出口 *exit\_name* を定義できません。  
**RC=X"return\_code"**  
**RSN=X"reason\_code"**)

説明: Application Performance Analyzer は、*exit\_name* という名前の MVS インストール・システム出口を定義できませんでした。*return\_code* および *reason\_code* は、CSVDYNEX によって戻された戻りコードおよび理由コードを示します。

システムの処置: 初期化中に問題が発生する場合は、Application Performance Analyzer は終了します。そうでない場合は、アクションはとられません。

オペレーターの応答: CSVDYNEX の戻りコードおよび理由コードについては、「*MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference*」を参照してください。問題を訂正し、必要な場合は Application Performance Analyzer を再始動してください。

**CAZ1220E** Error adding module *module\_name* to exit *exit\_name*. (モジュール *module\_name* を出口 *exit\_name* に追加していてエラーが発生しました。) **RC=X"return\_code"**  
**RSN=X"reason\_code"**

説明: Application Performance Analyzer は、*exit\_name* という名前の MVS インストール・システム出口にモジュール *module\_name* を追加できませんでした。

*return\_code* および *reason\_code* は、CSVDYNEX によって戻された戻りコードおよび理由コードを示します。

システムの処置: 初期化中に問題が発生する場合は、Application Performance Analyzer は終了します。そうでない場合は、アクションはとられません。

オペレーターの応答: CSVDYNEX の戻りコードおよび理由コードについては、「*MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference*」を参照してください。問題を訂正し、必要な場合は Application Performance Analyzer を再始動してください。

**CAZ1221I** Module *module\_name* added to exit *exit\_name*. (モジュール *module\_name* は、出口 *exit\_name* に追加されました。)

説明: モジュール *module\_name* は、*exit\_name* という名前の MVS インストール・システム出口に正常に追加されました。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

**CAZ1224S** CSVDYNEX LIST error:  
**RC=X"return\_code" RSN=X"reason\_code"**.  
 (CSVDYNEX LIST エラー:  
**RC=X"return\_code" RSN=X"reason\_code"**。)

説明: Application Performance Analyzer は、MVS インストール・システム出口点をリストできませんでした。*return\_code* および *reason\_code* は、CSVDYNEX によって戻された戻りコードおよび理由コードを示します。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: CSVDYNEX の戻りコードおよび理由コードについては、「*MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference*」を参照してください。問題を訂正し、Application Performance Analyzer を再始動してください。

**CAZ1225I/CAZ1225W** Exit Point: *task\_name*, not active; **RSN=X"reason\_code "**. (出口点 *task\_name* が非アクティブです。  
**RSN=X"reason\_code "**。)

説明: *task\_name* で定義される出口点は、*reason\_code* で指定された理由によりアクティブではありませんでした。Application Performance Analyzer は、この出口点に出口ルーチンを追加できません。4 以下の理由コードでは、これは通知メッセージです。

4 より大きい理由コードでは、これは警告メッセージで

あり、ユーザーは非アクティブな開始タスク (*task\_name* = "SYSSTC.IEFUSI") または TSO ログオン (*task\_name* = "SYSTSO.IEFUSI") をサンプリングすることはできません。

*task\_name* の値:

- "SYSJES2.IEFUSI" または "SYSJES3.IEFUSI"
- "SYSJES3.IEFUSI"
- "SYSSTC.IEFUSI"
- "SYSTSO.IEFUSI"

*reason\_code* の値:

- 0 - n/a
- 4 - ターゲット SYS/SUBSYS に、システムに定義された出口点がありません。
- 8 - 出口点がシステムに定義されていません。いずれかの出口点が必ず定義されているため、この状態は起こり得ません。
- 12 - ターゲット出口点がシステムに定義されていませんが、出口点 TYPE に他の出口点があります。
- 16 - ターゲット出口点に、ルーチンが定義されていません。
- 20 - ターゲット出口点は定義されていませんが、出口ルーチンが定義されています。
- 24 - ターゲット出口点は定義されていますが、IEFUSI ルーチンがありません。
- 28 - ターゲット出口点は、IEFUSI ルーチンではなく CAZ00990 で定義されています。

注: RSN 16、20、および 24 は、出口点が SMF 以外のプログラムによって誤って定義されていない限り、起こり得ません。

**システムの処置:** Application Performance Analyzer は初期化を続行します。

**オペレーターの応答:** 4 より大きい理由コードについては、システム・プログラマーに連絡して、SMF 出口点の状況を調べてください。出口点の定義については、「MVS 初期設定およびチューニング 解説書」で SMFPRMxx について説明した章を参照してください。問題を訂正し、Application Performance Analyzer を再始動してください。

---

**CAZ1226S**    **A required SMF Exit Point is not active - sampling cannot proceed. (必要な SMF 出口点がアクティブではありません。サンプリングを続行できません。)**

**説明:** Application Performance Analyzer は、SYS.IEFUSI、SYSJES2.IEFUSI、(または JES3 環境の SYSJES3.IEFUSI) のいずれかの出口点がアクティブでな

かったことを判別しました。Application Performance Analyzer がスケジュールされたジョブをサンプリングするためには、これらの出口点がアクティブでなければなりません。詳しくは、メッセージ CAZ1225W を参照してください。

**システムの処置:** Application Performance Analyzer は終了します。

**オペレーターの応答:** システム・プログラマーに連絡して、SMF 出口点 SYS.IEFUSI および SYSJES2.IEFUSI または SYSJES3.IEFUSI の状況を調べてください。出口点の定義については、「MVS 初期設定およびチューニング 解説書」で SMFPRMxx について説明した章を参照してください。問題を訂正し、Application Performance Analyzer を再始動してください。

---

**CAZ1227I**    **Exit: routine\_name has already been added to Exit Point: task\_name (出口 routine\_name は、出口点 task\_name に追加済みです)**

**説明:** Application Performance Analyzer 出口ルーチン (*routine\_name*) は、Application Performance Analyzer の別のインスタンスによって追加済みです。*task\_name* の値:

- "SYS.IEFUSI"
- "SYSJES2.IEFUSI" または "SYSJES3.IEFUSI"
- "SYSSTC.IEFUSI"
- "SYSTSO.IEFUSI"
- "BPX\_POSPROC\_INIT"
- "SYS.IEFU83"
- "SYSSTC.IEFU83"
- "SYS.IEFU84"
- "SYSSTC.IEFU84"

**システムの処置:** Application Performance Analyzer は初期化を続行します。

**オペレーターの応答:** なし。

---

**CAZ1228I**    **Exit Point: task\_name is active. (出口点: task\_name はアクティブです。)**

**説明:** *task\_name* で定義されている出口点はアクティブです。

*task\_name* の値:

- "SYS.IEFU83"
- "SYSSTC.IEFU83"
- "SYS.IEFU84"
- "SYSSTC.IEFU84"

## CAZ1234W • CAZ1239I

システムの処置: Application Performance Analyzer は初期化を続行します。

オペレーターの応答: なし。

---

**CAZ1234W Exit Point aaaa not defined, USS sampling may be affected.** (出口点 aaaa が定義されていません。USS サンプリングが影響を受ける可能性があります。)

説明: aaaa によって定義された出口点が、システムに対して定義されていませんでした。Application Performance Analyzer は、USS アドレス・スペースを適切にサンプリングできない可能性があります。

システムの処置: Application Performance Analyzer は初期化を続行します。

オペレーターの応答: 出口点が定義されていない理由を判別してください。出口点を定義し、Application Performance Analyzer STC を再始動してください。

---

**CAZ1235E CSVDYNEX LIST error: RC=aaaax RSN=bbbbx for Exit Point cccc.** (CSVDYNEX LIST エラー: RC=aaaax RSN=bbbbx 出口点 cccc) USS sampling may be affected. (USS サンプリングが影響を受ける可能性があります。)

説明: Application Performance Analyzer は、cccc で示された出口点の状況を、CSVDYNEX LIST 関数を介して判別しようとした。この関数が、aaaa および bbbb で示された戻りコードと理由コードで失敗しました。Application Performance Analyzer は、USS アドレス・スペースを適切にサンプリングできない可能性があります。

システムの処置: Application Performance Analyzer は初期化を続行します。

オペレーターの応答: CSVDYNEX の戻りコードおよび理由コードについては、「*MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference*」を参照してください。問題を訂正し、Application Performance Analyzer STC を再始動してください。

---

**CAZ1236E Error adding module aaaa to Exit Point bbbb.** (モジュール aaaa の出口点 bbbb への追加エラー。) RC=ccccx RSN=ddddx. (RC=ccccx RSN=ddddx。) USS sampling may be affected. (USS サンプリングが影響を受ける可能性があります。)

説明: Application Performance Analyzer がモジュール (aaaa) を bbbb で示された出口点に、CSVDYNEX ADD

関数を介して追加しようとした。この関数が、cccc および dddd で示された戻りコードと理由コードで失敗しました。Application Performance Analyzer は、USS アドレス・スペースを適切にサンプリングできない可能性があります。

システムの処置: Application Performance Analyzer は初期化を続行します。

オペレーターの応答: CSVDYNEX の戻りコードおよび理由コードについては、「*MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference*」を参照してください。問題を訂正し、Application Performance Analyzer STC を再始動してください。

---

**CAZ1237E CAZ0004x: IXCMSGI error. (CAZ0004x: IXCMSGI エラー。) r15=X" return\_code" r0=X" reason\_code"**

説明: Application Performance Analyzer シスプレックス・メッセージング・システムが、グループ・メンバーからメッセージを受信中にエラーを検出しました。

*return\_code*

IXCMSGI からの戻りコードを示します。

*reason\_code*

IXCMSGI からの理由コードを示します。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: 同じメッセージが引き続き表示される場合は、この問題に可能な解決策を見つけるために、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト ([www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/](http://www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/)) を参照してください。

---

**CAZ1238W WAS sampling cannot proceed, RSN=aax. (WAS サンプリングを続行できません。RSN=aax。)**

説明: Application Performance Analyzer は、16 進値 aax で示されている理由コードにより、WAS サンプリングを続行できないことを判別しました。

システムの処置: Application Performance Analyzer は初期化を続行します。

オペレーターの応答: 理由コードを記録して、DD 名 MAIN の SYSOUT の出力を保管し、製品サポートにお問い合わせください。

---

**CAZ1239I Exit Point: task\_name, not active; RSN=X"reason\_code ". (出口点 task\_name が非アクティブです。RSN=X"reason\_code ".)**

説明: *task\_name* で定義される出口点は、*reason\_code*



で指定された理由によりアクティブではありませんでした。

*task\_name* の値

- “SYS.IEFU83
- “SYSSTC.IEFU83”
- “SYS.IEFU84”
- “SYSSTC.IEFU84”

*reason\_code* の値

- 0 - 使用不可です。
- 4 - ターゲット SYS/SUBSYS に、システムに定義された出口点がありません。

**システムの処置:** Application Performance Analyzer は初期化を続行します。

**オペレーターの応答:** なし。

**CAZ1239W Exit Point: *task\_name*, not active; RSN=X"*reason\_code*". (出口点 *task\_name* が非アクティブです。 RSN=X"*reason\_code*".)**

**説明:** *task\_name* で定義される出口点は、*reason\_code* で指定された理由によりアクティブではありませんでした。ユーザーは、WAS サンプルングを実行できない可能性があります。

*task\_name* の値

- “SYS.IEFU83
- “SYSSTC.IEFU83”
- “SYS.IEFU84”
- “SYSSTC.IEFU84”

*reason\_code* の値

- 8 - 出口点がシステムに定義されていません。
- 12 - ターゲット出口点がシステムに定義されていませんが、出口点 type (SYS または SYSSTC) に他の出口点があります。
- 16 - ターゲット出口点に、ルーチンが定義されていません。

**システムの処置:** Application Performance Analyzer は初期化を続行します。

**オペレーターの応答:** システム・プログラマーに連絡して、SMF 出口点の状況を調べてください。出口点の定義については、「MVS 初期設定およびチューニング 解説書」で SMFPRMxx について説明した章を参照してください。問題を訂正し、Application Performance Analyzer を再始動してください。

| **CAZ1272I IBM APA for z/OS system exits could not be deleted; the following STCs are still active: *aaaa***

| **説明:** Application Performance Analyzer 開始タスクは、システム出口点モジュールを削除できませんでした。これは、他の 1 つ以上の Application Performance Analyzer 開始タスクがシステム上でまだアクティブなためです。アクティブな開始タスクの Application Performance Analyzer ID は *aaaa* で示されています。

| **システムの処置:** Application Performance Analyzer は終了処理を続行します。

| **オペレーターの応答:** なし。

| **CAZ1273I Module *aaaa* deleted from Exit Point *bbbb***

| **説明:** Application Performance Analyzer 開始タスクによって、*aaaa* で示されるモジュールが *bbbb* で示されるシステム出口点から正常に削除されました。

| **システムの処置:** Application Performance Analyzer は終了処理を続行します。

| **オペレーターの応答:** なし。

| **CAZ1274W Error deleting module *aaaa* from *bbbb*. RC=*ccccx* RSN=*ddddd***

| **説明:** Application Performance Analyzer 開始タスクによって、*aaaa* で示されるモジュールを *bbbb* で示されるシステム出口点から削除できませんでした。CSVDYNEX REQUEST=DELETE に対する戻りコードと理由コードは、それぞれ *cccc* と *dddd* で示されています。

| **システムの処置:** Application Performance Analyzer は終了処理を続行します。

| **オペレーターの応答:** なし。

**CAZ1300I モジュール *module\_name* が削除されました。**

**説明:** *module\_name* という名前のモジュールが、メモリから削除されました。このメッセージは、PROMOTE オペレーター・コマンドの結果です。

**システムの処置:** なし。

**オペレーターの応答:** なし。

**CAZ1303E** モジュール *module\_name* がモジュール・リストにありません。

**説明:** *module\_name* という名前のモジュールは、Application Performance Analyzer に定義されませんでした。このメッセージは、PROMOTE オペレーター・コマンドの結果です。

**システムの処置:** PROMOTE コマンドは終了します。

**オペレーターの応答:** モジュール名を正しく入力したことを確認して、コマンドを再試行してください。

**CAZ1304E** モジュール *module\_name* は CSA でロード可能ではありません。PROMOTE は無視されます。

**説明:** *module\_name* という名前のモジュールは、プロモーションに適格ではありません。このメッセージは、PROMOTE オペレーター・コマンドの結果です。

**システムの処置:** PROMOTE コマンドは終了します。

**オペレーターの応答:** モジュール名を正しく入力したことを確認して、コマンドを再試行してください。

**CAZ1305I** モジュール *module\_name* は、EP=*location* でロードされました。

**説明:** *module\_name* という名前のモジュールは、ロケーション *location* にある CSA に正常にロードされました。このメッセージは、PROMOTE オペレーター・コマンドの結果です。

**システムの処置:** なし。

**オペレーターの応答:** なし。

**CAZ1307E** *module\_name* のロード・エラー。  
R01=X"*R01\_value*" R15=X"*R15\_value*".

**説明:** *module\_name* という名前のモジュールを CSA にロードできませんでした。このメッセージは、PROMOTE オペレーター・コマンドの結果です。

**システムの処置:** PROMOTE コマンドは終了します。

**オペレーターの応答:** R01 および R15 の値を記録してから、この問題に可能な解決策を見つけるために、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト ([www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/](http://www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/)) を参照してください。

**CAZ1313W** DEXMR exit enabled but module: CAZDEXMR not loaded. (DEXMR 出口が使用可能になりましたが、モジュール CAZDEXMR がロードされていません。)

**説明:** CONFIG SAMPLE DEXMR=YES パラメーターによって、データ抽出モジュール解決ユーザー出口が使用可能に設定されました。しかし、Application Performance Analyzer の開始済みタスクは、CAZDEXMR ロード・モジュールを見つけてロードすることができません。

**システムの処置:** なし。サンプリングの間、この出口は呼び出されません。

**オペレーターの応答:** CAZDEXMR ロード・モジュールが、開始済みタスクの STEPLIB に連結されているデータ・セット内か、またはリンク・リスト内のいずれかに存在することを確認してください。

**CAZ1313W** DEXMR exit enabled but module: CAZDEXMR not loaded. (DEXMR 出口が使用可能になりましたが、モジュール CAZDEXMR がロードされていません。)

**説明:** CONFIG SAMPLE DEXMR=YES パラメーターによって、データ抽出モジュール解決ユーザー出口が使用可能に設定されました。しかし、Application Performance Analyzer の開始済みタスクは、CAZDEXMR ロード・モジュールを見つけてロードすることができません。

**システムの処置:** なし。サンプリングの間、この出口は呼び出されません。

**オペレーターの応答:** CAZDEXMR ロード・モジュールが、開始済みタスクの STEPLIB に連結されているデータ・セット内か、またはリンク・リスト内のいずれかに存在することを確認してください。

**CAZ1584E** Command: *aaaa*, *bbbb* (コマンド: *aaaa*, *bbbb*)

**説明:** *aaaa* で示されているコマンドの処理中にエラーが発生しました。理由は、*bbbb* で示されます。

**システムの処置:** なし。

**オペレーターの応答:** 示されている理由に基づいてコマンドを訂正し、コマンドを再試行してください。再び失敗する場合は、製品サポートにお問い合わせください。

**CAZ1702E** Processing error in loadDRT of COMMAND SM/TM (COMMAND SM/TM の loadDRT の処理エラー)

**説明:** これは致命的エラーです。

**システムの処置:** コマンドは終了し、Application Performance Analyzer が開始したタスクが通常の処理を続行します。

**オペレーターの応答:** この問題に可能な解決策を見つけ

るには、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト ([www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/](http://www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/)) を参照してください。

---

**CAZ1703E** Request=*request\_number* specified for CANCEL/DELETE does not exist. (CANCEL/DELETE に指定された Request=*request\_number* は存在しません。) CANCEL/DELETE issued by Userid: *user\_ID*. (ユーザー ID *user\_ID* によって出された CANCEL/DELETE。)

**説明:** 要求 *request\_number* が存在しなくなったときに、ユーザー *user\_ID* は指定されたアクションを試行しました。

**システムの処置:** コマンドは終了します。

**オペレーターの応答:** なし。

---

**CAZ1704E** Request=*request\_number* cannot be deleted when status is ACTIVE or already deleted. (Request=*request\_number* は、状況が ACTIVE であるか既に削除されている場合は、削除できません。) DELETE issued by Userid: *user\_ID*. (ユーザー ID *user\_ID* によって出された DELETE。)

**説明:** ユーザーが、現在アクティブであるか、既に削除されている要求を削除しようとした。

**システムの処置:** コマンドは終了します。

**オペレーターの応答:** なし。

---

**CAZ1705E** Request=*request\_number* cannot be deleted since the associated Sample File could not be deleted. (関連するサンプル・ファイルを削除できなかったため、Request=*request\_number* を削除できません。) DELETE issued by Userid: *user\_ID*. (ユーザー ID *user\_ID* によって出された DELETE。)

**説明:** ユーザー *user\_ID* は、要求 *request\_number* を削除しようとした。関連するサンプル・ファイルが別のユーザーによって使用中だったため、要求は失敗しました。

**システムの処置:** 要求は削除されません。

**オペレーターの応答:** 後で、削除要求を試行してください。

---

**CAZ1706E** Request by *user\_ID* for JOB *job\_name* is a duplicate of Request: *request\_number*. (ジョブ *job\_name* の *user\_ID* による要求は、要求 *request\_number* の重複です。) 要求はリジェクトされました。

**説明:** ユーザー *user\_ID* は、同じユーザーが既に追加した要求と重複する新規のサンプリング要求を追加しようとした。*job\_name* および *request\_number* は、ジョブ名と、既にキューに入れられている要求の要求番号を示します。

**システムの処置:** 要求は追加されません。

**オペレーターの応答:** 別のパラメーターで要求を再定義してください。

---

**CAZ1707E** Request=*request\_number* cannot be canceled when status is not ACTIVE or already canceled. (Request=*request\_number* は、状況が ACTIVE でないか、既に取り消されている場合は、取り消すことができません。) CANCEL issued by Userid: *user\_ID*. (ユーザー ID *user\_ID* によって出された CANCEL。)

**説明:** ユーザーが、現在アクティブでないか、既に取り消されている要求を取り消そうとした。

**システムの処置:** コマンドは終了します。

**オペレーターの応答:** なし。

---

**CAZ1708E** Request=*request\_number*, specified for KEEP does not exist. (KEEP に指定された Request=*request\_number* は存在しません。) KEEP issued by *userid user\_ID* (ユーザー ID *user\_ID* によって出された KEEP)

**説明:** KEEP コマンドは、存在しない監視要求について出されました。

**システムの処置:** コマンドの処理が終了します。

**オペレーターの応答:** エラーをシステム管理者に報告してください。

---

**CAZ1709E Request=request\_number, cannot KEEP while Active, Sched, Future, or Thresh. (Active, Sched, Future, または Thresh になっている間は、Request=request\_number は KEEP を実行できません。) KEEP issued by userid user\_ID (ユーザー ID user\_ID によって出された KEEP)**

**説明:** Active、Sched、Future、または Thresh 状況のいずれかになっている監視要求について KEEP コマンドが出されました。

**システムの処置:** KEEP コマンドは、無視されます。

**オペレーターの応答:** 要求が終了するのを待ってから、KEEP コマンドを出してください。

---

**CAZ1710E DELETE of Req#=nnnn not allowed as it is a Schedule, Multi-step, Threshold Monitor, USS or CDB2 or IMS Multiple Region request.**

**説明:** 要求 *nnnn* は、スケジュール、マルチ・ステップ、しきい値モニター、USS、Collateral DB2 のマスター要求レコード、または IMS 複数領域のマスター要求レコードです。このタイプの要求レコードは、従属する要求のリストを表します。このタイプのレコードは、バッチ・コマンド・インターフェースを使用して削除することはできません。

**システムの処置:** コマンドはリジェクトされます。

**オペレーターの応答:** このタイプの要求を削除するには、ISPF インターフェースを使用します。

---

**CAZ1712E Scheduling entry for date time is more than 1 year into the future. (date time のスケジューリング項目は、1 年を超える将来の日付です。)**

**説明:** 日付 *date* および時刻 *time* のスケジューリング項目は、要求の日時から 366 日より先です。Application Performance Analyzer で可能な将来の日付の要求は、現在日時から 1 年先までです。

**システムの処置:** コマンドはリジェクトされます。

**オペレーターの応答:** スケジューリング要求を訂正して、再実行依頼してください。

---

**CAZ1713E ASID invalid for future-dated active request. (将来の日付のアクティブな要求に無効な ASID です。)**

**説明:** ACTIVE=YES になっている将来の日付のスケジ

ューリング要求にキーワード ASID を指定することはできません。

**システムの処置:** コマンドはリジェクトされます。

**オペレーターの応答:** スケジューリング要求を訂正して、再実行依頼してください。

---

**CAZ1714E ASID valid only for an active request. (アクティブな要求のみに有効な ASID です。)**

**説明:** ACTIVE=YES になっていない要求にキーワード ASID を指定することはできません。

**システムの処置:** コマンドはリジェクトされます。

**オペレーターの応答:** スケジューリング要求を訂正して、再実行依頼してください。

---

**CAZ1715E Required keyword: keyword not specified. (必須キーワード keyword が指定されていません。) Rejected. (リジェクトされません。)**

**説明:** 必須キーワード *keyword* なしでコマンドが出されました。

**システムの処置:** コマンドはリジェクトされます。

**オペレーターの応答:** コマンドを訂正し、再実行依頼してください。

---

**CAZ1716E Keyword: keyword contains invalid value. (キーワード keyword に無効値が含まれています。) Rejected. (リジェクトされません。)**

**説明:** コマンドが、キーワードに不適切な値を含むキーワード *keyword* を指定して発行されました。

**システムの処置:** コマンドはリジェクトされます。

**オペレーターの応答:** コマンドを訂正し、再実行依頼してください。

---

**CAZ1717E Keyword: keyword contains a value that is out of range. (キーワード keyword に、範囲外の値が含まれています。) Value must be between: value\_range. (値は value\_range でなければなりません。)**

**説明:** コマンドが、範囲外の数値を含むキーワード *keyword* を指定して発行されました。 *value\_range* は、キーワードの有効な範囲を示します。

**システムの処置:** コマンドはリジェクトされます。



オペレーターの応答: コマンドを訂正し、再実行依頼してください。

---

**CAZ1718E** The following keywords are mutually exclusive and might not be specified together: *keyword*. (キーワード *keyword* は相互に排他的であり、一緒に指定することはできません。)

説明: コマンドが、相互排他キーワードを指定して発行されました。*keyword* は、エラーのキーワードを示します。

システムの処置: コマンドはリジェクトされます。

オペレーターの応答: コマンドを訂正し、再実行依頼してください。

---

**CAZ1719W** A new/existing request has been provisionally accepted. (新規/既存の要求が条件付きで受け入れられています。)  
Request will be authorized when the job starts. (ジョブが開始されたとき、要求は許可されます。)

説明: このメッセージは、新しい監視要求が追加されたか、または既存の監視要求が更新され、要求がアスタリスク (\*) のターゲット・システム名を指定したことを示しています。このような条件では、ターゲット・システム名が不明であるため、外部セキュリティ・システムを使用して要求を許可できませんでした。この要求は条件付きで受け入れられ、ジョブが開始された時点で許可されます。ジョブが開始されると、システムは認識されます。ただし、その時点で要求を失敗させることが可能です。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: これが重要な監視要求である場合、この Application Performance Analyzer シスプレックス・グループで、ご使用のユーザー ID がすべてのシステムに対して適切な計測権限を持っていることを確認してください。

---

**CAZ1720E** Invalid CICS transaction name or mask "*transaction\_name*".

説明: NEW または MODIFY コマンドが、構文的に正しくない CICS® トランザクション名またはマスク *transaction\_name* を含む CTRAN キーワードを指定して発行されました。

システムの処置: コマンドはリジェクトされます。

オペレーターの応答: コマンドを訂正し、再実行依頼してください。

---

**CAZ1721W** Unknown Feature *feature\_name* Ignored. (不明な機能 *feature\_name* は無視されます。)

説明: NEW または MODIFY コマンドが、不明な機能値 *feature\_name* を含む FEATURES キーワードを指定して発行されました。

システムの処置: コマンドの構文解析は続行されますが、無効な機能は無視されます。

オペレーターの応答: 必要な場合は、コマンドを訂正し、再実行依頼してください。

---

**CAZ1722E/S** *variable text*

説明: NEW または MODIFY コマンドの処理中にアクセス・エラーが発生しました。メッセージの本文に、アクセス・エラーの説明があります。

システムの処置: コマンドはリジェクトされます。

オペレーターの応答: 問題について支援を求めるには、システム管理者に連絡してください。アクセス規則の定義については、Application Performance Analyzer の「カスタマイズ・ガイド」を参照してください。

---

**CAZ1723S** Invalid return coded detected from AccessControl. (AccessControl から無効な戻りコードが検出されました。) Request failed. (要求は失敗しました。)  
RC=0x*return\_code*.

説明: NEW または MODIFY コマンドの処理中に重大なアクセス・エラーが発生しました。*return\_code* は、戻りコードを示します。

システムの処置: コマンドはリジェクトされます。

オペレーターの応答: この問題に可能な解決策を見つけるには、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト ([www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/](http://www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/)) を参照してください。

---

**CAZ1724E** SCHDSPAN applies only to future dated inactive jobs. (SCHDSPAN は、将来の日付の非アクティブ・ジョブのみに適用されます。)

説明: キーワード SCHDSPAN は、将来の日付のスケジューリング要求に ACTIVE=NO が指定されている場合のみ指定できます。

システムの処置: コマンドはリジェクトされます。

オペレーターの応答: スケジューリング要求を訂正して、再実行依頼してください。

**CAZ1725I** Too many load libraries specified. (指定されたロード・ライブラリーが多すぎます。) Remainder ignored. (剰余は無視されます。)

**説明:** NEW または MODIFY コマンドが、多すぎるデータ・セット名を指定した LIBS キーワードを指定して発行されました。

**システムの処置:** コマンドの構文解析は続行されます。

**オペレーターの応答:** 必要な場合は、コマンドを訂正し、再実行依頼してください。

---

#### CAZ1726I

このメッセージの形式は、以下のいずれかになります:

Request=*request\_number* : Userid=*user\_ID* for JOB *job\_name* and STEP *step\_name*. (要求 =*request\_number* : ジョブ *job\_name* およびステップ *step\_name* のユーザー ID =*user\_ID*。)

Request=*request\_number* : Userid=*user\_ID* for JOB *job\_name* and STEP *step\_name* and PROCSTEP *proc\_step\_name*. (Request=*request\_number* : ジョブ *job\_name*、ステップ *step\_name* および PROCSTEP *proc\_step\_name* の Userid=*user\_ID*。)

Request=*request\_number* : Userid=*user\_ID* for JOB *job\_name* and PROGRAM *program\_name*. (要求 =*request\_number* : ジョブ *job\_name* およびプログラム *program\_name* のユーザー ID =*user\_ID*。)

Request=*request\_number* : Userid=*user\_ID* for JOB *job\_name* and PROGRAM *program\_name* and PROCSTEP *proc\_step\_name*. (Request=*request\_number* : ジョブ *job\_name*、プログラム *program\_name* および PROCSTEP *proc\_step\_name* の Userid=*user\_ID*。)

Request=*request\_number* : Userid=*user\_ID* for JOB *job\_name* and STEP *step\_number*. (要求 =*request\_number* : ジョブ *job\_name* およびステップ *step\_number* のユーザー ID =*user\_ID*。)

Request=*request\_number* : Userid=*user\_ID* for JOB *job\_name*. (Request=*request\_number* : ジョブ *job\_name* の Userid=*user\_ID*。 ) *nn* steps. (*nn* ステップ。)

Request=*request\_number* : Userid=*user\_ID* for JOB *job\_name*. (Request=*request\_number* : ジョブ *job\_name* の Userid=*user\_ID*。 ) *xxx* future dates. (*xxx* 将来の日付。)

Request=*request\_number* : Userid=*user\_ID* for JOB *job\_name*. (Request=*request\_number* : ジョブ *job\_name* の Userid=*user\_ID*。 ) *nn* steps and *xxx* future dates. (*nn* ステップおよび *xxx* 将来の日付。)

**説明:** NEW または MODIFY コマンドは正常に出されました。メッセージには、この要求に指定された選択パラメーターが記載されています。

*request\_number*

追加または変更された要求番号。

*job\_name*

計測されるジョブの名前。

*user\_ID*

要求を作成または変更したユーザー ID。

*step\_name*

計測されるステップの名前。

*proc\_step\_name*

計測される proc ステップの名前。

*program\_name*

計測されるステップの EXEC PGM= で指定されているプログラムの名前。

*step\_number*

計測されるステップの番号。

*nn* 指定された STEP 項目の数。

*xxx*

指定された SCHDDATE 項目の数。

**システムのアクション:** コマンドは受け入れられます。

**オペレーターの対応:** なし。

---

**CAZ1727E** Scheduling entry for *date time* overlapped by previous entry. (*date time* のスケジューリング項目が、前の項目と重なり合っています。)

**説明:** 日付 *date* および時刻 *time* のスケジューリング項目は、前の項目のタイム・スパンと重なり合っているか、または *date time* のスケジューリング項目は、RUNAGAIN タイム・スパンと重なり合っています。

**システムの処置:** コマンドはリジェクトされます。

**オペレーターの応答:** スケジューリング要求を訂正して、再実行依頼してください。

---

**CAZ1728E** STEP entry *step\_number* has multiple values. (STEP 項目 *step\_number* に複数の値があります。)

**説明:** STEP 項目番号 *step\_number* には、相互に排他的なステップ識別値があります。ステップは、以下のいずれかによってのみ識別することができます。

- ステップ番号
- プログラム名
- ステップ名

• ステップ名およびプロシージャー・ステップ名  
システムの処置: コマンドはリジェクトされます。

オペレーターの応答: スケジューリング要求を訂正して、再実行依頼してください。

**CAZ1729E** **RETRYAFTER applies only to future dated active jobs. (RETRYAFTER は、将来の日付のアクティブ・ジョブのみに適用されます。)**

説明: キーワード **RETRYAFTER** は、将来の日付のスケジューリング要求に **ACTIVE=YES** が指定されている場合のみ指定できます。

システムの処置: コマンドはリジェクトされます。

オペレーターの応答: スケジューリング要求を訂正して、再実行依頼してください。

**CAZ1730E** **CAZ00080(ISPF\_CMD) detected a zero ECB address, USER=user\_ID (CAZ00080(ISPF\_CMD) はゼロの ECB アドレスを検出しました。USER=user\_ID )**

説明: これは、コマンド処理中に見つかった内部エラーです。

システムの処置: コマンド処理を完了します。

オペレーターの応答: エラーをシステム管理者に報告してください。

**CAZ1731E** **Parameter version mismatch: CurrVer=caller\_version\_number, CallerVer=task\_version\_number, Caller=caller\_name (パラメーター・バージョンの不一致: CurrVer=caller\_version\_number, CallerVer=task\_version\_number, Caller=caller\_name)**

説明: Application Performance Analyzer の外部コンポーネントが、機能を実行するために、Application Performance Analyzer が開始したタスクを呼び出しました。開始タスクは、自身と外部コンポーネントの間に不一致があることを検出しました。

*caller\_version\_number*

呼び出し元または外部コンポーネントが認識している機能の内部バージョン番号を示します。

*task\_version\_number*

開始タスクが認識している機能の内部バージョン番号を示します。

*caller\_name*

呼び出し元または外部コンポーネントを示します。

システムの処置: 機能を完了できませんでした。終了します。

ユーザーの処置: エラーをシステム管理者に報告してください。

システム・プログラマーの対応: アクションは、*caller\_name* で指定されている値に基づいています。

*caller\_name* に「IEFUSI」が指定されている場合は、Application Performance Analyzer ステップ開始出口は、Application Performance Analyzer が開始したタスクのバージョンにバックレベルされます。IEFUSI 出口をアップグレードするには、Application Performance Analyzer の「カスタマイズ・ガイド」の指示に従ってください。

*caller\_name* に「ISPF CMD」が指定されている場合は、Application Performance Analyzer/ISPF インターフェースをアップグレードしてください。

*caller\_name* に「SPX」が指定されている場合は、Application Performance Analyzer シスプレックス・グループの 1 つ以上のメンバーはバックレベルされます。グループのすべてのメンバーが Application Performance Analyzer の同じバージョンかそれ以降になっていることを確認してください。

**CAZ1732I** **Request=request\_number, Samples=number\_of\_samples, DURATION=duration seconds, Sample interval=interval seconds', (要求 =request\_number、サンプル =number\_of\_samples、期間 = duration 秒、サンプルの間隔 =interval 秒。)**

説明: NEW または MODIFY コマンドは正常に出されました。メッセージには、この要求に指定されたサンプリング・パラメーターが記載されています。

*request\_number*

追加または変更された要求番号です。

*number\_of\_samples*

収集されたサンプルの数です。

*duration*

サンプリング・セッションの期間 (秒) です。

*interval*

各サンプルの間隔 (秒) です。

システムの処置: コマンドは受け入れられます。

オペレーターの応答: なし。

---

**CAZ1733E** No active job found for job name *job\_name*. (ジョブ名 *job\_name* のアクティブ・ジョブが見つかりませんでした。)

**説明:** ジョブ名 *job\_name* のアクティブ・ジョブの要求に一致するジョブが見つかりませんでした。

**システムの処置:** コマンドはリジェクトされます。

**オペレーターの応答:** スケジューリング要求を訂正して、再実行依頼してください。

---

**CAZ1734E** No active job found for job name *job\_name* and ASID identifier. (ジョブ名 *job\_name* および ASID identifier のアクティブ・ジョブが見つかりませんでした。)

**説明:** ジョブ名 *job\_name* および ASID identifier のアクティブ・ジョブの要求に一致するジョブが見つかりませんでした。

**システムの処置:** コマンドはリジェクトされます。

**オペレーターの応答:** スケジューリング要求を訂正して、再実行依頼してください。

---

**CAZ1735E** RETRYAFTER must specify positive time span. (RETRYAFTER は正のタイム・スパンを指定する必要があります。)

**説明:** RETRYAFTER=(*mm*,FOR=*nn*) を指定する場合は、*nn* で乗算される *mm* の値は、ゼロより大きくする必要があります。

**システムの処置:** コマンドはリジェクトされます。

**オペレーターの応答:** スケジューリング要求を訂正して、再実行依頼してください。

---

**CAZ1736S** DIE enqueue failed. (DIE エンキューは失敗しました。) RC = 0x*return\_code*.

**説明:** これは内部エラーです。

**システムの処置:** 要求は失敗しました。

**オペレーターの応答:** この問題に可能な解決策を見つけるには、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト ([www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/](http://www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/)) を参照してください。

---

**CAZ1737E** User: *user\_ID* is not authorized to measure type, Req#=*request\_number*, JobName=*job\_name*. (ユーザー *user\_ID* は、Req#=*request\_number*、JobName=*job\_name* のタイプを計測することを許可されていません。)

**説明:** ユーザー *user\_ID* が、以下のタイプのジョブを計測またはモニターしようとしてしました。

- TSO アドレス・スペース
- 開始済みのジョブ
- 開始済みのタスク

また、ジョブ名 *job\_name* を使用しました。*request\_number* は、失敗した要求の要求番号です。ユーザーは、Application Performance Analyzer に定義されている規則を基にしたこのタイプの計測要求を要求することを許可されていません。

**システムの処置:** 計測要求は失敗しました。ジョブは正常に実行を続行します。

**オペレーターの応答:** アクセス規則の定義については、Application Performance Analyzer の「カスタマイズ・ガイド」を参照してください。

---

**CAZ1738S** All request numbers are now in use and a new request number cannot be assigned. (すべての要求番号が現在使用中であり、新規の要求番号を割り当てるできません。) Delete an old request and try your request again. (古い要求を削除して、要求を再試行してください。)

**説明:** 使用可能な要求番号が使い果たされているため、Application Performance Analyzer は、新規のサンプリング要求を受け入れることができません。

**システムの処置:** 要求は失敗しました。

**オペレーターの応答:** もう必要のない古い要求がある場合は、1 つ以上削除して、要求を再実行依頼してください。ない場合は、システム管理者に連絡してください。

---

**CAZ1739E** CONVTO failed RC=0x*return\_code*. (CONVTO は失敗しました。RC=0x*return\_code*。)

**説明:** NEW または MODIFY コマンドが、SDATE または STIME キーワードのいずれかに無効な有効値を指定して発行されました。この値により、CONVTO は戻りコード *return\_code* で失敗しました。



システムの処置: コマンドの構文解析は続行され、無効な機能は無視されます。

オペレーターの応答: 要求を再試行してください。

**CAZ1740E** Keyword: REQNUM not allowed for *cccc* requests. (キーワード REQNUM は *cccc* 要求では使用できません。) *cccc* issued by User ID: *user\_ID*. (ユーザー ID *user\_ID* によって出された *cccc*。)

説明: *cccc* コマンドが、REQNUM キーワードを指定して発行されました。REQNUM は、*cccc* コマンドでは無効です。

システムの処置: コマンドは無視されます。

オペレーターの応答: REQNUM キーワードを指定せずにコマンドを再実行依頼してください。

**CAZ1741E** Request=*request\_number* not found. (要求=*request\_number* が見つかりません。) MODIFY rejected. (MODIFY はリジェクトされます。) MODIFY issued by Userid: *user\_ID*. (ユーザー ID *user\_ID* によって出された MODIFY。)

説明: 要求 *request\_number* を変更しようとしたのですが、この要求が見つからなかったため失敗しました。推定原因: 別のユーザーが要求を削除しました。

システムの処置: コマンドは無視されます。

オペレーターの応答: 要求が削除されたかどうかを判別してください。削除されていない場合は、MODIFY コマンドを再試行してください。

**CAZ1742E** Request=*request\_number* cannot be modified, the status is no longer 'Sched' MODIFY issued by Userid: *user\_ID*. (Request=*request\_number* を変更できません。状況が「Sched」ではなくなっています。ユーザー ID *user\_ID* によって出された MODIFY。)

説明: もうスケジューリングされていない要求を変更しようとした。推定原因: Modify 要求の処理中に、要求の状況が変更されました。

システムの処置: コマンドは無視されます。

オペレーターの応答: なし。

**CAZ1743S** Severe error: request failed by CAZ00082. (重大エラー: 要求は CAZ00082 で失敗しました。)

説明: 新規サンプリング要求を作成しようとしていて、重大エラーが発生しました。

システムの処置: コマンドはリジェクトされます。

オペレーターの応答: この問題に可能な解決策を見つけるには、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト ([www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/](http://www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/)) を参照してください。

**CAZ1745E** Command: *command\_name*, missing required keyword: *kkkkkk* (コマンド: *command\_name*, 欠落している必須キーワード: *kkkkkk*)

説明: 新規サンプリング要求を作成しようとしていて、重大エラーが発生しました。

システムの処置: コマンドは失敗します。

オペレーターの応答: 欠落しているキーワードを指定し、コマンドを再実行依頼してください。

**CAZ1746E** User: *user\_id*, not authorized for keyword: *kkkkkk* (ユーザー: *user\_id*, 許可されていないキーワード: *kkkkkk*)

説明: ユーザー: *user\_id* が、許可されていないキーワード: *keyword\_name* を指定しました。一般的に、Application Performance Analyzer によって内部使用のためにのみ予約されているキーワードを、ユーザーが指定しようと試みたと考えられます。

システムの処置: コマンドは失敗します。

オペレーターの応答: キーワードを除去し、コマンドを再実行依頼してください。

**CAZ1748E** Keyword: CTRAN must be specified when the CICS feature is selected.

説明: NEW コマンドが、関連する CTRAN キーワードなしで CICS 機能を指定しました。CICS 機能を選択するときは、1 つ以上のトランザクション・コードまたはすべてのトランザクションを表す \* を指定する必要があります。

システムの処置: ステップは終了します。

オペレーターの応答: CTRAN キーワードを指定して、ジョブを再実行依頼してください。

**CAZ1749E** Keyword: *keyword* not allowed when Application Performance Analyzer is running in non-sysplex mode. (キーワード *keyword* は、Application Performance Analyzer が非シスプレックス・モードで稼働しているときは使用できません。)

説明: *keyword* で示されるキーワードは、Application Performance Analyzer がスタンドアロンで実行されているときは使用できません。シスプレックス・グループの一部ではないときという意味です。

システムの処置: コマンドはリジェクトされます。

オペレーターの応答: スケジューリング要求を訂正して、再実行依頼してください。

**CAZ1750E** Unable to retrieve sysplex job list for SYSTEMS=*system\_name*. (SYSTEMS=*system\_name* のシスプレックス・ジョブ・リストを取得できません。)

説明: *system\_name* で識別されるシステムに対するジョブ名リストの要求が失敗しました。

システムの処置: 新規スケジューリング要求は失敗しました。

オペレーターの応答: 追加のメッセージまたは SVC ダンプのシステム・ログを確認してください。

**CAZ1751E** Too many matching jobs in system *system\_name*. (システム *system\_name* に一致するジョブが多すぎます。)

説明: *system\_name* で識別されるシステムにある、要求されたジョブ名に一致するジョブ名が多すぎます。

システムの処置: 新規スケジューリング要求は失敗しました。

オペレーターの応答: 可能な場合は、他にない固有のジョブ名を指定してください。

**CAZ1752E** Step information invalid for active job. (アクティブ・ジョブのステップ情報が無効です。)

説明: アクティブ・ジョブ要求のステップ情報を指定することはできません。現在実行中のステップは、計測できる唯一のステップです。

システムの処置: コマンドはリジェクトされます。

オペレーターの応答: スケジューリング要求を訂正して、再実行依頼してください。

**CAZ1753E** The RUNAGAIN keyword might not be specified for active jobs. (アクティブ・ジョブに RUNAGAIN キーワードを指定することはできません。)

説明: ACTIVE=YES が指定されている場合は、キーワード RUNAGAIN を指定することはできません。

システムの処置: コマンドはリジェクトされます。

オペレーターの応答: スケジューリング要求を訂正して、再実行依頼してください。

**CAZ1754E** RUNAGAIN keyword missing required parameter. (RUNAGAIN キーワードに必須パラメーターがありません。)

説明: RUNAGAIN キーワードに、2 つの必須パラメーターのうち 1 つのみが指定されています。または、一方のパラメーターにゼロ以外の値を指定して、他方のパラメーターにゼロを指定しました。

システムの処置: コマンドはリジェクトされます。

オペレーターの応答: 両方のパラメーターに、適切な値の範囲のゼロ以外の値が含まれていることを確認してください。

**CAZ1755E** User: *user\_ID*, is not authorized to *function\_name* Req#=*request\_number* (ユーザー *user\_ID* は、*function\_name* Req#=*request\_number* の実行を許可されていません。)

説明: *user\_ID* で指定されるユーザー ID は、*request\_number* で指定されるサンプリング要求で *function\_name* で指定される機能を実行することを許可されていません。*function\_name* は、「DELETE」または「KEEP」のいずれかになります。

システムの処置: コマンドはリジェクトされます。

オペレーターの応答: アクセス規則の定義については、Application Performance Analyzer の「カスタマイズ・ガイド」を参照してください。

**CAZ1756E** Step number cannot be zero. (ステップ番号をゼロにすることはできません。)

説明: ゼロの値のステップ番号が STEP キーワードで指定されました。

システムの処置: コマンドはリジェクトされます。

オペレーターの応答: スケジューリング要求を訂正して、再実行依頼してください。

**CAZ1757E Duplicate step number. (重複したステップ番号です。)**

説明: STEP キーワードが、別の STEP キーワードと同じステップ番号を指定しました。

システムの処置: コマンドはリジェクトされます。

オペレーターの応答: スケジューリング要求を訂正して、再実行依頼してください。

**CAZ1758E Application Performance Analyzer is not enabled for feature\_variable. (Application Performance Analyzer は、feature\_variable を使用できません。) Request failed. (要求は失敗しました。)**

説明: NEW または MODIFY 要求が、Application Performance Analyzer では使用可能になっていないフィーチャーを選択しようとして試みました。使用可能になっていないフィーチャーは、*feature\_variable* で識別されません。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: Application Performance Analyzer 構成設定は、このフィーチャーで使用可能になっていません。このフィーチャーを使用可能にする方法については、Application Performance Analyzer の「カスタマイズ・ガイド」にある『開始タスクの構成設定』セクションを参照してください。

**CAZ1759E Feature\_variable is not active. (Feature\_variable はアクティブではありません。) Request failed. (要求は失敗しました。)**

説明: NEW または MODIFY 要求が、Application Performance Analyzer でアクティブにできなかったフィーチャーを選択しようとして試みました。アクティブになっていないフィーチャーは、*feature\_variable* で識別されません。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: 開始タスクの MAIN SYSOUT データ・セットで、このフィーチャーを活動化できなかった理由を説明しているエラー・メッセージを調べてください。

**CAZ1762E Scheduling interval between events is not greater than the sampling duration. (イベント間のスケジューリング・インターバルがサンプリング期間を超えています。)**

説明: 2 つの連続するエントリーの間のインターバルが

サンプリング期間以下である、シーケンス・スケジュール日付/時刻を入力しました。2 つのサンプリング・セッションが相互にオーバーラップする可能性があるため、これはアクティブ・ジョブのサンプリング要求では許可されていません。

システムの処置: コマンドはリジェクトされます。

オペレーターの応答: スケジューリング要求を訂正して、再実行依頼してください。

**CAZ1763E Invalid IMS \_keyword\_ or mask "mask\_value".**

説明: NEW コマンドまたは MODIFY コマンドが *\_keyword\_* キーワード (*\_keyword\_* は ITRAN、IPROG、または IUSER のいずれか) とともに発行されましたが、構文的に正しくない IMS のトランザクション名、プログラム名、ユーザー ID か、または関連 *mask\_value* が含まれています。

システムの処置: コマンドは失敗しました。

オペレーターの応答: コマンドを訂正し、再実行依頼してください。

**CAZ1764E Mutually exclusive IMS and CICS related keywords specified. Request failed. (要求は失敗しました。)**

説明: NEW コマンドまたは MODIFY コマンドが、競合するキーワードとともに発行されました。コマンド・プロセッサは、IMS キーワード (ITRAN、IPROG、および IUSER、またはそのいずれか) と CICS キーワード (CTRAN や CTERM など) の両方が指定されていることを検出しました。これらのキーワード・セットは互いに排他的です。

システムの処置: コマンドは失敗しました。

オペレーターの応答: コマンドを訂正し、再実行依頼してください。

**CAZ1765E A Triggering request may not be converted to sample an active job. (アクティブ・ジョブをサンプリングするためにトリガー元要求を変換することはできません。)**

説明: ユーザーは、アクティブ・ジョブをサンプリングするために、スケジュール・ジョブのトリガー元要求を変換しようとしてしました。これは許可されません。

システムの処置: コマンドは終了します。

オペレーターの応答: なし。



---

**CAZ1766E Multi-step/Run-Again/Scheduling not allowed for a Triggered request.** (マルチ・ステップ/再実行/スケジューリングは、トリガー先要求には許可されません。)

**説明:** ユーザーは、ジョブ内の複数のステップをサンプリングするために、あるいは要求に再実行属性またはスケジューリング属性を割り当てるために、トリガー先要求を作成しようとした。これは許可されません。

**システムの処置:** コマンドは終了します。

**オペレーターの応答:** なし。

---

**CAZ1767E Triggered request cannot be aaaa, associated Triggering request status is invalid.** (トリガー先要求は aaaa することはできません。関連するトリガー元要求の状況が無効です。)

**説明:** ユーザーは、関連するトリガー元要求が正しい状況にないトリガー先要求を追加または変更しようとした。このエラーは、トリガー元要求の状況が「Sched」ではないときに発生します。

aaaa = added または modified

**システムの処置:** コマンドは終了します。

**オペレーターの応答:** なし。

---

**CAZ1768E Triggered request cannot be aaaa, associated Triggering request targets an active address space.** (トリガー先要求は aaaa することはできません。関連するトリガー元要求がアクティブ・アドレス・スペースをターゲットとしています。)

**説明:** ユーザーは、アクティブ・アドレス・スペースをサンプリングしているトリガー元要求に対して、トリガー先要求の追加または変更を行おうとした。

aaaa = added または modified

**システムの処置:** コマンドは終了します。

**オペレーターの応答:** なし。

---

**CAZ1769E Triggered request cannot be aaaa, associated Triggering request is already assign a Triggered request.** (トリガー先要求は aaaa することはできません。関連するトリガー元要求には、すでにトリガー先要求が割り当てられています。)

**説明:** ユーザーは、すでにトリガー先要求に関連付けられているトリガー元要求に対して、トリガー先要求の追

加または変更を行おうとしました。これは許可されません。

aaaa = added または modified

**システムの処置:** コマンドは終了します。

**オペレーターの応答:** なし。

---

**CAZ1770E Triggered request cannot be aaaa, associated Triggering request: bbbb is not found.** (トリガー先要求は aaaa することはできません。関連するトリガー元要求 bbbb が見つかりません。)

**説明:** ユーザーは、存在しないトリガー元要求に対して、トリガー先要求の追加または変更を行おうとした。

aaaa = added または modified

bbbb = トリガー元要求の要求番号

**システムの処置:** コマンドは終了します。

**オペレーターの応答:** なし。

---

**CAZ1771E Triggered request cannot be added, associated request: aaaa is also a Triggered request.** (トリガー先要求を追加できません。関連する要求 aaaa もトリガー先要求です。)

**説明:** ユーザーは、それ自体がトリガー先要求である要求に対してトリガー先要求を追加しようとした。トリガー先要求は相互にチェーニングすることはできません。

aaaa = トリガー元要求の要求番号

**システムの処置:** コマンドは終了します。

**オペレーターの応答:** なし。

---

**CAZ1772E Triggered request cannot be added, associated request: aaaa specifies the same jobname.** (トリガー先要求を追加できません。関連する要求 aaaa が同じジョブ名を指定しています。)

**説明:** ユーザーがトリガー先要求をトリガー元要求に追加しようとしたが、どちらの要求も同じジョブ名を指定していました。これは冗長的です。2 つの監視要求が同一のアドレス・スペースを同時にサンプリングしてしまうことになるため、これは許可されません。

aaaa = トリガー元要求の要求番号

**システムの処置:** コマンドは終了します。

**オペレーターの応答:** なし。

---

**CAZ1773E** **aaaa not permitted when a jobname pattern is also specified.** (ジョブ名パターンも指定されているときは、aaaa は許可されません。)

**説明:** ジョブ名パターンも指定されているときは、複数の要求がトリガーされる可能性があるため、「aaaa」で表されるキーワードは許可されません。

**システムの処置:** コマンドはリジェクトされます。

**オペレーターの応答:** スケジューリング要求を訂正して、再実行依頼してください。

---

**CAZ1774E** **Only one scheduled event permitted when a jobname pattern is also specified.** (ジョブ名パターンも指定されているときに許可されるスケジュール対象イベントは 1 つのみです。)

**説明:** ジョブ名がパターンも指定した要求に対して、ユーザーが複数のスケジュール対象イベントを指定しようとした。複数の要求がトリガーされてしまうことになるため、これは許可されません。

**システムの処置:** コマンドはリジェクトされます。

**オペレーターの応答:** スケジューリング要求を訂正して、再実行依頼してください。

---

**CAZ1775I** **IEFUSI exit is disabled; new request for non-active job could not be added now.** (IEFUSI 出口が使用不可です。現在、非アクティブ・ジョブに対する新しい要求は追加できません。)

**説明:** Application Performance Analyzer IEFUSI 出口は、異常終了回数が多すぎるため、これ以上異常終了しないように自動的に使用不可になりました。非アクティブ・ジョブに対する新しい監視要求は、出口が再度使用可能になるまで受け入れられません。

**システムの処置:** なし。

**オペレーターの応答:** システム・ログでメッセージ ID CAZ9013E を検索してください。このメッセージの時刻をメモして logrec レポートを作成し、製品サポートに問い合わせてください。

---

**CAZ1776E** **DB2SP parameters must be entered for a specific stored procedure request.** (特定のストアド・プロシージャ要求に対して DB2SP パラメーターを入力する必要があります。)

**説明:** ジョブ名「-」は特定の DB2 ストアド・プロ

シージャまたはユーザー定義関数要求を示しますが、入力されていない必須パラメーターがありました。すべての必須パラメーターで要求を再実行してください。

**システムの処置:** なし。

**オペレーターの応答:** なし。

---

**CAZ1777E** **aaaa not allowed for a specific stored procedure request.** (aaaa は、特定のストアド・プロシージャ要求には許可されません。)

**説明:** ユーザーが、特定のストアド・プロシージャまたはユーザー定義関数の要求を追加または変更しようとした。この要求で指定されたオプションが無効です。aaaa は、無効なオプションを表します。

**システムの処置:** コマンドは終了します。

**オペレーターの応答:** なし。

---

**CAZ1778E** **aaaaaaaa must be entered for an IMS Multiple Region Request.** (IMS 複数領域要求に対して aaaaaaaaa を入力する必要があります。)

**説明:** aaaaaaaaa によって表されるパラメーターまたはフィーチャーは必須で、IMS 複数領域要求の NEW コマンドで指定する必要があります。

**システムの処置:** コマンドはリジェクトされます。

**オペレーターの応答:** コマンドを訂正し、再実行依頼してください。

---

**CAZ1779E** **aaaaaaaa not allowed for an IMS Multiple Region Request.** (IMS 複数領域要求に対して aaaaaaaaa は許可されていません。)

**説明:** aaaaaaaaa によって表されるパラメーターまたはフィーチャーを、IMS 複数領域要求の NEW コマンドで指定することができません。

**システムの処置:** コマンドはリジェクトされます。

**オペレーターの応答:** コマンドを訂正し、再実行依頼してください。

---

**CAZ1780E** **An IMS Multiple Region Request must be an Active Request.** (IMS 複数領域要求は、活動状態要求である必要があります。)  
**Rejected.** (リジェクトされます。)

**説明:** IMS 複数領域要求の NEW コマンドで、パラメーター ACTIVE=Y を指定する必要があります。

**システムの処置:** コマンドはリジェクトされます。

## CAZ1781E • CAZ1789E

オペレーターの応答: コマンドを訂正し、再実行依頼してください。

---

### CAZ1781E An IMS Multiple Region Request cannot be modified.

説明: IMS 複数領域要求に対して MODIFY コマンドが入力されました。IMS 複数領域要求に対する MODIFY コマンドは無効です。

システムの処置: コマンドはリジェクトされます。

オペレーターの応答: 既存の IMS 複数領域要求を変更するには、既存の要求を削除またはキャンセルしてから再入力します。

---

### CAZ1782E Keyword: SYSTEMS cannot specify ALL for an IMS Multiple Region Request. (キーワード SYSTEMS では、IMS 複数領域要求に対して ALL を指定できません。)

説明: IMS 複数領域要求に対して、SYSTEMS キーワードで ALL を指定することはできません。IMS 複数領域要求は、シスプレックス内の単一のシステムに対してのみ作成できます。

システムの処置: コマンドはリジェクトされます。

オペレーターの応答: コマンドを訂正し、再実行依頼してください。

---

### CAZ1783E No eligible IMS regions found. (適格な IMS 領域が見つかりません。)

説明: 指定の IMS サブシステムに対して、IMS 複数領域要求が処理依頼されましたが、指定されたトランザクション・コードをスケジュールに入れるのに適格な従属領域がありません。

システムの処置: コマンドはリジェクトされます。

オペレーターの応答: IMS サブシステムに、指定されたトランザクション・コードをスケジュールに入れるために使用できる従属領域が 1 つ以上あること、およびその領域を計測するために必要な権限がユーザーにあることを確認してください。

---

### CAZ1785E The WAS extractor is mutually exclusive with the following extractor(s): -extractor list-.

説明: ユーザーは、同時に指定できない抽出を指定した監視要求を追加しようとしていました。この場合、WAS 抽出が、WAS と同時に指定できない他の抽出と同時に選択されました。-extractor list- に、ユーザーが指定した無効な抽出のリストが含まれています。

システムの処置: コマンドはリジェクトされます。

オペレーターの応答: 抽出のリストから WAS を除去するか、WAS を残して競合する抽出を除去してください。監視要求を再実行依頼してください。

---

### CAZ1786E The target job must be active when the WAS extractor is selected. (WAS 抽出が選択される場合、ターゲット・ジョブがアクティブでなければなりません。)

説明: ユーザーは、WAS 抽出が選択された状態で、非アクティブなジョブに対する監視要求を追加しようとしていました。

システムの処置: コマンドは終了します。

オペレーターの応答: アクティブな WAS コントローラー領域のジョブ名を指定して監視要求を再実行依頼してください。

---

### CAZ1787E The WAS extractor was selected for an address space that is not a WAS Controller region. (WAS コントローラー領域ではないアドレス・スペースに対して WAS 抽出が選択されました。)

説明: ユーザーは、WAS コントローラー領域ではないアドレス・スペースに対して WAS 抽出を指定した監視要求を追加しようとしていました。WAS 抽出を指定できるのは、ターゲット・アドレス・スペースが WAS コントローラー領域である場合だけです。

システムの処置: コマンドは終了します。

オペレーターの応答: WAS コントローラー領域のジョブ名を指定して監視要求を再実行依頼してください。

---

### CAZ1788E isWASController method call to GetPathNames function failed. (GetPathNames 関数への isWASController メソッド呼び出しが失敗しました。) RC=aaax, RSN=bx.

説明: 新しい要求の処理中に内部エラーが発生しました。

システムの処置: コマンドは終了します。

オペレーターの応答: メッセージの情報を記録して、ソフトウェア・サポートにお問い合わせください。

---

### CAZ1789E isWASController method call to GetPathNames function abended. (GetPathNames 関数への isWASController メソッド呼び出しが異常終了しました。)

**説明:** 新しい要求の処理中に内部エラーが発生しました。

**システムの処置:** コマンドは終了します。

**オペレーターの応答:** システム・ログの異常終了情報を記録して、ソフトウェア・サポートにお問い合わせください。

**CAZ1790E Operator command cannot be issued: XMCS Subtask is down. (オペレーター・コマンドを発行できません。XMCS サブタスクは停止しています。)**

**説明:** Application Performance Analyzer 開始タスクの内部からオペレーター・コマンドを発行しようとした。拡張 MCS コンソール・サブタスクが作動していないため、このコマンドを発行できませんでした。

**システムの処置:** 関連する操作は失敗します。

**オペレーターの応答:** XMCS SYSOUT でエラーを確認して、見つかったエラーを修正し、操作を再試行してください。XMCS SYSOUT が存在しない場合、XMCS サブタスクは開始されていません。CONFIG SAMPLE オプション WAS=YES が指定されていることを確認してください。

**CAZ1792E RUNAGAIN without interval invalid for scheduling request.**

**説明:** RUNAGAIN オプションをスケジューリング要求で使用するときは、このオプションにゼロ以外の時間間隔を指定する必要があります。

**システムの処置:** コマンドはリジェクトされます。

**オペレーターの応答:** ゼロ以外の時間間隔を指定するか、または RUNAGAIN オプションを完全に除去してください。

**CAZ1793E Request=request\_number, specified for CRAG does not exist. Issued by Userid: user\_ID.**

**説明:** RUNAGAIN の取り消しコマンドで、存在しない要求番号が指定されました。

**システムの処置:** コマンドはリジェクトされます。

**オペレーターの応答:** なし。

**CAZ1794E Request=request\_number, cannot issue CRAG while Active or Writing. Issued by Userid: user\_ID.**

**説明:** RUNAGAIN の取り消しコマンドが、アクティブまたは書き込み中である監視に対して出されました。

**システムの処置:** コマンドはリジェクトされます。

**オペレーターの応答:** 要求が終了するのを待ってから、RUNAGAIN の取り消しコマンドを出してください。

**CAZ1799I --- 一般的なメッセージ・テキスト ---**

**説明:** これは、製品サポートによる診断の目的のために使用される一般的な情報メッセージです。メッセージの本文は、表示される診断データによって異なります。

**システムの処置:** なし。

**オペレーターの応答:** なし。

**CAZ1800E Invalid value or mask vvvvvvvv for DDF filter DDF\_filter\_parameter (DDF フィルター DDF\_filter\_parameter の無効な値またはマスク vvvvvvvv)**

**説明:** DDF フィルター・パラメーター *DDF\_filter\_parameter* に指定された値またはマスク *vvvvvvvv* は、以下のいずれかの理由で無効です。

- 値に埋め込みブランクが含まれています。
- アスタリスク (\*) ワイルドカード文字が指定されましたが、string の最初または最後の文字ではありませんでした。
- アスタリスク (\*) とパーセント (%) の両方のワイルドカード文字が指定されました。これらのワイルドカード文字は相互に排他的で、同じパターンの中で同時に指定できません。

**システムの処置:** コマンドはリジェクトされます。

**オペレーターの応答:** パラメーターを訂正して、コマンドを再実行依頼します。

**CAZ1801E Mutually exclusive IMS, CICS, and DDF related keywords specified. Request failed. (要求は失敗しました。)**

**説明:** NEW コマンドまたは MODIFY コマンドが、競合するキーワードとともに発行されました。DDF フィルター・キーワード (CORRID、EUSERID、および WKSTNID、またはそのいずれか) が IMS キーワード (ITRAN、IPROG、および IUSER、またはそのいずれか) または CICS キーワード (CTRAN、CTERM など) と一緒に指定されました。これらのキーワード・セットは互いに排他的です。

**システムの処置:** コマンドはリジェクトされます。

**オペレーターの応答:** パラメーターを訂正して、コマンドを再実行依頼します。



**CAZ2000I Checkpointer started. (チェック・ポインターは開始済みです。)**

**説明:** このメッセージは、チェック・ポインター・サブタスクは開始済みであり、初期化の処理中であることを示します。

**システムの処置:** Application Performance Analyzer は初期化を続行します。

**オペレーターの応答:** なし。

**CAZ2001E Creation of Checkpoint File failed (チェックポイント・ファイルの作成に失敗しました)**

**説明:** 新規チェックポイント・ファイルを割り振ろうとして、失敗しました。追加情報が、CAZ2004E および CAZ2005E メッセージに報告されています。

**システムの処置:** Application Performance Analyzer は終了します。

**オペレーターの応答:** メッセージで使用可能な情報を基に問題の解決を試みて、ジョブを再開してください。

**CAZ2002E Allocation of Checkpoint File failed (チェックポイント・ファイルの割り振りに失敗しました)**

**説明:** チェックポイント・ファイルを DD 名 CHKPT に割り振ろうとして、失敗しました。追加情報が、CAZ2004E および CAZ2005E メッセージに報告されています。

**システムの処置:** Application Performance Analyzer は終了します。

**オペレーターの応答:** メッセージで使用可能な情報を基に問題の解決を試みて、ジョブを再開してください。

**CAZ2003E OPEN of Checkpoint File <dsname> failed (チェックポイント・ファイル <dsname> の OPEN に失敗しました)**

**説明:** Application Performance Analyzer の初期化中に、示されている dsname のチェックポイント・ファイルの OPEN に失敗しました。これは、おそらく正しくない特性を持つデータ・セットが存在することを示しています。チェックポイント・ファイルは、非ブロック化レコード LRECL=1024 を持つ物理順次 (PS) データ・セットでなければなりません。

**システムの処置:** Application Performance Analyzer は終了します。

**オペレーターの応答:** メッセージで使用可能な情報を基に問題の解決を試みて、ジョブを再開してください。

**CAZ2004E Allocation of <dsname> to DD <ddname> failed (<dsname> の DD <ddname> への割り振りに失敗しました)**

**説明:** これは、エラー・メッセージを限定する限定情報を提供する第 2 の情報メッセージです。このメッセージは、割り振りの試みが失敗したデータ・セット名 dsname および DD 名 ddname を報告します。このメッセージは、メッセージ CAZ2005E または CAZ3943E とともに出力されます。

**システムの処置:** Application Performance Analyzer は終了します。

**オペレーターの応答:** メッセージで使用可能な情報を基に問題の解決を試みて、ジョブを再開してください。

**CAZ2005E DYNALLOC Feedback RSN=<return\_code> INFO=<information\_code> (DYNALLOC フィードバック RSN=return\_code INFO=information\_code)**

**説明:** これは、エラー・メッセージを限定する限定情報を提供する第 2 の情報メッセージです。動的割り振り (SVC 99) サービスによって戻されたエラーの理由、16 進数のエラー情報コードを報告します。

**システムの処置:** Application Performance Analyzer は終了します。

**オペレーターの応答:** 上記のエラー・コードについては、「*MVS Programming: Authorized Assembler Services Guide*」を参照してください。メッセージで使用可能な情報を基に問題の解決を試みて、ジョブを再開してください。

**CAZ2009E Checkpoint file has too many updates outstanding. (チェックポイント・ファイルにある未解決の更新が多すぎます。)**

**説明:** このエラーは、チェックポイント・ファイルで保留中になっている更新が多すぎる場合に発生します。

**システムの処置:** Application Performance Analyzer STC は SOC3 で終了します。

**オペレーターの応答:** 同じシスプレックス・グループ名 (SPXGroupName=xxxxxxx) を持つすべての Application Performance Analyzer STC の CONFIG ファイルで同じチェックポイント・ファイルが定義されていることを確認してください。また、チェックポイント・ファイルが非シスプレックス Application Performance Analyzer STC に対する CONFIG で定義されていないことを確認します。CONFIG ファイルを訂正したら、すべての

Application Performance Analyzer STC を停止して、再開します。

---

**CAZ2010E I/O error reading checkpoint file, attempting initialization** (チェックポイント・ファイルの読み取り中に入出力エラー。初期化を試みています。)

**説明:** チェックポイント・ファイルの読み取り中に入出力エラーが発生しました。初期化を試みています。チェックポイント・ファイルの入出力エラーは、開始タスクの初期化中に検出されました。チェックポイント・ファイルを検査していましたが、読み取りに失敗しました。開始タスクはチェックポイント・ファイルが壊れていると見なし、初期化を試みます。

このメッセージの後に、入出力エラーの診断を提供するメッセージ CAZ2011E が続きます。

**システムの処置:** Application Performance Analyzer の初期化を続行します。

**オペレーターの応答:** なし。

---

**CAZ2011E aaaa, bbbbbbbb, ccccccc, dddd, e, fffffff, gggg, hhhhhhhh, iiiiii, jjjj**

**説明:** このメッセージは CAZ2010E の後に続き、入出力エラーの診断データを提供します。

メッセージの挿入部分の説明:

*aaaa* 読み取られたバイト数

*bbbbbbbb*

ジョブ名

*ccccccc*

ステップ名

*dddd* 装置番号

*e* 装置タイプ

*ffffff* DD 名

*gggg* 試行された操作

*hhhhhhh*

エラーの説明

*iiiiiii* 実際のトラック・アドレスおよびブロック番号 (BBCCHHR は 16 進)

*jjjj* アクセス方式

**システムの処置:** Application Performance Analyzer の初期化を続行します。

**オペレーターの応答:** なし。

---

**CAZ2020I Checkpointer operating.** (チェック・ポインターは作動中です。)

**説明:** このメッセージは、チェック・ポインター・サブ

タスクが初期化を完了し、作動可能であることを示しています。

**システムの処置:** Application Performance Analyzer は初期化を続行します。

**オペレーターの応答:** なし。

---

**CAZ2090I Checkpointer stopping.** (チェック・ポインターは停止中です。)

**説明:** このメッセージは、チェック・ポインター・サブタスクがシャットダウン・プロセスを開始したときに報告されます。

**システムの処置:** なし。

**オペレーターの応答:** なし。

---

**CAZ2099I Checkpointer terminated.** (チェック・ポインターは終了します。)

**説明:** このメッセージは、チェック・ポインター・サブタスクがシャットダウン・プロセスを完了し、終了しようとしているときに報告されます。

**システムの処置:** なし。

**オペレーターの応答:** なし。

---

**CAZ2199S CAZ00040 has ended abnormally (ABEND).** (CAZ00040 が異常終了しました (ABEND)。) **Sysplex event managing subtask is terminating.** (シスプレックス・イベント管理サブタスクが終了中です。)

**説明:** このメッセージは、Application Performance Analyzer の指定されたコンポーネントが異常終了した (ABEND) ことを示しています。このメッセージの後に、ダンプが続きます。

**システムの処置:** Application Performance Analyzer は終了します。

---

**CAZ2700W Resource constraints, new sampling rate=*sampling\_rate*** (リソースの制約。新しいサンプリング率 =*sampling\_rate*。)

**説明:** このメッセージは、CPU 使用量の制約が要求に適用され、サンプリング率が削減されたことを示しています。これは、インストール済み環境の構成の MaxMIPPercent パラメーターによって制御されます。また、S01 セッション統計レポートに、警告メッセージが表示されます。

**システムの処置:** なし。

**オペレーターの応答:** なし。



---

**CAZ2701E Resource constraints, new sampling request CANCELLED** (リソースの制約。新規のサンプリング要求は取り消されました)

**説明:** このメッセージは、CPU 使用量の制約が要求に適用され、要求が取り消されたことを示しています。これは、インストール済み環境の構成の MaxMIPPercent パラメーターによって制御されます。要求の状況が「Stopped」に設定されたことがわかります。

**システムの処置:** なし。

**オペレーターの応答:** なし。

---

**CAZ2703W Java constraints, new sampling rate=nnnn**

**説明:** このメッセージは、CPU 使用量の制約が要求に適用され、サンプリング率が *nnnn* に削減されたことを示しています。このメッセージは、Java™ 5.0 以上のサンプリングにのみ当てはまります。この制約はインストール構成での MaxMIPPercent パラメーターによって制御されないことに注意してください。

**システムの処置:** サンプリング率が、示された数値に低下します。

**オペレーターの応答:** なし。

---

**CAZ2704W Java constraints, too few CPUs**

**説明:** Java サンプリングをサポートするだけの十分な数の CPU がシステム上にありません。このメッセージは、Java 5.0 以上のサンプリングにのみ当てはまりません。

**システムの処置:** サンプリングを続行しますが、Java サンプリングは行われません。

**オペレーターの応答:** なし。

---

**CAZ3200I Data writer for request *request\_number* JOB *job\_name* started.** (要求 *request\_number* ジョブ *job\_name* のデータ書き込み機能が開始されました。)

**説明:** このメッセージは、データ書き込み機能サブタスクが開始されたことを示しています。新規のデータ書き込み機能サブタスクは、Application Performance Analyzer がジョブのサンプリングを開始するたびに開始されます。*request\_number* は要求番号で、*job\_name* は、データ書き込み機能が割り当てられているジョブ、STC、または TSU の名前です。

**システムの処置:** なし。

**オペレーターの応答:** なし。

---

**CAZ3205E DW *request\_number* : Error allocating *dsn* E=*error\_code* I= *information\_code* SMS=*reason\_code*. (DW *request\_number* : *dsn* の割り振りエラー E= *error\_code* I= *information\_code* SMS=*reason\_code*。)**

**説明:** このメッセージは、データ書き込み機能が要求 *request\_number* のサンプル・ファイル (*dsn*) を割り振ろうとしているときに、動的割り振りエラーが発生したことを示しています。*error\_code*、*information\_code*、および *reason\_code* は、それぞれ動的割り振りエラー・コード、情報コード、および SMS 理由コードを示します。

**システムの処置:** サンプリング要求は終了し、サンプル・データはすべて失われます。

**オペレーターの応答:** 上記のエラー・コードについては、「*MVS Programming: Authorized Assembler Services Guide*」を参照してください。問題を訂正し、サンプリング要求を再実行依頼してください。

---

**CAZ3206I Request *request\_number* for JOB *job\_name* cancelled, sample file created.** (ジョブ *job\_name* の要求 *request\_number* は取り消されました。サンプル・ファイルが作成されました。)

**説明:** Application Performance Analyzer は、ユーザーがアクティブなサンプリング要求を取り消したことを検出しました。この要求のために、簡略化されたサンプルが作成されています。

**システムの処置:** なし。

**オペレーターの応答:** なし。

---

**CAZ3208E DW *rrrr*: Unable to ATTACH DB2 HVXT sub-task. RC=*aaaa*.**

**説明:** 要求 *rrrr* に割り当てられたデータ書き込み機能が、ホスト変数抽出サブタスクを接続できませんでした。このサブタスクは、計測オプション・パネル (DB2V - SQL 変数オプション) でユーザーによって要求された SQL ホスト変数を解決します。

**システムの処置:** サンプリングは、SQL ホスト変数名解決なしで続行します。SQL テキストを含んでいるレポートに、ホスト変数名は表示されません。

**オペレーターの応答:** 戻りコード *aaaa* を記録して、この問題に可能な解決策を見つけるために、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト ([www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/](http://www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/)) を参照してください。

**CAZ3210I** Sampling dataset=*dsn*.  
**Primary**=*primary\_allocation*,  
**Secondary**=*secondary\_allocation* in tracks.  
 (トラック内の  
**Primary**=*primary\_allocation*,  
**Secondary**=*secondary\_allocation*。)

**説明:** これは、データ書き込み機能が 1 次割り振り *primary\_allocation* トラックおよび 2 次割り振り *secondary\_allocation* トラックで新規サンプル・ファイル (*dsn*) を正常に割り振ったことを示す情報メッセージです。

**システムの処置:** なし。

**オペレーターの応答:** なし。

**CAZ3211E** DW request\_number: Unable to ATTACH  
 ESD subtask. (DW request\_number: ESD  
 サブタスクを接続できません。)  
**RC**=*return\_code*.

**説明:** 要求 *request\_number* に割り当てられたデータ書き込み機能が、ESD サブタスクを接続できませんでした。

**システムの処置:** なし。サンプリングは続行されますが、一部のレポートにロード・モジュール CSECT 情報が欠落している可能性があります。この要求のサンプリングは続行されますが、レポートで ESD 情報を利用することはできません。

**オペレーターの応答:** 戻りコード *return\_code* を記録して、この問題に可能な解決策を見つけるために、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト ([www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/](http://www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/)) を参照してください。

**CAZ3212W** Coupling Facility sampling cannot  
 proceed: *reason* (カップリング・ファシ  
 ティーのサンプリングを続行できません:  
*reason*)

**説明:** Application Performance Analyzer は、カップリング・ファシリティがないことを検出しました。 *reason* は、このメッセージの理由を示します。

**システムの処置:** カップリング・ファシリティのサンプリング・データは、どのサンプリング・セッション中にも収集されません。

**オペレーターの応答:** システムがカップリング・ファシリティなしで動作している場合は、このメッセージを無視することができます。そうでない場合は、提供されている本文を基にエラーの原因を調べることができます。

**CAZ3213E** Error detected while sampling the  
 Coupling Facility: Set=*aa*, error=*bbbbbb*  
 (カップリング・ファシリティのサン  
 プリング中にエラーが検出されました:  
 Set=*aa*, error=*bbbbbb*)

**説明:** このメッセージは、カップリング・ファシリティのサンプリング中に予期しないエラーが発生したことを示しています。

**システムの処置:** カップリング・ファシリティのサンプリング・データを利用することはできません。この要求のサンプリングは続行されます。

**オペレーターの応答:** 同じメッセージが引き続き表示される場合は、*aa* および *bbbbbb* の値を記録して、この問題に可能な解決策を見つけるために、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト ([www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/](http://www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/)) を参照してください。

**CAZ3214E** IXLMG error. (IXLMG エラー。)  
**RC**=*return\_code* **RSN**=*reason\_code*

**説明:** Application Performance Analyzer は、カップリング・ファシリティのサンプリング中に IXLMG エラーを検出しました。 *return\_code* および *reason\_code* は、IXLMG 呼び出しからの戻りコードおよび理由コードを示します。

**システムの処置:** カップリング・ファシリティのサンプリング・データは、サンプリング・セッション中に収集されません。

**オペレーターの応答:** 同じメッセージが引き続き表示される場合は、*RC* および *RSN* の値を記録して、この問題に可能な解決策を見つけるために、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト ([www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/](http://www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/)) を参照してください。

**CAZ3215E** IXCQUERY REQINFO=CF error.  
 (IXCQUERY REQINFO=CF エラー)  
**RC**=*return\_code* **RSN**=*reason\_code*

**説明:** Application Performance Analyzer は、カップリング・ファシリティのサンプリング中に IXCQUERY エラーを検出しました。 *return\_code* および *reason\_code* は、IXCQUERY 呼び出しからの戻りコードおよび理由コードを示します。

**システムの処置:** カップリング・ファシリティのサンプリング・データは、サンプリング・セッション中に収集されません。

**オペレーターの応答:** 同じメッセージが引き続き表示さ

## CAZ3216E • CAZ3222W

れる場合は、RC および RSN の値を記録して、この問題に可能な解決策を見つけるために、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト ([www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/](http://www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/)) を参照してください。

---

**CAZ3216E Unable to load DB2 module:**  
*module\_name*, **Abend=Sreturn\_code**,  
**RSN=reason\_code**

**説明:** 必要な DB2 ロード・モジュールを STEPLIB からロードできませんでした。

*module\_name*  
モジュール名を示します。

**Sreturn\_code**  
LOAD SVC によって戻された異常終了コードを示します。

**reason\_code**  
LOAD SVC によって戻された理由コードを示します。

**システムの処置:** 処理は続行されますが、一部またはすべての DB2 プランおよびパッケージのタイム・スタンプ・データがサンプル・ファイルにない可能性があります。

**オペレーターの応答:** DB2 ロード・ライブラリーを、Application Performance Analyzer が開始したタスク JCL の STEPLIB 連結に追加してください。

---

**CAZ3217E DB2 error for Func=DB2\_function;**  
**RC=return\_codex; RSN=reason\_codex;**  
**SSID=subsystem\_ID; PLAN=PLAN\_name**

**説明:** Application Performance Analyzer が開始したタスクは、DB2 機能の実行中にエラーを検出しました。

*DB2\_function*  
DB2 機能を示します。

**return\_codex**  
機能からの 16 進数の戻りコードを示します。

**reason\_codex**  
機能からの 16 進数の理由コードを示します。

**subsystem\_ID**  
機能が送信された DB2 サブシステムを示します。

**PLAN\_name**  
機能が動作する DB2 プラン名を示します。

**システムの処置:** 処理は続行されますが、一部またはすべての DB2 プランおよびパッケージのタイム・スタンプ・データがサンプル・ファイルにない可能性があります。

**オペレーターの応答:** 理由コードと関連する修正処置については、「*IBM DB2 Universal Database™* メッセージ・リファレンス 第 1 巻」または「*IBM DB2 Universal Database* メッセージ・リファレンス 第 2 巻」を参照してください。

---

**CAZ3218E Error accessing DB2 catalog: catalog on SSID: subsystem\_ID**

**説明:** Application Performance Analyzer が開始したタスクは、DB2 カタログへのアクセス中にエラーを検出しました。

*catalog*  
DB2 カタログを示します。

**subsystem\_ID**  
アクセスが送信された DB2 サブシステムを示します。

このメッセージの後に、DB2 が出したメッセージ (DSN\*) が記載された 1 つ以上の CAZ1799 メッセージが表示されます。

**システムの処置:** 処理は続行されますが、一部またはすべての DB2 プランおよびパッケージのタイム・スタンプ・データがサンプル・ファイルにない可能性があります。

**オペレーターの応答:** DB2 メッセージおよび関連する修正処置については、「*IBM DB2 Universal Database* メッセージ・リファレンス 第 1 巻」または「*IBM DB2 Universal Database* メッセージ・リファレンス 第 2 巻」を参照してください。

---

**CAZ3220I DW request\_number operating. (DW request\_number が作動中です。)**

**説明:** このメッセージは、要求 *request\_number* に割り当てられたデータ書き込み機能サブタスクが初期化を完了し、作動可能であることを示しています。

**システムの処置:** なし。

**オペレーターの応答:** なし。

---

**CAZ3222W DW aaaa: ESD sub-task not ATTACHed, time limit expired. (DW aaaa: ESD サブタスクが接続されておらず、制限時間が満了しました。)**

**説明:** DataWriter が ESD 抽出サブタスクを接続しようとしたが、タイムアウトになりました。aaaa は、この DataWriter に関連する要求番号を表しています。

**システムの処置:** DataWriter は処理を続行しますが、

ESD (CSECT) 情報はサンプル・ファイルに書き込まれません。

**オペレーターの応答:** 製品サポートにお問い合わせください。

---

**CAZ3223E DW request\_number DB2 subsystem not found in subsys table. DB2 Trace not stopped.**

**説明:** DB2 トレースの停止を試行しているときに、データ書き込み機能は、IBM Application Performance Analyzer DB2 サブシステム・テーブルで DB2 サブシステムを見つけることができませんでした。これは、計測の終了時に起こります。このメッセージが表示されるのは、CONFIG ファイルの DB2I パラメーターで CONTROLSMF=YES が指定されている場合だけです。

**システムの処置:** DB2 トレースは停止されていません。計測は正常に終了します。

**オペレーターの応答:** DB2 サブシステム上の DB2 トレースの状況を確認してください。

---

**CAZ3224I DW request\_number DB2 Acctg Trace stopped for DB2 subsys ssid.**

**説明:** データ書き込み機能は、要求番号 *request\_number* で示されている DB2 トレースを DB2 サブシステム *ssid* で停止しました。このメッセージが表示されるのは、CONFIG ファイルの DB2I パラメーターで CONTROLSMF=YES が指定されている場合だけです。

**システムの処置:** DB2 トレースは、正常に停止しました。

**オペレーターの応答:** なし。

---

**CAZ3225E DW request\_number DB2 Acctg Trace for DB2 subsys ssid not stopped - not active.**

**説明:** DB2 トレースの停止を試行しているときに、データ書き込み機能は、示されているトレースが DB2 サブシステム *ssid* でアクティブになっていないことを判別しました。トレースは手動で停止された可能性があります。このメッセージが表示されるのは、CONFIG ファイルの DB2I パラメーターで CONTROLSMF=YES が指定されている場合だけです。

**システムの処置:** 計測は正常に終了します。

**オペレーターの応答:** DB2 サブシステム上の DB2 トレースの状況を確認してください。

---

**CAZ3226E DW request\_number DB2 Stop Trace command failed for DB2 subsys ssid.**

**説明:** DB2 サブシステム *ssid* で DB2 トレースの停止を試行しているときに、データ書き込み機能が、予期されるエラーを検出しました。このメッセージは、CONFIG ファイルの DB2I パラメーターで CONTROLSMF=YES が指定されている場合に表示されます。

**システムの処置:** 必要な DB2 トレースは停止されていません。計測は正常に終了します。

**オペレーターの応答:** システム・ログまたは DB2 サブシステムのジョブ・ログで DB2 診断メッセージを確認してください。DB2 サブシステム上の DB2 トレースの状況を確認してください。

---

**CAZ3230E DW request\_number : EDTINFO error for device device\_type. (DW request\_number : 装置 device\_type の EDTINFO エラー。) RC=return\_code RSN=reason\_code.**

**説明:** 要求 *request\_number* に割り当てられたデータ書き込み機能が、サンプリングされた領域からのデータ・セットの分析中に EDTINFO エラーを検出しました。*device\_type* は UCB 装置タイプ、*return\_code* および *reason\_code* は、それぞれ EDTINFO からの戻りコードおよび理由コードです。

**システムの処置:** なし。サンプリングは続行されますが、DASD レポートの表示時にデータが欠落している可能性があります。

**オペレーターの応答:** EDTINFO の戻りコードおよび理由コードについては、「*MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference*」を参照してください。問題を訂正し、サンプリング要求を再実行依頼してください。

---

**CAZ3231E DW request\_number : UCBLOOK error for device device\_type. (DW request\_number : 装置 device\_type の UCBLOOK エラー。) RC=return\_code RSN=reason\_code.**

**説明:** 要求 *request\_number* に割り当てられたデータ書き込み機能が、サンプリングされた領域からのデータ・セットの分析中に UCBLOOK エラーを検出しました。*device\_type* は UCB 装置タイプ、*return\_code* および *reason\_code* は、それぞれ UCBLOOK からの戻りコードおよび理由コードです。

**システムの処置:** なし。サンプリングは続行されます



## CAZ3232E • CAZ3236E

が、DASD レポートの表示時にデータが欠落している可能性があります。

**オペレーターの応答:** UCBLLOOK の戻りコードおよび理由コードについては、「*MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference*」を参照してください。問題を訂正し、サンプリング要求を再実行依頼してください。

---

### CAZ3232E CAZ00699 Internal sampling error. (CAZ00699 内部サンプリング・エラー。)

**説明:** これは、サンプリング要求に重大エラーがあることを示しています。このメッセージは必ず、要求番号およびエラー・コードが記載されたメッセージ CAZ3390E とともに表示されます。

**システムの処置:** サンプリング要求は終了し、「Failed」のマークが付けられます。

**オペレーターの応答:** 付随する CAZ3390E メッセージからの通知コード (*post\_code*) および完全な FFO STC 出力を用意して、製品サポートにお問い合わせください。

---

### CAZ3233E Sampling has timed out. (サンプリングが タイムアウトになりました。) STC/TSO might no longer exist. (STC/TSO は存在 していない可能性があります。)

**説明:** これは、サンプリング要求が予期せずサンプリングを停止したことを示しています。ターゲットのアドレス・スペースが終了したことが原因になっている可能性があります。このメッセージは必ず、要求番号およびエラー・コードが記載されたメッセージ CAZ3390E とともに表示されます。

**システムの処置:** サンプリング要求は終了し、「Failed」のマークが付けられます。

**オペレーターの応答:** 付随する CAZ3390E メッセージからの通知コード (*post\_code*) および完全な FFO STC 出力を用意して、製品サポートにお問い合わせください。

---

### CAZ3234E aaaaaaaa memory object RC=bb RSN=X"ccccccc"

**説明:** aaaaaaaa で示される 64 ビット・メモリー・オブジェクト操作が、戻りコード *bb* および理由コード *ccccccc* で示される理由のため失敗しました。これは、DB2X オプションが選択されている場合にのみ発生します。戻りコード 8 については、「MVS システム・コード」マニュアルでシステム・コード DC2 の理由コードを参照してください。

**システムの処置:** メモリー要求は失敗しますが、処理は、エラーが発生したコンテキストに応じて続行される可能性があります。

**ユーザーの処置:** 戻りコードおよび理由コードに応じて、Application Performance Analyzer 開始タスクに指定された MEMLIMIT を増やさなければならない場合があります。MEMLIMIT のサイズが問題ではない場合、メッセージの情報を記録して製品サポートにお問い合わせください。

---

### CAZ3235E DW request\_number DB2 Subsystem table is full. DB2 SMF data not captured.

**説明:** DB2 トレースの開始を試行しているときに、データ書き込み機能は IBM Application Performance Analyzer DB2 サブシステム・テーブルに項目を追加できませんでした。前回の IPL 以降に、このシステムで 16 を超える DB2 サブシステムに関する情報が IBM Application Performance Analyzer によって記録されています。このメッセージが表示されるのは、CONFIG ファイルの DB2I パラメーターで CONTROLSMF=YES が指定されている場合だけです。

**システムの処置:** 必要な DB2 トレースは開始されていません。計測は、SMF データ収集を行わずに続行します。

**オペレーターの応答:** 製品サポートにお問い合わせください。DB2 トレースは手動で開始された可能性があります。

---

### CAZ3236E DW request\_number Unable to determine CRC for DB2 subsys ssid. DB2 SMF data not captured.

**説明:** DB2 トレースの開始を試行しているときに、データ書き込み機能は、DB2 サブシステム *ssid* の DB2 コマンド接頭部を判別できませんでした。このメッセージが表示されるのは、CONFIG ファイルの DB2I パラメーターで CONTROLSMF=YES が指定されている場合だけです。

**システムの処置:** 必要な DB2 トレースは開始されていません。計測は、SMF データ収集を行わずに続行します。

**オペレーターの応答:** 製品サポートにお問い合わせください。DB2 トレースは手動で開始された可能性があります。

---

**CAZ3237I DW request\_number DB2 Acctg Trace started for DB2 subsys ssid.**

**説明:** データ書き込み機能は、要求番号 *request\_number* で示されている DB2 トレースを DB2 サブシステム *ssid* で開始しました。このメッセージが表示されるのは、CONFIG ファイルの DB2I パラメーターで CONTROLSMF=YES が指定されている場合だけです。

**システムの処置:** 必要な DB2 トレースが開始されました。

**オペレーターの応答:** なし。

---

**CAZ3238I DW request\_number DB2 Acctg Trace already started for DB2 subsys ssid.**

**説明:** DB2 トレース開始コマンドを発行した後、データ書き込み機能は、必要なトレースが既に DB2 サブシステム *ssid* でアクティブになっていることを判別しました。このメッセージが表示されるのは、CONFIG ファイルの DB2I パラメーターで CONTROLSMF=YES が指定されている場合だけです。

**システムの処置:** 計測は続行します。

**オペレーターの応答:** なし。

---

**CAZ3239E DW request\_number DB2 Start Trace command failed for DB2 subsys ssid. DB2 SMF data not captured.**

**説明:** DB2 サブシステム *ssid* で DB2 トレースの開始を試行しているときに、データ書き込み機能が、予期されるエラーを検出しました。このメッセージが表示されるのは、CONFIG ファイルの DB2I パラメーターで CONTROLSMF=YES が指定されている場合だけです。

**システムの処置:** 必要な DB2 トレースは開始されません。計測は、SMF データ収集を行わずに続行します。

**オペレーターの応答:** システム・ログまたは DB2 サブシステムのジョブ・ログで DB2 診断メッセージを確認してください。

---

**CAZ3380E DSPSERV EXTEND error. (DSPSERV EXTEND エラー。) RC=X" return\_code" RSN=X" reason\_code".**

**説明:** Application Performance Analyzer は、サンプリング・データベースを拡張できませんでした。

*return\_code* および *reason\_code* は、DSPSERV EXTEND によって戻された戻りコードおよび理由コードを示します。

**システムの処置:** サンプリング要求は終了し、サンプリ

ング・データ・セットは使用できない可能性があります。

**オペレーターの応答:** DSPSERV EXTEND の戻りコードおよび理由コードについては、「*MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference*」を参照してください。問題を訂正してから、サンプリング要求を再実行依頼してください。

---

**CAZ3381E DSPSERV CREATE COMPI. (DSPSERV CREATE COMPI.) RC=aaaaaaaa RSN=bbbbbbbb**

**説明:** Application Performance Analyzer は、圧縮ルーチン用の作業データ・スペースを作成するときにエラーを検出しました。RC=aaaaaaaa および RSN=bbbbbbbb はそれぞれ、DSPSERV CREATE の戻りコードおよび理由コードです。

**システムの処置:** サンプル・ファイルの作成は続行されますが、圧縮は行われません。

**オペレーターの応答:** DSPSERV CREATE の戻りコードおよび理由コードについては、「*MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference*」を参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サポートにお問い合わせください。

---

**CAZ3382E DSPSERV CREATE COMP2. (DSPSERV CREATE COMP2.) RC=aaaaaaaa RSN=bbbbbbbb**

**説明:** Application Performance Analyzer は、圧縮ルーチン用の作業データ・スペースを作成するときにエラーを検出しました。RC=aaaaaaaa および RSN=bbbbbbbb はそれぞれ、DSPSERV CREATE の戻りコードおよび理由コードです。

**システムの処置:** サンプル・ファイルの作成は続行されますが、圧縮は行われません。

**オペレーターの応答:** DSPSERV CREATE の戻りコードおよび理由コードについては、「*MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference*」を参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サポートにお問い合わせください。

---

**CAZ3383E ALESERV ADD COMPI RC=aaaaaaaa**

**説明:** Application Performance Analyzer は、圧縮ルーチンで使用される作業データ・スペースの ALET を追加するときにエラーを検出しました。RC=aaaaaaaa は、ALESERV ADD 戻りコードです。

**システムの処置:** サンプル・ファイルの作成は続行されますが、圧縮は行われません。



## CAZ3384E • CAZ3390I

オペレーターの応答: ALESERV ADD の戻りコードについては、「*MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference*」を参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サポートにお問い合わせください。

---

### CAZ3384E ALESERV ADD COMP2 RC=aaaaaaaa

説明: Application Performance Analyzer は、圧縮ルーチンで使用される作業データ・スペースの ALET を追加するときにエラーを検出しました。RC=aaaaaaaa は、ALESERV ADD 戻りコードです。

システムの処置: サンプル・ファイルの作成は続行されますが、圧縮は行われません。

オペレーターの応答: ALESERV ADD の戻りコードについては、「*MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference*」を参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サポートにお問い合わせください。

---

### CAZ3385E ALESERV DELETE COMP1 RC=aaaaaaaa ALET=bbbbbbbb

説明: Application Performance Analyzer は、作業データ・スペースの ALET を削除するときにエラーを検出しました。RC=aaaaaaaa は ALESERV 戻りコードで、ALET=bbbbbbbb は ALET です。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

オペレーターの応答: ALESERV DELETE の戻りコードについては、「*MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference*」を参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サポートにお問い合わせください。

---

### CAZ3386E ALESERV DELETE COMP2 RC=aaaaaaaa ALET=bbbbbbbb

説明: Application Performance Analyzer は、作業データ・スペースの ALET を削除するときにエラーを検出しました。RC=aaaaaaaa は ALESERV 戻りコードで、ALET=bbbbbbbb は ALET です。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

オペレーターの応答: ALESERV DELETE の戻りコードについては、「*MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference*」を参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サポートにお問い合わせください。

---

### CAZ3387E DSPSERV DELETE COMP1 RC=aaaaaaaa RSN=bbbbbbbb

説明: Application Performance Analyzer は、圧縮に使用される作業データ・スペースを削除するときにエラーを検出しました。RC=aaaaaaaa および RSN=bbbbbbbb はそれぞれ、DSPSERV DELETE の戻りコードおよび理由コードです。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

オペレーターの応答: DSPSERV DELETE の戻りコードおよび理由コードについては、「*MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference*」を参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サポートにお問い合わせください。

---

### CAZ3388E DSPSERV DELETE COMP2 RC=aaaaaaaa RSN=bbbbbbbb

説明: Application Performance Analyzer は、圧縮に使用される作業データ・スペースを削除するときにエラーを検出しました。RC=aaaaaaaa および RSN=bbbbbbbb はそれぞれ、DSPSERV DELETE の戻りコードおよび理由コードです。

システムの処置: 通常の処理を続行します。

オペレーターの応答: DSPSERV DELETE の戻りコードおよび理由コードについては、「*MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference*」を参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サポートにお問い合わせください。

---

### CAZ3389E Sample file not compressed: encode failed (サンプル・ファイルは圧縮されませんでした。エンコードは失敗しました)

説明: Application Performance Analyzer は、サンプル・ファイルを圧縮するときにエラーを検出しました。

システムの処置: 圧縮なしで通常の処理が続行されます。

オペレーターの応答: 問題が解決しない場合は、IBM サポートにお問い合わせください。

---

### CAZ3390I DW request\_number stopping. (DW request\_number が停止中です。) POST code=post\_code.

説明: このメッセージは、要求 request\_number に割り当てられたデータ書き込み機能サブタスクがシャットダウン・プロセスを開始したときに報告されます。通知コード post\_code は無視することができます。これは、エ

ラー状態になった場合の製品サポート診断で使用され  
ます。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

**CAZ3399I** DW *request\_number* terminated. (DW  
request\_number は終了します。) JOB  
id=*job\_name*.

説明: このメッセージは、要求 *request\_number* および  
ジョブ *job\_name* に割り当てられたデータ書き込み機能  
サブタスクがシャットダウン・プロセスを完了し、終了  
しようとしているときに報告されます。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

**CAZ3400I** ESD extractor for request *request\_number*  
JOB *job\_name* started. (要求  
*request\_number* ジョブ *job\_name* の ESD  
抽出が開始されました。)

説明: このメッセージは、ESD 抽出サブタスクが開始  
されたことを示しています。新規の ESD 抽出サブタ  
スクは、Application Performance Analyzer がジョブのサン  
プリングを開始するたびに開始されます。

*request\_number* は要求番号で、*job\_name* は、データ書  
き込み機能が割り当てられているジョブ、STC、または  
TSU の名前です。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

**CAZ3410I** EE *request\_number* operating. (EE  
request\_number が作動中です。)

説明: このメッセージは、要求 *request\_number* に割り  
当てられた ESD 抽出サブタスクが初期化を完了し、作  
動可能であることを示しています。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

**CAZ3420E** EE *request\_number* : ISITMGD.  
RC=*return\_code* RSN=*reason\_code* for  
*ddddddd* in PDS *dsn*. (PDS *dsn* の  
*ddddddd* の RC=*return\_code*  
RSN=*reason\_code* 。)

説明: このメッセージは、要求 *request\_number* のデー  
タ・セット *dsn* が SMS によって管理されているかど  
うかを ESD 抽出が判別しようとしたときに、ISITMGD  
エラーが発生したことを示しています。 *return\_code* お

よび *reason\_code* は、ISITMGD の戻りコードおよび理  
由コードを示します。

システムの処置: なし。サンプリングは続行されま  
すが、一部のレポートにロード・モジュール CSECT 情報  
が欠落している可能性があります。

オペレーターの応答: 上記のエラー・コードについ  
ては、「Macro Instructions for Data Sets」を参照してく  
ださい。必要な場合は、問題を訂正し、要求を再実行依  
頼してください。

**CAZ3421E** EE *request\_number* : Allocation error for  
*dsn* E= *error\_code* I=*information\_code*  
SMS=*reason\_code*. (EE *request\_number* :  
*dsn* の割り振りエラー E= *error\_code*  
I=*information\_code* SMS=*reason\_code*。)

説明: このメッセージは、ESD 抽出が要求  
*request\_number* の処理中にモジュール分析のためにロー  
ド・ライブラリー (*dsn*) を割り振ろうとしているとき  
に、動的割り振りエラーが発生したことを示していま  
す。 *error\_code*、*information\_code*、および *reason\_code*  
は、それぞれ動的割り振りエラー・コード、情報コー  
ド、および SMS 理由コードを示します。

システムの処置: なし。サンプリングは続行されま  
すが、一部のレポートにロード・モジュール CSECT 情報  
が欠落している可能性があります。

オペレーターの応答: 上記のエラー・コードについ  
ては、「MVS Programming: Authorized Assembler Services  
Guide」を参照してください。問題を訂正し、サンプリ  
ング要求を再実行依頼してください。

**CAZ3425E** EE *request\_number* : FIND error. (EE  
request\_number : FIND エラーです。)  
RC=*return\_code* RSN=*reason\_code* for  
member *member\_name* for *dsn*. (*dsn* のメ  
ンバー *member\_name* の RC=*return\_code*  
RSN=*reason\_code*。)

説明: このメッセージは、ESD 抽出が要求  
*request\_number* の処理中にロード・ライブラリー *dsn*  
でメンバー *member\_name* を検索しようとしているとき  
に、FIND エラーが発生したことを示しています。  
*return\_code* および *reason\_code* は、FIND の戻りコード  
および理由コードを示します。

システムの処置: なし。サンプリングは続行されま  
すが、一部のレポートにロード・モジュール CSECT 情報  
が欠落している可能性があります。

オペレーターの応答: 上記のエラー・コードについ  
ては、「DFSMS Macro Instructions for Data Sets」を参照

## CAZ3430E • CAZ3434E

してください。必要な場合は、問題を訂正し、要求を再実行依頼してください。

---

**CAZ3430E** EE request\_number : IEWBIND  
Func=STARTD. RC=return\_code RSN  
=reason\_number for dsn. (dsn の  
RC=return\_code RSN =reason\_number。)

**説明:** このメッセージは、ESD 抽出が要求 request\_number の処理中にロード・ライブラリー dsn でモジュールから ESD 情報を抽出する準備を行っていたときに、IEWBIND STARTD エラーが発生したことを示しています。return\_code および reason\_number は、IEWBIND STARTD の戻りコードおよび理由コードを示します。

**システムの処置:** なし。サンプリングは続行されますが、一部のレポートにロード・モジュール CSECT 情報が欠落している可能性があります。

**オペレーターの応答:** 上記のエラー・コードについては、「DFSMS Program Management」を参照してください。必要な場合は、問題を訂正し、要求を再実行依頼してください。

---

**CAZ3431E** EE request\_number : IEWBIND  
Func=CREATEW. RC=return\_code  
RSN=reason\_code for dsn. (dsn の  
RC=return\_code RSN=reason\_code。)

**説明:** このメッセージは、ESD 抽出が要求 request\_number の処理中にロード・ライブラリー dsn でモジュールから ESD 情報を抽出する準備を行っていたときに、IEWBIND CREATEW エラーが発生したことを示しています。return\_code および reason\_code は、IEWBIND CREATEW の戻りコードおよび理由コードを示します。

**システムの処置:** なし。サンプリングは続行されますが、一部のレポートにロード・モジュール CSECT 情報が欠落している可能性があります。

**オペレーターの応答:** 上記のエラー・コードについては、「DFSMS Program Management」を参照してください。必要な場合は、問題を訂正し、要求を再実行依頼してください。

---

**CAZ3432E** EE request\_number : LOAD error. (EE request\_number : LOAD エラーです。)  
RC=return\_code RSN=reason\_code for  
ccccccc in dsn. (dsn の cccccc の  
RC=return\_code RSN=reason\_code。)

**説明:** このメッセージは、ESD 抽出が要求 request\_number の処理中にロード・ライブラリー dsn

でモジュールから ESD 情報を抽出する準備を行っていたときに、LOAD エラーが発生したことを示しています。return\_code および reason\_code は LOAD の戻りコードおよび理由コードを、ccccccc はロード・モジュールを示します。

**システムの処置:** なし。サンプリングは続行されますが、一部のレポートにロード・モジュール CSECT 情報が欠落している可能性があります。

**オペレーターの応答:** 上記のエラー・コードについては、「MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書 第 1 巻」または「MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書 第 2 巻」を参照してください。必要な場合は、問題を訂正し、要求を再実行依頼してください。

---

**CAZ3433E** EE request\_number : CSVQUERY error.  
(EE request\_number : CSVQUERY エラ  
ーです。) RC=return\_code for  
module\_name in dsn. (dsn の module\_name  
の RC=return\_code。)

**説明:** このメッセージは、ESD 抽出が要求 request\_number の処理中にロード・ライブラリー dsn でモジュール module\_name から ESD 情報を抽出する準備を行っていたときに、CSVQUERY エラーが発生したことを示しています。return\_code は、CSVQUERY の戻りコードを示します。

**システムの処置:** なし。サンプリングは続行されますが、一部のレポートにロード・モジュール CSECT 情報が欠落している可能性があります。

**オペレーターの応答:** 上記のエラー・コードについては、「MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書 第 1 巻」または「MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書 第 2 巻」を参照してください。必要な場合は、問題を訂正し、要求を再実行依頼してください。

---

**CAZ3434E** EE rrrr IEWBIND Func=ffff.  
RC=return\_code RSN=reason\_code for dsn,  
ddn. (dsn、ddn の RC=return\_code  
RSN=reason\_code。)

**説明:** このメッセージは、関数 ffff を処理している間に IEWBIND エラーが発生したことを示しています。ESD 抽出は、要求 rrrr の処理中に、ddn に割り当てられているロード・ライブラリー dsn でモジュールから ESD 情報を抽出していました。

**システムの処置:** なし。サンプリングは続行されますが、一部のレポートにロード・モジュール CSECT 情報が欠落している可能性があります。

**オペレーターの応答:** 戻りコードおよび理由コードについては、「z/OS MVS プログラム管理: 拡張機能」を参照してください。必要な場合は、問題を訂正し、要求を再実行依頼してください。

---

**CAZ3436E** EE request\_number : IEWBIND Func= GETE Type (S).(EE request\_number : IEWBIND Func= GETE タイプ (S)。)  
RC=return\_code RSN=reason\_code for module\_name in dsn. (dsn の module\_name の RC=return\_code RSN=reason\_code。)

**説明:** このメッセージは、ESD 抽出が要求 request\_number の処理中にロード・ライブラリー dsn でモジュール module\_name から ESD 情報を抽出していたときに、IEWBIND GETE エラーが発生したことを示しています。return\_code および reason\_code は、IEWBIND GETE の戻りコードおよび理由コードを示します。

**システムの処置:** なし。サンプリングは続行されますが、一部のレポートにロード・モジュール CSECT 情報が欠落している可能性があります。

**オペレーターの応答:** 上記のエラー・コードについては、「DFSMS Program Management」を参照してください。必要な場合は、問題を訂正し、要求を再実行依頼してください。

---

**CAZ3437E** EE request\_number : IEWBIND Func= GETE Type (ED,ER). (EE request\_number : IEWBIND Func= GETE タイプ (ED,ER)。)  
RC=return\_code RSN=reason\_code for module\_name in dsn. (dsn の module\_name の RC=return\_code RSN=reason\_code。)

**説明:** このメッセージは、ESD 抽出が要求 request\_number の処理中にロード・ライブラリー dsn でモジュール module\_name から ESD 情報を抽出していたときに、IEWBIND GETE エラーが発生したことを示しています。return\_code および reason\_code は、IEWBIND GETE の戻りコードおよび理由コードを示します。

**システムの処置:** なし。サンプリングは続行されますが、一部のレポートにロード・モジュール CSECT 情報が欠落している可能性があります。

**オペレーターの応答:** 上記のエラー・コードについては、「DFSMS Program Management」を参照してください。必要な場合は、問題を訂正し、要求を再実行依頼してください。

---

**CAZ3438E** EE request\_number : IEWBIND Func= GETE Type (LD,PR). (EE request\_number : IEWBIND Func= GETE タイプ (LD,PR)。)  
RC=return\_code RSN=reason\_code for module\_name in dsn. (dsn の module\_name の RC=return\_code RSN=reason\_code。)

**説明:** このメッセージは、ESD 抽出が要求 request\_number の処理中にロード・ライブラリー dsn でモジュール module\_name から ESD 情報を抽出していたときに、IEWBIND GETE エラーが発生したことを示しています。return\_code および reason\_code は、IEWBIND GETE の戻りコードおよび理由コードを示します。

**システムの処置:** なし。サンプリングは続行されますが、一部のレポートにロード・モジュール CSECT 情報が欠落している可能性があります。

**オペレーターの応答:** 上記のエラー・コードについては、「DFSMS Program Management」を参照してください。必要な場合は、問題を訂正し、要求を再実行依頼してください。

---

**CAZ3439E** EE request\_number : IEWBIND Func= GETD Type B\_IDRB. (EE request\_number : IEWBIND Func= GETD タイプ B\_IDRB。)  
RC=return\_code RSN=reason\_code for module\_name in dsn. (dsn の module\_name の RC=return\_code RSN=reason\_code。)

**説明:** このメッセージは、ESD 抽出が要求 request\_number の処理中にロード・ライブラリー dsn でモジュール module\_name から ESD 情報を抽出していたときに、IEWBIND GETD エラーが発生したことを示しています。module\_name、return\_code、および reason\_code は、IEWBIND GETE の戻りコードおよび理由コードを示します。

**システムの処置:** なし。サンプリングは続行されますが、一部のレポートにロード・モジュール CSECT 情報が欠落している可能性があります。

**オペレーターの応答:** 上記のエラー・コードについては、「DFSMS Program Management」を参照してください。必要な場合は、問題を訂正し、要求を再実行依頼してください。



---

**CAZ3440E** EE request\_number : IEWBIND Func=  
GETD Type B\_IDRL. (EE  
request\_number : IEWBIND Func=  
GETD タイプ B\_IDRL。)  
RC=return\_code RSN=reason\_code for  
module\_name in dsn. (dsn の module\_name  
の RC=return\_code RSN=reason\_code。)

**説明:** このメッセージは、ESD 抽出が要求 request\_number の処理中にロード・ライブラリー dsn でモジュール module\_name から ESD 情報を抽出していたときに、IEWBIND GETD エラーが発生したことを示しています。return\_code および reason\_code は、IEWBIND GETE の戻りコードおよび理由コードを示します。

**システムの処置:** なし。サンプリングは続行されますが、一部のレポートにロード・モジュール CSECT 情報が欠落している可能性があります。

**オペレーターの応答:** 上記のエラー・コードについては、「DFSMS Program Management」を参照してください。必要な場合は、問題を訂正し、要求を再実行依頼してください。

---

**CAZ3441E** EE request\_number : IEWBIND Func=  
GETD Type B\_IDRU. (EE  
request\_number : IEWBIND Func=  
GETD タイプ B\_IDRU。)  
RC=return\_code RSN=reason\_code for  
module\_name in dsn. (dsn の module\_name  
の RC=return\_code RSN=reason\_code。)

**説明:** このメッセージは、ESD 抽出が要求 request\_number の処理中にロード・ライブラリー dsn でモジュール module\_name から ESD 情報を抽出していたときに、IEWBIND GETD エラーが発生したことを示しています。return\_code および reason\_code は、IEWBIND GETE の戻りコードおよび理由コードを示します。

**システムの処置:** なし。サンプリングは続行されますが、一部のレポートにロード・モジュール CSECT 情報が欠落している可能性があります。

**オペレーターの応答:** 上記のエラー・コードについては、「DFSMS Program Management」を参照してください。必要な場合は、問題を訂正し、要求を再実行依頼してください。

---

**CAZ3442E** EE request\_number : IEWBIND Func=  
GETD Type B\_IDRZ. (EE  
request\_number : IEWBIND Func=  
GETD タイプ B\_IDRZ。)  
RC=return\_code RSN=reason\_code for  
module\_name in dsn. (dsn の module\_name  
の RC=return\_code RSN=reason\_code。)

**説明:** このメッセージは、ESD 抽出が要求 request\_number の処理中にロード・ライブラリー dsn でモジュール module\_name から ESD 情報を抽出していたときに、IEWBIND GETD エラーが発生したことを示しています。return\_code および reason\_code は、IEWBIND GETE の戻りコードおよび理由コードを示します。

**システムの処置:** なし。サンプリングは続行されますが、一部のレポートにロード・モジュール CSECT 情報が欠落している可能性があります。

**オペレーターの応答:** 上記のエラー・コードについては、「DFSMS Program Management」を参照してください。必要な場合は、問題を訂正し、要求を再実行依頼してください。

---

**CAZ3447E** Invalid ESD IRB parameters detected.  
(無効な ESD IRB パラメーターが検出されました。)

**説明:** このメッセージは、ESD IRB が無効な入力パラメーターを検出し、続行できないことを示しています。

**システムの処置:** サンプリングは続行されますが、一部のレポートにロード・モジュール CSECT 情報が欠落している可能性があります。IRB は異常終了します。

**オペレーターの応答:** 戻りコードおよび理由コードについては、「z/OS MVS プログラム管理: 拡張機能」を参照してください。必要な場合は、問題を訂正し、要求を再実行依頼してください。

---

**CAZ3448E** LOAD error. (LOAD エラー。) RC=  
~~~~~ RSN= ~~~~~ HFS:  
HFS_file_name.

説明: 示されている HFS ファイルをストレージにロードできませんでした。

システムの処置: 処理は続行しますが、CSECT 名、関数名、またはコンパイル・タイム・スタンプ情報を抽出することはできません。

オペレーターの応答: 「z/OS UNIX System Services メッセージおよびコード」マニュアルで戻りコードおよび理由コードの値を見つけ、障害の理由を判別してください。

CAZ3449E CSVQUERY エラー (CSVQUERY error)。RC= ~ HFS: HFS_file_name.

説明: 示されている HFS ファイルに対して実行された CSVQUESRY が失敗しました。

システムの処置: 処理は続行しますが、CSECT 名、関数名、またはコンパイル・タイム・スタンプ情報を抽出することはできません。

オペレーターの応答: このエラーを Application Performance Analyzer サポートに報告してください。

CAZ3450E DELETE エラー (DELETE error)。RC= ~~~~~ RSN= ~~~~~ HFS:HFS_file_name.

説明: 示されている HFS ファイルをストレージから削除できませんでした。

システムの処置: 処理は続行しますが、プログラムは開始タスク・アドレス・スペースのメモリーに残っていません。

オペレーターの応答: 「z/OS UNIX System Services メッセージおよびコード」マニュアルで戻りコードおよび理由コードの値を見つけ、障害の理由を判別してください。

CAZ3480E Open for file: dsn failed due to a security violation. (セキュリティ違反のため、ファイル dsn のオープンに失敗しました。)

説明: Application Performance Analyzer は、外部シンボル情報を抽出するために、ファイル dsn を入力用にオープンしようとした。セキュリティ違反のため、オープンが失敗しました。詳しくは、ジョブ・ログで他のシステム関連メッセージを参照してください。

システムの処置: Application Performance Analyzer はサンプル要求の処理を続行します。このファイルからロードされたモジュールについて、シンボル情報は使用できません。

オペレーターの応答: 外部シンボル情報が必要な場合は、関連するファイルに対する読み取りアクセス権を付与してください。

CAZ3481E EE detected an abend and is terminating (EE は異常終了を検出したため、終了します。)

説明: ESD Extractor はロード・モジュールの処理中に異常終了を検出したため、終了します。

システムの処置: Application Performance Analyzer はサ

ンプル要求の処理を続行します。このサンプル・セッション中に監視された一部の、またはすべてのモジュールから、シンボル情報が失われる可能性があります。

オペレーターの応答: ダンプおよびすべての開始タスク出力を保存し、カスタマー・サポートに連絡してください。

CAZ3482W ESDE detected a module LOAD/DELETE mismatch, contact customer support.

説明: ESD 抽出は、メモリーからサンプル・モジュールを削除するときにエラーを検出しました。これは警告メッセージにすぎません。診断するために追加情報が必要です。詳細については、オペレーターの応答を参照してください。

システムの処置: なし。ユーザーに対する悪影響はありません。

オペレーターの応答: この問題をより適切に診断するためには、Application Performance Analyzer STC アドレス・スペースのダンプが必要になります。説明については、お客様サポートにお問い合わせください。

CAZ3526E LANG=language is not valid for CONVERT FORMAT=XML (LANG=language は、CONVERT FORMAT=XML には無効です)

説明: XML 文書は、英語でのみ生成でき、*language* で示されている言語では生成できません。

システムの処置: なし。XML 文書は生成されません。

オペレーターの応答: CONVERT ステートメントから LANG=*language* 設定を除去するか、言語を ENU に変更して、印刷ジョブを再実行依頼してください。

CAZ3599I DW request_number terminated. (DW request_number は終了します。)

説明: このメッセージは、要求 *request_number* に割り当てられた ESD 抽出サブタスクがシャットダウン・プロセスを完了し、終了しようとしているときに報告されます。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ3650E Error creating sampling data space for request: request_number. (要求 request_number のサンプリング・データ・スペースの作成エラー。) DSPSERV: RC=X" return_code"

RSN=X"reason_code".

説明: Application Performance Analyzer は、要求 *request_number* のサンプリング・データ・スペースを作成しようとしているときにエラーを検出しました。
return_code および *reason_code* は、DSPSERV CREATE の戻りコードおよび理由コードを示します。

システムの処置: サンプリング要求は続行されません。

オペレーターの応答: DSPSERV CREATE の戻りコードおよび理由コードについては、「*MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference*」を参照してください。問題を訂正し、サンプリング要求を再実行依頼してください。

CAZ3652E Error adding sampling data space ALET for request: request_number ALESERV ADD: RC="return_code". (要求 request_number のサンプリング・データ・スペース ALET の追加エラー ALESERV ADD: RC="return_code".)

説明: Application Performance Analyzer は、要求 *request_number* にサンプリング・データ・スペース ALET を追加しようとしているときにエラーを検出しました。
return_code は、ALESERV ADD の戻りコードを示します。

システムの処置: サンプリング要求は続行されません。

オペレーターの応答: ALESERV ADD の戻りコードおよび理由コードについては、「*MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference*」を参照してください。問題を訂正し、サンプリング要求を再実行依頼してください。

CAZ3700I HV Extractor for request rrrr JOB jiiiii started. (要求 rrrr ジョブ jiiiii の HV 抽出が開始されました。)

説明: ホスト変数抽出サブタスクが開始されました。このサブタスクは、計測オプション・パネル (DB2V - SQL 変数オプション) でユーザーによって要求された SQL ホスト変数を解決します。*rrrr* の値は、データ書き込み機能が割り当てている要求番号です。*jiiiii* の値は、計測されているジョブ、STC、または TSU の名前です。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ3703I HVXTrrrr operating. (HVXTrrrr が作動中です。)

説明: 要求 *rrrr* に割り当てられた SQL ホスト変数抽出サブタスクが初期化を完了し、作動可能です。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ3704E DB2 CAF modules failed to load. Error = mmmmm. (エラー = mmmmm)

説明: 必要な DB2 CAF ロード・モジュールを STEPLIB からロードできませんでした。*mmmm* - このエラーについて、メッセージ **CAZmmmm** が出力されています。追加のエラー情報については、このメッセージを調べてください。

システムの処置: サンプリングは、SQL 変数名解決なしで続行します。SQL テキストを含んでいるレポートに、ホスト変数名は表示されません。

オペレーターの応答: オペレーターの応答については、メッセージ **CAZmmmm** を参照してください。

CAZ3705E Unexpected SQL error for aaaaaaaaaaaaaa. (aaaaaaaaaaaaa で予期しない SQL エラー。) Request: rrrr. (要求: rrrr)

説明: SQL ホスト変数解決の間に、Application Performance Analyzer によって行われた SQL 呼び出しで、予期しない SQLCODE 値が DB2 によって返されました。

SQL エラーを識別するための追加情報が、このメッセージの後に表示されます。*aaaaaaaaaaaaa* は、エラーを受け取った SQL 呼び出しを示します。

システムの処置: サンプリングは続行します。SQL エラーによって異なりますが、SQL テキストを含んでいるレポートに、ホスト変数名が表示されない場合があります。

オペレーターの応答: エラーの位置、およびこのメッセージの後に続く SQL エラー情報を記録しておいて、製品サポートに連絡してください。

CAZ3706I Message text.

説明: これは、製品サポートによる診断の目的のために使用される一般的な情報メッセージです。メッセージの本文は、表示される診断データによって異なります。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ3707E No SYSPACKSTMT row found for statement. (ステートメントに SYSPACKSTMT 行が見つかりません。) **Request: rrrr.** (要求: rrrr) **StmntNo: ssssssss.** (ステートメント番号: ssssssss)

説明: SQL ホスト変数解決の間、*ssssssss* で識別されている SQL ステートメント番号の DB2 カタログ・テーブル SYSPACKSTMT に、対応する行が見つかりませんでした。 *rrrr* は要求番号です。

システムの処置: サンプリングは続行します。ステートメント番号 *ssssssss* の SQL ステートメント・テキストを含んでいるレポートに、ホスト変数名は表示されません。

オペレーターの応答: ステートメント番号および要求番号を記録しておいて、製品サポートに連絡してください。

CAZ3708E No SYSSTMT row found for statement. (ステートメントに SYSSTMT 行が見つかりません。) **Request: rrrr.** (要求: rrrr) **StmntNo: ssssssss.** (ステートメント番号: ssssssss)

説明: SQL ホスト変数解決の間、*ssssssss* で識別されている SQL ステートメント番号の DB2 カタログ・テーブル SYSSTMT に、対応する行が見つかりませんでした。 *rrrr* は要求番号です。

システムの処置: サンプリングは続行します。ステートメント番号 *ssssssss* の SQL ステートメント・テキストを含んでいるレポートに、ホスト変数名は表示されません。

オペレーターの応答: ステートメント番号および要求番号を記録しておいて、製品サポートに連絡してください。

CAZ3709E CAZ00073 detected a data space overflow error. (CAZ00073 がデータ・スペース・オーバーフロー・エラーを検出しました。) **One or more samples might be lost.** (1 つ以上のサンプルが失われた可能性があります。)

説明: データ書き込み機能は、サンプル・データ・スペースに 1 つ以上のサンプル・レコードを書き込むことができませんでした。サンプル・レコードがデータ・スペースに追加されていたとき、データ・スペースは拡張処理中でした。これらのレコードは、データ・スペースのオーバーフローを回避するために除去されました。

システムの処置: サンプリングは続行します。SQL テキストを含んでいるレポートに、すべてのホスト変数名

が表示されない場合があります。

オペレーターの応答: ステートメント番号および要求番号を記録しておいて、製品サポートに連絡してください。

CAZ3710S Too many abends in: CAZ00073. (CAZ00073 の異常終了が多すぎます。) **HV Extractor Sub-task terminating.** (HV 抽出サブタスクは終了中です。)

説明: ホスト変数抽出 (HVXT) サブタスクが、その異常終了のしきい値を超えました。サブタスクは、異常終了状態を検出して、この状態からリカバリーします。このリカバリーの手順は、サブタスクが終了する時点のしきい値点に達するまで続行されます。

システムの処置: サンプリングは続行しますが、HVXT サブタスクは終了します。SQL テキストを含んでいるレポートに、ホスト変数名が表示されない場合があります。

オペレーターの応答: 障害情報を収集し、製品サポートに連絡してください。

CAZ3711S Unrecoverable error in: CAZ00073. (CAZ00073 でリカバリー不能エラー。) **HV Extractor Subtask terminating.** (HV 抽出サブタスクは終了中です。)

説明: ホスト変数抽出 (HVXT) サブタスクが異常終了状態を検出したため、続行できません。ダンプが作成され、サブタスクは終了します。

システムの処置: サンプリングは続行しますが、HVXT サブタスクは終了します。SQL テキストを含んでいるレポートに、ホスト変数名が表示されない場合があります。

オペレーターの応答: 障害情報を収集し、製品サポートに連絡してください。

CAZ3712E Error threshold reached for message aaaaaaaaa. (メッセージ aaaaaaaaa でエラーしきい値に達しました。) **Message suppressed.** (メッセージは抑制されません。)

説明: ホスト変数抽出 (HVXT) サブタスクが、エラー・メッセージ aaaaaaaaa によって識別されている、繰り返し発生するエラーを検出しました。生成される出力が大きくなってしまいうことを避けるため、このエラー・メッセージを抑制されています。

システムの処置: メッセージ aaaaaaaaa を参照してください。

CAZ3799I • CAZ3916E

オペレーターの応答: メッセージ aaaaaaaa を参照してください。

CAZ3799I HVXT ~~~~ terminated. (HVXT ~~~~ が終了しました。)

説明: このメッセージは、ホスト変数抽出サブタスクがシャットダウン・プロセスを完了し、終了しようとしているときに報告されます。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ3910E Unable to open SYSPRINT data set. (SYSPRINT データ・セットをオープンできません。)

説明: SYSPRINT データ・セットをオープンしようとしていて、エラーが発生しました。考えられる原因: ユーザーが JCL から SYSPRINT DD ステートメントを省略しました。

システムの処置: ステップは終了します。

オペレーターの応答: この DD ステートメントに関連する可能なシステム・メッセージのジョブ出力を確認してください。

CAZ3911E Unable to open SYSIN data set. (SYSIN データ・セットをオープンできません。)

説明: SYSIN データ・セットをオープンしようとしていて、エラーが発生しました。考えられる原因: ユーザーが JCL から SYSIN DD ステートメントを省略しました。

システムの処置: ステップは終了します。

オペレーターの応答: この DD ステートメントに関連する可能なシステム・メッセージのジョブ出力を確認してください。

CAZ3912E Invalid EXEC parameter specified: "parameter". (無効な EXEC パラメーター「parameter」が指定されました。)

説明: 無効な EXEC パラメーター・ストリングが検出されました。現在、有効なパラメーターは STCID キーワードおよび値のみです。

システムの処置: ステップは終了します。

オペレーターの応答: EXEC パラメーターを調べて、STCID キーワード値の組 (例えば、'STCID=CAZ0') のみが指定されていることを確認してください。

CAZ3913E Command string ended prematurely. (コマンド・ストリングが早期終了しました。)

説明: コマンド・ストリングの終わりが検出される前に、SYSIN データ・セットでファイルの終わりに達しました。

システムの処置: 処理は、次のコマンド・ストリングに進みます。

オペレーターの応答: このメッセージの前にあるコマンド・ストリングを調べて、セミコロンで終わっていることを確認してください。

CAZ3914E Command string contains unrecognized syntax. (コマンド・ストリングに認識されない構文が含まれています。)

説明: このメッセージに先行するコマンド・ストリングに、構文エラーが含まれています。考えられる原因: コマンド名が指定されていなかったか、コマンド名が既知のコマンドではありません。

システムの処置: 処理は、次のコマンド・ストリングに進みます。

オペレーターの応答: エラーについてこのメッセージに先行するコマンド・ストリングを調べてください。

CAZ3915W No commands detected in input SYSIN. (入力 SYSIN でコマンドが検出されませんでした。)

説明: SYSIN 入力データ・セットで有効なコマンド・ストリングが検出されませんでした。これは警告メッセージであり、バッチ・インターフェースが処理する有効なコマンドを検出しなかったことを示しています。

システムの処置: ステップは終了します。

オペレーターの応答: このメッセージの前に表示されたエラー・メッセージの SYSPRINT 出力を調べてください。

CAZ3916E SYSIN input file is empty. (SYSIN 入力ファイルは空です。)

説明: SYSIN データ・セットが指定されましたが、空であることがわかりました。

システムの処置: ステップは終了します。

オペレーターの応答: SYSIN データ・セットに有効なコマンド・ストリングが含まれていることを確認してください。

CAZ3917I Command successfully processed, RC=0000. (コマンドは正常に処理されました。RC=0000。)

説明: このメッセージに先行するコマンドは、Application Performance Analyzer が開始したタスクによって正常に処理されました。

システムの処置: 処理は、次のコマンド・ストリングに進みます。

オペレーターの応答: なし。

CAZ3918E The STCID key value pair was not specified in the EXEC parameters. (STCID キー値の組が EXEC パラメーターで指定されていませんでした。)
Commands could not be processed. (コマンドを処理できませんでした。) **Active STCIDs follow:** (アクティブな STCID:)

説明: ユーザーは、Application Performance Analyzer ID ('STCID=xxxx') キーワード値の組を指定しませんでした。バッチ・インターフェースは、システムで現在アクティブになっている Application Performance Analyzer ID を使用しようとしていました。このシステムには複数のアクティブな Application Performance Analyzer ID があるため、これは実行されませんでした。

このメッセージの後に、アクティブな Application Performance Analyzer ID のリストが続きます。例えば、
システムの処置: ステップは終了します。

オペレーターの応答: EXEC パラメーターで STCID キーワード値を指定してください。

CAZ3919E Application Performance Analyzer started task with STCID=aaaa not active, processing cannot proceed. (STCID=aaaa の Application Performance Analyzer 開始タスクはアクティブではありません。処理を続行できません。)

説明: ユーザーは、Application Performance Analyzer ID に aaaa を指定しました。この ID は、バッチ・インターフェースの実行時にアクティブではありませんでした。

システムの処置: ステップは終了します。

オペレーターの応答: Application Performance Analyzer が開始したタスクが、バッチ・インターフェースの実行時にアクティブであることを確認してください。

CAZ3920E There are no Application Performance Analyzer started tasks defined to this system, processing cannot proceed. (このシステムに定義されている Application Performance Analyzer 開始タスクはありません。処理を続行できません。)

説明: ユーザーは、STCID キー値の組を EXEC パラメーターで指定しませんでした。また、バッチ・インターフェースがデフォルト ID として使用できる Application Performance Analyzer ID がシステムに定義されていません。

システムの処置: ステップは終了します。

オペレーターの応答: Application Performance Analyzer が開始したタスクが、バッチ・インターフェースの実行時にアクティブであることを確認してください。

CAZ3922E Command failed, RC=return_code (コマンドは失敗しました。RC=return_code)

説明: このメッセージに先行するコマンドは、正常に処理されませんでした。

システムの処置: 処理は、次のコマンド・ストリングに進みます。

オペレーターの応答: このメッセージの前には、失敗の原因を説明する診断メッセージが表示されます。

CAZ3923I Application Performance Analyzer Batch Interface terminating, highest return code is: return_code. (Application Performance Analyzer バッチ・インターフェースは終了します。最も高い戻りコード: return_code。)

説明: このメッセージは、バッチ・インターフェースが処理を完了して、終了しようとしていることを示しています。return_code は、処理中に検出された最も高い戻りコードを示します。

システムの処置: ステップは終了します。

オペレーターの応答: なし。

CAZ3924E Command string is too long for internal command buffer. (コマンド・ストリングが、内部コマンド・バッファーには長すぎます。)
Command could not be processed. (コマンドを処理できませんでした。)

説明: このメッセージに先行するコマンド・ストリング

は、CAZBATCH の内部コマンド・バッファには長すぎて、処理できません。

システムの処置: 処理は、次のコマンド・ストリングに進みます。

オペレーターの応答: このコマンド・ストリングの複数の入力レコードを結合してレコードを少なくし、コマンド・ストリングのサイズを削減してください。

CAZ3925I IBM APA for z/OS Batch Import terminating, highest return code is:
return_code

説明: このメッセージは、バッチ・インポートが完了して、終了しようとしていることを示しています。

return_code は、処理中に検出された最も高い戻りコードを示します。

システムの処置: ステップは終了します。

オペレーターの応答: なし。

CAZ3926E Input XMIT file error - *error_message*
Input Sample file error - *error_message*
(入力 XMIT ファイル・エラー - *error_message* 入力サンプル・ファイル・エラー - *error_message*)

説明: バッチ・インポート中にエラー状態が見つかりました。*error_message* は、次のいずれかです。

- XMIT lrecl not 80 - The import dataset must have an 80 byte record length (XMIT lrecl が 80 になっていません - インポート・データ・セットには 80 バイトのレコード長が必要です)
- XMIT Block size not 3120 - the import dataset must have a block size of 3120 (XMIT ブロック・サイズが 3120 になっていません - インポート・データ・セットにはブロック・サイズ 3120 が必要です)
- XMIT Record format not FB - the import dataset must be fixed block (XMIT レコード形式が FB になっていません - インポート・データ・セットは固定ブロックでなければなりません)
- XMIT DSORG not PS - the import dataset must be physical sequential (XMIT DSORG が PS になっていません - インポート・データ・セットは物理順次でなければなりません)
- Contains more than one dataset - the dataset being imported contains more than one exported dataset (複数のデータ・セットが含まれています - インポートされるデータ・セットに、エクスポートされたデータ・セットが複数含まれています)

- Input record format not VB - the dataset being imported is not a variable block dataset (入力レコード形式が VB になっていません - インポートされるデータ・セットが可変ブロック・データ・セットになっていません)
- Input DSORG not PS - the dataset being imported is not physical sequential (入力 DSORG が PS になっていません - インポートされるデータ・セットが物理順次になっていません)
- Incomplete XMIT dataset - the dataset being imported is missing the XMIT trailer record (XMIT データ・セットが不完全です - インポートされるデータ・セットに XMIT トレーラー・レコードがありません)
- Input Sample File error - Record format not VB - The input sample file must be variable blocked (入力サンプル・ファイル・エラー - レコード形式が VB になっていません - 入力サンプル・ファイルは可変ブロックになっていなければなりません)
- Input Sample File error - DSORG not PS - The input sample file must be physical sequential (入力サンプル・ファイル・エラー - DSORG が PS になっていません - 入力サンプル・ファイルは物理順次でなければなりません)
- Input Sample File error - lrecl not 16380 or 32756 - The input sample file must have a record length of 16380 bytes or 32756 bytes (入力サンプル・ファイル・エラー - lrecl が 16380 と 32756 のどちらでもありません - 入力サンプル・ファイルには 16380 バイトまたは 32756 バイトのレコード長が必要です)
- Input Sample File error - Block size not 16384 or 32760 - The input sample file must have a block size of 16384 or 32760 bytes (入力サンプル・ファイル・エラー - ブロック・サイズが 16384 と 32760 のどちらでもありません - 入力サンプル・ファイルには 16384 バイトまたは 32760 バイトのブロック・サイズが必要です)
- Input Sample File error - Incomplete dataset - The input sample file is not a complete sample file (入力サンプル・ファイル・エラー - データ・セットが不完全です - 入力サンプル・ファイルが完全なサンプル・ファイルではありません)
- Input Sample File error - Open failed - Application Performance Analyzer cannot open the input sample file (入力サンプル・ファイル・エラー - オープンに失敗しました - Application Performance Analyzerが入力サンプル・ファイルをオープンできません)

システムの処置: ステップは終了します。

オペレーターの応答: JCL の SAMPIN DD としてインポートされるデータ・セットが、エクスポート済みの有

効なファイル、または有効なサンプル・ファイルであることを確認してください。

CAZ3927I Starting CDS function=aaaa (CDS 機能=aaaa を開始しています)

説明: これは、共通データ・セット保管機能 *aaaa* が開始されていることを示す通知診断メッセージです。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ3928E Open failed for output sample dataset (出力サンプル・データ・セットのオープンに失敗しました)

説明: バッチ・インポート・ユーティリティーは、インポート・ファイル用の監視リストにエントリーを作成しましたが、サンプル・ファイルを作成するための出力用データ・セットをオープンできませんでした。

システムの処置: ステップは終了します。

オペレーターの応答: バッチ・インポート・ユーティリティーで関連エラー・メッセージとセキュリティー・エラーを調べてください。

**CAZ3929E Error allocating dataset_name
E=error_code R=reason_code
I=information_code (dataset_name の割り振りエラー E=error_code R=reason_code
I=information_code)**

説明: このメッセージは、インポート機能の *dataset_name* を割り振ろうとしているときに、動的割り振りエラーが発生したことを示しています。

システムの処置: ステップは終了します。

オペレーターの応答: 上記のエラー・コードについては、「*MVS Programming: Authorized Assembler Services Guide*」を参照してください。問題を訂正し、インポート要求を再実行依頼してください。

**CAZ3930E SMS Error E=error_code R=reason_code
I=information_code (SMS エラー
E=error_code R=reason_code
I=information_code)**

説明: メッセージ CAZ3928E に関連する SMS メッセージ

システムの処置: ステップは終了します。

オペレーターの応答: 上記のエラー・コードについては、「*MVS Programming: Authorized Assembler Services Guide*」を参照してください。問題を訂正し、インポ

ート要求を再実行依頼してください。

CAZ3931I Import dataset dataset_name successfully imported to request number request_number. (インポート・データ・セット dataset_name は要求番号 request_number に正常にインポートされました。)

説明: インポート要求が成功し、指定されたデータ・セットが監視リストの *request_number* 内にインポートされました。

システムの処置: ステップが完了しました。

オペレーターの応答: Application Performance Analyzer ISPF フロントエンドを使用して、成功したインポート要求を確認してください。

**CAZ3932E aaaa detected an abend while processing bbbb function. (aaaa が bbbb 機能を実行するときに異常終了を検出しました。)
Function failed, see log for details. (機能が失敗しました。詳しくは、ログを参照してください。)**

説明: プロセス *aaaa* が、*bbbb* で記述されている機能を実行するときに異常終了を検出しました。この機能は失敗しましたが、プロセスは正常にリカバリーされました。ログに異常終了の詳細が記録されます。また、ダンプが生成されている可能性があります。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: 問題をシステム・プログラマーに報告してください。

CAZ3933I Starting Import for User=aaaa, Input DSN=bbbb, delete Input DSN=c (ユーザー=aaaa、入力 DSN=bbbb、入力 DSN の削除=c の条件でインポートを開始しています)

説明: 入力データ・セット名 *bbbb* で記述されているサンプル・ファイルのインポート操作が開始されました。要求しているユーザーは *aaaa* です。入力データ・セットが削除されるかどうかは、*c* (Y/N) によって示されます。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ3934I Sample file successfully imported to Request# = aaaa (サンプル・ファイルは要求番号 aaaa に正常にインポートされました)

説明: メッセージ CAZ3933I で記述されているサンプル・ファイルが Application Performance Analyzer 内に正常にインポートされました。このサンプル・ファイルは、aaaa で指定されている要求番号に割り当てられました。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ3935E Error detected for DDN=aaaa, Reason: bbbb (エラーが検出されました。DDN=aaaa、理由: bbbb)

説明: DD 名 aaaa で指定されているデータ・セットを処理するときにエラーが検出されました。bbbb は、エラーの理由を説明したものです。

システムの処置: このエラー・メッセージに関連するアクションが失敗しました。

オペレーターの応答: 理由情報で説明されているデータ・セット・エラーを修正してください。

CAZ3936E Abend detected in Import interface. (インポート・インターフェースで異常終了が検出されました。) 詳細については、SVC ダンプを参照してください。

説明: インポート要求を処理するときに異常終了が検出され、SVC ダンプが生成されました。異常終了の原因については、ダンプを参照してください。

システムの処置: インポート要求は失敗しました。

オペレーターの応答: 問題をシステム・プログラマーに報告してください。

CAZ3937E Import function not supported by STC: aaaa (インポート機能は STC aaaa ではサポートされていません)

説明: インポート機能は、ID が aaaa の STC ではサポートされていません。これは内部エラーです。ユーザー異常終了 U4076 理由コード 4 が生成されています。

システムの処置: インポート要求は失敗しました。

オペレーターの応答: 問題をシステム・プログラマーに報告してください。

CAZ3938I CDS function aaaa successfully processed. (CDS 機能 aaaa が正常に処理されました。)

説明: これは、共通データ・セット保管機能 aaaa が完了したことを示す通知診断メッセージです。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ3939I Input Import dataset: aaaa successfully deleted. (入力インポート・データ・セット aaaa は正常に削除されました。)

説明: インポート要求は正常に完了しました。aaaa で記述されている元の入力インポート・データ・セットは、ユーザーの要求に応じて正常に削除されました。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ3940E Error renaming dsn-1 to dsn-2. (dsn-1 から dsn-2 へ名前変更時にエラーが発生しました。) RC=aaaa.

説明: dsn-1 から dsn-2 へ名前変更を試行しましたが失敗し、aaaa で指定されている戻りコードが出されました。

システムの処置: なし。名前変更を試行した操作は失敗しました。

オペレーターの応答: 製品サポートにお問い合わせください。

CAZ3941I Common Data Store DSN: dsn (共通データ・ストア DSN: dsn)

説明: このメッセージは、初期化中に、Application Performance Analyzer が共通データ・ストア機能に使用するデータ・セットの名前 (dsn) を報告します。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ3942E mod_name Internal error: error_text (mod_name 内部エラー: error_text)

説明: これは、内部エラーについて説明する汎用メッセージです。mod_name はメッセージを出したモジュールを表し、error_text は検出されたエラーを表します。

システムの処置: 操作は失敗しました。

オペレーターの応答: 製品サポートにお問い合わせください。

CAZ3943E DYNALLOC Feedback Err=error_code, Info=information_code, SMS=reason_code (DYNALLOC フィードバック・エラー =error_code、情報 =information_code、SMS=reason_code)

説明: 共通データ・ストア・ファイルの割り振りを試行しているときに、動的割り振りエラーが発生しました。error_code、information_code、および reason_code は、それぞれ動的割り振りエラー・コード、情報コード、および SMS 理由コードを表します。

システムの処置: 共通データ・ストアは使用不可に設定され、使用できなくなります。

オペレーターの応答: 上記のエラー・コードについては、「*MVS Programming: Authorized Assembler Services Guide*」を参照してください。問題を訂正してから、Application Performance Analyzer を再始動してください。

CAZ3944E CDS file error: error_text (CDS ファイル・エラー: error_text)

説明: これは、共通データ・ストアへのアクセス中に発生したファイル関連エラーについて (error_text で) 説明する汎用メッセージです。

システムの処置: 共通データ・ストアは使用不可に設定され、使用できなくなります。

オペレーターの応答: error_text で提供されている情報に基づいて問題を修正し、Application Performance Analyzer を再始動してください。

CAZ3945E Open failed for dataset: dsn (データ・セット dsn のオープンに失敗しました。)

説明: dsn で指定されているデータ・セットのオープンを試行しているときに、オープン・エラーが発生しました。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: システムから出されたメッセージについてジョブ・ログを参照してください。問題を訂正し、Application Performance Analyzer を再始動してください。

CAZ3946I Dataset: dsn contains no members (データ・セット dsn にメンバーがありません)

説明: これは、dsn で指定されている PDSE が空であることを示す情報メッセージです。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ3947E Error reading member from dataset: dsn, member: member_name, RC=return_code (データ・セットからのメンバーの読み取り中にエラーが発生しました。データ・セット dsn、メンバー member_name、戻りコード=return_code)

説明: dsn および member_name で指定されているデータ・セットの読み取り中に、エラーが発生しました。return_code には、このエラーについて記述した内部エラー・コードが入ります。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: 製品サポートにお問い合わせください。

CAZ3948I member: member_name, in dataset: dsn empty. (データ・セット dsn のメンバー member_name が空です。)

説明: これは、データ・セット dsn の member_name で指定されたメンバーが空であることを示す情報メッセージです。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ3949S CDS Member table exhausted. (CDS メンバー・テーブルがいっぱいです。) 製品サポートにお問い合わせください。

説明: 共通データ・ストアへの新規メンバーの追加を試行しましたが、メモリー内の共通データ・ストア・テーブルがいっぱいのため、失敗しました。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: 製品サポートにお問い合わせください。

CAZ3950E User: userid not authorized to access CDS member: mem-name (ユーザー userid には、CDS メンバー mem-name にアクセスするための権限がありません。)

説明: ユーザーが、メンバー名 mem-name の共通データ・ストア・メンバーへのアクセスを試行しましたが、そのユーザーにはこのメンバーへのアクセス権限がありません。どのユーザーも、そのユーザーの TSO ユーザー ID と一致するメンバーにアクセスできません。管理者は、すべての共通データ・ストア・メンバーにアクセスできます。

システムの処置: アクセスは拒否され、機能は終了します。

オペレーターの応答: ユーザーに、そのメンバーへのアクセス権限を与えるようにしてください。

CAZ3951W Delete for Input Import dataset: *dsn* failed, *reason-text* (*r1,r2*) (入力インポート・データ・セット *dsn* の削除は失敗しました。 *reason-text* (*r1,r2*))

説明: サンプル・ファイルのインポート機能の一部として、ユーザーはさらに、入力データ・セットをインポートの完了後に削除するよう要求しました。しかし、Application Performance Analyzer の開始済みタスクは、*reason-text* で示されている理由によって、その削除は行えないと判断しました。 *r1* と *r2* の値は、製品サポートによって使用される内部コードです。入力サンプル・ファイルは正常に作成されます。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: *reason-text* で示されている情報、およびジョブ・ログに記載されているすべての追加メッセージに基づいて、問題を修正してください。修正できない場合は、製品サポートに連絡して、*reason-text*、*r1*、および *r2* の値と STC のジョブ・ログに記載されているすべての追加メッセージをお知らせください。

CAZ3952I Member: *mem-name* in dataset: *dsn* action, PIVCount=*count* (データ・セット *dsn* のメンバー *mem-name* のアクション。PIVCount=*count*)

説明: これは、メンバー *mem-name* に適用されたアクションを示す情報メッセージです。指定されるアクションは、「追加」、「置換」、または「削除」です。共通データ・ストア・データ・セットの名前は、*dsn* で指定されます。処理される変数の数は、*count* で指定されます。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ3953E Error_ action member: *mem-name* in dataset: *dsn*, STOW (RC/RSN)=(*rc/rsn*) (Error_ action。データ・セット *dsn* のメンバー *mem-name*。STOW (戻りコード/理由コード)=(*rc/rsn*))

説明: 指定された *Error_action* の実行中にエラーが検出されました。このアクションは、共通データ・ストアのデータ・セット *dsn* のメンバー *mem-name* に対して行われる「追加」、「置換」、または「削除」です。STOW マクロの戻りコードと理由コードが、それぞれ

rc および *rsn* で返されます。

システムの処置: 更新操作は失敗しました。

オペレーターの応答: STOW の戻りコードおよび理由コードに基づいて、エラーを修正してください。

CAZ3954E Member: Error detected while reading from CDS. (メンバー: CDS からの読み取り中にエラーが検出されました。)
RC=*rc*, RSN=*rsn*, Module=*mod-name*
(RC=*rc*, RSN=*rsn*, モジュール =*mod-name*)

説明: 共通データ・ストアの読み取り中にエラーが検出されました。エラーは、戻りコード (*rc*) および理由コード (*rsn*) によって示されています。障害が起きたプログラムは、モジュール (*mod-name*) によって示されています。

システムの処置: 操作は失敗しました。

オペレーターの応答: Application Performance Analyzer 開始済みタスクの共通データ・ストア SYSOUT データ・セットに追加のエラー・メッセージが含まれているかご確認のうえ、製品サポートにお問い合わせください。

CAZ3955E Member: Error detected while writing to CDS. (メンバー: CDS への書き込み中にエラーが検出されました。) RC=*rc*, RSN=*rsn*, Module=*mod-name* (RC=*rc*, RSN=*rsn*, モジュール =*mod-name*)

説明: 共通データ・ストアの書き込み中にエラーが検出されました。エラーは、戻りコード (*rc*) および理由コード (*rsn*) によって示されています。障害が起きたプログラムは、モジュール (*mod-name*) によって示されています。

システムの処置: 操作は失敗しました。

オペレーターの応答: Application Performance Analyzer 開始済みタスクの共通データ・ストア SYSOUT データ・セットに追加のエラー・メッセージが含まれているかご確認のうえ、製品サポートにお問い合わせください。

CAZ3956W Import for dataset: *aa*, requestor: *bb* failed. OIMS is down.

説明: ユーザー ID *bb* のリクエストが、データ・セット *aa* のインポートを試行しました。インポート要求は失敗しました。監視インポート・サブタスクは停止しています。

システムの処置: コマンドは終了します。

オペレーターの応答: Application Performance Analyzer STC ログを調べて、OIMS が停止した理由を判別してください。問題を訂正し、Application Performance Analyzer STC をリサイクルして、インポート要求を再試行してください。

CAZ3957I Observation hierarchy starting at request#aa successfully imported.

説明: aa で指定された要求番号を先頭に使用する監視の階層が、正常にインポートされました。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ3958I Error detected in Observation Hierarchy export file: aa; sequence#: bb; original req#: cc; new req# dd.

説明: シーケンス番号、元の要求番号、および新規の要求番号がそれぞれ bb、cc、dd であるサンプル・ファイルを含む、aa で示される監視階層ファイルが、監視階層エクスポート・ファイル作成時のエラーが原因で、不完全でした。

システムの処置: 処理を続行します。監視セッションは、サンプル・ファイルなしで作成されます。

オペレーターの応答: 監視階層ファイルの再作成を試行し、インポートを再試行してください。

CAZ3959E Invalid export file DSN pattern.

説明: 開始タスク構成ファイル内の ExportDSN パラメーターで定義された DSN パターンが、無効な DSN でした。このパターンは、このメッセージとともに表示されるメッセージ CAZ3961I に示されます。

システムの処置: 要求は失敗します。

オペレーターの応答: 開始タスク構成ファイル内の ExportDSN パラメーターの値を訂正し、Application Performance Analyzer 開始タスクをリサイクルしてください。

CAZ3960E Resolved export file DSN pattern is too long.

説明: 開始タスク構成ファイル内の ExportDSN パラメーターで定義された DSN パターンの DSN が長すぎました。このパターンは、このメッセージとともに表示されるメッセージ CAZ3961I に示されます。

システムの処置: 要求は失敗します。

オペレーターの応答: 開始タスク構成ファイル内の ExportDSN パラメーターの値を訂正し、Application

Performance Analyzer 開始タスクをリサイクルしてください。

CAZ3961I <export file DSN pattern>

説明: これは、前のエラー・メッセージとともに表示される情報メッセージです。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ3962E Import failed: unable to generate unique sample file name; DIAG=(aa, bb).

説明: インポート操作で、インポートされた監視を含めるファイルとして固有のデータ・セット名を生成できませんでした。aa 内の値は入力インポート・データ・セット名を表し、bb は生成された非固有のデータ・セット名を表します。

システムの処置: Application Performance Analyzer のインポート操作は失敗します。

オペレーターの応答: このエラーは、CONFIG SAMPLE SampleDSN パラメーター値に関連している場合があります。この値に、非固有のデータ・セット名を生成するモデル・データ・セット名が含まれている場合があります。例えば、「SampleDSN=SYS3.CAZ0.D &LYMMDD..SF」です。このモデル・データ・セット名では、1 日につき固有のサンプル・ファイルを 1 つのみ作成できます。SampleDSN を訂正し、Application Performance Analyzer 開始タスクをリサイクルして、操作を再試行してください。

| CAZ3963I Configuration update requested

| 説明: Application Performance Analyzer が CONFIG UPDATE コマンドを受け取りました。

| システムの処置: Application Performance Analyzer はコマンドを処理します。

| オペレーターの応答: なし。

| CAZ3964I CONFIG sectName parmName updated

| 説明: sectName で示されるセクションにおいて parmName で示される構成パラメーターが、CONFIG UPDATE コマンドの結果として動的に更新されました。

| システムの処置: 処理を続行します。

| オペレーターの応答: なし。

CAZ3965I CONFIG *sectName parmName* not updated

説明: *sectName* で示されるセクションにおいて I で示される構成パラメーターが変更されましたが、動的に更新することができません。Application Performance Analyzer 開始タスクが再始動されるたびに、変更は有効になります。

システムの処置: 処理を続行します。

オペレーターの応答: すぐに変更を有効にする必要がある場合は、Application Performance Analyzer を再始動してください。

CAZ3966I Configuration update completed

説明: Application Performance Analyzer は CONFIG UPDATE コマンドの処理を完了しました。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ3967I Configuration update failed

説明: Application Performance Analyzer は CONFIG UPDATE コマンドを受け取りましたが、構成入力データにエラーがありました。

システムの処置: コマンドは失敗します。構成パラメーターは更新されません。

オペレーターの応答: Application Performance Analyzer 開始タスクに記録された CMDP SYSOUT エラー・メッセージがないかどうか調べてください。

CAZ4003E *ssss-01C main: J9VM launch failed RC=nnnn (ssss-01C メイン: J9VM の起動に失敗しました RC=nnnn)*

説明: *ssss* で指定されている Application Performance Analyzer 開始タスクは、*nnnn* で示されている理由により、Java サポート用に J9VM を起動できませんでした。このメッセージは、J9VMEnable=YES が CONFIG ファイルに指定されている場合にのみ表示されます。

システムの処置: 処理を続行しますが、J9VM サポートはありません。

オペレーターの応答: 製品サポートにお問い合わせください。

CAZ4004D *xxxxxxx*

説明: これは、J9VM サポートに対する一般的な診断メッセージです。このようなメッセージは、DiagLevel 構

成オプションが 9 に設定されている場合にのみ表示されます。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ4005E JVMTI fetch failed for *xxxxxxx* (*xxxxxxx* に対する JVMTI のフェッチが失敗しました)

説明: Application Performance Analyzer JVMTI エージェントは、*xxxxxxx* で指定された実行可能プログラムをフェッチできませんでした。

システムの処置: Application Performance Analyzer JVMTI エージェントは終了します。

オペレーターの応答: 指定された Application Performance Analyzer モジュールがリンク・リストのデータ・セットにあることを確認してください。

CAZ4006E JVMTI Asmfinit rc=*xxxx* rsn=*yyyy*

説明: Application Performance Analyzer JVMTI エージェントは、予期しない戻り値をアセンブラー・サービスマジュールから受け取りました。

システムの処置: Application Performance Analyzer JVMTI エージェントは終了します。

オペレーターの応答: 製品サポートにお問い合わせください。

CAZ4007E JVMTI Concurrent sampling is not supported (JVMTI の並行サンプリングはサポートされません)

説明: Application Performance Analyzer JVMTI エージェントが同時に複数のサンプリング要求によって呼び出されました。サンプリング要求は、アドレス・スペースごとに 1 つしかサポートされません。

システムの処置: Application Performance Analyzer JVMTI エージェントは終了します。

オペレーターの応答: Java サンプリング要求を 1 つのアドレス・スペースに対して 1 つに制限してください。

CAZ4008E JVMTI Agent_OnLoad is not supported (JVMTI Agent_OnLoad はサポートされません)

説明: Application Performance Analyzer JVMTI エージェントが Java VM のロード・フェーズで呼び出されました。これはサポートされていません。このエージェントは、Application Performance Analyzer 開始タスクによ

って接続要求の結果としてロードされなければなりません。

システムの処置: JVM は終了します。

オペレーターの応答: Java ジョブの開始オプションで Application Performance Analyzer JVMTI エージェントを指定しないでください。

CAZ4009W JVMTI diagnostic file open failed
(JVMTI 診断ファイルのオープンに失敗しました)

説明: Application Performance Analyzer JVMTI エージェントは、診断ファイルをオープンできませんでした。

システムの処置: サンプルングは続行しますが、JVMTI エージェント診断はありません。

オペレーターの応答: /tmp ディレクトリが存在し、適切な許可と使用可能なスペースがあることを確認してください。

CAZ4010I J9VM support subtask started. (J9VM サポート・サブタスクは開始済みです。)

説明: これは、J9VM サポート・サブタスクが起動されたことを示します。これは、J9VMEnable=YES が構成ファイルに指定されている場合にのみ表示されます。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ4011I J9VM support subtask terminating.
(J9VM サポート・サブタスクは終了中です。)

説明: これは、J9VM サポート・サブタスクが終了中であることを示します。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ4012I File mode creation mask set to xxxxxxxx.
(ファイル・モード作成マスクが xxxxxxxx に設定されました。)

説明: USS ファイル・モード作成マスクが 16 進値 xxxxxxxx に設定されました。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ4013E Change directory request failed:
RC=aaaaaaaa RSN=bbbbbbbb. (ディレクトリ変更要求が失敗しました:
RC=aaaaaaaa RSN=bbbbbbbb.)

説明: USS 現行作業ディレクトリの変更要求が失敗しました。戻りコードは aaaaaaaaa です。理由コードは bbbbbbbb です。

システムの処置: J9VM サブタスクは終了します。

オペレーターの応答: 「UNIX System Services メッセージおよびコード」マニュアルで、戻りコードおよび理由コードを見つけてください。Application Performance Analyzer J9VM インストール済み環境に問題があるためにエラーが発生しているのか、または構成ファイル内のパラメーターが正しくないためにエラーが発生しているのかを判別してください。

CAZ4014E Spawn request failed: RC=aaaaaaaa
RSN=bbbbbbbb. (作成要求が失敗しました:
RC=aaaaaaaa RSN=bbbbbbbb.)

説明: CAZJN10I を作成するための USS 要求が失敗しました。戻りコードは aaaaaaaaa です。理由コードは bbbbbbbb です。

システムの処置: J9VM サブタスクは終了します。

オペレーターの応答: 「UNIX System Services メッセージおよびコード」マニュアルで、戻りコードおよび理由コードを見つけてください。Application Performance Analyzer J9VM インストール済み環境に問題があるためにエラーが発生しているのか、または構成ファイル内のパラメーターが正しくないためにエラーが発生しているのかを判別してください。CAZJN10I の APF 許可の拡張属性がオンに設定されていることを確認してください。

CAZ4015E Wait request failed: RC=aaaaaaaa
RSN=bbbbbbbb. (待ち要求が失敗しました:
RC=aaaaaaaa RSN=bbbbbbbb.)

説明: CAZJN10I 完了の待ち要求が失敗しました。戻りコードは aaaaaaaaa です。理由コードは bbbbbbbb です。

システムの処置: J9VM サブタスクは終了します。

オペレーターの応答: 「UNIX System Services メッセージおよびコード」マニュアルで、戻りコードおよび理由コードを見つけてください。Application Performance Analyzer J9VM インストール済み環境に問題があるためにエラーが発生しているのか、または構成ファイル内のパラメーターが正しくないためにエラーが発生しているのかを判別してください。必要な USS 許可が

CAZ4016E • CAZ4702E

Application Performance Analyzer 開始タスクにあることを確認してください。

CAZ4016E Clean up kernel resources request failed:
RC=aaaaaaaa RSN=bbbbbbbb. (カーネル・リソースのクリーンアップ要求が失敗しました: **RC=aaaaaaaa RSN=bbbbbbbb.**)

説明: USS カーネル・リソースのクリーンアップ要求が失敗しました。戻りコードは **aaaaaaaa** です。理由コードは **bbbbbbbb** です。このエラーは、Application Performance Analyzer 開始タスクが終了中の場合にのみ発生します。

システムの処置: J9VM サブタスクは終了処理を続行します。

オペレーターの応答: 「UNIX System Services メッセージおよびコード」マニュアルで、戻りコードおよび理由コードを見つけてください。Application Performance Analyzer J9VM インストール済み環境に問題があるためにエラーが発生しているのか、または構成ファイル内のパラメーターが正しくないためにエラーが発生しているのかを判別してください。必要な USS 許可が Application Performance Analyzer 開始タスクにあることを確認してください。

CAZ4019E JVMTI agent cannot find started task.

説明: プリロードされた JVMTI エージェントは Application Performance Analyzer 開始タスクを検出できませんでした。

システムの処置: JVMTI エージェントは終了します。

ユーザーの処置: JVMTI エージェントのタイムアウト値の満了前に、Application Performance Analyzer 開始タスクを開始してください。デフォルトのタイムアウト値は 1 分です。JVMTI エージェントの `-agentpath` ランタイム・パラメーターに、これより長い値を指定できません。詳しくは、「IBM Application Performance Analyzer for z/OS カスタマイズ・ガイド」を参照してください。

CAZ4020I JIDA cleanup subtask started.

説明: JIDA クリーンアップ・サブタスクが開始されました。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

CAZ4021I JIDA cleanup subtask terminating.

説明: JIDA クリーンアップ・サブタスクは終了中です。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

CAZ4700E Unable to schedule SRB for JOB
job_name. (ジョブ **job_name** の SRB をスケジュールできません。)
RC=return_code.

説明: Application Performance Analyzer は、ジョブ **job_name** によって指定されたターゲット・アドレス・スペースでサンプリング SRB をスケジュール変更できませんでした。 **return_code** は、IEAMSCHD の戻りコードを示します。

システムの処置: サンプリング要求は終了します。サンプルは使用できない可能性があります。

オペレーターの応答: IEAMSCHD の戻りコードおよび理由コードについては、「MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference」を参照してください。問題を訂正し、サンプリング要求を再実行依頼してください。

CAZ4701E Unable to schedule SRB. (SRB をスケジュールできません。) **JOB job_name and ASID X"identifier" no longer valid.** (ジョブ **job_name** および **ASID X"identifier"** は無効になっています。)

説明: Application Performance Analyzer は、ジョブ **job_name** および **ASID identifier** によって指定されたターゲット・アドレス・スペースでサンプリング SRB をスケジュール変更できませんでした。Application Performance Analyzer は、アドレス・スペースが終了したことを検出しました。

システムの処置: サンプリング要求は終了します。サンプルは使用できない可能性があります。

オペレーターの応答: サンプリング要求を再実行依頼してください。

CAZ4702E Unable to schedule SRB for JOB
job_name Abend code is X"return_code".
(ジョブ **job_name** の SRB をスケジュールできません。異常終了コードは **X"return_code"** です。)

説明: Application Performance Analyzer は、システム異常終了 **return_code** が原因で、ジョブ **job_name** によ

て指定されたターゲット・アドレス・スペースでサンプリング SRB をスケジュール変更できませんでした。異常終了の要約情報は、次のメッセージに記載されています。

システムの処置: サンプリング要求は終了します。サンプルは使用できない可能性があります。

オペレーターの応答: サンプリング要求を再実行依頼してください。

CAZ4703I 可変のテキスト・メッセージ

説明: このメッセージには、製品サポートに役立つ異常終了の要約情報が含まれています。このメッセージの前には、メッセージ CAZ4702S が表示されます。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: これらのエラー・メッセージを記録して、この問題に可能な解決策を見つけるために、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト (www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/) を参照してください。

CAZ4805E SRB ALESERV ADD failed at { initialization | EOJ }, (SRB ALESERV ADD が { initialization | EOJ } で失敗しました。) RC=return_code.

説明: Application Performance Analyzer サンプリング SRB は、サンプリング・データ・スペース ALET を追加しようとしているときにエラーを検出しました。*return_code* は、ALESERV ADD の戻りコードを示します。

システムの処置: サンプリング要求は続行されません。

オペレーターの応答: ALESERV ADD の戻りコードおよび理由コードについては、「*MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference*」を参照してください。問題を訂正し、サンプリング要求を再実行依頼してください。

CAZ4810I RESMGR ADD failed, RC=aaaaaaaaax. (RESMGR ADD が失敗しました。 RC=aaaaaaaaax.)

説明: サンプリング・セッションがリソース・マネージャーを確立しようとした。要求は、16 進値 *aaaaaaaaax* によって指定されている RESMGR 戻りコードで説明されている理由で失敗しました。

システムの処置: サンプリングは続行しますが、まれに、サンプリングがサンプリング終了機能を実行できない場合には、サンプリングに「incomplete」のマークが付けられます。

オペレーターの応答: サンプル要求を再試行してください。問題が続く場合は、製品サポートにお問い合わせください。

CAZ4811E IBM APA for z/OS's Resource Manager has abnormally terminated.

説明: Application Performance Analyzer のリソース・マネージャーが異常終了して、リカバリーしてから終了しました。

システムの処置: 通常のステップ終了処理が続行されます。

オペレーターの応答: SVC ダンプを保管して、製品サポートにお問い合わせください。

CAZ4880E User Exit: CAZDEXMR failed. (ユーザー出口 CAZDEXMR が失敗しました。) RC=rc RSN=rsn

説明: データ抽出モジュール解決ユーザー出口が失敗しました。メッセージ・テキスト内に、その出口の戻りコード (*rc*) と理由コード (*rsn*) が示されています。このメッセージは、Application Performance Analyzer 開始済みタスクの REQ#*nnnn* SYSOUT データ・セット内に表示されます。*nnnn* は、このエラーに関連付けられた監視要求の番号です。このエラー・メッセージは、メッセージ CAZ4881I とともに出力される場合があります。

システムの処置: なし。サンプリングは続行します。エラーの重大度によっては、ユーザー出口が再度呼び出されない場合もあります。

オペレーターの応答: 戻りコードおよび理由コードの説明については、「*Application Performance Analyzer for z/OS カスタマイズ・ガイド*」の付録 D を参照してください。

CAZ4881I variable text

説明: データ抽出モジュール解決ユーザー出口によって提供される、オプションのエラー・メッセージ・テキストです。このテキストは、メッセージ CAZ4880E によって報告されるエラーについて説明します。このメッセージは、Application Performance Analyzer 開始済みタスクの REQ#*nnnn* SYSOUT データ・セット内に表示されます。*nnnn* は、このエラーに関連付けられた監視要求の番号です。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: 戻りコードおよび理由コードについては、このプログラムを開発したプログラマーにお問い合わせください。

CAZ5001E CICS sampling cannot proceed - invalid JSTCB parameter detected.

説明: これは内部エラーです。

システムの処置: サンプリング要求は続行されません。

オペレーターの応答: この問題が続く場合は、この問題に可能な解決策を見つけるために、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト (www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/) を参照してください。

CAZ5002E CICS sampling cannot proceed - internal CICS version table is invalid.

説明: これは内部エラーです。

システムの処置: サンプリング要求は続行されません。

オペレーターの応答: この問題が続く場合は、この問題に可能な解決策を見つけるために、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト (www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/) を参照してください。

CAZ5003E CICS sampling cannot proceed - unsupported version of CICS; Diag=aaaaaaaa.

説明: このバージョンの CICS はサポートされません。Application Performance Analyzer は、この CICS 領域を計測できません。

システムの処置: サンプリング要求は続行されません。

オペレーターの応答: サポートされる CICS のバージョンを確認するには、「Application Performance Analyzer Program Directory」を参照してください。

CAZ5201E OPEN of CONFIG file failed (構成ファイルのオープンに失敗しました)

説明: 構成ファイルのオープンに失敗しました。このファイルは、(JCL で) DDNAME=CONFIG に割り振られています。このエラーは、CONFIG DD ステートメントがないか、ファイルが順次 FB LRECL=80 データ・セットでない場合に発生します。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: CONFIG DD ステートメントまたは構成ファイルを訂正してください。

CAZ5202E Fatal errors processing CONFIG file (構成ファイルの処理中の致命的エラー)

説明: 構成ファイルの CONFIG ステートメントでエラーが検出されました。エラーの詳細は、別個のメッセージに記載されています。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: 開始タスク構成設定の定義については、Application Performance Analyzer の「カスタマイズ・ガイド」を参照してください。

CAZ5203E Parsing error in CONFIG SM/TM (CONFIG SM/TM の構文解析エラー)

説明: これは内部エラーであり、特定の内部テンプレートが構文的に無効である場合のみ発生する可能性があります。またこのエラーは、CAZ5205E メッセージと同様に追加の詳細が記載された AJTnnnn メッセージとともに表示されます。

システムの処置: 処理は終了します。

オペレーターの応答: 問題を製品サポートに報告してください。

CAZ5204E Processing error in loadDRT of CONFIG SM /TM (CONFIG SM /TM の loadDRT の処理エラー)

説明: これは内部エラーであり、特定の内部テンプレートが構文的に無効である場合のみ発生する可能性があります。またこのエラーは、AJTnnnn メッセージとともに表示されます。

システムの処置: 処理は終了します。

オペレーターの応答: 問題を製品サポートに報告してください。

CAZ5205E Error processing object=object_name (object=object_name の処理エラー)

説明: これは内部エラーであり、特定の内部テンプレートが構文的に無効である場合のみ発生する可能性があります。このメッセージは CAZ5203E メッセージとともに表示され、エラーの発生時に処理されていた CONFIG オブジェクト (*object_name*) を示しています。

システムの処置: 処理は終了します。

オペレーターの応答: 問題を製品サポートに報告してください。

**CAZ5206E Error processing object=object_name
(object=object_name の処理エラー)**

説明: これは内部エラーであり、特定の内部テンプレートが構文的に無効である場合のみ発生する可能性があります。このメッセージは CAZ5204E メッセージとともに表示され、エラーの発生時に処理されていた CONFIG オブジェクト (object_name) を示しています。

システムの処置: 処理は終了します。

オペレーターの応答: 問題を製品サポートに報告してください。

CAZ5207I CONFIG file processed successfully (構成ファイルが正常に処理されました)

説明: これは、構成ファイルのすべてのステートメントが正常に処理されたことを示しています。

システムの処置: Application Performance Analyzer は初期化を続行します。

オペレーターの応答: なし。

**CAZ5208E CONFIG BASIC keyword:
SPXGroupName contains a value:
group_name, which matches the name of
the Sysplex. (CONFIG BASIC キーワード:
SPXGroupName に値: group_name
が含まれていますが、これはシスプレックス
の名前に一致しています。)**

説明: SPXGroupName で示されているグループ名は、シスプレックスを識別するために使用されている名前と同じです。この値は、Application Performance Analyzer グループ名として許可されていません。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: このキーワード値をコーディングする方法については、Application Performance Analyzer の「カスタマイズ・ガイド」を参照してください。

**CAZ5209E Required parameter(aaaaaaaaa) missing
for bbbbbbbb keyword: Keyword cccccccc
(必須パラメーター (aaaaaaaa) が
bbbbbbbb キーワードに欠落しています。
キーワード cccccccc)**

説明: aaaaaaaaa で示されているパラメーターが必要ですが、CONFIG オブジェクト bbbbbbbb の cccccccc で示されているキーワードに欠落しています。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: 構成ファイルのエラーを訂正して、Application Performance Analyzer を再開してください。

**CAZ5210E Rec. record_number contains invalid
object (レコード record_number に、無
効なオブジェクトが含まれています)**

説明: このメッセージは、構成ファイル内の CONFIG ステートメントのレコード番号 record_number を示しています。この CONFIG ステートメントで指定されているオブジェクトは無効です。またこのエラーは、CAZ5202E メッセージとともに表示されます。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: 開始タスク構成設定の定義については、Application Performance Analyzer の「カスタマイズ・ガイド」を参照してください。

**CAZ5211E Rec. record_number contains errors (レ
コード record_number に、エラーが含ま
れています)**

説明: このメッセージは、CONFIG ステートメントの構文解析中にエラーが検出されたことを示しています。レコード番号は、CONFIG ステートメントが始まる構成ファイル・レコードを示しています。実際のエラーは、継続レコードで検出されることがあります。1 つ以上のエラー・メッセージが、エラーに関する情報を提供する AJTnnnnE の形式でパーサーによって出されます。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: 開始タスク構成設定の定義については、Application Performance Analyzer の「カスタマイズ・ガイド」を参照してください。

**CAZ5219E 'CONFIG SAMPLE'
Keyword:DB2Explain, specified a
mutually exclusive subsystem value
(CONFIG SAMPLE のキーワード
DB2Explain に、相互に排他的なサブシ
ステム値が指定されています。)**

説明: このメッセージは、サブシステム値 "*" が、DB2Explain キーワードの最初のオカレンス以外に指定されたことを示しています。DB2Explain キーワードにサブシステム値 "*" が指定されている場合、それ以上の DB2Explain キーワードのオカレンスは許可されません。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: 構成ファイルのエラーを訂正して、Application Performance Analyzer を再開してください。

CAZ5212I Rec. record_number processed successfully
(レコード record_number は正常に処理されました)

説明: レコード番号は、CONFIG ステートメントが始まる構成ファイルのレコードを示しています。これは、CONFIG ステートメントが正常に処理されたことを示しています。

システムの処置: Application Performance Analyzer は初期化を続行します。

オペレーターの応答: なし。

CAZ5213E Rec. record_number unrecognized syntax
(レコード record_number の認識されない構文)

説明: レコード番号は、認識できないステートメントが検出された構成ファイル・レコードを示しています。構文 CONFIG jobname ... のステートメントが予想されていました。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: 構成ファイルのエラーを訂正して、ジョブを再開してください。

CAZ5214E Rec. record_number expression ended prematurely (レコード record_number の式が早期終了しました)

説明: レコード番号は、CONFIG ステートメントが始まる構成ファイル・レコードを示しています。CONFIG ステートメントの終わりになる前に、構成ファイルの終わりが検出されました。これは、おそらく式の終わりに現れる必要があるセミコロン区切り文字が欠落していることが原因になっています。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: 構成ファイルのエラーを訂正して、ジョブを再開してください。

CAZ5215E Invalid value for CONFIG object_name
keyword: keyword [, Positional Parm: value] [; Value: invalid_value (CONFIG object_name の無効値キーワード keyword [, 定位置パラメーター: value] [; 値: invalid_value)

説明: object_name という名前の CONFIG オブジェクトの値に、無効値を指定した keyword という名前のキーワードが含まれていました。キーワードが複数の定位置パラメーターをサポートしている場合、数値位置は value によって指定されます。このメッセージには、invalid_value が表示される場合もあります。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: 構成ファイルのエラーを訂正して、Application Performance Analyzer を再開してください。

CAZ5216E UNIT: value in 'CONFIG BASIC' could not be found in EDT. (UNIT: 'CONFIG BASIC' の value が EDT に見つかりませんでした。)

説明: CONFIG BASIC オブジェクトで UNIT キーワードに指定した値が、システムに定義されていません。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: 構成ファイルのエラーを訂正して、ジョブを再開してください。

CAZ5217E Error validating 'CONFIG BASIC' UNIT: value. ('CONFIG BASIC' UNIT: value の妥当性検査エラー。) EDTINFO RC=return_code RSN=reason_code.

説明: CONFIG BASIC UNIT 値の妥当性検査中に EDTINFO エラーが発生しました。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: この問題に可能な解決策を見つけるには、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト (www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/) を参照してください。

CAZ5218E Invalid value for CONFIG LOG Keyword LogHLQ (CONFIG LOG Keyword LogHLQ の値が無効です)

説明: LogHLQ は、DSN 標準に準拠していません。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: 構成ファイルの LogHLQ パラメーターを訂正して、ジョブを再開してください。

CAZ5219E 'CONFIG SAMPLE' Keyword: DB2Explain, specified a mutually exclusive subsystem value. (CONFIG SAMPLE のキーワード DB2Explain に、相互に排他的なサブシステム値が指定されています。)

説明: このメッセージは、サブシステム値 "*" が、DB2Explain キーワードの最初のおカレンス以外に指定されたことを示しています。DB2Explain キーワードにサブシステム値 "*" が指定されている場合、それ以上の Explain キーワードのおカレンスは許可されません。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: 構成ファイルのエラーを訂正して、Application Performance Analyzer を再開してください。

CAZ5220E Invalid ADATA File. (無効な ADATA ファイル。)

説明: このエラーは、アセンブリー ADATA ファイルからソース・プログラム・マッピング情報を抽出しようとしていたときに発生した可能性があります。これは、ADATA ファイルにソース・タイプ・レコード (タイプ X'0030') がなかったか、ジョブ ID (タイプ X'0000') レコードがなかったことを示しています。これらの状態はおそらく、ADATA ファイルが無効であることを示しています。

システムの処置: ISPF ダイアログは終了します。

オペレーターの応答: エラーのプログラムを再組み立てすることで ADATA ファイルを再作成して、操作を再試行してください。

CAZ5221E Invalid map type requested (無効なマップ・タイプが要求されました)

説明: このエラーは、要求されたマップ・タイプが認識されない場合に発生します。

システムの処置: ISPF ダイアログは終了します。

オペレーターの応答: この問題に可能な解決策を見つけるには、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト (www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/) を参照してください。

CAZ5223E PROGRAM-ID found in COBOL program (COBOL プログラムに PROGRAM-ID が見つかりました)

説明: このエラーは、PROGRAM-ID ステートメントが

要求された COBOL ソース・ファイルに見つからなかった場合に発生します。Application Performance Analyzer は、PROGRAM-ID ステートメントが見つからなかった場合は、プログラムの CSECT 名を判別できません。

システムの処置: ISPF ダイアログは終了します。

オペレーターの応答: 有効な COBOL ソース・リストがプログラムに関連付けられていたことを確認してください。関連付けられていなかった場合は、定義を訂正して、操作を再試行してください。

CAZ5224E Invalid compiler listing (無効なコンパイラー・リスト)

説明: このエラーは、コンパイラー・リストが空か不完全な場合に発生します。

システムの処置: ISPF ダイアログは終了します。

オペレーターの応答: 有効なコンパイラー・リストがプログラムに関連付けられていたことを確認してください。関連付けられていなかった場合は、定義を訂正して、操作を再試行してください。

CAZ5225E Unrecognized compiler (認識されないコンパイラー)

説明: このエラーは、リストからコンパイラーのタイプまたはバージョンを認識できない場合に発生します。

システムの処置: ISPF ダイアログは終了します。

オペレーターの応答: 有効なコンパイラー・リストがプログラムに関連付けられていたことを確認してください。関連付けられていなかった場合は、定義を訂正して、操作を再試行してください。

CAZ5226E Required compile options not present (必須指定のコンパイル・オプションが存在しません)

説明: このエラーは、コンパイラー・リストに、必須指定のオプションがリストされていない場合に発生します。例えば、COBOL プログラムは、SOURCE および (MAP または LIST) オプションを使用してコンパイルする必要があります。

システムの処置: ISPF ダイアログは終了します。

オペレーターの応答: 正しいコンパイラー・オプションについては、Application Performance Analyzer の「ユーザーズ・ガイド」を参照してください。これらのオプションを使用してプログラムを再コンパイルして、操作を再試行してください。

CAZ5231E Rec. *record_number* contains errors (レコード *record_number* に、エラーが含まれています)

説明: PRINT 制御ステートメントにエラーが含まれていました。*record_number* は、エラーのステートメントの入力行番号を示しています。このメッセージの後に、メッセージ CAZ5232E が表示されます。

システムの処置: PRINT 処理は終了します。

オペレーターの応答: CAZCTL 入力を訂正して、ジョブを再実行してください。

CAZ5232E Invalid report code in SECTION statement (SECTION ステートメントに無効なレポート・コードがあります)

説明: PRINT 制御ステートメントは、SECTION ステートメントに不明なレポート・コードを指定しました。このメッセージは、メッセージ CAZ5231E の後に表示されます。

システムの処置: PRINT 処理は終了します。

オペレーターの応答: CAZCTL 入力を訂正して、ジョブを再実行してください。

CAZ5233E Missing or unrecognizable report code in SECTION statement (SECTION ステートメントにレポート・コードが欠落しているか、認識できません)

説明: PRINT 制御ステートメントは、SECTION ステートメントに除外されたレポート・コードを指定しました。このメッセージは、メッセージ CAZ5231E の後に表示されます。

システムの処置: PRINT 処理は終了します。

オペレーターの応答: CAZCTL 入力を訂正して、ジョブを再実行してください。

CAZ5234E CAZCTL file contains no valid statements (CAZCTL ファイルに有効なステートメントが含まれていません)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォーマット機能 CAZPRINT によって出されます。DD 名 CAZCTL に指定されたレポートの事前スキャン中に、CAZPRINT は有効なステートメントを検出ませんでした。

システムの処置: PRINT 処理は終了します。

オペレーターの応答: CAZCTL 入力を訂正して、ジョブを再実行してください。

CAZ5235E No PROFILE statement found (PROFILE ステートメントがありませんでした)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォーマット機能 CAZPRINT によって出されます。PROFILE ステートメントが CAZCTL 入力ファイルにありませんでした。少なくとも 1 つの PROFILE ステートメントが必要です。PROFILE ステートメントは、レポートを作成する計測ファイルを指定します。

システムの処置: PRINT 処理は終了します。

オペレーターの応答: JCL または CAZCTL 入力を訂正して、ジョブを再実行してください。

CAZ5236E No SECTION statement found (SECTION ステートメントがありませんでした)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォーマット機能 CAZPRINT によって出されます。SECTION ステートメントが CAZCTL 入力ファイルにありませんでした。少なくとも 1 つの SECTION ステートメントが必要です。SECTION ステートメントは、パフォーマンス分析レポートに含めるセクションを指定します。

システムの処置: PRINT 処理は終了します。

オペレーターの応答: JCL または CAZCTL 入力を訂正して、ジョブを再実行してください。

CAZ5237E No PRINT or CONVERT statement found (PRINT または CONVERT ステートメントがありませんでした)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォーマット機能 CAZPRINT によって出されます。PRINT または CONVERT ステートメントが CAZCTL 入力ファイルにありませんでした。少なくとも 1 つの PRINT または CONVERT ステートメントが必要です。PRINT または CONVERT は、パフォーマンス分析レポートの宛先を指定します。

システムの処置: PRINT 処理は終了します。

オペレーターの応答: JCL または CAZCTL 入力を訂正して、ジョブを再実行してください。

CAZ5238E PROFILE statement must precede SECTION statement (PROFILE ステートメントが SECTION ステートメントの前に必要です)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォー

マット機能 CAZPRINT によって出されます。CAZCTL 入力ファイルに、PROFILE ステートメントが前がない SECTION ステートメントが検出されました。PROFILE ステートメントは、レポートを作成する計測ファイルを指定します。これは、対応する SECTION ステートメントの前に現れる必要があります。

システムの処置: PRINT 処理は終了します。

オペレーターの応答: JCL または CAZCTL 入力を訂正して、ジョブを再実行してください。

CAZ5239E PROFILE statement must precede MAP statement (PROFILE ステートメントが MAP ステートメントの前に必要です)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォーマット機能 CAZPRINT によって出されます。CAZCTL 入力ファイルに、PROFILE ステートメントが前がない MAP ステートメントが検出されました。PROFILE ステートメントは、レポートを作成する計測ファイルを指定します。これは、対応する MAP ステートメントの前に現れる必要があります。

システムの処置: PRINT 処理は終了します。

オペレーターの応答: JCL または CAZCTL 入力を訂正して、ジョブを再実行してください。

CAZ5240E SECTION statement must precede PRINT statement (SECTION ステートメントが PRINT ステートメントの前に必要です)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォーマット機能 CAZPRINT によって出されます。CAZCTL 入力ファイルに、SECTION ステートメントが前がない PRINT ステートメントが検出されました。

システムの処置: PRINT 処理は終了します。

オペレーターの応答: JCL または CAZCTL 入力を訂正して、ジョブを再実行してください。

CAZ5241E PROFILE Stmt at record record_number specifies slot slot_number used in a previous PROFILE (レコード record_number にある PROFILE ステートメントが、前の PROFILE で使用されていたスロット slot_number を指定しています)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォーマット機能 CAZPRINT によって出されます。PROFILE ステートメント record_number が、前の PROFILE ステートメントで既に指定されていたスロッ

ト番号 slot_number (01 から 99) を指定しました。それぞれの PROFILE ステートメントは、固有のスロット値を指定する必要があります。

システムの処置: PRINT 処理は終了します。

オペレーターの応答: JCL または CAZCTL 入力を訂正して、ジョブを再実行してください。

CAZ5242E SECTION Stmt at record record_number specifies slot slot_number not specified in a PROFILE stmt (レコード record_number にある SECTION ステートメントが、PROFILE ステートメントで指定されていないスロット slot_number を指定しています)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォーマット機能 CAZPRINT によって出されます。SECTION ステートメント record_number が、PROFILE ステートメントで前に指定されていないスロット番号を (その PROFILE=slot_number パラメーター内で) 指定しました。PROFILE=slot_number パラメーターが指定された SECTION ステートメントは、デフォルトをスロット 01 に設定する作業を省略しました。

システムの処置: PRINT 処理は終了します。

オペレーターの応答: JCL または CAZCTL 入力を訂正して、ジョブを再実行してください。

CAZ5243E Print file for ddname ddname open failure (DD 名 ddname の印刷ファイルのオープンの失敗)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォーマット機能 CAZPRINT によって出されます。示された DD 名の出力ファイルをオープンできませんでした。DD 名は PRINT ステートメントで指定され、対応する DD ステートメントを JCL に含める必要があります。

システムの処置: PRINT 処理は終了します。

オペレーターの応答: JCL または CAZCTL 入力を訂正して、ジョブを再実行してください。

CAZ5244E PRINT for ddname ddname has no SECTION definitions (DD 名 ddname の PRINT に SECTION 定義がありません)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォーマット機能 CAZPRINT によって出されます。対応する SECTION ステートメントが処理されなかった PRINT ステートメントが検出されました。SECTION ステートメントは、PRINT ステートメントの前に置く必要があります。

システムの処置: PRINT 処理は終了します。

オペレーターの応答: JCL または CAZCTL 入力を訂正して、ジョブを再実行してください。

CAZ5245E File for ddname *ddname* open failure
(DD 名 *ddname* のファイルのオープンの失敗)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォーマット機能 CAZPRINT によって出されます。示された DD 名の出力ファイルをオープンできませんでした。DD 名は CONVERT ステートメントで指定され、対応する DD ステートメントを JCL に含める必要があります。

システムの処置: PRINT 処理は終了します。

オペレーターの応答: JCL または CAZCTL 入力を訂正して、ジョブを再実行してください。

CAZ5246E CONVERT for ddname *ddname* has no SECTION definitions (DD 名 *ddname* の CONVERT に SECTION 定義がありません)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォーマット機能 CAZPRINT によって出されます。対応する SECTION ステートメントが処理されなかった CONVERT ステートメントが検出されました。SECTION ステートメントは、CONVERT ステートメントの前に置く必要があります。

システムの処置: PRINT 処理は終了します。

オペレーターの応答: JCL または CAZCTL 入力を訂正して、ジョブを再実行してください。

CAZ5247E MAP statement at record *record_number* specifies slot *slot_number* not specified in a PROFILE stmt (レコード *record_number* にある MAP ステートメントが、PROFILE ステートメントで指定されていないスロット *slot_number* を指定しています)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォーマット機能 CAZPRINT によって出されます。MAP ステートメント *record_number* が、対応する PROFILE ステートメントがなかったスロット番号 *slot_number* を PROFILE=*slot_number* で指定しました。

システムの処置: PRINT 処理は終了します。

オペレーターの応答: JCL または CAZCTL 入力を訂正して、ジョブを再実行してください。

CAZ5249E MAP statement at record *record_number* specifies invalid DSN value (レコード *record_number* にある MAP ステートメントが、無効な DSN 値を指定しています)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォーマット機能 CAZPRINT によって出されます。MAP ステートメントの DSN パラメーターが、構文的に正しくないデータ・セット名を指定しました。

システムの処置: PRINT 処理は終了します。

オペレーターの応答: JCL または CAZCTL 入力を訂正して、ジョブを再実行してください。

CAZ5250E MAP statement at record *record_number* specifies invalid MEMBER value (レコード *record_number* にある MAP ステートメントが、無効な MEMBER 値を指定しています)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォーマット機能 CAZPRINT によって出されます。MAP ステートメントの MEMBER パラメーターが、構文的に正しくない PDS メンバー名を指定しました。

システムの処置: PRINT 処理は終了します。

オペレーターの応答: JCL または CAZCTL 入力を訂正して、ジョブを再実行してください。

CAZ5251E MAP statement at record *record_number* specified data set not found (レコード *record_number* にある MAP ステートメントが指定したデータ・セットがありません)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォーマット機能 CAZPRINT によって出されます。MAP ステートメントの DSN パラメーターで指定されたデータ・セットがカタログにありませんでした。

システムの処置: PRINT 処理は終了します。

オペレーターの応答: JCL または CAZCTL 入力を訂正して、ジョブを再実行してください。

CAZ5252E MAP statement at record *record_number* specifies data set with incorrect DSORG (レコード *record_number* にある MAP ステートメントが、正しくない DSORG を持つデータ・セットを指定しています)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォーマット機能 CAZPRINT によって出されます。MAP ス

テートメントが、正しくない組織を持つデータ・セットを指定しました。このエラーは、指定されたデータ・セットが区分化されているのに MAP ステートメントで MEMBER が指定されていなかったか、またはデータ・セットが区分化されていないのに MAP ステートメントで MEMBER が指定されていた場合に発生する可能性があります。

システムの処置: PRINT 処理は終了します。

オペレーターの応答: JCL または CAZCTL 入力を訂正して、ジョブを再実行してください。

CAZ5253E MAP statement at record *record_number* specifies previously loaded map file (レコード *record_number* にある MAP ステートメントが、前にロードされたマップ・ファイルを指定しています)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォーマット機能 CAZPRINT によって出されます。MAP ステートメントが、前の MAP ステートメントによって既に処理されたソース・マッピング・データ・セットを指定しました。

システムの処置: PRINT 処理は終了します。

オペレーターの応答: JCL または CAZCTL 入力を訂正して、ジョブを再実行してください。

CAZ5254E MAP statement at record *record_number* specifies member that cannot be located (レコード *record_number* にある MAP ステートメントが、見つからないメンバーを指定しています)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォーマット機能 CAZPRINT によって出されます。MAP ステートメントが、指定されたライブラリーになかった PDS メンバーを指定しました。

システムの処置: PRINT 処理は終了します。

オペレーターの応答: JCL または CAZCTL 入力を訂正して、ジョブを再実行してください。

CAZ5255E MAP statement at record *record_number* data set allocation failed (レコード *record_number* にある MAP ステートメントのデータ・セットの割り振りに失敗しました)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォーマット機能 CAZPRINT によって出されます。MAP ステートメントで指定されたデータ・セットの割り振りに失敗しました。

システムの処置: PRINT 処理は終了します。

オペレーターの応答: JCL または CAZCTL 入力を訂正して、ジョブを再実行してください。

CAZ5256I MAP statement at record *record_number* source mapped to CSECT *CSECT_name* (レコード *record_number* にある MAP ステートメントのソースが CSECT *CSECT_name* にマップされました)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォーマット機能 CAZPRINT によって出されます。これは情報メッセージです。MAP ステートメントに記述されたソース・マッピング・データが正常にロードされ、計測データの示された CSECT にマップされたことを示します。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ5257W MAP statement at record *record_number* no matching CSECTs found (レコード *record_number* にある MAP ステートメントに一致する CSECT がありません)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォーマット機能 CAZPRINT によって出されます。このメッセージは警告です。これは、MAP ステートメントで指定されているソース・マッピング・データは正常にロードされたが、このデータによってマップされたプログラムの計測ファイルにデータが存在しないことを示しています。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ5258I Prescan of control statements completed (制御ステートメントの事前スキャンが完了しました)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォーマット機能 CAZPRINT によって出されます。これは、CAZCTL ステートメントの初期の事前スキャンが正常に行われたことを示す通常のお知らせメッセージです。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ5259I Syntax checking of control statements completed (制御ステートメントの構文検査が完了しました)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォー

CAZ5260W • CAZ5265E

マット機能 CAZPRINT によって出されます。これは、CAZCTL ステートメントが構文検査され、エラーが見つからなかったことを示す通常の通知メッセージです。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ5260W Name *program_name* specified in record *record_number* not found in measurement data (レコード *record_number* で指定された名前 *program_name* が計測データにありません)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォーマット機能 CAZPRINT によって出されます。これは警告です。ソース・マッピング・レポートの SECTION ステートメントが、計測データが見つからなかったプログラム名を PROGRAM= パラメーターで指定しました。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: JCL または CAZCTL 入力を訂正して、ジョブを再実行してください。

CAZ5261W Name *program_name* specified in record *record_number* not specified in a MAP statement (レコード *record_number* で指定された名前 *program_name* が MAP ステートメントで指定されていません)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォーマット機能 CAZPRINT によって出されます。これは警告です。ソース・マッピング・レポートの SECTION ステートメントが、MAP ステートメントでソース・マッピング・データが指定されていないプログラム名を PROGRAM= パラメーターで指定しました。これは警告です。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ5262I SECTION *section_name* (record *record_number*) excluded because no *data_type* measurement data exists (*data_type* 計測データが存在していないため、セクション *section_name* (レコード *record_number*) は除外されました)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォーマット機能 CAZPRINT によって出されます。これは通知メッセージです。これは、SECTION ステートメントで指定されたレポート・セクション *section_name* が、そのレポート・セクションに関連する特定タイプのデータが計測ファイルに存在しないため除外されたことを示

しています。例えば、DB2 レポート・セクションが指定されたが、DB2 アクティビティーが計測されなかった場合などです。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ5263E COBOL compile options heading not found (COBOL コンパイル・オプション見出しが見つかりません)

説明: このエラーは、COBOL コンパイル・リスト・ファイルの処理中に発生します。1 桁目にテキスト「OPTIONS IN EFFECT:」または「*OPTIONS IN EFFECT*」を含む行が見つかりませんでした。これは、コンパイル・オプションについての情報を含むページで必要な見出しです。このテキストの突き合わせでは大/小文字は区別されません。

システムの処置: COBOL コンパイル・リスト・ファイルを処理できません。

オペレーターの応答: COBOL コンパイル・リスト・ファイルが有効であることを確認してください。

CAZ5264E No source statements found after compile options (コンパイル・オプションの後にソース・ステートメントがありません)

説明: このエラーは、COBOL コンパイル・リスト・ファイルの処理中に発生します。テキスト「OPTIONS IN EFFECT:」または「*OPTIONS IN EFFECT*」を含む行が見つかり、コンパイル・オプション情報が抽出されました。リスト・ファイルのオプション情報の後にソース行があることが予想されていましたが、そのようなレコードはありませんでした。ファイルが、コンパイル・オプション・セクションの途中で切り捨てられた可能性があります。このセクションの終わりは、1 桁目から 4 桁目にブランクを含むレコードで識別されます。

システムの処置: COBOL コンパイル・リスト・ファイルを処理できません。

オペレーターの応答: COBOL コンパイル・リスト・ファイルが有効であることを確認してください。

CAZ5265E PMAP (OFFSET) section not found in COBOL listing (PMAP (OFFSET) セクションが COBOL リストにありません)

説明: このエラーは、COBOL コンパイル・リスト・ファイルの処理中に発生します。1 桁目にテキスト「LINE # HEXLOC VERB」を含む行が、リスト・ファイルに見つかりませんでした。これは、PMAP オフセット情報を含むページで予想される見出しです。このテキ

ストの突き合わせでは大/小文字は区別されません。

システムの処置: COBOL コンパイル・リスト・ファイルを処理できません。

オペレーターの応答: COBOL コンパイル・リスト・ファイルが有効であることを確認してください。

CAZ5266E File ended after PMAP heading (ファイルが PMAP 見出しの後で終了しました)

説明: このエラーは、COBOL コンパイラ・リスト・ファイルの処理中に発生します。「LINE # HEXLOC VERB」を含む PMAP 見出しレコードが見つかりましたが、PMAP 明細行の処理中に予期しない EOF が検出されました。ファイルが切り捨てられた可能性があります。

システムの処置: COBOL コンパイル・リスト・ファイルを処理できません。

オペレーターの応答: COBOL コンパイル・リスト・ファイルが有効であることを確認してください。

CAZ5267E COBOL source listing ended prematurely (COBOL ソース・リストが早期終了しました)

説明: 最初の 3 レコード以内で、COBOL ソース・リスト・ファイルに EOF が検出されました。

システムの処置: COBOL コンパイル・リスト・ファイルを処理できません。

オペレーターの応答: COBOL コンパイル・リスト・ファイルが有効であることを確認してください。

CAZ5268E COBOL source heading line not found (COBOL ソース見出し行が見つかりません)

説明: このエラーは、1 桁目に「LINEID PL SL」を含む行が見つからない場合に、COBOL リスト・ファイルの事前スキャン中に発生します。これは、COBOL ソース・ステートメントを含むページで予想される見出しです。突き合わせでは大/小文字は区別されません。

システムの処置: COBOL コンパイル・リスト・ファイルを処理できません。

オペレーターの応答: COBOL コンパイル・リスト・ファイルが有効であることを確認してください。

CAZ5288E SYSDEBUG allocate error (SYSDEBUG 割り振りエラー)

説明: SYSDEBUG データ・セットを割り振ることができません。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: これは、データ・セット名のエラーと考えられます。A01、A04、または A05 パネルで入力したデータ・セット名を確認してください。

CAZ5289E SYSDEBUG deallocate error (SYSDEBUG 割り振り解除エラー)

説明: SYSDEBUG データ・セットを割り振り解除しようとしてエラーが発生しました。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: データ・セットはまだ割り振られています。ISRDDN を使用してデータ・セットの解放を試行するか、ISPF フロントエンドを終了してから再入してください。

CAZ5290E SYSDEBUG open error (member not found) (SYSDEBUG オープン・エラー (メンバーが見つかりません))

説明: A01 パネルで入力されたメンバー名が見つからなかったか、SYSDEBUG データ・セット内にないモジュールのソース・マップが試行されました。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: メンバー名が正しく入力されていて、そのメンバーが SYSDEBUG データ・セット内に存在することを確認してください。

CAZ5291E SYSDEBUG close error (SYSDEBUG クローズ・エラー)

説明: SYSDEBUG データ・セットのクローズ中にエラーが発生しました。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: SYSDEBUG データ・セットは、使用後に適切にクローズしませんでした。ISRDDN を使用して割り振り解除するか、ISPF フロントエンドを終了してから再入してください。

CAZ5292E SYSDEBUG read error (SYSDEBUG 読み取りエラー)

説明: SYSDEBUG データ・セットの読み取り中にエラーが発生しました。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: SYSDEBUG メンバーのエラーが考えられます。コマンドを再試行して、再び失敗する場合は、このメンバーをソース・マッピングに使用することはできません。別のソース・メンバーをソース・マッピング用に選択してください。

**CAZ5293E SYSDEBUG decompress error
(SYSDEBUG 圧縮解除エラー)**

説明: SYSDEBUG メンバーの圧縮解除中にエラーが発生しました。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: SYSDEBUG メンバーのエラーが考えられます。コマンドを再試行して、再び失敗する場合は、このメンバーをソース・マッピングに使用することはできません。別のソース・メンバーをソース・マッピング用に選択してください。

**CAZ5294E SYSDEBUG unable to allocate storage
(SYSDEBUG はストレージを割り振ることができません)**

説明: SYSDEBUG メンバーにストレージを割り振ろうとしてエラーが発生しました。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: SYSDEBUG メンバーをロードするために必要なストレージを割り振るのに十分なストレージが TSO アドレス・スペースにありません。その他のタスクを終了してストレージの解放を試行するか、ログオン時にストレージを再割り振りしてください。

**CAZ5295E SYSDEBUG invalid function code
(SYSDEBUG の無効な機能コード)**

説明: SYSDEBUG ユーティリティに無効な機能コードが渡されました。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: これは内部エラーです。エラーをシステム管理者に報告してください。

**CAZ5296E SYSDEBUG invalid file attributes
(SYSDEBUG の無効なファイル属性)**

説明: SYSDEBUG の属性が、SYSDEBUG データ・セットには無効です。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: Application Performance Analyzer で SYSDEBUG データ・セットとして定義されたデータ・セットに、正しい属性が指定されていません。SYSDEBUG データ・セットであることを検査するか、定義を正しいタイプに変更してください。

**CAZ5297E SYSDEBUG not a side file (verification failed)
(SYSDEBUG はサイド・ファイルではありません (検証は失敗しました))**

説明: 処理中の SYSDEBUG メンバーから無効データが返されました。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: SYSDEBUG データ・セットからロードされているメンバーは無効です。SYSDEBUG データ・セットであることを検査するか、定義を正しいタイプに変更してください。

**CAZ5298E SYSDEBUG unexpected end-of-file
(SYSDEBUG の予期しないファイル終了)**

説明: SYSDEBUG ファイルに対して、予期される前にファイル終了が返されました。ロードされている SYSDEBUG メンバーは不完全で、ロードできません。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: エラーをシステム管理者に報告してください。

**CAZ5299E SYSDEBUG module CAZISFM not found
(SYSDEBUG モジュール CAZISFM が見つかりません)**

説明: モジュール CAZISFM は、SYSDEBUG ファイルの読み取りと圧縮解除のために必要です。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: CAZISFM メンバーが Application Performance Analyzer 許可ライブラリー *hlq.SCAZAUTH* にあることを確認してください。

**CAZ5302E Error validating 'CONFIG BASIC'
Keyword: SecurityClassName, Value: class_name. ('CONFIG BASIC' キーワード: SecurityClassName の検査中にエラー。値: class_name)**

説明: このメッセージは、2 部構成のメッセージの最初のものです。class_name で示されているクラス名に妥当性検査エラーがあったことを示しています。このエラーについて詳しくは、メッセージ CAZ5303E を調べてください。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: メッセージ CAZ5303E を参照してください。

CAZ5303E RACROUTE REQUEST=STAT error:
SAF_RC=saf_retcode, RACF_(RC,RSN) =
(racf_retcode,racf_rsncode). (RACROUTE
REQUEST=STAT エラー:
SAF_RC=saf_retcode, RACF_(RC,RSN)
= (racf_retcode,racf_rsncode))

説明: このメッセージは CAZ5302E とともに出され、問題の詳細を提供します。Application Performance Analyzer が、RACROUTE REQUEST=STAT サービスを実行することによって、キーワード: SecurityClassName で示されているクラス名の存在を検査しようと試みました。このサービスは、示されているエラーで失敗しました。

以下のエラー・コードについて詳しくは、「*z/OS Security Server RACROUTE マクロ解説書*」を参照してください。

- saf_retcode - SAF 戻りコードを表します。
- racf_retcode - RACF® 戻りコードを表します。(適用可能な場合)
- racf_rsncode - RACF 理由コードを表します。(適用可能な場合)

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: エラー・コードによって与えられている情報に基づいて、エラーを訂正してください。

CAZ5304E MLPA data set not found. (MLPA データ・セットが見つかりません。)

説明: 指定したデータ・セットがカタログにないか、またはデータ・セットはカタログにあるが、カタログ項目で指定されたボリューム上にありません。

システムの処置: 開始タスクは初期化されません。

オペレーターの応答: 指定したデータ・セット名を訂正し、開始タスクを再始動してください。

CAZ5305E Invalid Extractor (抽出が無効です)

説明: CAZCNFG0 メンバーのパラメーター ExtractorsOnByDefault に無効な抽出がコーディングされています。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: ExtractorsOnByDefault の無効なパラメーターを訂正または除去して、Application Performance Analyzer 開始タスクを再始動してください。有効な抽出値については、インストール・ガイドを参照してください。

CAZ5306E DB2+ cannot be selected when DB2I not enabled (DB2I が使用可能になっていないと、DB2+ を選択することはできません)

説明: パラメーター ExtractorsOnByDefault に DB2+ がコーディングされていますが、DB2I が使用可能になっていません。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: 構成で DB2I=Yes を設定するか、ExtractorsOnByDefault から DB2+ を除去して、Application Performance Analyzer 開始タスクを再始動してください。

CAZ5307E DB2V cannot be selected when DB2I not enabled (DB2I が使用可能になっていないと、DB2V を選択することはできません)

説明: パラメーター ExtractorsOnByDefault に DB2V がコーディングされていますが、DB2I が使用可能になっていません。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: 構成で DB2I=Yes を設定するか、ExtractorsOnByDefault から DB2+ を除去して、Application Performance Analyzer 開始タスクを再始動してください。

CAZ5308E IMS+ cannot be selected when IMSI not enabled (IMSI が使用可能になっていないと、IMS+ を選択することはできません)

説明: パラメーター ExtractorsOnByDefault に IMS+ がコーディングされていますが、IMSI が使用可能になっていません。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: 構成で IMSI=Yes を設定するか、ExtractorsOnByDefault から IMS+ を除去して、Application Performance Analyzer 開始タスクを再始動してください。

CAZ5311E SECTION statement must precede CONVERT statement (SECTION ステートメントが CONVERT ステートメントの前に必要です)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォーマット機能 CAZPRINT によって出されます。CAZCTL 入力ファイルに、SECTION ステートメントが前がない

CAZ5312E • CAZ5317E

CONVERT ステートメントが検出されました。

システムの処置: CAZPRINT 処理は終了します。

オペレーターの応答: JCL または CAZCTL ステートメントを訂正して、ジョブを再実行してください。

CAZ5312E PRINT statement cannot be specified with CONVERT FORMAT=XML (PRINT ステートメントは CONVERT FORMAT=XML と一緒に指定できません)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォーマット機能 CAZPRINT によって出されます。CAZCTL 入力ファイルで CONVERT FORMAT=XML ステートメントの後に PRINT ステートメントが検出されました。CAZPRINT 機能の 1 回の実行で、印刷ファイルと XML 文書ファイルを要求することはできません。

システムの処置: CAZPRINT 処理は終了します。

オペレーターの応答: JCL または CAZCTL ステートメントを訂正して、ジョブを再実行してください。

CAZ5313E CONVERT FORMAT=PDF cannot be specified with CONVERT FORMAT=XML (CONVERT FORMAT=PDF は CONVERT FORMAT=XML と一緒に指定できません)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォーマット機能 CAZPRINT によって出されます。CAZCTL 入力ファイルで CONVERT FORMAT=XML ステートメントの後に CONVERT FORMAT=PDF ステートメントが検出されました。CAZPRINT 機能の 1 回の実行で、PDF ファイルと XML 文書ファイルを要求することはできません。

システムの処置: CAZPRINT 処理は終了します。

オペレーターの応答: JCL または CAZCTL ステートメントを訂正して、ジョブを再実行してください。

CAZ5314E CONVERT FORMAT=XML cannot be specified with PRINT statement (CONVERT FORMAT=XML は PRINT ステートメントと一緒に指定できません)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォーマット機能 CAZPRINT によって出されます。CAZCTL 入力ファイルで PRINT ステートメントの後に CONVERT FORMAT=XML ステートメントが検出されました。CAZPRINT 機能の 1 回の実行で、XML 文書

ファイルと印刷ファイルを要求することはできません。

システムの処置: CAZPRINT 処理は終了します。

オペレーターの応答: JCL または CAZCTL ステートメントを訂正して、ジョブを再実行してください。

CAZ5315E CONVERT FORMAT=XML cannot be specified with CONVERT FORMAT=PDF (CONVERT FORMAT=XML は CONVERT FORMAT=PDF と一緒に指定できません)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォーマット機能 CAZPRINT によって出されます。CAZCTL 入力ファイルで CONVERT FORMAT=PDF ステートメントの後に CONVERT FORMAT=XML ステートメントが検出されました。CAZPRINT 機能の 1 回の実行で、XML 文書ファイルと PDF ファイルを要求することはできません。

システムの処置: CAZPRINT 処理は終了します。

オペレーターの応答: JCL または CAZCTL ステートメントを訂正して、ジョブを再実行してください。

CAZ5316E CONVERT statement at record_number specifies invalid FORMAT value (record_number の位置にある CONVERT ステートメントが無効な FORMAT 値を指定しています)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォーマット機能 CAZPRINT によって出されます。CAZCTL 入力ファイルのレコード番号 record_number の位置で、無効な値が FORMAT パラメーターに指定された CONVERT ステートメントが検出されました。FORMAT パラメーター値は、要求される出力ファイルの形式を指定します。有効な形式は PDF および XML (Extensible Markup Language) です。

システムの処置: CAZPRINT 処理は終了します。

オペレーターの応答: JCL または CAZCTL ステートメントを訂正して、ジョブを再実行してください。

CAZ5317E CDB2 cannot be selected unless both WLMI and DB2I are enabled. (CDB2 は、WLMI と DB2I のどちらか一方でも使用可能になっていない場合は選択できません。)

説明: パラメーター ExtractorsOnByDefault に CDB2 がコーディングされていますが、WLMI と DB2I の一方または両方が使用可能になっていません。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: 構成で WLMI=Yes と DB2I=Yes の両方を設定するか、ExtractorsOnByDefault から CDB2 を除去して、Application Performance Analyzer 開始タスクを再始動してください。

CAZ5318E Invalid aaaa value: 'bbbb' in cccc statement. (cccc ステートメント内の aaaa の値「bbbb」が無効です。)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォーマット機能 CAZPRINT によって出されます。これは、表示されているステートメント内で指定されているデータにエラーがあることを説明する汎用メッセージです。

aaaa DDNAME などのステートメント・オブジェクトを示します。

bbbb 無効な値を示します。

cccc CONVERT などのステートメント名を示します。

システムの処置: ステップが戻りコード 8 で終了しました。

オペレーターの応答: エラーのあるステートメントを訂正して、ジョブを再び実行依頼してください。

CAZ5319E Mutually exclusive keywords: (aaaa,bbbb) found in cccc statement. (相互に排他的なキーワード (aaaa,bbbb) が cccc ステートメントで見つかりました。)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォーマット機能 CAZPRINT によって出されます。これは、相互に排他的なキーワードが、表示されているステートメントに指定されたことを示します。

(aaaa,bbbb)
エラーのあるキーワードを示します。

cccc CONVERT などのステートメント名を示します。

システムの処置: ステップが戻りコード 8 で終了しました。

オペレーターの応答: エラーのあるステートメントを訂正して、ジョブを再び実行依頼してください。

CAZ5320E Required keyword: aaaa is missing from bbbb statement. (必須キーワード aaaa が bbbb ステートメントから欠落しています。)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォー

マット機能 CAZPRINT によって出されます。これは、表示されているステートメントに必須のキーワードが指定されなかったことを示します。

aaaa 欠落しているキーワードを示します。

bbbb CONVERT などのステートメント名を示します。

システムの処置: ステップが戻りコード 8 で終了しました。

オペレーターの応答: エラーのあるステートメントを訂正して、ジョブを再び実行依頼してください。

CAZ5321E Error opening file for DD: aaaa. (DD aaaa のファイルをオープンするときにエラーが発生しました。)

説明: このメッセージは、印刷されたレポートのフォーマット機能 CAZPRINT によって出されます。これは、DD 名 *aaaa* のファイルをオープンしようとして失敗したことを示します。このエラーについて説明するシステム関連メッセージについては、JES ログを参照してください。

システムの処置: ステップが戻りコード 8 で終了しました。

オペレーターの応答: エラーのあるステートメントを訂正して、ジョブを再び実行依頼してください。

CAZ5322E Unable to extend Dataspace. (データ・スペースを拡張できません。) DSPSERV failed, Reason Code=*nnnn*. (DSPSERV が失敗しました。理由コード=*nnnn*。)

説明: データ・スペースを拡張しようとして失敗したときに、このメッセージが出されます。*nnnn* で示される理由コードが失敗を表しています。

システムの処置: エラーに関係する操作は終了します。

オペレーターの応答: 製品サポートにお問い合わせください。

CAZ5323E CICS+ cannot be selected when CICS+ not enabled (CICS+ が使用可能になっていないと、CICS+ を選択することはできません)

説明: パラメーター ExtractorsOnByDefault に CICS+ がコーディングされていますが、CICS+ が使用可能になっていません。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: 構成で CICS+ =Yes を設定する

か、ExtractorsOnByDefault から CICS+ を除去して、Application Performance Analyzerを再始動してください。

CAZ5324E Maximum number of 20 TYPE=TAGGED PROFILE statements exceeded. (TYPE=TAGGED PROFILE ステートメントの数が最大数 20 を超えました。)

説明: 差異レポート作成のために最大 20 個の監視にタグを付けることができます。20 個を超えるタグ付きの監視が JCL に含まれています。

システムの処置: CAZPRINT 処理は終了します。

オペレーターの応答: TYPE=TAGGED PROFILE ステートメントの数が最大数 20 を超えないように JCL を修正し、ジョブを再実行依頼してください。

CAZ5325E SECTDETL Stmt at record aaaa, contains an invalid ITAG value: bbbb. (レコード aaaa の SECTDETL ステートメントに、無効な ITAG 値 bbbb が含まれています。)

説明: このメッセージは、CAZPRINT が、明細報告書情報をフォーマットして返す目的で GUI から呼び出された時点で出します。これは、無効な内部値 (ITAG) bbbb が指定されたことを示しています。エラーが発生したレコードの番号は aaaa です。

システムの処置: GUI 要求は失敗しました。

オペレーターの応答: なし。

CAZ5327E MemObjSize must be non-zero when WAS is enabled. (WAS が使用可能になっている場合、MemObjSize はゼロ以外でなければなりません。)

説明: メモリー・オブジェクト・サイズがゼロの状態、Application Performance Analyzer 構成ファイルで WAS=YES が指定されました。WAS サンプルングは、WAS 監視データを収集するためにメモリー・オブジェクトを必要とします。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: Application Performance Analyzer 構成ファイルで MemObjSize パラメーターにゼロ以外の値を指定して、Application Performance Analyzer を再始動してください。

CAZ5328E WAS cannot be selected when WAS not enabled. (WAS が使用可能になっていない場合、WAS を選択できません。)

説明: ExtractorsOnByDefault パラメーターが WAS 抽出を指定しましたが、WAS は使用可能になっていません。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: 構成で WAS=Yes を設定するか、ExtractorsOnByDefault パラメーターから WAS を除去して、Application Performance Analyzer 開始タスクを再始動してください。

CAZ5329E The WAS extractor is mutually exclusive with: CICS+, IMS, IMS+, MQ, ADA, and NAT.

説明: ExtractorsOnByDefault パラメーターで WAS 抽出と、競合する抽出が同時に指定されました。WAS も選択する場合は、CICS、DB2、DB2+、CDB2、DB2V、DB2X、および JAVA のみを選択できます。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: ExtractorsOnByDefault パラメーターに指定した抽出のリストから WAS を除去するか、WAS を残して競合する抽出を除去してください。Application Performance Analyzer を再始動してください。

CAZ5330E Embedded blank in aaaaaaaaaaaaa filter. (aaaaaaaaaaaa フィルターの埋め込みブランク。)

説明: aaaaaaaaaaaaa で示されているフィルターに、埋め込みブランクがあります。

システムの処置: コマンドは終了します。

オペレーターの応答: フィルター値に埋め込みブランクを指定せずに監視要求を再実行依頼してください。

CAZ5331E Invalid aaaaaaaaaaaaa in origin filter. (起点フィルターの無効な aaaaaaaaaaaaa。)

説明: aaaaaaaaaaaaa で示されているタイプに対して、起点フィルター値が無効です。

システムの処置: コマンドは終了します。

オペレーターの応答: 有効なフィルター値を指定して監視要求を再実行依頼してください。

CAZ5332E Invalid wildcard in IP address filter. (IP アドレス・フィルターに無効なワイルドカードがあります。)

説明: IP アドレス・フィルターでは、ピリオドまたはコロンの分離文字の後でのみワイルドカードを使用できます。

システムの処置: コマンドは終了します。

オペレーターの応答: ピリオドまたはコロンの分離文字の後にワイルドカードを指定して監視要求を再実行依頼してください。

CAZ5333E Invalid wildcard in IPv6 address with consecutive colons. (連続したコロンがある IPv6 アドレスに無効なワイルドカードがあります。)

説明: ワイルドカードは、連続したコロンがある IPv6 アドレスでは使用できません。

システムの処置: コマンドは終了します。

オペレーターの応答: 連続したコロンの代わりに欠落しているゼロ値を指定して、監視要求を再実行依頼してください。

CAZ5334E Invalid origin filter type. (無効な起点フィルター・タイプ。)

説明: 起点フィルター・タイプには、それぞれホスト名、IP アドレス、またはジョブ名を表す H、I、または J の値を指定する必要があります。

システムの処置: コマンドは終了します。

オペレーターの応答: 有効な起点フィルター・タイプを指定して監視要求を再実行依頼してください。

CAZ5335E Invalid file extensions filter. (無効なファイル拡張子フィルター。)

説明: ファイル拡張子フィルターは、シングル・スペースで区切られたファイル拡張子のシーケンスを指定する必要があります。各ファイル拡張子は、ピリオドの後に少なくとも 1 つの非空白文字が続くものでなければなりません。

システムの処置: コマンドは終了します。

オペレーターの応答: 有効なファイル拡張子リストを指定して監視要求を再実行依頼してください。

CAZ5336E DB2Explain requires that DB2+ be enabled.

説明: CONFIG SAMPLE DB2Explain パラメーターが、同時に DB2I=YES を指定せずに指定されました。DB2 Explain フィーチャーには DB2+ が必要です。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: DB2Explain パラメーターを除去するか、または DB2+ を使用可能にして、Application Performance Analyzer を再始動してください。

CAZ5337E DB2X cannot be selected unless DB2+, and DB2X are enabled.

説明: CONFIG SAMPLE ExtractorsOnByDefault で、デフォルトの抽出の 1 つとして DB2X を指定し、同時に DB2I=YES を指定しませんでした。DB2X 抽出には DB2+ が必要です。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: ExtractorsOnByDefault から DB2X を除去するか、または DB2+ を使用可能にして、Application Performance Analyzer を再始動してください。

CAZ5338E DB2X cannot be selected unless DB2Explain is also specified.

説明: CONFIG SAMPLE ExtractorsOnByDefault で、デフォルトの抽出の 1 つとして DB2X を指定し、同時に DB2Explain パラメーターを指定しませんでした。DB2X 抽出には、少なくとも 1 つの DB2 サブシステムを定義するために DB2Explain が必要です。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: ExtractorsOnByDefault から DB2X を除去するか、または少なくとも 1 つの DB2 サブシステム用に DB2Explain を使用可能にし、Application Performance Analyzer を再始動してください。

CAZ5339E Invalid Target parameter - PABX must be specified.

説明: 無効なターゲット・パラメーターを指定して RESET DB2SMF コマンドが入力されました。ターゲット・パラメーターには PABX を指定しなければなりません。

CAZ5340E • CAZ5500W

システムの処置: RESET コマンドはリジェクトされま
す。

オペレーターの応答: PABX パラメーターを指定して
RESET DB2SMF コマンドを再入力してください。

CAZ5340E SYSDEBUG Module CAZISFM/IGZCXSF not found

説明: ソース・マッピング用の COBOL SYSDEBUG
データをロードするためには、CAZISFM または
IGZCXSF が必要です。いずれのモジュールも見つかり
ません。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡して、
CAZISFM メンバーが Application Performance Analyzer
許可ライブラリー *hlq.SCAZAUTH* にあること、または
IGZCXSF メンバーが LE ランタイム・ライブラリー
CEE.SCEERUN にあることを確認してください。

CAZ5341E SYSDEBUG Module IBM CXSF not found

説明: ソース・マッピング用の PL/I SYSDEBUG デー
タをロードするために必要なモジュール IBM CXSF が
見つかりません。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡して、
IBM CXSF メンバーが LE ランタイム・ライブラリー
CEE.SCEERUN にあることを確認してください。

CAZ5342E SYSDEBUG unsupported compiler version

説明: モジュールのコンパイルに使用された PL/I バー
ジョンは、SYSDEBUG サポートに対応する正しいバー
ジョンではありません。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: PP 5655-W67 Enterprise PL/I for z/OS
v4 以降を使用して、SYSDEBUG ファイルを再作成して
ください。

CAZ5344E SYSDEBUG file too large, cannot be loaded.

説明: Application Performance Analyzer では、
SYSDEBUG ファイルをロードするための十分な主スト
レージを取得できません。

システムの処置: SYSDEBUG のロードは終了します。
このモジュールのソース・マッピングは不可能です。

オペレーターの応答: なし。

CAZ5400E Keyword: aaaa is missing and required for 'bbbbbbbb' (「bbbbbbbb」に必須のキ ーワード aaaa がありません)

説明: *aaaa* で指定されているキーワードが必須です
が、*bbbbbbbb* で指定されている CONFIG オブジェクト
に存在しません。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終
了します。

オペレーターの応答: 構成ファイルのエラーを訂正し
て、Application Performance Analyzer を再開してくださ
い。

CAZ5402E DB2X cannot be enabled unless DB2I is enabled.

説明: CONFIG SAMPLE のキーワード DB2X には値
YES が指定されていますが、DB2I キーワードには指定
されていません。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終
了します。

ユーザーの処置: DB2I を使用可能にするか、DB2X を
使用不可にしてから、Application Performance Analyzer
を再始動してください。

CAZ5500W Java could not be sampled since another Java sampling session for this address space was already active. The Request Number for the active sample session follows: aaaaa (アクティブなサンプル・ セッションの要求番号は次のとおりです。 aaaaa)

説明: この要求に対して、Java サンプリングは使用不
可になっています。Java サンプリングでは、アドレス・
スペースごとに一度に 1 つのアクティブな Java サンプ
ル・セッションのみが許可されます。その他すべての
Java サンプル・セッションはサンプリングを続行しま
すが、Java 抽出は使用可能になっていません。*aaaaa* で示
されている要求番号は、ターゲット・アドレス・スペ
ースで現在アクティブに Java のサンプリングを実行し
ているサンプル・セッションを表しています。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: 要求 *aaaaa* が完了するまで待つ
てから、要求を再実行依頼してください。問題が解決し
ない場合は、製品サポートにお問い合わせください。

CAZ5501W Java could not be sampled since the maximum allowed sampling sessions for this system were already active

説明: この要求に対して、Java サンプルングは使用不可になっています。システムで同時に実行できるアクティブな Java サンプルング・セッションの数が、設定されている制限に達しました。サンプル・セッションはサンプルングを続行しますが、Java 抽出は使用可能になっていません。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: 他の Java サンプルング・セッションの 1 つが完了するのを待ってから、要求を再実行依頼してください。問題が解決しない場合は、製品サポートにお問い合わせください。

CAZ5502W No JVM was found during sampling (サンプルング中に JVM が検出されませんでした)

説明: Application Performance Analyzer は、サンプルング中に Java 仮想マシンの存在を検出ませんでした。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: Java サンプルングを使用可能にするように Application Performance Analyzer が構成されていることを確認してください。ターゲット・ジョブが本当に Java ジョブであることを確認してください。そうでない場合は、サンプル要求で Java 抽出をオフにしてください。

CAZ5503W The JVMTI agent did not complete normally (JVMTI エージェントは正常に完了しませんでした)

説明: JVMTI エージェントは、予期したように終了しませんでした。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: ターゲット・ジョブの出力または Application Performance Analyzer 開始タスクの出力を調べて、エラーの原因を示すメッセージがないか確認してください。問題が解決しない場合は、製品サポートにお問い合わせください。

CAZ5504W The JVMTI agent did not produce any samples (JVMTI エージェントはサンプルを生成しませんでした)

説明: サンプルングの完了時に Java サンプルは採取されませんでした。考えられる 1 つの理由は、JVMTI エージェントがロードに失敗したことです。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: ターゲット・ジョブの出力または Application Performance Analyzer 開始タスクの出力を調べて、エラーの原因を示すメッセージがあるか確認してください。問題が解決しない場合は、製品サポートにお問い合わせください。

CAZ6001I DB2 EXPLAIN Request Servicing Subtask started

説明: このメッセージは、XRS サブタスクが初期化の処理を開始したことを示します。

システムの処置: Application Performance Analyzer は初期化を続行します。

オペレーターの応答: なし。

CAZ6002I DB2 EXPLAIN Request Servicing Subtask now operating

説明: このメッセージは、XRS サブタスクが初期化を完了し、作動可能であることを示しています。

システムの処置: Application Performance Analyzer は初期化を続行します。

オペレーターの応答: なし。

CAZ6003I DB2 EXPLAIN Request Servicing Subtask stopping

説明: このメッセージは、XRS サブタスクがシャットダウン・プロセスを開始したことを示します。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ6004I DB2 EXPLAIN Request Servicing Subtask terminated

説明: このメッセージは、XRS サブタスクがシャットダウン・プロセスを開始し、終了中であることを示します。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

**CAZ6012S Too many abends in: CAZ00072. (CAZ00072 の異常終了が多すぎます。)
DB2 EXPLAIN Servicing Subtask terminating**

説明: このメッセージは、XRS サブタスクがその異常終了のしきい値を超えたときに報告されます。サブタスクは、異常終了状態を検出して、この状態からリカバリ

CAZ6013E • CAZ6018E

一します。このリカバリーの手順は、サブタスクが終了する時点のしきい値点に達するまで続行されます。この時点で、DB2 EXPLAIN のレポート要求は、開始要求がリサイクルされるまで失敗します。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ6013E No INVOKER ID found for EXPLAIN.
(INVOKER ID が EXPLAIN に見つかりません。) **Request:** *request_variable*
Userid: *user_ID* (要求: *request_variable* ユーザー ID: *user_ID*)

説明: この EXPLAIN 要求は、ストアード・プロシージャに属している SQL ステートメントが対象でした。EXPLAIN 要求は、ストアード・プロシージャの呼び出し側を識別していませんでした。

システムの処置: 要求は失敗します。

オペレーターの応答: このエラーを Application Performance Analyzer サポートに報告してください。

CAZ6014E No plan or package info for EXPLAIN.
(計画またはパッケージ情報が EXPLAIN にありません。) **Request:** *request_variable*
Userid: *user_ID*. (要求: *request_variable* ユーザー ID: *user_ID*。)

説明: この EXPLAIN 要求は、DB2 計画を、また SQL ステートメントの DB2 パッケージを識別していませんでした。

システムの処置: 要求は失敗します。

オペレーターの応答: このエラーを Application Performance Analyzer サポートに報告してください。

CAZ6015E Unexpected SQL error for SQL_call.
(SQL_call で予期しない SQL エラー。) **Request:** *request_variable* **Userid:** *user_ID*.
(要求: *request_variable* ユーザー ID: *user_ID*。)

説明: EXPLAIN 要求の処理中に、Application Performance Analyzer によって行われた SQL 呼び出しで、予期しない SQLCODE 値が DB2 によって戻されました。SQL エラーを識別するための追加情報が、このメッセージの後に表示されます。このエラーの対象が D0601 EXEC である場合、要求された SQL ステートメントは EXPLAIN 処理には有効ではない可能性があります。

システムの処置: 要求は失敗します。

オペレーターの応答: 要求された SQL ステートメント

が EXPLAIN 処理に有効であるかどうかを判別してください。エラーの原因が Application Performance Analyzer であると考えられる場合、製品サポートに連絡してください。

CAZ6016E Unauthorized EXPLAIN for
SQL_statement. (SQL_statement に無許可の EXPLAIN) **Request:** *request_variable*
Userid: *user_ID*. (要求: *request_variable* ユーザー ID: *user_ID*。)

説明: この EXPLAIN 要求は、SQL_statement で示されている DB2 サブシステムで動作する SQL ステートメントが対象でした。このサブシステムは、開始タスクの構成パラメーターで、EXPLAIN 処理用にリストされていません。

システムの処置: 要求は失敗します。

オペレーターの応答: システム管理者に連絡し、示されている DB2 サブシステムが、Application Performance Analyzer によって EXPLAIN 処理用にリストされていない原因を調べてください。

CAZ6017E No stored procedure ID for EXPLAIN.
(ストアード・プロシージャが EXPLAIN にありません。) **Request:** *request_variable* **Userid:** *user_ID*. (要求: *request_variable* ユーザー ID: *user_ID*。)

説明: この EXPLAIN 要求は、ストアード・プロシージャに属している SQL ステートメントが対象でした。EXPLAIN 要求は、ストアード・プロシージャ名を識別していませんでした。

システムの処置: 要求は失敗します。

オペレーターの応答: このエラーを Application Performance Analyzer サポートに報告してください。

CAZ6018E No row_identifier row found for
EXPLAIN. (row_identifier が EXPLAIN に見つかりません。) **Request:** *request_variable* **Userid:** *user_ID*. (要求: *request_variable* ユーザー ID: *user_ID*。)

説明: EXPLAIN 要求に指定されている SQL ステートメントの、row_identifier で示されているカタログ・テーブルに、対応する行が見つかりませんでした。

システムの処置: 要求は失敗します。

オペレーターの応答: 要求された SQL ステートメントが EXPLAIN 処理に有効であるかどうかを判別してください。request_variable で示されている監視要求が古いものであれば、要求された行はカタログに存在しない可

能性があります。エラーの原因が Application Performance Analyzer であると考えられる場合、製品サポートに連絡してください。

CAZ6019E SQL statement too big for EXPLAIN.
(SQL ステートメントは EXPLAIN には大きすぎます。) **Request:** *request_variable*
Userid: *user_ID*. (要求: *request_variable*
ユーザー ID: *user_ID*。)

説明: EXPLAIN に選択された SQL ステートメントは、Application Performance Analyzer によってサポートされている最大サイズを超えています。

システムの処置: 要求は失敗します。

オペレーターの応答: なし。

CAZ6020E Incompatible message versions,
Diag=(a,b,c,d,e,f) (非互換メッセージ・バージョン。診断=(a,b,c,d,e,f))

説明: このメッセージは、XRS サブタスクが、リクエスターのメッセージ・バージョンがサービス XRS と非互換であることを検出したときに報告されます。このエラーは、DB2 Explain を要求している ISPF フロントエンドが、要求を保守している Application Performance Analyzer 開始タスクとは異なるバージョンであるとき、発生する可能性があります。どちらのコンポーネントも、同じバージョン・レベルで実行される必要があります。

Diag キーワードに示される値は以下のとおりです。

- a** リクエスターのシステム名を表します。
- b** サービス・システム名を表します。
- c** リクエスターのバージョンを表します。
- d** サービス・バージョンを表します。
- e** 要求側の TSO ユーザー ID を表します。
- f** 監視要求番号を表します。

システムの処置: 要求は失敗します。

オペレーターの応答: システム管理者に連絡してください。

CAZ6021E No qualifier_variable PLAN_TABLE for EXPLAIN. (*qualifier_variable*
PLAN_TABLE が EXPLAIN にありません。) **Request:** *request_variable* **Userid:**
user_ID. (要求: *request_variable* ユーザー
ID: *user_ID*。)

説明: PLAN_TABLE が、*qualifier_variable* で示されて

いる修飾子に定義されていません。修飾子の対象が Application Performance Analyzer 開始タスクであれば、Application Performance Analyzer のインストールは正しく完了していません。修飾子の対象が説明されているステートメントであれば、Application Performance Analyzer は、要求された SQL ステートメントが属している DB2 サブシステム用の自動 PLAN_TABLE 作成なしで構成されています。

システムの処置: 要求は失敗します。

オペレーターの応答: システム管理者に連絡してください。

CAZ6022E No CURRENT PATH for EXPLAIN.
(CURRENT PATH が EXPLAIN にありません。) **Request:** *request_variable*
Userid: *user_ID*. (要求: *request_variable*
ユーザー ID: *user_ID*。)

説明: EXPLAIN 要求は、SQL ステートメントの CURRENT PATH を識別していませんでした。

システムの処置: 要求は失敗します。

オペレーターの応答: このエラーを Application Performance Analyzer サポートに報告してください。

CAZ6023E Abend occurred while processing your request. (要求の処理中に異常終了しました。) **Diag=(a,b,c,d)**

説明: DB2 Explain 要求サーバーのサブタスクが異常終了を検出し、リカバリーしました。このメッセージには以下の診断情報が含まれています。

- a** EXPLAIN を要求した MVS システムの名前
- b** EXPLAIN を処理した MVS システムの名前
- c** 要求者のユーザー ID
- d** このエラーを引き起こした EXPLAIN テキストが含まれている監視セッションの Application Performance Analyzer 要求番号

システムの処置: EXPLAIN 要求は失敗しました。

オペレーターの応答: このエラーを製品サポートに報告してください。

CAZ6025E This Application Performance Analyzer instance is not part of a SYSPLEX group, operation is not possible. (この Application Performance Analyzer インスタンスは、シスプレックス・グループの一部ではありません。操作は不可能です。)

説明: 現在 Application Performance Analyzer を介して

接続していないシステムで実行されている SQL ステートメントに対して、EXPLAIN 要求を実行しようと試みています。この Application Performance Analyzer のインスタンスはシスプレックス・グループの一部ではないため、EXPLAIN 要求を処理のためにターゲットに送ることができません。

システムの処置: 要求は失敗します。

オペレーターの応答: このエラーをシステム管理者に報告してください。

CAZ6026E Internal error, SYSPLEX output processor is not available. (内部エラーです。SYSPLEX 出力プロセッサは使用不可です。)

説明: 現在接続している Application Performance Analyzer のインスタンスのシスプレックス出力プロセッサはダウンしているため、要求を処理することができません。このメッセージの一般的な原因として、OUTPUT プロセッサが異常終了し、リカバリーできなかったことが考えられます。

システムの処置: 要求は失敗します。

オペレーターの応答: このエラーをシステム管理者に報告してください。

CAZ6027E No USER Authid for EXPLAIN. (USER 許可 ID が EXPLAIN にありません。)
Request: *request_variable* **Userid:** *user_ID*.
 (要求: *request_variable* ユーザー ID: *user_ID*。)

説明: EXPLAIN 要求は、SQL ステートメントの USER 許可 ID を識別していませんでした。

システムの処置: 要求は失敗します。

オペレーターの応答: このエラーを Application Performance Analyzer サポートに報告してください。

CAZ6028E Request: *aaaa* for Userid: *bbbbbbb*, failed due to previous errors. (ユーザー ID *bbbbbbb* の要求 *aaaa* は、以前のエラーが原因で失敗しました。)

説明: DB2 サブシステム上で実行されている SQL ステートメントに対する EXPLAIN 要求が *aaaa* で示され、その要求を発行したユーザーが *bbbbbbb* で示されています。この要求は、この要求が発行される前に発生した XRS サブタスク内のエラーが原因で失敗しました。

通常、このメッセージは、XRS サブタスク内で重大エラーが発生したことを示し、そのサブタスクがそれ以上

の処理を行わないようにします。このエラー・メッセージより前のエラー・メッセージを調べて、根本原因を見つけてください。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: システム・プログラマーに連絡してください。

CAZ6031I Extended Multiple Console Support Subtask started. (拡張複数コンソール・サポート・サブタスクが開始されました。)

説明: 拡張複数コンソール・サポート・サブタスク (XMCS) は、初期化プロセスを開始しました。

システムの処置: Application Performance Analyzer は、初期化を続行します。

オペレーターの応答: なし。

CAZ6032I Extended Multiple Console Support Subtask now Operating. (拡張複数コンソール・サポート・サブタスクが現在作動中です。)

説明: 拡張複数コンソール・サポート・サブタスク (XMCS) は、初期化を完了して、作動可能です。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ6033I Extended Multiple Console Support Subtask stopping. (拡張複数コンソール・サポート・サブタスクは停止中です。)

説明: 拡張複数コンソール・サポート・サブタスク (XMCS) は、シャットダウン・プロセスを開始しました。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ6034I Extended Multiple Console Support Subtask terminated. (拡張複数コンソール・サポート・サブタスクが終了しました。)

説明: 拡張複数コンソール・サポート・サブタスク (XMCS) は、シャットダウン・プロセスを完了して、終了しました。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ6035S Too many abends in: CAZ00063.
(CAZ00063 の異常終了が多すぎます。)
Extended Multiple Console Support
Subtask is terminating. (拡張複数コンソール・サポート・サブタスクは終了中です。)

説明: 拡張複数コンソール・サブタスク (XMCS) が異常終了しきい値を超えました。サブタスクは、しきい値に達するまで異常終了を検出してリカバリーし、その時点でサブタスクは終了します。

システムの処置: XMCS サブタスクは終了します。

オペレーターの応答: このエラーを Application Performance Analyzer サポートに報告してください。

CAZ6036S Unrecoverable error in: CAZ00063.
(CAZ00063 でリカバリー不能エラー。)
Extended Multiple Console Subtask is terminating. (拡張複数コンソール・サブタスクは終了中です。)

説明: 拡張複数コンソール・サブタスク (XMCS) が、リカバリーできない異常終了状態です。

システムの処置: XMCS サブタスクは、ダンプを取って終了します。

オペレーターの応答: このエラーを Application Performance Analyzer サポートに報告してください。

CAZ6037E Error in IBM service aaaaaaaa;
RC=bbbbbbbx, RSN=cccccccx,
DATA=ddddddd

説明: aaaaaaaa という名前の IBM サービスの実行中にエラーが検出されました。戻りコードと理由コードは、それぞれ、bbbbbbbx および ccccccx に示されています。問題に関連するデータが、ddddddd で示されている可能性があります。

システムの処置: XMCS サブタスクは終了して、WAS サンプルングは使用不可になります。

オペレーターの応答: このエラーを Application Performance Analyzer サポートに報告してください。

CAZ6038E XMCS could not activate a console,
console name prefix: aaaaaaa. (XMCS はコンソールをアクティブ化できませんでした。コンソール名の接頭部: aaaaaaa。)

説明: XMCS は、EMCS コンソールをアクティブ化しようとしたのですが、接頭部 aaaaaaa で始まるすべてのコンソール名は既にアクティブになっていました。

Application Performance Analyzer は、名前が aaaaaaa で始まり、接尾部 0 から 9 で終わるコンソールをアクティブ化しようとした。10 回の試行はすべて失敗しました。

システムの処置: XMCS サブタスクは終了して、WAS サンプルングは使用不可になります。

オペレーターの応答: 名前が aaaaaaa で始まり、接尾部 0 から 9 で終わるコンソールのいずれかを非アクティブ化できるかどうかを判断して、可能なものを非アクティブ化します。次に、Application Performance Analyzer 開始タスクをリサイクルします。いずれも非アクティブ化できない場合、このエラーを Application Performance Analyzer サポートに報告してください。

CAZ6039I EMCS console: "aaaaaaaa" is now
bbbbbbb. (EMCS コンソール:
"aaaaaaaa" は現在 bbbbbbb です。)

説明: これは、aaaaaaaa という名前の拡張マスター・コンソールがアクティブ化または非アクティブ化されたことを示します。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ6040E Operator command "aaaa" failed. (オペレーター・コマンド "aaaa" は失敗しました。) **Refer to subsequent message for more details.** (詳しくは、後続のメッセージを参照してください。)

説明: Application Performance Analyzer がオペレーター・コマンドを発行しましたが、エラーが検出されました。失敗の理由については、CAZ6041I、CAZ6042I、または CAZ6043I のいずれかのメッセージで説明されています。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: 詳しくは、メッセージ CAZ6041I、CAZ6042I、または CAZ6043I を参照してください。

CAZ6041I Command Response not available,
request timed out. (コマンドの応答が使用不可です。要求はタイムアウトになりました。)

説明: Application Performance Analyzer がオペレーター・コマンドを発行しましたが、適切な長さの時間以内にコマンドの応答を受信しませんでした。

システムの処置: WAS SMF 使用可能化コマンドの場合、関連するサンプルング要求は失敗します。それ以外

の場合、アクションは不要です。

オペレーターの応答: システム・ログに原因が示されているか確認してください。

CAZ6042I XMCS Subtask abended while processing this command. (XMCS サブタスクは、このコマンド処理中に異常終了しました。)
See log for more details (詳しくは、ログを参照してください。)

説明: Application Performance Analyzer はオペレーター・コマンドを発行しましたが、そのために XMCS サブタスクが異常終了しました。システム・ログで異常終了の詳細情報を見ることができます。

システムの処置: WAS SMF 使用可能化コマンドの場合、関連するサンプリング要求は失敗します。そうでない場合は、アクションはとられません。

オペレーターの応答: ソフトウェア・サポートにお問い合わせください。

CAZ6043I Command response not verifiable. (コマンドの応答を検証できません。)

説明: Application Performance Analyzer がオペレーター・コマンドを発行しましたが、コマンドの応答を検証できませんでした。

システムの処置: WAS SMF 使用可能化コマンドの場合、関連するサンプリング要求は失敗します。そうでない場合は、アクションはとられません。

オペレーターの応答: メッセージ CAZ6040E で説明されているコマンドのシステム・ログを検索します。コマンドの応答を記録して、ソフトウェア・サポートにお問い合わせください。

CAZ6044E Request aaaa failed. (要求 aaaa は失敗しました。) **Maximum WAS observation sessions are active. (最大数の WAS 監視セッションがアクティブになっています。)** **Reason Code is b. (理由コードは b です。)**

説明: 許可されている最大数の WAS 監視要求が現在アクティブになっているため、Application Performance Analyzer は、aaaa で識別されている要求に対して WAS 監視を開始できませんでした。理由コード b 値は、次のように、失敗の原因を示しています。

1. 最大数の WAS コントローラー領域のサンプリングが現在実行されていることを示しています。いずれか 1 つの WAS コントローラー領域のすべての現行セッションが終了するまで、新規セッションを開始できません。

2. ターゲットの WAS コントローラー領域で最大数の監視セッションがアクティブになっていることを示しています。ターゲットの WAS コントローラー領域の現行セッションの 1 つが終了するまで、新規セッションを開始できません。

システムの処置: 監視セッションは失敗しました。

オペレーターの応答: 理由コードで説明されている情報に基づいて、監視要求を再実行依頼してください。

CAZ6045E Request aaaa failed. (要求 aaaa は失敗しました。) **WAS SMF recording is not enabled. (WAS SMF の記録は使用可能になっていません。)**

説明: WAS SMF の記録が使用可能になっていないため、Application Performance Analyzer は、aaaa で識別されている要求に対して WAS 監視を開始できませんでした。Application Performance Analyzer が WAS でパフォーマンス・データを収集するためには、システム管理者が WAS SMF の記録を使用可能に設定する必要があります。

システムの処置: 監視セッションは失敗しました。

オペレーターの応答: システム管理者に、SMF タイプ 120、サブタイプ 9 のレコードの WAS ベースの記録と CPU 使用量の記録の両方を使用可能に設定するよう依頼してください。監視要求を再実行依頼してください。

詳しくは、「カスタマイズ・ガイド」の『CONFIG SAMPLE』セクションの WAS キーワードを参照してください。

CAZ6103I IEFUSI Request Servicing subtask now operating (IEFUSI 要求サービス・サブタスクが現在作動中です)

説明: このメッセージは、Application Performance Analyzer の指定されたコンポーネントが初期化を完了し、作動可能であることを示しています。

システムの処置: Application Performance Analyzer は初期化を続行します。

オペレーターの応答: なし。

CAZ6106S Variable text. (可変のテキスト。)

説明: このメッセージは、URSS サブタスクが異常終了を検出するたびに出されます。製品サポートに役立つ異常終了の要約情報が含まれています。

システムの処置: URSS サブタスクは、異常終了からリカバリーしようとしています。

オペレーターの応答: これらのエラー・メッセージを記

録して、この問題に可能な解決策を見つけるために、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト (www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/) を参照してください。

CAZ6107I IEFUSI Request Servicing subtask started. (IEFUSI 要求サービス・サブタスクが開始されました。)

説明: このメッセージは、URSS サブタスクが初期化の処理を開始したことを示します。

システムの処置: Application Performance Analyzer は初期化を続行します。

オペレーターの応答: なし。

CAZ6190I IEFUSI Request Servicing subtask stopping. (IEFUSI 要求サービス・サブタスクは停止中です。)

説明: このメッセージは、URSS サブタスクがシャットダウン・プロセスを開始したときに報告されます。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ6191I IEFUSI Request Servicing subtask terminated. (IEFUSI 要求サービス・サブタスクを終了します。)

説明: このメッセージは、URSS サブタスクがシャットダウン・プロセスを完了し、終了しようとしているときに報告されます。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ6199S Too many abends in: CAZ00100. (CAZ00100 の異常終了が多すぎます。)
IEFUSI Request Servicing subtask terminating. (IEFUSI 要求サービス・サブタスクは終了中です。)

説明: このメッセージは、URSS サブタスクがその異常終了のしきい値を超えたときに報告されます。サブタスクは、異常終了状態を検出して、この状態からリカバリします。このリカバリーの手順は、サブタスクが終了する時点のしきい値点に達するまで続行されます。このメッセージの前には、数多くの CAZ6106S メッセージが表示されます。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: Application Performance Analyzer

の再始動を試みてください。

CAZ6200I Sampling Request Monitor Subtask started. (サンプリング要求モニター・サブタスクが開始されました。)

説明: このメッセージは、サンプリング要求モニター・サブタスク (SRMS) が初期化の処理を開始したことを示します。

システムの処置: Application Performance Analyzer は初期化を続行します。

オペレーターの応答: なし。

CAZ6201I Sampling Request Monitor Subtask started. (サンプリング要求モニター・サブタスクが開始されました。)

説明: このメッセージは、サンプリング要求モニター・サブタスク (SRMS) が初期化の処理を開始したことを示します。

システムの処置: Application Performance Analyzer は初期化を続行します。

オペレーターの応答: なし。

CAZ6202I Sampling Request Monitor Subtask stopping. (サンプリング要求モニター・サブタスクは停止中です。)

説明: このメッセージは、サンプリング要求モニター・サブタスク (SRMS) がシャットダウン・プロセスを開始したことを示します。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ6203I Sampling Request Monitor Subtask terminated. (サンプリング要求モニター・サブタスクが終了しました。)

説明: このメッセージは、サンプリング要求モニター・サブタスク (SRMS) がシャットダウン・プロセスを完了し、終了しようとしていることを示します。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ6204S Too many abends in: CAZ00061. (CAZ00061 の異常終了が多すぎます。)
Sampling Request Monitor Subtask is terminating. (サンプリング要求モニター・サブタスクは終了中です。)

説明: このメッセージは、サンプリング要求モニター・サブタスク (SRMS) が異常終了しきい値を超えていることを示します。サブタスクは、異常終了状態を検出し、この状態からリカバリーします。このリカバリーの手順は、サブタスクが終了する時点のしきい値点に達するまで続行されます。この時点で、開始タスクがリサイクルされるまで、しきい値モニターは中止されます。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: このエラーを Application Performance Analyzer サポートに報告してください。

CAZ6205S Internal Error - structure size mismatch (size1,size2). (内部エラー - 構造サイズが一致しません。 (size1,size2))

説明: 初期化の間、サンプリング要求モニター・サブタスク (SRMS) が、その内部構造のいずれかのサイズが一致しないことを検出しました。SRMS は終了します。この時点で、開始タスクがリサイクルされるまで、しきい値モニターは中止されます。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: このエラーを Application Performance Analyzer サポートに報告してください。

CAZ6206E Error parsing Threshold Monitor criteria for Request Number: request_number. (要求番号: request_number のしきい値モニター基準を構文解析中にエラー。)

説明: サンプリング要求モニター・サブタスク (SRMS) が、新しく追加されたモニター要求の TMSEL キーワードの内容に構文エラーを検出しました。このエラーのため、モニター要求を追加できませんでした。構文解析エラーの詳細については、メッセージ CAZ6207E を調べてください。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: このエラーを Application Performance Analyzer サポートに報告してください。

CAZ6207E Diagnostic information (free-form text) (診断情報 (フリー・フォーム・テキスト))

説明: このメッセージはメッセージ CAZ6206E とともに出され、構文解析エラーの原因を詳しく説明する診断情報が入っています。

システムの処置: CAZ6206E を調べてください。

オペレーターの応答: CAZ6206E を調べてください。

**CAZ6209S Unrecoverable error in:&\$.00061. (&\$.00061 でリカバリー不能エラー。)
Sampling Request Monitor Subtask is terminating. (サンプリング要求モニター・サブタスクは終了中です。)**

説明: このメッセージは、サンプリング要求モニター・サブタスク (SRMS) が、リカバリーできない異常終了状態であることを示します。SRMS は、ダンプを取って終了します。この時点で、開始タスクがリサイクルされるまで、しきい値モニターは中止されます。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: このエラーを Application Performance Analyzer サポートに報告してください。

CAZ6221E Processing error in loadDRT of Threshold Monitor SM/TM (しきい値モニター SM/TM の loadDRT の処理エラー)

説明: このメッセージは、サンプリング要求モニター・サブタスク (SRMS) が、その内部プロセスのいずれかにエラーを検出したことを示します。このメッセージの後に、1 つ以上の AJT メッセージが続いている場合があります。SMRS は終了します。この時点で、開始タスクがリサイクルされるまで、しきい値モニターは中止されます。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: このエラーを Application Performance Analyzer サポートに報告してください。

CAZ6222E Error parsing Threshold Monitor request (しきい値モニター要求を構文解析中にエラー)

説明: Application Performance Analyzer コマンド・プロセッサが、TNEW または TMOD コマンドにある TMSEL キーワードの内容に構文エラーを検出しました。1 つ以上のメッセージがこのメッセージの後に続き、構文解析エラーの詳細を提供します。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: 構文解析エラーを訂正し、コマンドを再実行依頼してください。

CAZ6300I Sysplex input message subtask started. (シスプレックス入力メッセージ・サブタスクは開始済みです。)

説明: このメッセージは、シスプレックス入力メッセー

ジ・サブタスクが初期化の処理を開始したことを示します。

システムの処置: Application Performance Analyzer は初期化を続行します。

オペレーターの応答: なし。

CAZ6320I Sysplex input message subtask started.
(シスプレックス入力メッセージ・サブタスクは開始済みです。)

説明: このメッセージは、Application Performance Analyzer の指定されたコンポーネントが初期化を完了し、作動可能であることを示しています。

システムの処置: Application Performance Analyzer は初期化を続行します。

オペレーターの応答: なし。

CAZ6322E CAZ0004x: XMsgHdr version mismatch:
SenderVer=sender_version,
CurrVer=receiver_version, Sending
Member=member_name. (CAZ0004x:
XMsgHdr バージョンの不一致:
SenderVer=sender_version 、
CurrVer=receiver_version、 Sending
Member=member_name。)

説明: Application Performance Analyzer シスプレックス・メッセージング・システムは、グループの別のメンバーからメッセージを受け取りました。このメッセージは、このバージョンの Application Performance Analyzer と互換性がありません。

sender_version

送信側のメッセージのバージョンを示します。

receiver_version

この Application Performance Analyzer のバージョンを示します。

member_name

送信側 Application Performance Analyzer のメンバー名を示します。

システムの処置: メッセージはリジェクトされます。

オペレーターの応答: Application Performance Analyzer グループのすべてのメンバーが正しいリリース・レベルになっていることを確認してください。

CAZ6326E Unknown input message detected,
possible wrong group. (不明な入力メッ
ッセージが検出されました。不正なグループが
考えられます。) SYPLEX input sub-task
shutting down. (SYPLEX 入力サブタスク

はシャットダウン中です。)

説明: Application Performance Analyzer は、別の SYSPLEX グループ・メンバーからの入力メッセージを検査できませんでした。Application Performance Analyzer が不正なグループを結合していることが原因だと考えられます。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: SPXGroupName の値を CONFIG BASIC で訂正し、Application Performance Analyzer を再始動してください。

CAZ6350E CAZ00047: Incorrect notification type
detected in MNPL - message rejected.
(CAZ00047: MNPL に正しくない通知タ
イプが検出されました。メッセージはリジ
ェクトされます。) Type=MNPLTYPE.

説明: Application Performance Analyzer シスプレックス・メッセージング・システムが、サポートされない MNPLTYPE のメッセージを受け取りました。

MNPLTYPE

MNPLTYPE を示します。

システムの処置: メッセージはリジェクトされます。

オペレーターの応答: 同じメッセージが引き続き表示される場合は、この問題に可能な解決策を見つけるために、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト (www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/) を参照してください。

CAZ6351W CAZ00047: Solicited message received
and rejected. (CAZ00047: 送信請求メッ
ッセージを受け取り、リジェクトしました)

説明: Application Performance Analyzer シスプレックス・メッセージング・システムが、送信請求メッセージを受け取りました。

システムの処置: メッセージはリジェクトされます。

オペレーターの応答: 同じメッセージが引き続き表示される場合は、この問題に可能な解決策を見つけるために、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト (www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/) を参照してください。

CAZ6352W CAZ00047: Incorrect Data Record type
detected - message rejected. (CAZ00047:
正しくないデータ・レコード・タイプが検
出されました。メッセージはリジェクトさ
れます。) Type=record_type.

説明: Application Performance Analyzer シスプレックス・メッセージング・システムが、MNPL 構造に正しくないレコード・タイプを検出しました。

record_type

レコード・タイプを示します。

システムの処置: メッセージはリジェクトされます。

オペレーターの応答: 同じメッセージが引き続き表示される場合は、この問題に可能な解決策を見つけるために、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト (www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/) を参照してください。

CAZ6353W CAZ00047: Data Record did not contain the correct type of Target/Response entries - message rejected. (CAZ00047: データ・レコードに、正しいタイプの宛先/応答項目が含まれていませんでした。メッセージはリジェクトされます。)

Type=record_type

説明: Application Performance Analyzer シスプレックス・メッセージング・システムが、データ・レコードで正しくない宛先/応答タイプを検出しました。

record_type

レコード・タイプを示します。

システムの処置: メッセージはリジェクトされます。

オペレーターの応答: 同じメッセージが引き続き表示される場合は、この問題に可能な解決策を見つけるために、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト (www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/) を参照してください。

CAZ6354W CAZ00047: No Target/Response Entries returned in Data Record - message rejected. (CAZ00047: データ・レコードで宛先/応答項目が戻されませんでした。メッセージはリジェクトされます。)

説明: Application Performance Analyzer シスプレックス・メッセージング・システムが、宛先/応答項目のないデータ・レコードを検出しました。

システムの処置: メッセージはリジェクトされます。

オペレーターの応答: 同じメッセージが引き続き表示される場合は、この問題に可能な解決策を見つけるために、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト (www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/) を参照してください。

CAZ6355W CAZ00047: No XMsg Response Message address provided in message control. (CAZ00047: メッセージ制御に XMsg 応答メッセージ・アドレスが指定されていませんでした。)

説明: Application Performance Analyzer シスプレックス・メッセージング・システムは、MNPL メッセージ制御フィールドに XMsg 応答メッセージのアドレスが含まれていないことを検出しました。

システムの処置: メッセージはリジェクトされます。

オペレーターの応答: 同じメッセージが引き続き表示される場合は、この問題に可能な解決策を見つけるために、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト (www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/) を参照してください。

CAZ6356W CAZ7: No Data Records detected - message rejected. (CAZ7: データ・レコードが検出されませんでした。メッセージはリジェクトされます。)

説明: Application Performance Analyzer シスプレックス・メッセージング・システムは、MNPL メッセージにデータ・レコードが含まれていないことを検出しました。

システムの処置: メッセージはリジェクトされます。

オペレーターの応答: 同じメッセージが引き続き表示される場合は、この問題に可能な解決策を見つけるために、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト (www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/) を参照してください。

CAZ6357W The following system(s) failed to respond or provided a partial response:
system_name system_name system_name ...
 (次のシステムは応答できなかったか、部分的な応答を返しました: *system_name system_name system_name ...*)

説明: Application Performance Analyzer シスプレックス・メッセージング・システムは、応答を受け取らなかったか、部分的な応答を受け取りました。メッセージが、Application Performance Analyzer シスプレックス・グループの 1 つ以上のメンバーに送信され、すべてのメンバーが応答する前にこのメッセージはタイムアウトになりました。または、データのボリュームが原因で、システムは部分的な応答を戻しました。この問題は、ターゲットのメンバーのいずれかが停止している場合に発生する可能性があります。

system_name

部分的に応答したか、まったく応答しなかったシステムの名前を示します。

システムの処置: メッセージは受け入れられます。

オペレーターの応答: Application Performance Analyzer メンバーが、指定されたシステムで稼働中であることを確認してください。

CAZ6358W All requested systems either failed to respond or provided a partial response. (要求されたすべてのシステムが応答できなかったか、部分的な応答を返しました。)

説明: Application Performance Analyzer シスプレックス・メッセージング・システムは、応答を受け取らなかったか、部分的な応答を受け取りました。メッセージが、Application Performance Analyzer シスプレックス・グループの 1 つ以上のメンバーに送信され、いずれかのメンバーが応答する前にこのメッセージはタイムアウトになりました。または、データのボリュームが原因で、システムは部分的な応答を戻しました。この問題は、ターゲットのすべてのメンバーが停止している場合に発生する可能性があります。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: Application Performance Analyzer メンバーが、対象とするすべてのシステムで稼働中であることを確認してください。

CAZ6390I Sysplex input message subtask stopping. (シスプレックス入力メッセージ・サブタスクは停止中です。)

説明: このメッセージは、シスプレックス入力メッセージ・サブタスクがシャットダウン・プロセスを開始したときに報告されます。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ6391I Sysplex input message subtask terminated. (シスプレックス入力メッセージ・サブタスクは終了します。)

説明: このメッセージは、シスプレックス入力メッセージ・サブタスクがシャットダウン・プロセスを完了し、終了しようとしているときに報告されます。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ6600I Sysplex output message Subtask started. (シスプレックス出力メッセージ・サブタスクは開始済みです。)

説明: このメッセージは、シスプレックス出力メッセージが初期化の処理を開始したことを示します。

システムの処置: Application Performance Analyzer は初期化を続行します。

オペレーターの応答: なし。

CAZ6620I SYSPLEX output message subtask operating. (シスプレックス出力メッセージ・サブタスクは作動中です。)

説明: このメッセージは、Application Performance Analyzer の指定されたコンポーネントが初期化を完了し、作動可能であることを示しています。

システムの処置: Application Performance Analyzer は初期化を続行します。

オペレーターの応答: なし。

CAZ6621W Sysplex send message request failed, no active systems matched the send request, target=aaaaaaaa. (シスプレックス送信メッセージ要求が失敗しました。送信要求に適合するアクティブなシステムがありません。ターゲット=aaaaaaaa)

説明: 他のインスタンスがアクティブではなかったため、シスプレックス・グループ内にある Application Performance Analyzer の他のインスタンスに、シスプレックス・メッセージを送信できませんでした。aaaaaaaa は、要求を受信する 1 つ以上のターゲット・システムです。

システムの処置: メッセージはリジェクトされます。

オペレーターの応答: シスプレックス・グループ内にある Application Performance Analyzer の他のすべてのインスタンスがアクティブで、同じメッセージが引き続き表示される場合は、この問題に可能な解決策を見つけるために、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト (www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/) を参照してください。

CAZ6622E Request failed, IXCMSGO RC=return_code, RSN=reason_code, Type=message_type, FLAG=flag. (要求は失敗しました。IXCMSGO RC=return_code, RSN=reason_code, タイプ =message_type、フラグ =flag。)

CAZ6623E • CAZ9001S

説明: Application Performance Analyzer シスプレックス・メッセージング・システムが、1 つ以上のグループ・メンバーにメッセージを送信中にエラーを検出しました。

return_code

IXCMSGO からの戻りコードを示します。

reason_code

IXCMSGO からの理由コードを示します。

message_type

内部 XMsg タイプを示します。

flag

内部フラグを示します。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: 同じメッセージが引き続き表示される場合は、この問題に可能な解決策を見つけるために、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト (www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/) を参照してください。

CAZ6623E Response failed, message timed out. (応答に失敗しました。メッセージ・タイムアウトです。) Terminating. (終了中です。)

説明: 応答メッセージを要求側メンバーに送信しようと試みているときに、Application Performance Analyzer シスプレックス・メッセージング・システムがタイムアウトを検出しました。受信側メンバーはデータを受け取っていない可能性があります。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: エラーが続く場合、Application Performance Analyzer サポートに連絡してください。

CAZ6690I Sysplex output message subtask stopping. (シスプレックス出力メッセージ・サブタスクは停止中です。)

説明: このメッセージは、シスプレックス出力メッセージ・サブタスクがシャットダウン・プロセスを開始したときに報告されます。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ6691I Sysplex output message subtask terminated. (シスプレックス出力メッセージ・サブタスクは終了します。)

説明: このメッセージは、シスプレックス出力メッセージ・サブタスクがシャットダウン・プロセスを完了し、終了しようとしているときに報告されます。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZ6699S CAZ2 has ended abnormally (ABEND). (CAZ2 が異常終了しました (ABEND)。) Sysplex output subtask is terminating. (シスプレックス出力サブタスクが終了中です。)

説明: このメッセージは、Application Performance Analyzer の指定されたコンポーネントが異常終了した (ABEND) ことを示しています。このメッセージの後に、ダンプが続きます。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

CAZ9000E module_name detected a data space overflow error. (module_name がデータ・スペースのオーバーフロー・エラーを検出しました。) One or more samples might be lost. (1 つ以上のサンプルが失われた可能性があります。)

説明: データ書き込み機能は、サンプル・データ・スペースに 1 つ以上のサンプル・レコードを書き込むことができませんでした。サンプル・レコードがデータ・スペースに追加されていたとき、データ・スペースは拡張処理中でした。これらのレコードは、データ・スペースのオーバーフローを回避するために除去されました。*module_name* は、この状態を検出したモジュールを示します。

システムの処置: なし。サンプリングは続行されますが、サンプリング・セッションの間中このメッセージが連続して表示された場合のみ、一部のレポートでサンプリング・エラーが発生する可能性があります。

オペレーターの応答: この問題が続く場合は、この問題に可能な解決策を見つけるために、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト (www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/) を参照してください。

CAZ9001S Invalid return code detected from CAZC0006. (CAZC0006 から無効な戻りコードが検出されました。) RC=return_code.

説明: これは内部エラーです。予期しないエラーがモジュール CAZC0006 で発生しました。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: 戻りコード *return_code* を記録してから、この問題に可能な解決策を見つけるために、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト (www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/) を参照してください。

CAZ9002W Application Performance Analyzer
Product license will expire in: *nn* day(s).
(Application Performance Analyzer 製品
ライセンスの有効期限は、*nn* 日後に切れ
ます。)

説明: これは、Application Performance Analyzer の有効期限がもうすぐ切れることをユーザーに通知する警告メッセージです。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: 通常環境では、製品の有効期限の警告メッセージが出されないように、IBM の営業担当員によって新規パスワードが提供されます。そのため、この事象が発生する場合は通常、パスワードは既に提供されているがまだ適用されていないか、パスワードが誤って適用されていることを意味します。そのような場合は、次の項目を確認してください。

製品を生成した CPU で製品が実行されているか? これは、特に VM オペレーティング・システム下で実行している場合に関係があります。IBM ソフトウェアは CPU ID の下 4 桁のみを検査するため、一意性を保持する目的で上 2 桁を使用することができます。

パラメーター・リストを更新してパスワードを適用する場合、旧パスワードを含んだ重複ステートメントがあるかどうか? ある場合は、削除してください。IBM によって提供された新規パスワードが正しく適用されているか?

CAZ9003E Application Performance Analyzer 製品
ライセンスの有効期限が切れました。Please
contact your system programmer. (シス
テム・プログラマーに連絡してくださ
い。)

説明: Application Performance Analyzer 製品ライセンスの有効期限が切れました。システム・プログラマーは、新規パスワードについて製品サポートに連絡する必要があります。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: 新規パスワードについてシステム・プログラマーに連絡してください。

CAZ9004E Product license password could not be
found in the configuration module. (製品
ライセンス・パスワードが構成モジュール
にありませんでした。) **Please contact**
your system programmer. (システム・プ
ログラマーに連絡してください。)

説明: パスワードの CVSET 値が構成モジュールにありませんでした。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: インストール・レベルの構成設定について詳しくは、Application Performance Analyzer の「カスタマイズ・ガイド」を参照してください。

CAZ9005E Product license password is invalid. (製
品ライセンスのパスワードが無効です。)
Please contact your system programmer.
(システム・プログラマーに連絡してくだ
さい。)

説明: 構成モジュールで指定されているパスワードの CVSET 値が無効でした。推定原因は、正しくないパスワードです。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: インストール・レベルの構成設定について詳しくは、Application Performance Analyzer の「カスタマイズ・ガイド」を参照してください。

CAZ9006E The current CPU is not authorized to
execute the Application Performance
Analyzer product. (現行の CPU は、
Application Performance Analyzer 製品の
実行を許可されていません。) **Please**
contact product support. (製品サポートに
お問い合わせください。)

説明: ライセンス交付を受けていない CPU で Application Performance Analyzer を実行しようとしています。Application Performance Analyzer のライセンス交付を受けた CPU を判別するには、システム・プログラマーに連絡してください。CPU がライセンス交付を受けている場合は、構成モジュールで指定されているパスワード値が正しいことを確認してください。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: インストール・レベルの構成設定について詳しくは、Application Performance Analyzer の「カスタマイズ・ガイド」を参照してください。

CAZ9007E The following feature(s) are not licensed for Application Performance Analyzer; please contact your system programmer: *feature_1, feature_2, ...* (次の機能は、Application Performance Analyzer; のライセンス交付を受けていません。システム・プログラマーに連絡してください: *feature_1, feature_2, ...*)

説明: ライセンス交付を受けていない Application Performance Analyzer 機能を使用しようとしています。構成モジュールで指定されているパスワード値が正しいことを確認してください。 *feature_n* は、ライセンス交付を受けていない機能を示します。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: インストール・レベルの構成設定について詳しくは、Application Performance Analyzer の「カスタマイズ・ガイド」を参照してください。

CAZ9008S Severe error occurred while validating license; reason code=*reason_code* (ライセンスの妥当性検査中に重大エラーが発生しました。reason code= *reason_code*)

説明: Application Performance Analyzer 製品ライセンスの妥当性検査中に、内部エラーが検出されました。

システムの処置: Application Performance Analyzer は終了します。

オペレーターの応答: 理由コード値を記録してから、この問題に可能な解決策を見つけるために、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト (www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/) を参照してください。

CAZ9009E Auxiliary Storage Shortage - Sampling is being terminated. (補助ストレージ不足 - サンプルングは終了します。)

説明: システム全体の補助ストレージ使用率が許容可能なしきい値 (60%) を超えてサンプルング・セッションが終了したことを、サンプルング・エンジンがアドレス・スペースのサンプルング時に検出しました。

サンプルング・エンジンは、サンプルングがアクティブである間に計測データをデータ・スペースに記録します。サンプルング・データ・スペースは、2GB (補助ストレージが支援する最大サイズ) まで増大できます。補助ストレージが不足すると、深刻なパフォーマンスの低下が引き起こされる可能性があります。サンプルング・エンジンは、補助ストレージ使用率をサンプルングの開始時からモニターします。サンプルング中にしきい値を

超えるといつでも、サンプルングは終了します。

Application Performance Analyzer サンプルングでは、システム全体の補助ストレージ使用率がモニターされます。そのため、しきい値を超えたことが、サンプルング・セッションの結果となることもありません。サンプルング・セッションの初期の段階でエラーが発生した場合、補助ストレージ使用率がサンプルング開始時点でしきい値に達したか、それに近い値になった可能性が高いと考えられます。

システムの処置: サンプルング要求は終了し、「Cancel」のマークが付けられます。

オペレーターの応答: システム・プログラマーに、より多くのページ・データ・セットを追加するよう依頼してください。

CAZ9011E Table Processor about to exceed maximum size of table: aaaa. (テーブル・プロセッサがテーブル aaaa の最大サイズを超えようとしています。) Sampling will now terminate. (サンプルングは直ちに終了します。)

説明: サンプルング情報の収集に使用されている内部テーブルが最大サイズの 16MB を超えました。診断のために、テーブル名として aaaa が指定されました。

システムの処置: サンプルング要求は終了し、「Failed」のマークが付けられます。

オペレーターの応答: サンプルング期間を短くし、サンプルング率を下げ、この状態を回避してみてください。

CAZ9012I IBM Application Performance Analyzer for z/OS's IEFUSI exit disabled due to too many abends.

説明: Application Performance Analyzer IEFUSI 出口は、異常終了回数が多すぎるため、これ以上異常終了しないように自動的に使用不可になりました。この出口は、異常終了が 3 回発生すると自動的に使用不可になります。

システムの処置: Application Performance Analyzer は非アクティブ・ジョブをサンプルングできなくなりました。

オペレーターの応答: システム・ログでメッセージ ID CAZ9013E を検索してください。このメッセージの時刻をメモして logrec レポートを作成し、製品サポートに問い合わせてください。

CAZ9013E IBM Application Performance Analyzer for z/OS's IEFUSI exit has abended and recovered. システム・プログラマーに連絡してください。

説明: Application Performance Analyzer IEFUSI 出口が異常終了し、リカバリーされました。ジョブ・ステップには影響しません。ただし、このジョブがサンプリングの対象となっていた場合、このジョブはサンプリングされていない可能性があります。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: このメッセージの時刻をメモして logrec レポートを作成し、製品サポートに問い合わせてください。

第 3 章 ISPF メッセージ

以下のメッセージは、ISPF 関連のエラーがある場合に表示されます。

AJTI001W 無効な選択

説明: 選択が無効です。ブランクまたは「/」を入力してください。オプションの選択には「/」を、選択解除にはブランクを使用します。

AJTI002I 設定が更新

説明: 設定が更新されました。

AJTI003W 無効な入力

説明: 無効な入力です。「S」を入力して選択してください。

AJTI004W 選択が多すぎる

説明: 複数選択は許可されていません。

AJTI005W メニュー・ページなし

説明: メニュー・ページがありません。

AJTI006W セットアップ・オプションなし

説明: このレポートではセットアップ・オプションを使用できません。

AJTI007W 無効なコマンド

説明: 無効なコマンド

AJTI008W パラメーターなし

説明: 1 つまたは 2 つのパラメーターが必要です。FIND コマンドは次のいずれかの形式でなければなりません。FIND string または FIND 'string'
NEXT/PREV/LAST/ALL または FIND
NEXT/PREV/LAST/ALL 'string'

AJTI009W 引数が多すぎる

説明: FIND コマンドの引数が多すぎます。FIND は次のいずれかの形式でなければなりません。FIND string
または FIND 'string' NEXT/PREV/LAST/ALL または
FIND NEXT/PREV/LAST/ALL 'string'

AJTI011W パラメーターの認識不可

説明: 2 つのパラメーターのうち 1 つには NEXT、PREV、FIRST、または ALL を指定してください。

AJTI012W 引用符のエラー

説明: 引用符の直後に引用符を使用することはできません。

AJTI013W スtringが不完全

説明: Stringに終了の引用符がありません。

AJTI014W 引用符のエラー

説明: 終了引用符の直後に、ブランク以外の文字は使用できません。

AJTI015W 引用符付きStringが多すぎる

説明: FIND コマンドに 2 つのパラメーターが指定されても、そのうち 1 つのみが検索Stringとして引用符で囲むことができます。残りのパラメーターは NEXT、PREV、FIRST または ALL にしてください。

AJTI016W 検索対象がない

説明: スクロール可能域には検索対象となるデータがありません。

AJTI017W データの終わりに到達

説明: 検索はデータの終わりまで進みましたが、指定されたStringは見つかりませんでした。

AJTI018W データの先頭に到達

説明: 検索はデータの先頭まで進みましたが、指定されたStringは見つかりませんでした。

AJTI019W FIND コマンドを入力

説明: RFIND コマンドを使用する前に FIND コマンドを入力してください。

AJTI021W システム・エラー

説明: CE アンカー・プログラムのロードに失敗しました。

AJTI022W システム・エラー

説明: ロード・モジュールのフェッチに失敗しました。

AJTI023W Data space full (データ・スペースがいっぱいになっています)

説明: レポート・データ・スペースを、その最大サイズを超えて拡張しようとしたが、失敗しました。レポートは不完全である可能性があります。

AJTI024I String found *nnnn* times (ストリングが *nnnn* 回検出されました)

説明: このレポートでストリング「string-value」が *nnnn* 回検出されました。

CAZI001W 無効な入力

説明: 無効な入力です。「S」を入力して選択してください。

CAZI002W 選択が多すぎる

説明: 複数選択は許可されていません。

CAZI003W 無効な行コマンド

説明: 無効な行コマンドが入力されました。有効なコマンドのリストを表示するには、「/」を入力するか、右マウス・ボタンをクリックしてください。

CAZI004W 行コマンドが矛盾

説明: 他の行コマンド項目を「/」コマンドと組み合わせて使用することはできません。

CAZI005W 無効なパターン

説明: 無効な「ワイルドカード」パターンが指定されました。先頭文字は A から Z、#、@、\$、*、-、または ? でなければなりません。

CAZI006W 無効なパターン

説明: 無効な「ワイルドカード」パターンが指定されました。使用可能な文字は A から Z、0 から 9、#、@、\$、*、および ? です。

CAZI007W 無効なパターン

説明: 無効な「ワイルドカード」パターンが指定されました。アスタリスク (*) はストリングの最後の文字でなければなりません。

CAZI008W 割り振り失敗

説明: サンプル・ファイルの割り振りに失敗しました。データ・セットが削除された可能性があります。

CAZI009W サンプル・ファイルなし

説明: この選択に使用可能なサンプル・ファイルはありません。監視要求の状況を確認してください。

**CAZI010I Welcome to IBM APA for z/OS ISPF
Version *version-number*. You are
currently connected to measurement task
id *stcid*. (現在、計測タスク ID *stcid* に接
続されています。) Enter **VERSION** for
version information, or **NEW** to start a
measurement. (バージョン情報を得るには
VERSION と入力し、計測を開始するに
は **NEW** と入力してください。) You
may also enter the **CONNECT** command
to connect to another instance of a
measurement task that is running on the
same z/OS image as you are currently
logged on to.**

説明: このウェルカム・メッセージは、Application Performance Analyzer ISPF インターフェースの開始時に表示されます。

CAZI011W 無効な式

説明: パーセント値に無効な式です。

CAZI012W 無効な式

説明: 無効な 10 進数式です。

CAZI013W 入力の競合

説明: ソース・マッピング・ファイル情報と行コマンドの両方を入力することはできません。

CAZI014W 無効なファイル・タイプ項目

説明: 「ファイル・タイプ」の項目が無効か、欠落しています。有効な値は L、A、T です。

CAZI015W データ・セット名エラー

説明: ソース・マッピング・ファイルのデータ・セット名が無効か、欠落しています。

CAZI016W メンバー名エラー

説明: ソース・マッピング・ファイルに入力したメンバー名が無効です。

CAZI017W データ・セットが見つからない

説明: 指定されたデータ・セットが見つかりません。

CAZI018W データ・セットが非区分化

説明: メンバー名が入力されましたが、指定されたデータ・セットは区分データ・セットではありません。

CAZI019W 重複ファイルが指定

説明: このソース・マップのデータ・セットは、この監視セッションにすでに指定されています。

CAZI020W データがロード済み

説明: このソース・マップのデータ・セットはすでにロード済みです。

CAZI021W 割り振り失敗

説明: 指定されたソース・マップ・データ・セットの割り振りに失敗しました。

CAZI022W マップ・ファイル適用不可

説明: 指定されたソース・マッピング・データは、アクティビティが計測されたいずれのモジュールにも適用されません。 *parameter_name*

CAZI023W ソース・マップ・テーブル・フル

説明: ソース・マッピング・ファイル・テーブルがいっぱいです。項目をいくつか削除して、テーブル内の使用可能スペースを増やしてください。

CAZI024W ファイル編成エラー

説明: 指定されたデータ・セットの編成が正しくありません。物理順次ファイル (PS) でなければなりません。

CAZI025W メンバー名が必要

説明: 指定されたデータ・セットは区分化されていません。メンバー名を入力する必要があります。メンバー名を省略できるのは、ファイルが区分化されていない場合のみです。

CAZI026W メンバーが見つからない

説明: 指定されたメンバー名が PDS ディレクトリーに見つかりませんでした。

CAZI027W この項目はコピー不可

説明: 別の監視セッションからのソース・マッピング項目のみがコピー可能です。すでに現在の監視セッションにある項目が選択されました。

CAZI028W 項目がすでに存在

説明: 現在の監視セッションにコピーするために選択したソース・マッピング項目は、このセッションにすでに存在しています。

CAZI029W 接続が使用不可

説明: *parameter_name* という名前の Application Performance Analyzer 計測タスクは、現在使用できません。CONNECT コマンドを使用すると、別の計測タスク(使用可能な場合)に接続することができます。

CAZI030W JCL member OPEN failed. (JCL メンバー OPEN に失敗しました。)

説明: 指定した JCL メンバーは使用中です。

CAZI031W Welcome to IBM APA for z/OS – As a first time user you must connect to an IBM APA for z/OS started task. 製品の使用を開始するには、コマンド行に "CONNECT ID" (ID は開始タスク ID: &MPARM1 のいずれか) と入力してください。

説明: 接続先の Application Performance Analyzer 開始タスク ID がまだ指定されていません。コマンド行に "CONNECT ID" (ID は &MPARM1 リストにある ID のいずれか) と入力してください。

CAZI033W 使用可能な接続なし

説明: 使用可能なアクティブ Application Performance Analyzer 計測タスクは現在ありません。

CAZI034W 接続が逸失

説明: Application Performance Analyzer ID *parameter_name* への接続が失われました。この計測タスクはアクティブではなくなります。

CAZI035I 接続が確立

説明: Application Performance Analyzer ID *parameter_name* への接続が正常に確立されました。

CAZI036W 接続不可

説明: 指定された Application Performance Analyzer ID との接続を確立できませんでした。使用可能な Application Performance Analyzer ID は *parameter_name* です。

CAZI037W 無効な CONNECT 構文

説明: CONNECT コマンドには、Application Performance Analyzer ID (4 文字まで) を指定する単一のパラメーターが必要です。

CAZI038I ソース・マップ・データのロード成功

説明: ソース・マッピング・データが、指定されたファイルから正常にロードされました。

CAZI039W ソース・マップ・データなし

説明: 選択されたオブジェクトに、ソース・マッピング・データがロードされていません。

CAZI040W 無効な ADATA ファイル

説明: 指定されたファイルに、ソース (タイプ X"0030") レコードが含まれていなかったか、ジョブ ID (タイプ X"0000") レコードが含まれていませんでした。これらの状態は、おそらくファイルが ADATA ファイルでないことを示しています。

CAZI041W 無効なマップ・タイプ

説明: これは内部エラーです。ソース・マッピング・モジュールが、無効なマップ・タイプ値に渡されました。

CAZI043W PROGRAM-ID が見つからない

説明: PROGRAM-ID ステートメントが、指定されたコンパイラー・リスト・ファイルに見つかりませんでした。

CAZI044W 無効なリスト・ファイル

説明: 指定されたコンパイラー・リスト・ファイルが空か、不完全です。

CAZI045W サポートされないリスト・ファイル

説明: ファイルは、IBM Application Performance Analyzer for z/OS によってサポートされるソース情報ファイルの 1 つとして認識されませんでした。サポートされるソース情報ファイルのリストについては、「IBM Application Performance Analyzer for z/OS ユーザーズ・ガイド」を参照してください。

CAZI046W コンパイル・オプション・エラー

説明: コンパイラー・リスト・ファイルは、必要なコンパイル・オプションが指定されていないことを示しています。COBOL の場合、これは SOURCE、NONUMBER、および OFFSET です。

CAZI048W ライセンスの有効期限切れが間近

説明: *parameter_name*

CAZI049W 無効な入力

説明: 無効な入力です。「S」、「/」、またはブランクを入力してください。

CAZI050W PDF DSN エラー

説明: PDF ファイルのデータ・セット名にエラーが検出されたか、データ・セット名が入力されていません。区分化されていない順次データ・セット LRECL=80 でなければなりません。

CAZI051W JCL ライブラリー DSN エラー

説明: JCL ライブラリーのデータ・セット名にエラーが検出されたか、データ・セット名が入力されていません。

CAZI052W JCLLIB メンバー名エラー

説明: JCL ライブラリー・メンバー名が欠落しているか、無効です。

CAZI053W PDF データ・セットが見つからない

説明: 指定された PDF ファイルが見つかりませんでした。データ・セットは、固定長 80 バイト・レコードを持つカタログされた順次ファイルでなければなりません。

CAZI054W PDF ファイルの DSORG の誤り

説明: 指定された PDF ファイルが PS (物理順次) ではないか、そのレコード・サイズが固定長 80 バイトではありません。

CAZI055W JCL ライブラリーが見つからない

説明: 指定された JCL ライブラリーが見つかりませんでした。

CAZI056W JCL ライブラリー DSORG エラー

説明: 指定された JCL ライブラリーが区分化されていないか、そのレコード・サイズが固定長 80 バイトではありません。

CAZI057W JCL メンバー割り振りエラー

説明: 指定された JCL メンバーの割り振りに失敗しました。

CAZI058W JCL メンバー OPEN に失敗

説明: JCL メンバーの出力の OPEN に失敗しました。

CAZI059W LEVELS 値は 0 から 9 が必須

説明: LEVELS パラメーター値は単一の数字でなければなりません。

CAZI060W 無効なソート・シーケンス

説明: このレポートのソート・シーケンス・オプションは、NAME または VALUE として指定する必要があります。

CAZI061W 無効なオプション値

説明: このオプションを選択するには、スラッシュ (/) を入力してください。オプションを選択解除するには、ブランクを入力してください。

CAZI062W 無効なソート・シーケンス

説明: このレポートのソート・シーケンス・オプションは、NAME、SIZE、ADDRESS、または LIBRARY として指定する必要があります。

CAZI063W 無効な 10 進値

説明: 10 進数式に、非数値などの無効な構文がありました。

CAZI064W 無効なスライス・サイズ値

説明: コード・スライス・サイズの値は、8 で割り切れる 8 から 99992 までの値でなければなりません。また、値 4 も使用できます。

CAZI065W 無効な間隔値

説明: 時系列レポートの間隔数の値は、2 から 256 でなければなりません。

CAZI066W 無効な入力

説明: 無効な入力です。有効な入力は、「Y」、「N」、またはブランクです。

CAZI067W Missing required input (必須入力がありません)

説明: SPM 要件に応じて、データ・セット名、メンバー名、またはその両方を指定してください。

CAZI068W メンバーが見つからない

説明: 指定したメンバー名が、A04 パネルからリストされた「ファイル・タイプ」で指定されたタイプのデータ・セットに見つからなかったか、またはリストが空でした。

CAZI069W Line Command conflict (行コマンドが矛盾)

説明: 相互に矛盾する行コマンドを入力しました。一時点で入力可能な行コマンドは「I」または「M」のいずれか 1 つだけです。また、「M」行コマンドを入力した場合は、「A」行コマンドを 1 つ入力してください。

CAZI071W オプション hdg が見つからない

説明: 1 桁目にテキスト「OPTIONS IN EFFECT:」または「*OPTIONS IN EFFECT*」を含む行が見つかりませんでした。これは、コンパイル・オプションについての情報を含むページで必要な見出しです。このテキストの突き合わせでは大/小文字は区別されません。

CAZI072W ソース行が見つからない

説明: テキスト「OPTIONS IN EFFECT:」または「*OPTIONS IN EFFECT*」を含む行が見つかり、コンパイル・オプション情報が抽出されました。リスト・ファイルのオプション情報の後にソース行があることが予想されていましたが、そのようなレコードはありませんでした。ファイルが、コンパイル・オプション・セクションの途中で切り捨てられた可能性があります。このセ

クシヨンの終わりは、1 桁目から 4 桁目にブランクを含むレコードで識別されます。

CAZI073W OFFSET セクションが見つからない

説明: このエラーは、COBOL コンパイル・リスト・ファイルの処理中に発生します。1 桁目にテキスト

「LINE # HEXLOC VERB」を含む行が、リスト・ファイルに見つかりませんでした。これは、PMAP オフセット情報を含むページで予想される見出しです。このテキストの突き合わせでは大/小文字は区別されません。

CAZI074W ファイルが早期終了

説明: このエラーは、COBOL コンパイラ・リスト・ファイルの処理中に発生します。「LINE # HEXLOC VERB」を含む PMAP 見出しレコードが見つかりましたが、PMAP 明細行の処理中に予期しない EOF が検出されました。ファイルが切り捨てられた可能性があります。

CAZI075W ファイルが早期終了

説明: 最初の 3 レコード以内で、COBOL ソース・リスト・ファイルに EOF が検出されました。

CAZI076W ソース hdg 行が見つからない

説明: このエラーは、1 桁目に「LINEID PL SL」を含む行が見つからない場合に、COBOL リスト・ファイルの事前スキャン中に発生します。これは、COBOL ソース・ステートメントを含むページで予想される見出しです。突き合わせでは大/小文字は区別されません。

CAZI077W このオフセットにソースがない

説明: この CSECT のソース・マッピング・データは存在しますが、指定されたオフセットに対応するソース・ステートメントがありません。オフセットは、コンパイラによって生成されたコード用である可能性があり、ソース・ステートメントに対応していないか、マップ・ファイルが別のバージョン用である可能性があります。

CAZI078W 非互換バージョン

説明: *parameter_name* という名前の Application Performance Analyzer 計測タスクには、現行バージョンの Application Performance Analyzer/ISPF との互換性はありません。

CAZI079W モジュール情報なし

説明: 選択した項目に使用可能なロード・モジュール情報がありません。

CAZI080W No IMS measurement data

説明: 選択したレポートには IMS 計測データが必要なため、表示できません。IMS 計測データは収集されていません。

CAZI081W No CICS measurement data

説明: 選択したレポートには CICS 計測データが必要なため、表示できません。CICS 計測データは記録されていません。

CAZI082W No DB2 measurement data

説明: 選択したレポートには DB2 計測データが必要なため、表示できません。DB2 計測データは収集されていません。

CAZI083W MQSeries 計測なし

説明: 選択したレポートには MQSeries® 計測データが必要なため、表示できません。MQSeries 計測データは収集されていません。

CAZI084W DASD 計測データなし

説明: 選択したレポートには DASD 計測データが必要なため、表示できません。DASD 計測データは収集されていません。

CAZI085W DB2+ 計測データなし

説明: 選択したレポートには DB2+ 計測データが必要なため、表示できません。DB2+ オプションが選択されていないか、DB2+ データが記録されていません。

CAZI086W カップリング・ファシリティ・データなし

説明: 計測中にカップリング・ファシリティ・アクティビティ・データが記録されなかったため、選択したレポートを表示できません。

CAZI087W No DB2 Stored Proc. data'

説明: 選択したレポートには DB2 ストアド・プロシージャ計測データが必要なため、表示できません。この計測では、何も記録されませんでした。

CAZI088W IMS+ 計測データなし

説明: 選択したレポートには IMS+ 計測データが必要なため、表示できません。IMS+ オプションが選択されていないか、IMS+ データが記録されていません。

CAZI089W 計測データ・エラー

説明: 重要なデータの一部が計測ファイルにありません。これは、監視セッションが正常に完了しなかった可能性があることを示します。レポートは表示できません。

CAZI090W 計測が不完全

説明: 選択した計測ファイルの状況が不完全であることを示しているため、このファイルを処理できません。

CAZI091W 無効な日付: 年

説明: 入力エラーが日付フィールドで検出されました。年の値が無効です。訂正して再入力してください。

CAZI092W 無効な日付: 月

説明: 入力エラーが日付フィールドで検出されました。月の値が無効です。訂正して再入力してください。

CAZI093W 無効な日付: 日

説明: 入力エラーが日付フィールドで検出されました。日の値が無効です。訂正して再入力してください。

CAZI094W 無効な時刻: 時

説明: 入力エラーが時刻フィールドで検出されました。時の値が無効です。訂正して再入力してください。

CAZI095W 無効な時刻: 分

説明: 入力エラーが時刻フィールドで検出されました。分の値が無効です。訂正して再入力してください。

CAZI096W 過去の時刻は不可

説明: スケジュールされた計測に指定された日付または時刻は、将来のものでなければなりません。訂正して再入力してください。

CAZI097W 無効な反復値

説明: 計測の反復値の数値が無効です。0 から 99 までの数値か、ブランクでなければなりません。

CAZI098W 間隔を指定

説明: ゼロ以外のスケジュールの反復値が指定されました。日または分のいずれかでも、間隔を指定する必要があります。

CAZI099W 日または分を指定

説明: スケジュール間隔は、日または分のいずれかで指定できますが、両方を指定することはできません。日または分はゼロ/ブランクでなければなりません。

CAZI100W 無効な日数

説明: 間隔値の日数が無効です。0 から 99 の値を入力してください。

CAZI101W 無効な分数

説明: 間隔値の分数が無効です。0 から 999 の値を入力してください。

CAZI102I 新しい日付が生成

説明: 指定した一連の日付または時刻の項目が、保留中の変更として追加されました。これらは、「Measurement Schedule」見出しの下に示されます。保留中のスケジュール変更をすべて適用するには、ENTER を押してください。

CAZI103W 重複は追加されない

説明: 生成された日付または時刻の項目の一部が、「計測スケジュール」に既にある項目と同じです。「計測スケジュール」にはない項目のみが追加されました。

CAZI104W 日付項目が多すぎる

説明: 105 を超えるスケジュール項目になる、一連の日付または時刻が指定されました。「計測スケジュール」には項目は追加されませんでした。

CAZI105W スケジュールが重複

説明: 個別にスケジュールされた複数の計測が重複する、一連の日付/時刻が指定されました。これらは追加されましたが、下に注が示されます。スケジュール更新を受け入れる前に、重複した項目を削除する必要があります。

CAZI106W 時間のギャップが不十分

説明: 個別にスケジュールされた複数の計測の間の時間のギャップが許容最小値より短くなる、一連の日付/時刻が指定されました。これらは追加されましたが、下に注が示されます。スケジュール更新を受け入れる前に、これらの項目を削除する必要があります。

CAZI107W 極端に先の将来

説明: スケジュールされている少なくとも 1 つの計測が極端に先の将来になる、一連の日付/時刻が指定されました。項目は追加されませんでした。

CAZI108W

説明: スケジュールに対する変更が入力されました。END (PF3) により、これらの変更は廃棄されます。処理中の変更内容をすべて廃棄することを確認するには、END を再び入力します。保留中の変更を適用するには、ENTER キーを使用します。

CAZI109W Entry too long (入力が長すぎます)

説明: 入力されたディレクトリー名は 440 バイトを超えています。引用符付きのデータ・セット名に許可される各行の長さは、46 バイトです。

CAZI110W 無効値

説明: 「しきい値 EXCP 数」フィールドには、ブランクまたはゼロ以外の 10 進値を指定する必要があります。

CAZI111W 無効値

説明: しきい値時間の値は秒、またはコロンで区切った分と秒 (例えば 25:59) で指定する必要があります。

CAZI111W 無効値

説明: しきい値時間の値は秒、またはコロンで区切った分と秒 (例えば 25:59) で指定する必要があります。

CAZI112W Invalid IMS trancode

説明: 無効な IMS トランザクション・コードが指定されました。有効な IMS トランザクション・コードを指定するときに、ワイルドカード (*) 文字を末尾の文字として使用することはできません。

CAZI113W Invalid IMS program

説明: 無効な IMS プログラム名が指定されました。有効な IMS プログラム名を指定するときに、ワイルドカード (*) 文字を末尾の文字として使用することはできません。

CAZI114W Invalid IMS user ID

説明: 無効な IMS ユーザー ID が指定されました。(有効な IMS ユーザー ID を指定するときに、ワイルドカード (*) 文字を末尾の文字として使用することができます。)

CAZI115W Enter Subsystem request (サブシステム要求を入力してください)

説明: このパネルで、DB2、CICS、IMS、または DDF の選択基準を入力してください。これらは相互に排他的な入力フィールドであるため、同じサンプリング・セッションで複数のサブシステムを指定するために使用することはできません。

CAZI119W 無効な入力

説明: 後続のフィールドがロード・ライブラリーであることを示すには L を入力し、後続のフィールドが HFS ディレクトリーであることを示すには D を入力します。

CAZI140W 無効な分数

説明: ジョブの開始を待つ時間 (分) が無効です。0 から 9999 の値を入力してください。

CAZI141W 無効な分数

説明: アクティブ・ジョブの再試行までの分数が無効です。0 から 99 の値を入力してください。

CAZI142W 無効なカウント

説明: アクティブ・ジョブのサンプリングの再試行回数のカウントが無効です。0 から 99 の値を入力してください。

CAZI143W 無効な再試行

説明: 再試行間隔および再試行数はどちらも 0 か、1 から 99 までの値でなければなりません。

CAZI145W オプション T が無効

説明: SCAZEXEC の REXX CAZR XOEM は、サード・パーティーのリスト表示サポート用にカスタマイズされていません。

CAZI147W FILE 計測データなし

説明: 選択したレポートには FILE 計測データが必要なため、表示できません。データ収集の間、オープンされたファイルはありませんでした。

CAZI148W VSAM 計測データなし

説明: 選択したレポートには VSAM 計測データが必要なため、表示できません。データ収集の間、オープンされた VSAM ファイルはありませんでした。

CAZI149W LSR 計測データなし

説明: 選択したレポートには LSR プール計測データが必要なため、表示できません。データ収集の間、作成された LSR プールはありませんでした。

CAZI150W ジョブ名は必須

説明: ジョブ名またはジョブ名パターンを指定する必要があります。ジョブ名の接頭部の後にアスタリスク (*) またはパーセント (%) を付けるか、ジョブ名の接尾部の前にアスタリスク (*) またはパーセント (%) を付けるか、またはアスタリスク (*) のみ、あるいはダッシュ (-) のみを指定します。

CAZI151W 無効なジョブ名/パターン

説明: 無効なジョブ名が指定されました。ジョブ名またはジョブ名パターンを指定する必要があります。ジョブ名の接頭部の後にアスタリスク (*) またはパーセント (%) を付けるか、ジョブ名の接尾部の前にアスタリスク (*) またはパーセント (%) を付けるか、またはアスタリスク (*) のみ、あるいはダッシュ (-) のみを指定します。

CAZI152W 不明/無効な名前

説明: 指定されたシステム名は、Application Performance Analyzer に対して定義されていないか、または無効です。有効な名前は *parameter_name* です。

CAZI153W 無効なステップ番号

説明: 「ステップ番号」フィールドには、ブランクまたはゼロ以外の 10 進値を指定する必要があります。

CAZI154W 無効なプログラム名

説明: 「ステップ・プログラム」フィールドに、無効な名前が指定されました。ブランクまたは有効なプログラム名を指定する必要があります。

CAZI155W 無効なステップ名

説明: 「ステップ名」フィールドに、無効な名前が指定されました。ブランクまたは有効なジョブ・ステップ名を指定する必要があります。

CAZI156W 無効な ProcStepName

説明: 「ProcStepName」フィールドに、無効な名前が指定されました。ブランクまたは有効な ProcStepName を指定する必要があります。

CAZI157W 無効なサンプル数

説明: 「サンプル数」フィールドには、ブランクまたはゼロ以外の 10 進値を指定する必要があります。

CAZI158W 無効なサンプル数

説明: 指定されたサンプル数が、インストール時に許可される最大数を超過しています。

CAZI159W 期間ゼロは不可

説明: ゼロの計測期間が指定されました。値は、秒、またはコロンで区切った分と秒 (例えば 25:59) で指定する必要があります。

CAZI160W 無効な期間

説明: 指定された計測期間式が無効です。値は、秒、またはコロンで区切った分と秒 (例えば 25:59) で指定する必要があります。

CAZI161W Y または N を指定

説明: Y または N (Yes/No) の値を指定してください。指定されたサンプル数を超過しても、計測をジョブ・ステップの終わりまで続行することを指定するには、Y を指定します。

CAZI162W 無効な TSO ユーザー ID

説明: 無効な TSO ユーザー ID 名が指定されました。計測の完了時に通知を受けるようにするには、TSO ユーザー ID を指定してください。

CAZI163W 無効な保存

説明: 計測の保存に指定された値が無効です。計測完了から計測ファイルを削除するまでの日数を指定します。有効期限なしにするには、ゼロを指定します。

CAZI164W 最初に項目を展開

説明: 選択された監視ファイルは、マルチファイル監視のベースです。+ コマンドを使用して基本ファイルを展開してから、展開されたファイルにリストされているいずれかのファイルをレポート作成のために選択します。

CAZI165W 無効な遅延値

説明: 計測遅延に指定された値が無効です。Application Performance Analyzer が計測の開始を遅延する、ジョブ・ステップの開始からの秒数を指定します。遅延なしにするには、ゼロを指定します。

CAZI166W スラッシュまたはブランクが必須

説明: 計測データ抽出に、無効な選択文字が入力されました。スラッシュ (/) を入力してデータ抽出を選択するか、ブランクを入力して選択解除してください。

CAZI167W スケジュール・マスター

説明: スケジュール・マスター・レコードでは、SUB コマンドは使用できません。NEW コマンドを使用して Sched オプションを選択し、新しいスケジュールを入力してください。

CAZI168W 無効な選択コード

説明: 「S」を入力して、ジョブを選択してください。

CAZI169W 選択が多すぎる

説明: 選択されたジョブ数が、インストール済みシステムで値 MultiJobLimit に対して行った構成設定より大きくなっています。

CAZI170W 無効なジョブ・ステップ情報

説明: ジョブ・ステップの指定フィールドに、無効な組み合わせの値が指定されました。1. ステップ番号、2. ステップ・プログラム名、3. ステップ名、4. ステップ名と ProcStepName、のいずれかを指定する必要があります。

CAZI171W 接続が逸失

説明: Application Performance Analyzer との接続が失われました。これは、Application Performance Analyzer が開始したタスクがアクティブではなくなっていることを意味する可能性があります。この機能は完了できません。

CAZI172W サンプリング率が高すぎる

説明: 許容されている秒あたりのサンプル数を超えるようなサンプリング率となる、サンプル数および計測期間の値が指定されました。

CAZI173W Invalid CICS trancode

説明: 無効な CICS トランザクション・コードが指定されました。有効な CICS トランザクション・コードは、末尾の文字にワイルドカード (*) 文字を使用して指定します。

CAZI174W Y または N を指定

説明: Y または N (Yes/No) の値を指定してください。計測に CICS システム・トランザクションを含めることを指定するには、Y を指定します。CICS システム・トランザクションの計測を除外するには、N (推奨) を指定します。

CAZI175W 無効なライブラリー DSN

説明: ロード・ライブラリーに無効なデータ・セット名が指定されました。

CAZI176W データ・セットが非 loadlib

説明: 指定されたデータ・セットがロード・ライブラリーではありません。

CAZI177W 警告: 見つからない

説明: 指定したデータ・セットが見つかりません。計測の実行時にロード・ライブラリーが存在することを予想している場合は、この警告を無視できます。

CAZI178W 不完全またはエラー

説明: データ項目が不完全か、またはエラーが含まれているために、要求を実行依頼できません。

CAZI179W 要求が失敗

説明: 要求は失敗しました。理由: *parameter_name*

CAZI180W 要求が発行

説明: 要求された機能が完了しました。

CAZI181W

説明: このダイアログを終了 (PF3) することによって失われるデータが入力されました。ENTER を押してすべての入力を破棄することを確認するか、PF3 を押して END 要求を取り消してください。このプロンプトを使用不可にするには、SETUP を使用します。

CAZI182W END が取り消し

説明: 前の END 要求は取り消されました。

CAZI183W

説明: ENTER をもう一度押して、この要求を実行依頼することを確認します。取り消すには、END/PF3 を押します。このプロンプトを使用不可にするには、SETUP を使用します。

CAZI184W 確認されていない

説明: 要求は確認されませんでした。

CAZI185W 新規要求が追加

説明: 新しい計測要求が追加されました。

CAZI186W 要求が更新

説明: 既存の計測要求が更新されました。

CAZI187W 要求が取り消し

説明: 更新は実行されませんでした。

CAZI188W Y または N を指定

説明: Y または N (Yes/No) の値を指定してください。アクティブ・ジョブの計測を行うことを指定するには Y を、ジョブの実行依頼時に計測を開始することを指定するには N を指定します。

CAZI189W 無効な再試行回数

説明: 再試行回数に指定された値が無効です。アクティブになることが予想されていたジョブがアクティブかどうかを、Application Performance Analyzer が検査する回

数を指定します。再試行なしにするには、ゼロを指定します。

CAZI190W 無効な再試行間隔

説明: 再試行間隔に指定された値が無効です。スケジューリング時にアクティブではなかったアクティブ・ジョブについてスケジュールされた計測のそれぞれの再試行の間隔 (分) を指定します。

CAZI191W 無効な有効期限間隔

説明: 有効期限間隔に指定された値が無効です。スケジュールから計測を除去する前に Application Performance Analyzer がジョブの実行を待つ、スケジュールされた計測の間隔 (分) を指定します。

CAZI192W 無効な再実行間隔

説明: 再実行間隔に指定された値が無効です。IBM Application Performance Analyzer がジョブの再実行の有無を検査して計測を繰り返し続ける間隔 (計測が完了してからの分数、日数、または週数) を指定します。

CAZI193W 無効な再実行回数

説明: 再実行回数に指定された値が無効です。Application Performance Analyzer が再実行されたジョブの計測を繰り返す、再実行間隔中の最大回数を指定します。

CAZI194W 無効な再試行値

説明: 再試行回数と間隔値の両方がゼロ以外か、または両方がゼロでなければなりません。

CAZI195W 無効な再実行値

説明: 実行間隔の値がゼロ以外である場合、再実行回数はゼロ以外でなければなりません。

CAZI196W 無効な選択コード

説明: 「S」を入力して、システムを選択してください。

CAZI197W 選択が多すぎる

説明: 選択できるのは 1 つのシステムのみです。

CAZI198W アクティブの場合は不許可

説明: アクティブ・ジョブにアスタリスク (すべてのシステム) を指定することはできません。有効なシステム名を指定する必要があります。有効な名前は *parameter_name* です。

CAZI199W

説明: 選択した項目は、要求のリストを表します。この項目を削除すると、それに属している要求もすべて削除されます。ENTER を押して削除を確認するか、PF3 を押して取り消してください。

CAZI200W 計測が非アクティブ

説明: 出された要求は、現在アクティブな計測にのみ適用できます。

CAZI201W 計測が完了

説明: Application Performance Analyzer Realtime Monitor は、モニターしていた計測が終わったため終了しました。

CAZI202W 無効なパネル ID

説明: Realtime Monitor の始動パネルに無効な ID が指定されました。

CAZI203W 無効な MAP コマンド

説明: MAP コマンドで受け入れられるフォーマットは MAP ALL だけです。

CAZI204I ソース・マップ・データのロード成功

説明: ソース・マッピング・データがロードされました。

CAZI205W マップ・データがロードされない

説明: ソース・マップ・データはロードされませんでした。A01 パネルにリストされているソース・マッピング・ファイルのいずれもこの計測に適用されないか、適用できるデータが既にロードされています。

CAZI206W 無効なソート・オプション

説明: このパネルで有効なソート・オプションは、ジョブ名でソートする「SJ」、CPU 時間でソートする「SC」、または SIO 率でソートする「SS」です。

CAZI207W *parameter_name* が見つからない

説明: カスタマイズ REXX *parameter_name* が見つかりません。機能が取り消されました。

CAZI208W *parameter_name* がカスタマイズされていません

説明: *parameter_name* のカスタマイズは完了しませんでした。機能が取り消されました。

CAZI209W 無効な parm タイプ

説明: *parameter_name* に無効な parm タイプが入力されました。機能が取り消されました。parm は、カスタマイズ済み REXX で QUEUE の後の最初のキーワードです。カスタマイズ済み REXX で ISPEXEC SELECT コマンドが失敗しました。

CAZI213W 無効なファイル・タイプ項目

説明: 「ファイル・タイプ」の項目が無効か、欠落しています。有効な値は L、A、S です。

CAZI214W 無効なレコード形式

説明: レコード・フォーマット *U* は、ソース・マッピング・データ・セットにはサポートされていません。

CAZI215W 終了するには、もう一度 END

説明: 拡張 STEPS または REPEAT 行があったときに、END コマンドを入力 (または PF3) しました。これらは縮小されています。

CAZI216W 要求が取り消し

説明: レポート保管要求が取り消されました。

CAZI217W レポートを保管

説明: レポートが *&DSN* に保管されました。

CAZI218W パネル DISPLAY エラー

説明: *&IZISRT2* の間にエラーが発生しました。
RC=*&IZISRT3*

CAZI219W 削除が取り消し

説明: 監視の削除が取り消されました。

CAZI220W 無効な ADATA ファイル

説明: ADATA ファイルにソース・タイプ・レコード (タイプ X"0030") がなかったか、ジョブ ID (タイプ X"0000") レコードがありませんでした。これらの状態はおそらく、ADATA ファイルが無効であることを示しています。

CAZI221W 無効なマップ・タイプ

説明: 指定されたソース・マッピング・ファイル・タイプが無効です。

CAZI223W PROGRAM-ID が見つからない

説明: PROGRAM-ID ステートメントが COBOL リスト・ファイルにありませんでした。

CAZI224W 無効な LANGX サイド・ファイル

説明: LANGX サイド・ファイルに無効なレコードが含まれていたか、必須レコードがありませんでした。

CAZI225W 認識されないコンパイラー

説明: リスト・ファイルに、認識できないコンパイラー製品 ID またはバージョンが含まれています。

CAZI226W コンパイル・オプションが欠落

説明: コンパイラー・リストに、必須指定のオプションがリストされていません。例えば、COBOL プログラムは、SOURCE および (MAP または LIST) オプションを使用してコンパイルする必要があります。

CAZI228W 無効なレコード形式

説明: ソース・マッピング・ファイルのレコード形式が無効です。RECFM=F または RECFM=V でなければなりません。

CAZI229W Description required (説明が必要です)

説明: 8 文字以上の説明が必要です。

CAZI233W OPTIONS 見出しが欠落

説明: 1 桁目にテキスト「OPTIONS IN EFFECT:」または「*OPTIONS IN EFFECT*」を含む行が見つかりませんでした。これは、コンパイル・オプションについての情報を含むページで必要な見出しです。このテキストの突き合わせでは大/小文字は区別されません。

CAZI234W ソース・ステートメントなし

説明: テキスト「OPTIONS IN EFFECT:」または「*OPTIONS IN EFFECT*」を含む行が見つかり、コンパイル・オプション情報が抽出されました。リスト・ファイルのオプション情報の後にソース行があることが予想されていましたが、そのようなレコードはありませんでした。ファイルが、コンパイル・オプション・セクションの途中で切り捨てられた可能性があります。このセクションの終わりは、1 桁目から 4 桁目に空白を含むレコードで識別されます。

CAZI235W PMAP/CLIST が欠落

説明: 列 1 にテキスト「LINE # HEXLOC VERB」を含む行が、リスト・ファイルにありませんでした。これは、PMAP オフセット情報を含むページで予想される見出しです。このテキストの突き合わせでは大/小文字は区別されません。OS/COBOL の場合、テキスト「CONDENSED LISTING」が見つかりませんでした。

CAZI236W PMAP hdg 後のファイルの終わり

説明: 「LINE # HEXLOC VERB」または「CONDENSED LISTING」(OS/COBOL の場合) を含む PMAP 見出しレコードが見つかりましたが、PMAP 明細行の処理中に予期せず EOF が検出されました。ファイルが切り捨てられた可能性があります。

CAZI237W 無効なリストです

説明: ファイルのタイプを示すレコードが見つかる前に、コンパイラー・リスト・ファイルで EOF が検出されました。

CAZI238W COBOL 見出しが欠落

説明: COBOL リスト・ファイルの事前スキャンでは、列 1 に「LINEID PL SL」を含むレコードは検出されませんでした。これは、COBOL ソース・ステートメントを含むページで予想される見出しです。突き合わせでは大/小文字は区別されません。

CAZI239W ENTER を押して削除を確認するか、PF3 を押して取り消してください。**CAZI240W RECFM 変更**

説明: &DSN が存在します。その RECFM は変更できません。

CAZI241W LRECL 変更

説明: *&DSN* が存在します。その LRECL は変更できません。

CAZI242W メンバー欠落

説明: PDS/PDSE ライブラリーにはメンバー名が必要です。

CAZI243W メンバー無効

説明: フラット・ファイルにはメンバー名は必要ありません。

CAZI244W エクスポート機能は無効

説明: エクスポート機能が失敗しました。エクスポート機能の実行中に表示されたメッセージを記録しておいて、システム・プログラマーに報告してください。

CAZI245W *aaaa records from the requested observation dataset have been written as bbbb data records to cccc.* (要求された監視データ・セットの *aaaa* レコードが、*bbbb* データ・レコードとして *cccc* に書き込まれました。)

説明: このメッセージは、EXP (エクスポート) 行コマンドの正常終了時に出力されます。これは、TSO XMIT フォーマットのデータ・セットにデータ・セット名 *cccc* の *bbbb* レコードが含まれていて、*aaaa* サンプル・レコードが入っていた監視ファイルから作成されたことを示しています。

CAZI246W インポート機能が失敗

説明: インポート機能が失敗しました。インポート機能の実行中に表示されたメッセージを記録しておいて、システム・プログラマーに報告してください。

CAZI247W 要求された監視データ・セットが *&R02REQNM* にインポートされました

CAZI248W 無効な SQL テキスト

説明: 要求された SQL ステートメント・テキストは、EXPLAIN には無効です。

CAZI249W EXPLAIN を実行できません

説明: SQL ステートメントの特殊レジスター・エントリーが見つかりませんでした。

CAZI250W EXPLAIN を実行できません

説明: SQL ステートメントのストアード・プロシージャ・エントリーが見つかりませんでした。

CAZI251W EXPLAIN 要求に失敗

説明: サーバーでの EXPLAIN 要求が、エラー・メッセージ番号 *&MPARM1* で失敗しました。

CAZI252W サーバーは使用不可

説明: プロファイラー *&PROFID* の開始タスクは現在実行されていません。

CAZI253W DB2+ は選択されていません。

説明: DB2+ が監視のために選択された場合のみ、EXPLAIN を要求できます。

CAZI254W DB2+ レコードが見つからない

説明: 選択された SQL ステートメントに DB2+ レコードがありません。これは、監視された最初の SQL ステートメントで発生します。

CAZI255W 無効な DB2+ バージョン

説明: この監視は、EXPLAIN フィーチャーが使用可能になる前に実行されました。

CAZI256W DB2+ レコード・エラー

説明: この SQL ステートメントの DB2+ レコードのフォーマットは無効です。

CAZI257W 無効な SQL タイプ

説明: 要求された SQL ステートメント・タイプは、EXPLAIN には無効です。

CAZI258W 異常終了からリカバリー

説明: EXPLAIN 要求の処理中に異常終了が発生しました。異常終了からのリカバリーは完了しましたが、EXPLAIN 要求は失敗しました。

CAZI259W サーバー・シャットダウン

説明: プロファイラー &PROFID の開始タスクをシャットダウンしています。

CAZI260W サーバー異常終了

説明: 要求の処理中に、サーバーで異常終了が発生しました。ダンプが作成されている可能性があります。

CAZI261W 結果セットが大きすぎる

説明: EXPLAIN 要求の結果セットが、レポート・データ・スペースには大きすぎます。

CAZI262W サンプル・ファイルなし

説明: エクスポート要求の対象は、サンプル・ファイルを持たない監視セッションでした。要求は取り消されました。

CAZI263W インポートが取り消し

説明: インポート要求が取り消されました。

CAZI264W サンプル・ファイルの書き込み中

説明: サンプル・ファイルを書き出しています。完了するまでお待ちください。

CAZI265W DB2 Explain not active

説明: プロファイラー &PROFID の開始タスクは DB2 Explain フィーチャーを活性化していません。

CAZI266W アクセス否認

説明: アクセス規則によって、この項目の表示を禁じられています。

CAZI267W アクセス否認

説明: アクセス規則によって、この項目の更新を禁じられています。

CAZI268W 警告

説明: 新しい計測要求が条件付きで追加されました。システム名にアスタリスク (*) 指定されているため、許可を与えることができませんでした。この要求は、ジョブが開始された時点で許可されます。

CAZI269W 警告

説明: 既存の計測要求が条件付きで更新されました。システム名にアスタリスク (*) 指定されているため、許可を与えることができませんでした。この要求は、ジョブが開始された時点で許可されます。

CAZI270W DDF 計測データなし

説明: 選択したレポートには DDF 計測データが必要なため、表示できません。DDF 計測データは収集されていません。

CAZI271W PSW 計測データなし

説明: 選択したレポートには PSW 計測データが必要なため、表示できません。PSW 計測データは収集されていません。

CAZI272W 複数のプログラミング・マッピング

説明: 複数のソース・プログラミング・マッピングが、選択されたロード・モジュール用にロードされていません。次のレベルから特定の CSECT を拡張し、選択してください。

CAZI273W 警告

説明: 新しい計測要求が条件付きで追加されました。これはスケジューリング要求を表しているため、許可を与えることができません。この要求は、ジョブが開始された時点で許可されます。

CAZI274W 警告

説明: 既存の計測要求が条件付きで更新されました。これはスケジューリング要求を表しているため、許可を与えることができません。この要求は、ジョブが開始された時点で許可されます。

CAZI275W タイム・スタンプが見つからない

説明: 見出し "Timestamp and Version Information" がコンパイラー・リストの疑似アセンブリー・セクションに見つからなかったか、または疑似アセンブリー・セクションが見つかりませんでした。コンパイル・オプション LIST および NOOFFSET が指定されていることを確認してください。

CAZI276W OFFSET OBJECT が見つからない

説明: 見出し "OFFSET OBJECT CODE" で識別されている疑似アセンブリー・セクションが、コンパイラー・リストに見つかりませんでした。コンパイル・オプション

CAZI277W • CAZI297W

ン LIST および NOOFFSET が指定されていることを確認してください。

CAZI277W Prog/timestamp mismatch (プログラム/タイム・スタンプの不一致)

説明: CSECT の計測ファイルに、C/C++ コンパイル・リストで報告されているタイム・スタンプに一致するタイム・スタンプ値を持つ LE エントリー・ポイント・レコードが記録されていませんでした。コンパイル・リスト・タイム・スタンプは、見出し「Timestamp and Version Information」の下にある疑似アセンブリー・セクションで報告されています。問題のモジュールについて LE エントリー・ポイント・タイム・スタンプ情報を表示するには、レポート S03 を使用してください。

CAZI279W Not in Sched status (Sched 状況にありません)

説明: トリガー要求は、「Sched」状況にある既存の要求に対してのみ入力可能です。要求は取り消されました。

CAZI286W No DB2 or DDF data

説明: 選択したレポートには DB2 または DDF データが必要なため、レポートを表示できません。DB2 計測データも DDF 計測データも収集されていません。

CAZI287W No HFS measurement data (HFS 計測データなし)

説明: 選択したレポートには HFS 計測データが必要なため、表示できません。HFS 計測データは収集されていません。

CAZI288W Subtask attach failed (サブタスクの接続が失敗しました)

説明: DWARF サポート・サービス・サブタスクが接続に失敗しました。理由コードは 0xhhhhhhhh です。

CAZI289W DWARF Subtask terminated (DWARF サブタスクが終了しました)

説明: DWARF サポート・サービス・サブタスクが予期せず終了しました。ソース・マッピング USS プログラムをサポートできません。理由コードは 0xhhhhhhhh です。

CAZI290W DWARF data space full (DWARF データ・スペースがいっぱいです)

説明: DWARF サポート・サービス・データ・スペースがいっぱいです。これ以上の DWARF ファイルは追加できません。

CAZI291W ELF DLL version error (ELF DLL バージョン・エラー)

説明: ELF DLL バージョンが、予期された値と一致しません。理由コードは 0xhhhhhhhh です。

CAZI292W ELF library out of date (ELF ライブラリーが古すぎます)

説明: ELF ランタイム・ライブラリーが古すぎます。理由コードは 0xhhhhhhhh です。

CAZI293W Debug file not found (デバッグ・ファイルが見つかりませんでした)

説明: USS プログラムに関連付けられたデバッグ・ファイルが見つかりませんでした。理由コードは 0xhhhhhhhh です。

CAZI294W Debug file access error (デバッグ・ファイル・アクセス・エラー)

説明: USS プログラムに関連付けられたデバッグ・ファイルへのアクセスが拒否されました。理由コードは 0xhhhhhhhh です。

CAZI295W Debug file open error (デバッグ・ファイル・オープン・エラー)

説明: USS プログラムに関連付けられたデバッグ・ファイルをオープンできませんでした。理由コードは 0xhhhhhhhh です。

CAZI296W Source file not found (ソース・ファイルが見つかりませんでした)

説明: USS プログラムに関連付けられたソース・ファイルが見つかりませんでした。理由コードは 0xhhhhhhhh です。

CAZI297W Source file access error (ソース・ファイル・アクセス・エラー)

説明: USS プログラムに関連付けられたソース・ファイルへのアクセスが拒否されました。理由コードは 0xhhhhhhhh です。

CAZI298W Source file open error (ソース・ファイル・オープン・エラー)

説明: USS プログラムに関連付けられたソース・ファイルをオープンできませんでした。理由コードは 0xhhhhhhh です。

CAZI299W Source file too large (ソース・ファイルが大きすぎます)

説明: USS プログラムに関連付けられたソース・ファイルが大きすぎて DWARF データ・スペースにロードできません。理由コードは 0xhhhhhhh です。

CAZI300W Unexpected DWARF error (予期しない DWARF エラー)

説明: DWARF サポート・サービスは、予期しないエラーを返しました。理由コードは 0xhhhhhhh です。

CAZI301W DWARF services unavailable (DWARF サービスを利用できません)

説明: 前に発生したエラーが原因で、DWARF サポート・サービスを利用できません。

CAZI302I

説明: HFS ディレクトリーが存在しません。ディレクトリー名は dirname です。

CAZI303I

説明: HFS ディレクトリーへのアクセスが拒否されました。ディレクトリー名は dirname です。

CAZI304W

説明: 無効な HFS 名です。

CAZI305I

説明: HFS ディレクトリーは「/」で始めなければなりません。ディレクトリー名は dirname です。

CAZI306I

説明: HFS ディレクトリーに構文エラーがあります。ディレクトリー名は dirname です。

CAZI307W Not allowed on this line (この行では不許可)

説明: DWARF との USS ソース・マッピングは、この行からはサポートされていません。これを使用できるのは、プログラム・オフセット上でのみです。

CAZI308W TZ config parm missing (TZ 構成パラメーターがありません)

説明: ローカル日時の変換に関して有効な TZ 構成パラメーターが DWARF サポート・サービスによって要求されています。

CAZI313W Line Command conflict (行コマンドが矛盾)

説明: 相互に排他的な行コマンドを入力しました。例えば、「I」または「M」は「D」と相互排他的です。

CAZI314W M line command missing (M 行コマンドが欠落)

説明: Move (「M」) 行コマンドを入力せずに「A」行コマンドを入力しました。

CAZI315W A line command missing (A 行コマンドが欠落)

説明: After (「A」) 行コマンドを入力せずに Move (「M」) 行コマンドを入力しました。

CAZI316W Line command not allowed (行コマンドは不許可)

説明: 「A」または「I」行コマンドは、最終行では許可されていません。最終行より後で、コピー、移動、または挿入を行うことはできません。

CAZI317W List is full (リストがフル)

説明: Source Mapping Dataset リストがいっぱいです。挿入または移動操作は実行できません。項目を削除して、再試行してください。

CAZI318W Invalid dataset(s) (無効なデータ・セット)

説明: Source Mapping Dataset リストに、1 つ以上の無効なデータ・セットがあります。ダイアログを終了する前に、エラーを訂正してください。

CAZI319W Invalid dataset name (無効なデータ・セット名)

説明: 指定した名前が、有効な MVS データ・セット名ではありません。

CAZI320W Dataset not partitioned (データ・セットが非区分化)

説明: 区分化されていないデータ・セットを指定しました。ここでは、PDS または PDSE データ・セットのみが指定可能です。

CAZI321W No match found (一致が見つからない)

説明: 一致するものが見つかりません。リストからデータ・セットを選択するか、または PF3 を押して A01 パネルに戻ってください。ブランクのデータ・セット名と「Match on Compile Date & Time」を指定したため、ピック・リストが表示されましたが、このメンバーに一致する日時がデータ・セットのリストに見つかりませんでした。

CAZI322W タイム・スタンプが一致しない

説明: CSECT の計測ファイルに、コンパイル・リストで報告されているタイム・スタンプに一致するタイム・スタンプ値を持つ LE エントリー・ポイント・レコードが記録されていませんでした。問題のモジュールについて LE エントリー・ポイント・タイム・スタンプ情報を表示するには、レポート S03 を使用してください。

CAZI324W No Natural sample data (Natural サンプル・データがありません)

説明: 選択したレポートには Natural 計測データが必要なため、表示できません。Natural 計測データは収集されていません。

CAZI325W No DDF zIIP data (DDF zIIP データなし)

説明: サンプル・ファイルに DDF zIIP データが記録されていません。

CAZI326W XML DSN error (XML DSN エラー)

説明: XML ファイルのデータ・セット名でエラーが検出されたか、またはデータ・セット名が入力されませんでした。データ・セットは、区分化されていない順次データ・セット LRECL=255 でなければなりません。

CAZI327W XML dataset alloc failed (XML データ・セットの割り振りに失敗しました)

説明: 指定の XML ファイルを割り振ることができませんでした。DYNALLOC エラー: Error=S99ERROR、Info=S99INFO、EError=S99EERR、EInfo=S99EINFO、ERSN=S99ERSN。動的割り振りで返されたエラー・フィールドがメッセージに表示されます。

CAZI328W XML file incorrect DSORG (XML ファイルの DSORG の誤り)

説明: 指定された XML ファイルが PS (物理順次) ではないか、またはそのレコード・サイズが固定長 255 バイトではありません。

CAZI329W Incompatible options (非互換のオプション)

説明: XML ファイル・オプションは、PDF または JES のレポート・ファイル・オプションと一緒に指定できません。

CAZI330W Invalid schema (スキーマが無効です)

説明: 入力されたストアード・プロシージャまたはユーザー定義関数のスキーマが無効です。

CAZI331W Invalid name (名前が無効です)

説明: 入力されたストアード・プロシージャまたはユーザー定義関数の名前が無効です。

CAZI332W Invalid subsystem name (無効なサブシステム名)

説明: 入力した DB2 サブシステム名が無効です。

CAZI333W 無効な選択

説明: P (プロシージャの場合) または F (関数の場合) を入力する必要があります。

CAZI334W Enter all DB2 parameters (DB2 パラメーターをすべて入力してください)

説明: DB2 ストアード・プロシージャまたはユーザー定義関数を要求するときは、DB2 のすべてのパラメーター・フィールドに入力する必要があります。

CAZI335W Enter DB2 or IMS parms

説明: DB2 ストアード・プロシージャ/ユーザー定義関数のパラメーターを入力するか、または IMS サブシステム ID とトランザクション・コードを入力してください。

CAZI336W Invalid job name (無効なジョブ名)

説明: ジョブ名「-」は NEW 要求または MOD 要求でのみ使用できます。

CAZI337W SQL text truncated (SQL テキストが切り捨てられました)

説明: サンプリング中に収集された SQL テキストが、そのサイズが原因で切り捨てられました。そのため、その SQL テキストは EXPLAIN 関数に使用できません。

CAZI338W Value too high (値が高すぎます)

説明: このフィールド入力された値が、値 DB2IMaxTraceSize に対するインストール構成設定より高くなっています。

CAZI339W Value too high (値が高すぎます)

説明: このフィールド入力された値が、値 IMSIMaxTraceSize に対するインストール構成設定より高くなっています。

CAZI340W Abend detected in Import interface. (インポート・インターフェースで異常終了が検出されました。) Refer to the SVC dump for more information (詳しくは、SVC ダンプを参照してください)

説明: インポート要求を処理するときに異常終了が検出され、SVC ダンプが生成されました。異常終了の原因については、ダンプを参照してください。

CAZI341W Internal Import function code not supported by the measurement task you are currently connected to (内部インポート機能コードが、現在の接続先の計測タスクによってサポートされていません)

説明: このインポート機能をサポートしない計測タスクに接続されています。最新バージョンの Application Performance Analyzer フロントエンドを実行して、このレベルのインポート機能をサポートしていない以前のバージョンの開始タスクと通信していることが、原因として最も可能性があります。

CAZI342W X reports not available (X レポートが使用できません)

説明: X レポートを使用するには、少なくとも 1 つの CICS サンプルにタグを付けて、さらに別の CICS サンプルを選択する必要があります。

CAZI343W Parms are incompatible (パラメーターに互換性がありません)

説明: DB2 パラメーターと IMS パラメーターを同時に指定することはできません。入力するパラメーターは、すべて DB2 パラメーターにするか、またはすべて IMS パラメーターにしてください。

CAZI344W Invalid subsystem Id (無効なサブシステム ID)

説明: 入力した IMS サブシステム ID が無効です。

CAZI345W Invalid transaction code (トランザクション・コードが無効です)

説明: 入力した IMS トランザクション・コードが無効です。

CAZI346W CICS invalid for request

説明: DB2 ストアード・プロシージャ/ユーザー定義関数の要求、または IMS 固有のトランザクション・コードの要求に対して CICS 抽出が許可されていません。

CAZI347W DB2 required for request

説明: DB2 ストアード・プロシージャ/ユーザー定義関数の要求に対して、DB2 抽出が必要です。

CAZI348W IMS+ required (IMS+ が必要です)

説明: IMS 固有のトランザクション・コード要求に対して IMS+ 抽出が必要です。

CAZI349W Enter all IMS parameters

説明: IMS 固有のトランザクション・コードを要求するときは、IMS サブシステム ID または IMSPLEX 名とともに、トランザクション・コードを指定する必要があります。

CAZI350W No regions found (領域が見つからない)

説明: 指定されたトランザクション・コードに対してアクティブな IMS 従属領域がありません。

CAZI351W IMS not active

説明: 指定した IMS サブシステムがアクティブになっていません。

CAZI352W Tran code not found (トランザクション・コードが見つかりません)

説明: 指定した IMS トランザクション・コードが IMS サブシステムに対して定義されていないか、またはトランザクションがファースト・パス専用です。

CAZI353W IMS Region error

説明: IMS 領域リストを取得中に、予期しないエラーが発生しました。

CAZI354W Feature not enabled (フィーチャーが使用可能になっていません)

説明: DB2 ストアード・プロシージャまたはユーザー定義関数を選択するには、WLMI フィーチャーが使用可能になっていなければなりません。

CAZI355W 選択が多すぎる

説明: 選択できるのは 1 つのジョブのみです。

CAZI356W Measure active not valid (計測アクティブが無効です)

説明: 計測アクティブ・ジョブ・オプションが、DB2 ストアード・プロシージャ要求に対して無効です。

CAZI357W No CICS+ data (CICS+ データがありません)

説明: サンプル・ファイルに CICS+ データが記録されていません。

CAZI360W P04 not supported by GUI (P04 は GUI ではサポートされていません)

説明: GUI のユーザーが、DWARF を使用した USS ソースのマッピングを行項目から実行しようとしたが、これには P04 ダイアログを実行する必要があります。GUI のユーザーは、現在このフィーチャーを使用できません。

CAZI361I The Import request is being processed. This may take some time, please wait while the request completes.

説明: エクスポートされたサンプル・ファイルまたはエ

クスポートされた階層は、現在インポート中です。このプロセスは完了するまで時間がかかることがあります。インポートしているサンプル・ファイルまたは階層のサイズによって、かかる時間は異なります。

CAZI362W Service not available (サービスが使用不可です)

説明: 共通データ・ストア (CDS) が使用可能になっていないため、ソース・マッピング共通リスト・サービスを使用できません。システム管理者に連絡してください。

CAZI363W Parms are incompatible (パラメーターに互換性がありません)

説明: IMS サブシステム ID パラメーターと IMSPLEX グループ名パラメーターを同時に指定することはできません。IMS サブシステム ID または IMSPLEX グループ名を入力してください。

CAZI364W Invalid IMSPLEX name (無効な IMSPLEX 名です)

説明: 入力された IMSPLEX グループ名が無効です。

CAZI365W No active IMSPLEX member (アクティブな IMSPLEX メンバーがありません)

説明: 指定されたグループ名に対してアクティブな IMSPLEX メンバーは検出されませんでした。

CAZI366W IMSPLEX group not found (IMSPLEX グループが見つかりません)

説明: 指定された IMSPLEX XCF グループ名は検出されませんでした。

CAZI367W 要求が失敗

説明: IXCQUERY エラー (戻りコード/理由コード = &MPARMI) です。エラー・メッセージをメモし、システム・プログラマーに連絡してください。

CAZI368W 要求が失敗

説明: IMSPLEX メンバーの検索中に発生したパラメーター・エラーです。エラー・メッセージをメモし、システム・プログラマーに連絡してください。

CAZI369W Missing CALL statement (CALL ステートメントが欠落しています)

説明: CAZR XOEM REXX に CALL ステートメントが含まれていませんでした。ソース・プログラミング・マッピング・サポートを提供するためにサード・パーティー・リポジトリを呼び出すことはできませんでした。この機能は取り消されます。

CAZI370W Unsupported service (サポートされないサービス)

説明: CAZR XOEM REXX exec が、サポートされないサービスを指定しました。例えば、exec は ISPEXEC サービスを使用しようとしていました。この機能は取り消されます。

CAZI371I Warning: one or more observations are approaching their expiry dates. (警告: 1 つ以上の監視が有効期限日付に近づいています。) Enter the SW line command on the ReqNum heading to view all observations that are approaching their expiry date (有効期限日付に近づいているすべての監視を表示するには、ReqNum ヘッダーで SW 行コマンドを入力してください。)

説明: この警告メッセージは、有効期限日付の警告の機能を有効にして Application Performance Analyzer ISPF インターフェースを開始したときに表示されます。この機能は、構成された警告期間内にいくつかの監視が自動的に削除される場合にユーザーに警告を出します。これにより、ユーザーは、監視を保持して自動削除を回避することができます。

CAZI372W SQL formatting unavail (SQL フォーマットを使用できません)

説明: 前に発生したエラーが原因で、SQL ステートメント・フォーマットを使用できません。

CAZI373W Subtask attach failed (サブタスクの接続が失敗しました)

説明: SQL ステートメント・フォーマット・サブタスクが接続に失敗しました。理由コードは 0x&MPARM1 です。

CAZI374W SQL subtask terminated (SQL サブタスクが終了しました)

説明: SQL ステートメント・フォーマット・サブタスクが予期せず終了しました。SQL ステートメントをフォーマットできません。理由コードは 0x&MPARM1 です。

CAZI375W SQL formatting failed (SQL フォーマットが失敗しました)

説明: SQL ステートメントをフォーマットできませんでした。

CAZI376W SQL formatting error (SQL フォーマット・エラー)

説明: SQL ステートメント・フォーマット・サービスは、予期しないエラーを返しました。理由コードは 0x&MPARM1 です。

CAZI377W SQL text not available (SQL テキストが使用不可です)

説明: SQL テキストをターゲットのシスプレックス・システムから取得できませんでした。このシステムで実行されている Application Performance Analyzer が SQL テキストの取得をサポートしないためです。

CAZI378W スラッシュまたはブランクが必須

説明: DDF フィルター基準のヌル選択フィールドに無効な選択文字が入力されました。対応する DDF フィルター基準にヌル値を指定するためにスラッシュ (/) を入力するか、ブランクを入力してください。

CAZI379W Invalid DB2 Corr Id

説明: DDF フィルター基準パラメーターに無効な DB2 関連 ID が入力されました。

CAZI380W Invalid DB2 End User Id

説明: DDF フィルター基準パラメーターに無効な DB2 エンド・ユーザー ID が入力されました。

CAZI381W Invalid DB2 Workstn Id

説明: DDF フィルター基準パラメーターに無効な DB2 ワークステーション ID が入力されました。

CAZI382W Specify Corr Id or Null (相関 ID またはヌルを指定してください)

説明: DDF 相関 ID がヌル・ストリングとして指定されている場合、相関 ID の入力フィールドは空白でなければなりません。これらのフィールドは相互に排他的です。

CAZI383W Specify User Id or Null (ユーザー ID またはヌルを指定してください)

説明: DDF エンド・ユーザー ID がヌル・ストリングとして指定されている場合、ユーザー ID の入力フィールドは空白でなければなりません。これらのフィールドは相互に排他的です。

CAZI384W Specify WS Id or Null (WS ID またはヌルを指定してください)

説明: DDF ワークステーション ID がヌル・ストリングとして指定されている場合、ワークステーション ID の入力フィールドは空白でなければなりません。これらのフィールドは相互に排他的です。

CAZI385W 無効なパターン

説明: 無効な「ワイルドカード」パターンが指定されました。アスタリスク (*) は、ストリングの最初およびまたは最後の文字でなければなりません。

CAZI386W 無効なパターン

説明: 無効な「ワイルドカード」パターンが指定されました。アスタリスク (*) とパーセント (%) のワイルドカード文字は相互に排他的で、同じパターンの中で同時に指定できません。

CAZI387W No WAS data (WAS データがありません)

説明: サンプル・ファイルに WebSphere® データが記録されていません。

CAZI388W Conflicting extractors (矛盾する抽出)

説明: WAS 抽出が、無効な抽出と同時に選択されました。WAS も選択する場合は、CICS、DB2、DB2+、CDB2、DB2V、DB2X、および JAVA のみを選択できます。

CAZI389W Sample file too large (サンプル・ファイルが大きすぎます)

説明: レポートを拡張するには、サンプル・ファイルが大きすぎます。レポートを拡張できるように、サンプルの数を減らして再実行してください。

CAZI390W Y または N を指定

説明: Y または N (Yes/No) の値を指定してください。計測で WAS サンプルング中にイメージ・アクティビティを除外することを指定するには、Y を指定しません。

CAZI391W Invalid origin (無効な起点)

説明: 起点を入力して、1 つの起点のフォーマットを選択する必要があります。

CAZI392W No DB2 SMF data

説明: 選択したレポートには DB2 SMF データが必要なため、レポートを表示できません。DB2 SMF データが記録されていないか、DB2+ オプションが選択されませんでした。

CAZI393W No WAS/CICS data

説明: サンプル・ファイルに WebSphere CICS データが記録されていません。

CAZI394W No measurement data

説明: 必要な計測データが収集されなかったため、選択されたレポートを表示できません。

CAZI395W Not a hierarchy

説明: EXPH (階層のエクスポート) 要求は、監視階層に対してのみ使用できます。選択された監視は、その下に子監視がありません。単一の監視をエクスポートするには、EXPH の代わりに EXP コマンドを使用してください。

CAZI396W aaaa records from the requested observation hierarchy have been written as bbbb data records to cccc.

説明: このメッセージは、EXPH (階層のエクスポート) 行コマンドの正常終了時に出されます。これは、TSO XMIT フォーマットのデータ・セットに bbbb レコードが含まれていてデータ・セット名は cccc であり、これが階層内の合計 aaaa レコードから作成されたことを示しています。

CAZI397W Observation hierarchy exported to *aaaa* with errors. *bbbb* input records written as *cccc* data records.

説明: 要求された EXPH (階層のエクスポート) 行コマンドは完了しましたが、処理中にエラーが検出されました。システム・ログでエラー・メッセージを確認してください。*aaaa* で示されている TSO XMIT データ・セットに、完全な階層が含まれていない可能性があります。合計 *cccc* TSO XMIT データ・レコードが *bbbb* 入力レコードから生成されました。

CAZI398W Export hierarchy failed.

説明: EXPH (階層のエクスポート) コマンドが失敗しました。エクスポート機能の実行中に表示されたメッセージを記録しておいて、システム・プログラマーに報告してください。

CAZI399W Too many entries.

説明: 階層内の監視項目が多すぎます。*nnn* 個の監視が限度です。

CAZI400W Incomplete observation.

説明: 階層内の要求番号 *nnnn* はまだ完了していません。

CAZR002E SYSNAME の長さが無効 - *sysname*

説明: 「SYSNAMES=」パラメーターに指定されているシスプレックス・システム名の長さが 8 文字を超えています。シスプレックス・システム名は、最大 8 文字に制限されています。

CAZR003E エラー。許可されているシステム名は最大 32

説明: 32 を超えるシスプレックス・システム名が「SYSNAMES=」パラメーターに指定されています。シスプレックス・システム名の最大数は 32 です。

CAZR004E CLASS の長さが無効 - *class*

説明: 「CLASS=」パラメーターに指定されている RACF クラス名の長さが 8 文字を超えています。RACF クラス名は、最大 8 文字に制限されています。

CAZR005E STCID パラメーターを指定

説明: STCID は必須パラメーターであるため、指定する必要があります。

CAZR006E SYSNAMES パラメーターを指定

説明: SYSNAMES は必須パラメーターであるため、指定する必要があります。

CAZR007E 既存のデータ・セット

output_dataset_name の割り振りが失敗。
RC=*rc*

説明: 「DSN=」パラメーターに指定されている既存のデータ・セットまたは PDS/メンバーを割り振ろうとして、エラーが発生しました。TSO ALLOCATE コマンドからの戻りコードは、「RC=」フィールドで返されません。

CAZR008I データ・セット *output_dataset_name* を作成

説明: これは通知メッセージで、新しいデータ・セットが出力 (JCL および RACF コマンド) として作成されたことを示しています。「DSN=」パラメーターが指定されなかった場合、作成されたデータ・セットは *tsoprefix.CAZRACF.COMMANDS* です。「DSN=」パラメーターが指定されていた場合、示されているデータ・セットが作成されました。

CAZR009E 新しいデータ・セット

output_dataset_name の割り振りが失敗。
RC=*rc*

説明: 新しいデータ・セットを割り振ろうと試みているときに、エラーが発生しました。「DSN=」パラメーターが指定されなかった場合、データ・セット *tsoprefix.CAZRACF.COMMANDS* の割り振りを試行しているときにエラーが発生しました。「DSN=」パラメーターが指定されていた場合、示されているデータ・セットでエラーが発生しました。TSO ALLOCATE コマンドからの戻りコードは、「RC=」フィールドで返されます。

CAZR010E PDS *output_dataset_name* は存在しません - 割り振られていません

説明: データ・セットおよびメンバー名が「DSN=」パラメーターに指定されましたが、PDS は存在しません。データ・セットが PDS である場合、存在している必要があります。存在しないときに作成されるのは、順次データ・セットだけです。メンバー名は、既存のメンバーでも新しいメンバーでも構いません。

CAZR011E 出力データ・セットでエラー:

output_dataset_name - error_info

説明: 予期しない条件が、TSO SYSDSN 機能から出力データ・セットとして戻されました。データ・セット名および SYSDSN 結果はメッセージに示されています。

CAZR012E RACF SEARCH コマンドでエラー:

(RACF メッセージが後に続く)

説明: 予期しない条件が、RACF SEARCH コマンドから戻されました。このコマンドは、指定された STCID のプロファイルをすべて検索するため、ユーティリティーで出されたものです。このメッセージの後に、RACF コマンド・メッセージが続きます。

CAZR013E EXECIO が失敗 - 戻りコード = *rc*

説明: EXECIO コマンドで入出力エラーが発生しました。EXECIO コマンドからの戻りコードが示されています。このメッセージは、EXECIO コマンドからの他のメッセージとともに出される場合があります。

CAZR014I CAZRACON - 戻りコード = *rc*

説明: これは通知メッセージで、ユーティリティーが、示されている完了コードで終了したことを示しています。

戻りコード = 0: ユーティリティーは正常に完了しました。

戻りコード = 8: 入力パラメーター・エラー。一緒に出されているメッセージを調べてください。

戻りコード = 12: 重大エラー。一緒に出されているメッセージを調べてください。

第 4 章 Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能 メッセージ

この章では、Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能のメッセージがログに記録される場所について説明し、メッセージ ID および説明をリストします。Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能は、通知、エラー、および診断メッセージをさまざまな JES の宛先に記録します。これらの出力ファイルの内容は、その DD 名別にここに記載されます。

- JESMSGLG

重大なメッセージはすべて JES メッセージ・ログに表示されます。Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能が正常に開始できない場合は、障害を報告しているメッセージを JES メッセージ・ログで調べてください。

- COMMANDS

Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能 (外部または内部) によって処理されるコマンドはすべて、このファイルに記録されます。コマンド・テキストは、コマンドに関連するメッセージとともにここに表示されます。

- LOGR、MAIN、LOAD、CMDP

それぞれ、Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能によって接続された単一のサブタスクを表しており、そのタスクがログに記録したメッセージが含まれています。これらは主に通知メッセージであり、通常の操作では、これらのファイルの内容について考える必要はありません。問題診断に役立つことがあります。

メッセージは、アルファベット順にソートされます。

CAZL001E Unable to establish ESTAE.
r15='return-code'x r0='reason-code'x
(ESTAE を確立できませんでした。
r15='return-code'x r0='reason-code'x)

説明: 初期化中に、CAZL0001 は ESTAE 出口ルーチンを確立できませんでした。ESTAEX マクロの戻りコードおよび理由コードは、'return_code'x および 'reason_code'x として報告されます。

システムの処置: Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能は終了します。

オペレーターの応答: この問題に可能な解決策を見つけるには、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト (www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/) を参照してください。

CAZL002I IBM APA for z/OS PDTCC extension is shutting down.

説明: Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能は、シャットダウン・プロセスを開始しました。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZL003I IBM APA for z/OS PDTCC extension terminating.

説明: このメッセージは、Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能がシャットダウン・プロセスを完了し、終了しようとしているときに報告されます。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZL004I IBM APA for z/OS PDTCC extension Version vv starting.

説明: メインタスクの初期化中に、バージョンおよびリ

リース番号が vv として報告されます。

システムの処置: Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能は初期化を続行します。

オペレーターの応答: なし。

CAZL008S Unsupported level of the operating system, IBM APA for z/OS PDTCC extension is terminating.

説明: Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能は、Application Performance Analyzer がサポートしないオペレーティング・システム・レベルで稼働中であることを検出しました。オペレーティング・システム・レベルについて詳しくは、メッセージ CAZ0007D を参照してください。

システムの処置: Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能は終了します。

オペレーターの応答: サポートされる製品レベルについては、Application Performance Analyzer の「*Program Directory*」を参照してください。

CAZL023I IBM APA for z/OS PDTCC extension operating

説明: Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能は初期化を完了しました。これで、システムはサンプリングを処理できるようになりました。

システムの処置: なし。

オペレーターの応答: なし。

CAZL025I STOP operator command detected (STOP オペレーター・コマンドが検出されました)

説明: このメッセージは、オペレーターが STOP コマンドを入力し、Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能のシャットダウンを要求したことを示しています。

システムの処置: Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能は終了します。

オペレーターの応答: なし。

CAZL027I *subtask-name* starting. (*subtask-name* を開始しています。)

説明: サブタスク *subtask-name* が開始されました。現在、初期化を行っています。

システムの処置: Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能は初期化を続行します。

ユーザーの処置: なし。

CAZL030I *subtask-name* operating. (*subtask-name* は作動しています。)

説明: サブタスク *subtask-name* の初期化が完了しました。現在、このサブタスクは作業の準備ができています。

システムの処置: Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能は初期化を続行します。

ユーザーの処置: なし。

CAZL032W Allocation error for SYSOUT data set *ddname* E=X"error_code" I=X"information_code" SMS=X"reason_code". (SYSOUT データ・セット *ddname* の割り振りエラー。E=X"error_code" I=X"information_code" SMS=X"reason_code")

説明: *ddname* で指定されたログ SYSOUT データ・セットを割り振ろうとしていて、動的割り振りエラーが発生しました。*error_code*、*information_code*、および *reason_code* は、それぞれ動的割り振りエラー・コード、情報コード、および SMS 理由コードを示します。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: 上記のエラー・コードについては、「*MVS Programming Authorized Assembler Services Guide*」を参照してください。

CAZL038I *subtask-name* stopping. (*subtask-name* を停止しています。)

説明: サブタスク *subtask-name* のシャットダウン・プロセスが開始されました。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

CAZL039I *subtask-name* Terminated. (*subtask-name* を終了しました。)

説明: サブタスク *subtask-name* のシャットダウン・プロセスが完了し、このサブタスクは終了しようとしています。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

**CAZL040S Unable to open COMMANDS *ddname*.
(COMMANDS *ddname* をオープンできません。)**

説明: コマンド・プロセッサ・サブタスクが、COMMANDS *ddname* に割り振られたデータ・セットまたは SYSOUT をオープンできませんでした。推定原因は、COMMANDS DD ステートメントが PD Tools 共通コンポーネント CONFIG *sysin* の CONFIG=APA セクションにないことです。

システムの処置: Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能は終了します。

ユーザーの処置: 適切な COMMANDS DD ステートメントを PD Tools 共通コンポーネントの開始タスク CONFIG *sysin* の CONFIG=APA セクションに追加してください。

**CAZL042E Unable to load TCP/IP API module.
(TCP/IP API モジュールをロードできません。)**

説明: INITAPI が、必要な API モジュールをロードできないことを示しました。

システムの処置: Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能は終了します。

ユーザーの処置: この問題に可能な解決策を見つけるには、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト (www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/) を参照してください。

**CAZL043E Error detected in INITAPI call,
ERRNO=*nnnn*. (INITAPI 呼び出しでエラーが検出されました。ERRNO=*nnnn*。)**

説明: INITAPI がエラーにより失敗しました。

システムの処置: Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能は終了します。

ユーザーの処置: この問題に可能な解決策を見つけるには、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト (www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/) を参照してください。

**CAZL044E Error detected in GETIBMOPT call,
ERRNO=*nnnn*. (GETIBMOPT 呼び出しでエラーが検出されました。
ERRNO=*nnnn*。)**

説明: GETIBMOPT がエラーにより失敗しました。

システムの処置: Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能は終了します。

ユーザーの処置: この問題に可能な解決策を見つけるには、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト (www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/) を参照してください。

CAZL045E No TCP/IP images defined (TCP/IP イメージが定義されていません)

説明: Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能は、定義済みの TCP/IP インスタンスを検出できませんでした。

システムの処置: Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能は終了します。

ユーザーの処置: 少なくとも 1 つの TCP/IP インスタンスが実行されていることを確認してから、Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能を開始してください。

**CAZL046I PDTCC extension subtask *subtask-name*
attached for *proc-name* Port *port-number***

説明: Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能は、プロシージャ名 *proc-name* およびポート番号 *port-number* で示される TCP/IP インスタンスとの通信を処理するために、サブタスクを *subtask-name* という名前で追加しました。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

**CAZL059I Application *appl-name* terminated due to
lost connection with client. (クライアント
との接続が失われたため、アプリケーション
appl-name は終了しました。)**

説明: クライアントとの接続が失われたため、内部名 *appl-name* で認識されるアプリケーションが終了しました。通信エラーが発生したか、単にクライアントが接続をクローズしたために、接続が失われた可能性があります。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

**CAZL060E Application *appl-name* abended. (アプリケ
ーション *appl-name* が異常終了しまし
た。) Abend=*completion-code*,
Reason=*reason-code*. (異常終了
=*completion-code*、理由 =*reason-code*。)**

説明: 内部名 *appl-name* で認識されるアプリケーションが、*completion-code*、*reason-code* で示されている異常終了コードと理由コードで異常終了しました。

CAZL061I • CAZL072I

システムの処置: アプリケーションは、ダンプを取って終了します。

ユーザーの処置: この問題に可能な解決策を見つけるには、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト (www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/) を参照してください。

CAZL061I Application *appl-name*, TCB=*tcb-address*; successfully started. (アプリケーション *appl-name* (TCB=*tcb-address*) は正常に開始されました。)

説明: 内部名 *appl-name* で認識されるアプリケーションが開始されました。現在、このアプリケーションはクライアントと通信しています。アプリケーション・サブタスク TCB アドレスが *tcb-address* で示されています。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

CAZL062I PDTCC extension Server Subtask has abended and successfully recovered.

説明: Application Performance Analyzer クライアント・サーバー・サブタスクが、異常終了から正常にリカバーされました。このサブタスクはアイドル状態になり、作業待ちとなります。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: この問題に可能な解決策を見つけるには、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト (www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/) を参照してください。

CAZL063I Attempting to start application *appl-name*. (アプリケーション *appl-name* を開始しようとしています。)

説明: Application Performance Analyzer クライアント・サーバー・サブタスクが、*appl-name* で指定されているサブタスクに通信を正常に渡しました。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

CAZL064I Application *appl-name* termination completed. (アプリケーション *appl-name* の終了処理が完了しました。)

説明: *appl-name* で指定されているアプリケーション・サブタスクが正常に終了しました。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

CAZL065E Application *appl-name* terminated due to session time out. (セッション・タイムアウトにより、アプリケーション *appl-name* が終了しました。)

説明: *appl-name* で指定されているアプリケーション・サブタスクが、クライアントとの会話を終了しました。これは、CONFIG BASIC セクションの構成パラメーター SessionTimeout で記述されているセッション・タイムアウト値よりも長い期間にわたってクライアントがアプリケーション・サブタスクと通信できないためです。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: 問題をユーザーとともに検討し、必要に応じて SessionTimeout を増やしてください。

CAZL071E *program-name* has abended while processing your request. (要求の処理中に *program-name* が異常終了しました。) Abend Code: *cccc*. (異常終了コード: *cccc*。)

説明: *program-name* で識別されるプログラムが、完了コード *cccc* で異常終了しました。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: 異常終了メッセージかエラー・メッセージがあるか、システム・ログで検査してください。また、ダンプを確認してください。この問題に可能な解決策を見つけるには、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト (www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/) を参照してください。

CAZL072I Application: *appl-name* is terminating due to a request to shutdown the PDTCC extension subtask.

説明: Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能サブタスクがシャットダウンされるため、*appl-name* で指定されているアプリケーション・サブタスクが終了しています。これは、通常の拡張機能シャットダウン要求によるものか、またはサーバー・サブタスクで異常終了状態が発生したことによるものと考えられます。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: システム・ログで異常終了を確認してください。また、ダンプを確認してください。異常終了を示すログまたはダンプが存在する場合は、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト (www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/) を参照し

て、この問題の解決に役立つと思われる方法を見つけてください。

CAZL073I **Application: appl-name failed, RC=return-code. (アプリケーション appl-name が失敗しました。RC=return-code。)**

説明: エラーにより、*appl-name* で指定されているアプリケーション・サブタスクが失敗しました。このサブタスクを終了しています。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: 問題を製品サポートに報告してください。

CAZL076E **server: Client at IP Address: ip-address failed to start due to errors... (server: IP アドレス ip-address のクライアントがエラーにより開始に失敗しました)**

説明: *server* で指定されている Application Performance Analyzer クライアント・サーバー・サブタスクが、IP アドレス *ip-address* のクライアントに対して START コマンドを実行できませんでした。失敗の理由は、メッセージ CAZL077I および CAZL078I に引き続き示されます。これは発生するはずのないエラーですが、万一発生する場合は、可能性のある攻撃に対して Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能が厳密に調べられていることを示している場合があります。また、非互換バージョンのワークステーション・コードがこの PDTCC 拡張機能と通信しようとしていることを示している場合もあります。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: ワークステーション・コードに Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能との互換性があることを確認してください。互換性がある場合は、メッセージに示されている IP アドレスをメモし、そのアドレスを検証してみてください。

CAZL100E **Keyword: aaaa contains invalid value. (キーワード aaaa に無効値が含まれています。) Rejected. (リジェクトされます。)**

説明: コマンドが、キーワードに不適切な値を含むキーワード *aaaa* を指定して発行されました。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: エラーを訂正し、コマンドを再実行依頼してください。

CAZL900E **CAZL0054: Error in CEFMT, Msg#=nn, details follow... (CAZL0054: CEFMT のエラー、Msg#=nn、詳細)**

説明: このメッセージは、通常のエラー・メッセージを処理するときに内部エラーが検出されたことを示します。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: 問題を製品サポートに報告してください。

CAZL901E **String for Msg#: nn not defined. (Msg#: nn のストリングが定義されていません。)**

説明: このメッセージは、通常のエラー・メッセージを処理するときに内部エラーが検出されたことを示します。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: 問題を製品サポートに報告してください。

CAZL902E **OPEN of CONFIG file failed (構成ファイルのオープンに失敗しました)**

説明: 構成ファイルのオープンに失敗しました。このファイルは、(JCL で) DDNAME=CONFIG に割り振られています。このエラーは、CONFIG DD ステートメントがないか、ファイルが順次 FB LRECL=80 データ・セットでない場合に発生します。

システムの処置: Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能は終了します。

ユーザーの処置: CONFIG DD ステートメントまたは構成ファイルを訂正してください。

CAZL903E **Rec. record_number contains invalid object (レコード record_number に、無効なオブジェクトが含まれています)**

説明: このメッセージは、構成ファイル内の CONFIG ステートメントのレコード番号 *record_number* を示しています。この CONFIG ステートメントで指定されているオブジェクトは無効です。またこのエラーは、CAZL911E メッセージとともに表示されます。

システムの処置: Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能は終了します。

ユーザーの処置: 構成設定の定義については、Application Performance Analyzer の「カスタマイズ・ガイド」を参照してください。

CAZL904E **Rec. record_number contains errors** (レコード record_number に、エラーが含まれています)

説明: このメッセージは、CONFIG ステートメントの構文解析中にエラーが検出されたことを示しています。レコード番号は、CONFIG ステートメントが始まる構成ファイル・レコードを示しています。実際のエラーは、継続レコードで検出されることがあります。1 つ以上のエラー・メッセージが、エラーに関する情報を提供する AJTnnnnE および CAZLnnnI の形式でパーサーによって出されます。

システムの処置: Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能は終了します。

- | **ユーザーの処置:** 構成設定の定義については、Application Performance Analyzer の「カスタマイズ・ガイド」を参照してください。

CAZL905I *variable text*

説明: このメッセージは、構文エラーに関するエラー・メッセージの詳細を提供します。variable text には、エラーのステートメントまたはコマンド式の位置が含まれています。

システムの処置: コマンドは終了します。

ユーザーの処置: なし。

CAZL906I *

説明: このメッセージには、メッセージ CAZL905I で説明されている構文エラーが発生した場所を示す単一のアスタリスクが含まれています。

システムの処置: コマンドは終了します。

ユーザーの処置: なし。

CAZL907I **Rec. record_number processed successfully** (レコード record_number は正常に処理されました)

説明: レコード番号は、CONFIG ステートメントが始まる構成ファイルのレコードを示しています。これは、CONFIG ステートメントが正常に処理されたことを示しています。

システムの処置: Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能は初期化を続行します。

ユーザーの処置: なし。

CAZL908E **Rec. record_number unrecognized syntax** (レコード record_number の認識されない構文)

説明: レコード番号は、認識できないステートメントが検出された構成ファイル・レコードを示しています。構文 CONFIG OPER ... のステートメントが予期されていました。

システムの処置: Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能は終了します。

- | **ユーザーの処置:** 構成設定の定義については、Application Performance Analyzer の「カスタマイズ・ガイド」を参照してください。

CAZL909E **Rec. record_number ended prematurely** (レコード record_number が早期終了しました)

説明: レコード番号は、CONFIG ステートメントが始まる構成ファイル・レコードを示しています。CONFIG ステートメントの終わりになる前に、構成ファイルの終わりが検出されました。これは、おそらく式の終わりに表示される必要があるセミコロンの区切り文字が欠落していることが原因になっています。

システムの処置: Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能は終了します。

ユーザーの処置: 構成ファイルのエラーを訂正して、ジョブを再開してください。

CAZL910I **CONFIG file processed successfully** (構成ファイルが正常に処理されました)

説明: これは、構成ファイルのすべてのステートメントが正常に処理されたことを示しています。

システムの処置: Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能は初期化を続行します。

ユーザーの処置: なし。

CAZL911E **Fatal errors processing CONFIG file** (構成ファイルの処理中の致命的エラー)

説明: 構成ファイルの CONFIG ステートメントでエラーが検出されました。エラーの詳細は、別個のメッセージに記載されています。

システムの処置: Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能は終了します。

- | **ユーザーの処置:** 構成設定の定義については、Application Performance Analyzer の「カスタマイズ・ガイド」を参照してください。

**CAZL912E Error processing object=object_name
(object=object_name の処理エラー)**

説明: これは内部エラーであり、特定の内部テンプレートが構文的に無効である場合のみ発生する可能性があります。このメッセージは CAZL913E メッセージとともに表示され、エラーの発生時に処理されていた CONFIG オブジェクト (object_name) を示しています。

システムの処置: Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能は終了します。

ユーザーの処置: 問題を製品サポートに報告してください。

**CAZL913E Parsing error in CONFIG SM/TM
(CONFIG SM/TM の構文解析エラー)**

説明: これは内部エラーであり、特定の内部テンプレートが構文的に無効である場合のみ発生する可能性があります。またこのエラーは、CAZL912E メッセージと同様に追加の詳細が記載された AJTnnnn メッセージとともに表示されます。

システムの処置: Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能は終了します。

ユーザーの処置: 問題を製品サポートに報告してください。

**CAZL914E Error processing object=object_name
(object=object_name の処理エラー)**

説明: これは内部エラーであり、特定の内部テンプレートが構文的に無効である場合のみ発生する可能性があります。このメッセージは CAZL915E メッセージとともに表示され、エラーの発生時に処理されていた CONFIG オブジェクト (object_name) を示しています。

システムの処置: Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能は終了します。

ユーザーの処置: 問題を製品サポートに報告してください。

CAZL915E Processing error in loadDRT of CONFIG SM/TM (CONFIG SM/TM の loadDRT の処理エラー)

説明: これは内部エラーであり、特定の内部テンプレートが構文的に無効である場合のみ発生する可能性があります。またこのエラーは、AJTnnnn メッセージとともに表示されます。

システムの処置: Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能は終了します。

ユーザーの処置: 問題を製品サポートに報告してください。

**CAZL916E Invalid value for CONFIG object_name
keyword: keyword [, Positional Parm:
value] ; Value: invalid_value (CONFIG
object_name の値が無効です。キーワード
: keyword [, 定位置パラメーター: value]
; 値: invalid_value)**

説明: object_name という名前の CONFIG オブジェクトの値に、無効値を指定した keyword という名前のキーワードが含まれていました。キーワードが複数の定位置パラメーターをサポートしている場合、数値位置は value によって指定されます。このメッセージには、invalid_value が表示される場合もあります。

システムの処置: Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能は終了します。

ユーザーの処置: 構成設定の定義については、Application Performance Analyzer の「カスタマイズ・ガイド」を参照してください。

**CAZL917I IBM APA for z/OS PDTCC extension
has abnormally terminated.**

説明: このメッセージは、Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能が異常終了した操作を通知します。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: システム・ログの異常終了情報を記録して、製品サポートにお問い合わせください。

**CAZL920E UNIT: value in 'CONFIG BASIC' could
not be found in EDT. (UNIT:
「CONFIG BASIC」の value を EDT で
見つけられませんでした。)**

説明: CONFIG BASIC オブジェクトで UNIT キーワードに指定された value が、システムに対して定義されていません。

システムの処置: Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能は終了します。

ユーザーの処置: 構成設定の定義については、Application Performance Analyzer の「カスタマイズ・ガイド」を参照してください。

CAZL921E Error validating 'CONFIG BASIC'
UNIT: value. (「CONFIG BASIC」UNIT:
value の妥当性検査エラー。) **EDTINFO**
RC=return_code RSN=reason_code.

説明: CONFIG BASIC UNIT の *value* を検証しているときに EDTINFO エラーが発生しました。

システムの処置: Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能は終了します。

ユーザーの処置: この問題に可能な解決策を見つけるには、Application Performance Analyzer 技術サポート Web サイト (www.ibm.com/software/awdtools/apa/support/) を参照してください。

CAZL922W Allocation error for SYSOUT data set
CONFIGSO E=error_code,
I=information_code, SMS=reason_code.
 (SYSOUT データ・セット CONFIGSO
 の割り振りエラー。
E=error_code, I=information_code,
SMS=reason_code.)

説明: CONFIGSO SYSOUT データ・セットを割り振ろうとしていて、動的割り振りエラーが発生しました。
error_code、*information_code*、および *reason_code* は、それぞれ 16 進動的割り振りエラー・コード、情報コード、および SMS 理由コードを示します。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: 上記のエラー・コードについては、「*MVS Programming: Authorized Assembler Services Guide*」を参照してください。

CAZL923W Error opening CONFIGSO SYSOUT
data set. (CONFIGSO SYSOUT データ・
セットのオープン中にエラー。)

説明: エラーにより、CONFIGSO SYSOUT データ・セットをオープンできませんでした。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: オープンできなかった理由を説明するエラー・メッセージがほかに出力されていないか、ジョブ・ログを調べてください。

CAZL924E Unable to LOAD module-name.
(module-name をロードできませんで
した。)Terminating. (終了中です。)

説明: 初期化時にモジュール *module-name* をロードできませんでした。

システムの処置: Application Performance Analyzer

PDTCC 拡張機能は終了します。

ユーザーの処置: これは、おそらく STEPLIB の正しくないライブラリー連結が原因です。JCL を訂正し、再実行依頼してください。

CAZL925E Foreground mode invalid. (フォアグラウンド・モードは無効です。) Terminating.
(終了中です。)

説明: CAZL0001 は、TSO フォアグラウンドで実行されました。

| **システムの処置:** Application Performance Analyzer
 | PDTCC 拡張機能は終了します。

| **ユーザーの処置:** Application Performance Analyzer
 | PDTCC 拡張機能は、PD Tools 共通コンポーネントの
 | UNIX プロセス拡張として実行する必要があります。

CAZL926E Program is not authorized. (プログラム
は許可されていません。) Terminating.
(終了中です。)

説明: CAZL0001 が APF 許可ではないため、終了しました。

システムの処置: Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能は終了します。

オペレーターの応答: 製品ロード・ライブラリーが APF 許可であり、無許可のライブラリーが STEPLIB 連結に含まれていないことを確認してください。
 CAZL0001 ロード・モジュールで AC=1 属性を確認してください。

CAZL935E 'CONFIG BASIC' ExportDSN specified
with invalid DataHLQ combination.

説明: ExportDSN と DataHLQ に対して指定された値の組み合わせが整合していません。

システムの処置: Application Performance Analyzer PDTCC 拡張機能は終了します。

| **オペレーターの応答:** 構成設定の定義については、Application Performance Analyzer の「カスタマイズ・ガイド」を参照してください。

付録 A. サポート・リソースおよび問題解決情報

このセクションでは、疑問を解消したり問題を解決したりするときに役立つ情報を素早く見つける方法を示します。このセクションには、IBM サポートに連絡する必要がある場合に、問題の診断および解決のために IBM サービス担当員に提供する必要のある情報が示されています。

IBM ソフトウェア・サポート・リソースの包括的なマルチメディアの概要については、<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/ieduasst/stgv1r0/index.jsp?topic=/com.ibm.iea.debugt/debugt/6.1z/TrainingEducation/SupportInfoADTools/player.html> の IBM Education Assistant プレゼンテーション「IBM Software Support Resources for System z® Enterprise Development Tools and Compilers products」をご覧ください。

- 『知識ベースの探索』
- 139 ページの『修正の入手』
- 139 ページの『サポート更新のサブスクリプション』
- 142 ページの『IBM サポートへの連絡』

知識ベースの探索

参照可能な知識ベースを検索して、お客様に発生した問題が既に報告されており、またその問題に対する解決策が既に文書化されているかどうかを判断してください。

- 『インフォメーション・センターで探す』
- 『製品サポート文書で探す』

インフォメーション・センターで探す

IBM System z Enterprise Development Tools & Compilers インフォメーション・センター (<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/pdthelp/v1r1/index.jsp>) には、本書およびその他の数多くの製品に関する資料があります。このインフォメーション・センターを使用すれば、製品文書をさまざまな方法で検索できます。複数の製品の文書にわたって検索したり、指定の製品文書のサブセット全体を検索したり、文書内で指定した特定のトピック・セットを検索したりできます。検索語には、完全に一致する語、句、ワイルドカード、ブール演算子が使用できます。

IBM System z Enterprise Development Tools & Compilers インフォメーション・センターで提供されている検索機能の使用方法について詳しくは、<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/pdthelp/v1r1/index.jsp?topic=/com.ibm.help.doc/InfoCenterTour800600.htm> にあるマルチメディア・プレゼンテーションをご覧ください。

製品サポート文書で探す

質問の回答または問題の解決策を、インフォメーション・センター以外に求める必要がある場合は、以下の 1 つ以上の手段を用いることができます。

- IBM Support Portal (www.ibm.com/software/support または www.ibm.com/support/entry/portal で直接) を使用して、必要なコンテンツを検索します。

IBM Support Portal は、すべての IBM システム、ソフトウェア、サービスに関するすべての技術サポート・ツールおよび情報を統合した集中型のビューです。IBM Support Portal により、ユーザーは 1 つの場所から IBM オンライン・サポート・ポータルにアクセスすることができます。ユーザーは、問題の予防および迅速な問題解決に必要な情報およびリソースに焦点を合わせてページの調整を行うことができます。

IBM Support Portal について詳しくは、デモ・ビデオ (https://www.ibm.com/blogs/SPNA/entry/the_ibm_support_portal_videos?lang=en_us) を参照してください。これらのビデオでは、IBM Support Portal が紹介されています。また、トラブルシューティングやその他のリソースについて検討し、ポータルレットの移動、追加、削除によるページの調整方法についてのデモを行います。

以下のような IBM ソフトウェア・サポート・サイトがあります。必要なサイトにアクセスしてください。

- Application Performance Analyzer for z/OS Support
- Debug Tool for z/OS Support
- Enterprise COBOL for z/OS Support
- Enterprise PL/I for z/OS Support
- Fault Analyzer for z/OS Support
- File Export for z/OS Support
- File Manager for z/OS Support
- WebSphere Developer Debugger for System z Support
- WebSphere Studio Asset Analyzer for Multiplatforms Support
- Workload Simulator for z/OS and OS/390® Support
- IBM 題字検索を使用してコンテンツを検索します。IBM 題字検索を使用するには、いずれかの ibm.com® ページの上部にある検索フィールドに検索ストリングを入力します。
- Google、Yahoo、または Bing などの任意の外部検索エンジンを使用してコンテンツを検索する。外部検索エンジンを使用すると、ibm.com ドメイン以外の情報が結果に含まれる可能性が高くなります。ただし、ibm.com 以外のニュースグループ、フォーラム、およびブログなどで IBM 製品の問題解決に関して役立つ情報が見つかる場合があります。IBM 製品に関する情報を検索する場合は、検索の際に「IBM」と製品の名前を入力してください。
- IBM Support Assistant (ISA と呼ばれます) は、IBM ソフトウェア製品に関する疑問や問題を解決するために役立つ無料のローカル・ソフトウェア保守用ワークベンチです。IBM Support Assistant からはサポート関連情報に素早くアクセスできます。IBM Support Assistant を使用すると、以下を行うために役立ちます。
 - 疑問に対する回答や問題の解決のために、複数の IBM 製品にわたって IBM および IBM 以外の知識および情報のソースを検索する。

- 製品ページやサポート・ページ、カスタマー・ニュースグループやカスタマー・フォーラム、スキル・リソースやトレーニング・リソース、およびトラブルシューティングに関する情報や一般的な質問から追加情報を見つける。

さらに、IBM Support Assistant に組み込まれたアップデーター機能を使用して IBM Support Assistant のアップグレードや新機能を入手するようになれば、他のソフトウェア製品や機能が使用可能になったときに、それらのサポートを追加できます。

詳細について、また IBM Support Assistant for IBM System z Enterprise Development Tools & Compilers 製品のダウンロードおよび使用開始については、http://www.ibm.com/support/docview.wss?rs=2300&context=SSFMHB&dc=D600&uid=swg21242707&loc=en_US&cs=UTF-8&lang=en を参照してください。

IBM Support Assistant に関する一般情報については、IBM Support Assistant のホーム・ページ (<http://www.ibm.com/software/support/isa>) を参照してください。

修正の入手

問題を解決するための製品の修正が入手可能な場合があります。入手可能な修正およびその他の更新を判別するには、下のリストからリンクを選択してください。

- Latest Application Performance Analyzer for z/OS Service Information
- Latest Debug Tool for z/OS Service Information
- Latest Fault Analyzer for z/OS Service Information
- Latest PTFs for File Export for z/OS
- Latest File Manager for z/OS Service Information
- Latest PTFs for Optim™ Move for DB2
- Latest WebSphere Studio Asset Analyzer Service Information
- Workload Simulator for z/OS and OS/390 Service Information

探していた修正が見つかったら、その修正の名前をクリックして、その修正の説明を参照し、任意でその修正をダウンロードします。

『サポート更新のサブスクリプション』の説明に従って、修正およびその他の IBM サポート情報に関する E メール通知を受け取るように登録します。

サポート更新のサブスクリプション

ご使用の IBM 製品に関する重要な情報の通知を継続して受け取るために、更新をサブスクリプションすることができます。更新を受け取るようにサブスクリプションすると、特定のサポート・ツールおよびリソースの重要な技術情報および更新を受け取ることができます。更新のサブスクリプションは、以下を使用して行うことができます。

- RSS フィードおよびソーシャル・メディア・サブスクリプション
- My Notifications

サポート更新をサブスクライブするには、以下の手順に従ってください。追加情報については、<http://www.ibm.com/support/docview.wss?rs=615&uid=swg21172598> を参照してください。

1. IBM ソフトウェア・サポート・サイト (<http://www.ibm.com/software/support>) にアクセスします。
2. 表示されているページで、「通知」ポートレットの「**My Notifications**」リンクをクリックします。
3. 「**My notifications**」に登録済みである場合は、サインインして次のステップへスキップします。まだ登録していない場合は、「**今すぐ登録**」をクリックします。IBM ID として E メール・アドレスを使用して登録フォームに入力し、「**送信**」をクリックします。
4. 「**My notifications**」ツールで「**サブスクライブ**」タブをクリックし、E メール更新を受け取る対象製品を指定します。
5. Problem Determination Tools 製品を指定するには、「**Other software**」をクリックし、続いて E メールによる更新の受信を希望する製品 (例えば **Debug Tool for z/OS** と **File Manager for z/OS**) を選択します。
6. COBOL または PL/I コンパイラを指定するには、「**Rational®**」をクリックし、E メール更新を受け取る対象製品 (「**Enterprise COBOL for z/OS**」など) を選択します。
7. 関心のある製品をすべて選択したら、リストの一番下までスクロールし、「**次へ進む**」をクリックします。
8. サブスクリプションの保存方法を決定します。デフォルトのサブスクリプション名を使用することも、「**サブスクリプション名**」フィールドに新しい名前を入力して独自のサブスクリプション名を作成することもできます。自分にとってわかりやすい名前でも独自の固有なサブスクリプション名を作成することをお勧めします。「**新規フォルダー名**」フィールドにフォルダー名を入力して新しいフォルダーを作成するか、またはプルダウン・リストから既存のフォルダーを選択できます。フォルダーは、複数のサブスクリプション用のコンテナです。
9. 希望の文書タイプと、E メール通知頻度を指定します。
10. ページの一番下までスクロールし、「**送信**」をクリックします。

現在のサブスクリプションおよびサブスクリプション・フォルダーを表示するには、「**My サブスクリプション**」をクリックします。

「**My notifications**」フィーチャーに関して問題が発生した場合は、左のナビゲーション・パネルで「**フィードバック**」リンクをクリックし、表示された指示に従ってください。

RSS フィードおよびソーシャル・メディアへの加入

RSS に関する一般情報 (開始手順や RSS 対応の IBM Web ページ一覧など) については、IBM Software Support RSS feeds サイト (<http://www.ibm.com/software/support/rss/other/index.html>) を参照してください。IBM System z Enterprise Development Tools& Compilers インフォメーション・センターの RSS フィードについては、インフォメーション・センターの『Subscribe to information center

updates』トピック (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/pdthelp/v1r1/topic/com.ibm.help.doc/subscribe_info.html) を参照してください。

My Notifications

My Notifications を使用して、任意の IBM 製品のサポート更新をサブスクライブすることができます。E メール通知を毎日または毎週受け取るように指定できます。受け取る情報のタイプ (資料、ヒント、製品のフラッシュ (アラート)、ダウンロード、ドライバーなど) を指定することができます。My Notifications は、どの製品について情報を受け取るか、およびユーザーのニーズに最も適した配信方法を、カスタマイズおよびカテゴリー化できるようにします。

サポート更新をサブスクライブするには、以下の手順に従ってください。追加情報については、<http://www.ibm.com/support/docview.wss?rs=615&uid=swg21172598> を参照してください。

1. IBM ソフトウェア・サポート・サイト (<http://www.ibm.com/software/support>) にアクセスします。
2. 表示されているページで、「通知」ポートレットの「**My Notifications**」リンクをクリックします。
3. 「**My notifications**」に登録済みである場合は、サインインして次のステップへスキップします。まだ登録していない場合は、「**今すぐ登録**」をクリックします。IBM ID として E メール・アドレスを使用して登録フォームに入力し、「**送信**」をクリックします。
4. 「**My notifications**」ツールで「**サブスクライブ**」タブをクリックし、E メール更新を受け取る対象製品を指定します。
5. Problem Determination Tools 製品を指定するには、「**Other software**」をクリックし、続いて E メールによる更新の受信を希望する製品 (例えば **Debug Tool for z/OS** と **File Manager for z/OS**) を選択します。
6. COBOL または PL/I コンパイラーを指定するには、「**Rational**」をクリックし、E メール更新を受け取る対象製品 (「**Enterprise COBOL for z/OS**」など) を選択します。
7. 関心のある製品をすべて選択したら、リストの一番下までスクロールし、「**次へ進む**」をクリックします。
8. サブスクリプションの保存方法を決定します。デフォルトのサブスクリプション名を使用することも、「**サブスクリプション名**」フィールドに新しい名前を入力して独自のサブスクリプション名を作成することもできます。自分にとってわかりやすい名前でも独自の固有なサブスクリプション名を作成することをお勧めします。「**新規フォルダー名**」フィールドにフォルダー名を入力して新しいフォルダーを作成するか、またはプルダウン・リストから既存のフォルダーを選択できます。フォルダーは、複数のサブスクリプション用のコンテナです。
9. 希望の文書タイプと、E メール通知頻度を指定します。
10. ページの一番下までスクロールし、「**送信**」をクリックします。

現在のサブスクリプションおよびサブスクリプション・フォルダーを表示するには、「**My サブスクリプション**」をクリックします。

「My notifications」 フィーチャーに関して問題が発生した場合は、左のナビゲーション・パネルで「フィードバック」リンクをクリックし、表示された指示に従ってください。

IBM サポートへの連絡

IBM サポートでは、製品の問題、FAQ への回答、および再ディスカバリーの実行に関する支援を提供しています。

IBM サポートへのお問い合わせは、技術情報など、他の自助オプションを使用して回答や解決方法を検索した後で行うようお願いいたします。IBM Support に連絡するには、貴社が IBM 保守契約を締結しており、その契約が現在も有効であり、さらに、ご担当様が IBM に問題を送信することを許可されている必要があります。使用可能なサポートのタイプについては、「Software Support Handbook」(<http://www14.software.ibm.com/webapp/set2/sas/f/handbook/offerings.html>) の「Support portfolio」トピックを参照してください。

- IBM が配布するソフトウェア製品 (Tivoli® 製品、Lotus® 製品、Rational 製品、Windows または UNIX オペレーティング・システムで実行される DB2 製品や WebSphere 製品などをはじめとするさまざまな製品) に関しては、以下のいずれかの方法でパスポート・アドバンテージにご登録ください。

オンライン

パスポート・アドバンテージ Web サイト (http://www.lotus.com/services/passport.nsf/WebDocs/Passport_Advantage_Home) にアクセスして、「How to Enroll」をクリックします。

電話 お客様の国での連絡先電話番号を調べるには、Web サイト「*IBM Software Support Handbook*」の「Contacts」ページ (<http://www14.software.ibm.com/webapp/set2/sas/f/handbook/contacts.html>) にアクセスして、お住まいの地域の名前をクリックしてください。

- Subscription and Support (S & S) 契約を締結されているお客様の場合は、ソフトウェア・サービス要求 Web サイト (<http://www.ibm.com/support/servicerequest>) にアクセスしてください。
- IBMLink、CATIA、Linux、S/390®, iSeries®, pSeries、zSeries、およびその他のサポート契約のお客様は、IBM Support Line Web サイト (<http://www.ibm.com/services/us/index.wss/so/its/a1000030/dt006>) にアクセスしてください。
- IBM eServer™ ソフトウェア製品 (zSeries、pSeries、および iSeries の各環境で稼働する DB2 製品および WebSphere 製品などをはじめとするさまざまな製品) については、IBM 営業担当員または IBM ビジネス・パートナーから直接、ソフトウェア保守契約をご購入いただけます。eServer ソフトウェア製品のサポートについては詳しくは、IBM Technical Support Advantage Web サイト (<http://www.ibm.com/servers/eserver/techsupport.html>) を参照してください。

必要なソフトウェア保守契約のタイプが分からない場合は、1-800-IBMSERV (1-800-426-7378) までお問い合わせください (米国の場合)。その他の国の場合は、Web サイト「*IBM Software Support Handbook*」の「Contacts」ページ (<http://www14.software.ibm.com/webapp/set2/sas/f/handbook/contacts.html>) にアクセスし、お客様の地域名をクリックして、その地域でのサポート担当者の電話番号を調べてください。

問題に関して IBM サポートに連絡するには、以下の手順に従ってください。

1. 『問題の定義と重大度の判別』
2. 『診断情報の収集』
3. 144 ページの『IBM サポートへの問題の送信』

IBM ソフトウェア・サポートに連絡するには、以下の手順に従ってください。

問題の定義と重大度の判別

問題を定義して問題の重大度を判別します。IBM に問題を説明する際は、可能な限り具体的に説明してください。IBM サポートがお客様の問題解決を効率良く支援できるように、関連する背景情報をすべて伝えてください。

IBM サポートでは、お客様に重大度のレベルを提示していただく必要があります。そのため、報告しようとしている問題のビジネス・インパクトを理解して評価する必要があります。以下の基準を使用してください。

重大度 1

問題は**クリティカル**なビジネス・インパクトを及ぼします。プログラムを使用できず、その結果、操作にクリティカルな影響が及びます。この状態では、即時の解決策が必要です。

重大度 2

問題は**重大**なビジネス・インパクトを及ぼします。プログラムは使用できませんが、大きく制限されています。

重大度 3

問題は**多少**のビジネス・インパクトを及ぼします。プログラムは使用可能ですが、あまり重要でない機能 (操作にクリティカルな機能ではないもの) が使用できなくなっています。

重大度 4

問題は**最小限**のビジネス・インパクトを及ぼします。問題は運用にほとんど影響しません。または、問題に対して妥当な回避策が実施されました。

詳しくは、Software Support Handbook の『Getting IBM support』トピック (<http://www14.software.ibm.com/webapp/set2/sas/f/handbook/getsupport.html>) を参照してください。

診断情報の収集

問題解決の時間を節約するために、製品の Mustgather (必ず収集する必要がある) 文書が用意されている場合は、この文書を参照して指定された情報を収集してください。Mustgather 文書には、IBM サポート・チームが問題を解決するために必要な情報を収集し、問題を IBM に提出するための具体的な指示が記載されています。対象製品に Mustgather 文書があるかどうかを判別するには、製品サポート・ページにアクセスして、「Mustgather」という用語で検索を行ってください。本書発行時点では、以下の Mustgather 文書が入手可能です。

- Mustgather: Application Performance Analyzer for z/OS で発生した問題については、まず次のサイトを参照してください: http://www.ibm.com/support/docview.wss?rs=2300&context=SSFMHB&q1=mustgather&uid=swg21265542&loc=en_US&cs=utf-8⟨=en

- Mustgather: Debug Tool for z/OS で発生した問題については、まず次のサイトを参照してください: http://www.ibm.com/support/docview.wss?rs=615&context=SSGTSD&q1=mustgather&uid=swg21254711&loc=en_US&cs=utf-8&lang=en
- Mustgather: Fault Analyzer for z/OS で発生した問題については、まず次のサイトを参照してください: http://www.ibm.com/support/docview.wss?rs=273&context=SSXJAJ&q1=mustgather&uid=swg21255056&loc=en_US&cs=utf-8&lang=en
- Mustgather: File Manager for z/OS で発生した問題については、まず次のサイトを参照してください: http://www.ibm.com/support/docview.wss?rs=274&context=SSXJAV&q1=mustgather&uid=swg21255514&loc=en_US&cs=utf-8&lang=en
- Mustgather: Enterprise COBOL for z/OS で発生した問題については、まず次のサイトを参照してください: http://www.ibm.com/support/docview.wss?rs=2231&context=SS6SG3&q1=mustgather&uid=swg21249990&loc=en_US&cs=utf-8&lang=en
- Mustgather: Enterprise PL/I for z/OS で発生した問題については、まず次のサイトを参照してください: http://www.ibm.com/support/docview.wss?rs=619&context=SSY2V3&q1=mustgather&uid=swg21260496&loc=en_US&cs=utf-8&lang=en

製品に Mustgather 文書が用意されていない場合、以下の質問に対する回答をご用意ください。

- 問題が発生したときに実行していたソフトウェアのバージョンはいくつですか?
- 問題の症状に関係するログ、トレース、およびメッセージはありますか? IBM ソフトウェア・サポートからこれらの情報を求められることがあります。
- 問題を再現できますか? できる場合、問題の再現にどのような手順を実行しましたか?
- システムを変更しましたか? 例えば、ハードウェア、オペレーティング・システム、ネットワーク・ソフトウェアなどを変更しましたか?
- 現在、問題の回避策を実施していますか? 実施している場合、問題報告時にその回避策について説明できるように準備しておいてください。

IBM サポートへの問題の送信

問題は、以下に示す 3 つの方法のうち、いずれかを使用して IBM ソフトウェア・サポートに送信できます。

オンライン (IBM サポート・ポータルを使用)

IBM ソフトウェア・サポート・サイト (<http://www.ibm.com/software/support>) で「**Service request**」をクリックします。「サービス・リクエスト」ページの右側にある「製品関連のリンク」のセクションを展開します。「Software support (general)」をクリックし、「ServiceLink/IBMLink」を選択して、Electronic Technical Response (ETR) をオープンします。適切な問題送信フォームに情報を入力してください。

オンラインでのサービス・リクエスト・ツールの使用

サービス・リクエスト・ツールは <http://www.ibm.com/software/support/servicerequest> にあります。

電話 米国の場合は 1-800-IBMSERV (1-800-426-7378) に連絡します。その他の国の場合は、「*IBM Software Support Handbook*」の「Contacts」ページ (<http://www14.software.ibm.com/webapp/set2/sas/f/handbook/contacts.html>) にアクセスして、お住まいの地域名をクリックしてください。

送信した問題がソフトウェア障害、または資料の誤りや欠落に関するものである場合、IBM サポートはプログラム診断依頼書 (APAR) を作成します。APAR では、問題が詳述されます。IBM サポートは、APAR が解決され、フィックスが配信されるまで、ユーザーが実施できる次善策を可能な限り提供します。IBM では、解決された APAR を IBM サポート Web サイトに毎日公開しているため、同じ問題を経験した他のユーザーも同じ解決策を利用できます。

問題管理レコード (PMR) がオープンされると、以下の方法のいずれかを使用して、IBM に診断用の MustGather データを送信することができます。

- FTP で診断データを IBM に転送します。詳しくは、<http://www.ibm.com/support/docview.wss?rs=615&uid=swg21154524> を参照してください。
- FTP が使用できない場合、診断データを E メールで techsupport@mainz.ibm.com に送信します。Eメールの件名行に PMR xxxxx bbb ccc を追加する必要があります。xxxxx は PMR 番号、bbb は事業所、ccc は IBM 国別コードです。詳しくは、<http://itcenter.mainz.de.ibm.com/ecurep/mail/subject.html> を参照してください。

必ず PMR を更新して、データが送信されたことを知らせてください。上述のように、PMR はオンラインまたは電話で更新できます。

付録 B. 特記事項

本書に記載の製品、プログラム、またはサービスが日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、プログラム、またはサービスについては、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。IBM の有効な知的所有権、またはその他の法的に保護された権利に従い、IBM 製品、プログラム、またはサービスに代えて、機能的に同等な製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM によって明示的に指定されたものを除き、他社の製品と組み合わせた場合の操作の評価と検証はお客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

本プログラムのライセンス保持者で、(1) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (2) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation, Department HHX/H3
555 Bailey Avenue
San Jose, CA 95141-1099
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

付録 C. アクセシビリティ

アクセシビリティ機能は、運動障害または視覚障害など身体に障害を持つユーザーがソフトウェア・プロダクトを快適に使用できるようにサポートします。 z/OS のアクセシビリティ機能は、Application Performance Analyzer for z/OS のアクセシビリティを提供します。

z/OS のアクセシビリティの主要機能により、ユーザーは以下のことができるようになります。

- スクリーン・リーダーや画面拡大ソフトウェアなどの支援テクノロジー製品を使用する
- キーボードのみを使用して特定の機能、または同等の機能を操作する
- 色、コントラスト、フォント・サイズなど表示属性のカスタマイズ

支援機能の使用

支援テクノロジー製品は、z/OS にあるユーザー・インターフェースと連動します。個々のガイダンス情報については、z/OS インターフェースへのアクセスに使用されている支援テクノロジー製品の資料を参照してください。

ユーザー・インターフェースのキーボード・ナビゲーション

ユーザーは、TSO/E または ISPF を使用して z/OS ユーザー・インターフェースにアクセスできます。 TSO/E および ISPF インターフェースへのアクセスについては、「z/OS TSO/E 入門」、「z/OS TSO/E ユーザーズ・ガイド」、および「z/OS ISPF User's Guide Volume 1」を参照してください。上記の資料には、キーボード・ショートカットまたはファンクション・キー (PF キー) の使用方法を含む TSO/E および ISPF の使用方法が記載されています。それぞれの資料では、PF キーのデフォルトの設定値とそれらの機能の変更方法についても説明しています。

本書のアクセシビリティ

スクリーン・リーダーを使用する視覚障害者の方に、IBM 問題判別ツール・インフォメーション・センター (<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/pdthelp/index.jsp>) で提供されている本書の XHTML フォーマット版をご利用いただけます。

スクリーン・リーダーを使用可能にして構文図、ソース・コード例、およびピリオドやコマのピクチャー・シンボルを含むテキストを正確に読み上げるには、スクリーン・リーダーがすべての句読点を発声するように設定する必要があります。

JAWS for Windows を使用する場合は、アクセス可能な構文図へのリンクが機能しないことがあります。アクセス可能な構文図を読み取るには、IBM ホームページ・リーダーを使用してください。

商標

IBM、IBM ロゴおよび [ibm.com](http://www.ibm.com) は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

Adobe、Adobe ロゴ、PostScript、PostScript ロゴは、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracleやその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

インターネット

問題解決の探索 137

インフォメーション・センター、問題解決の探索 137

[カ行]

カスタマー・サポート 142

[サ行]

修正、入手 139

ソフトウェア・サポート

更新の受信 139

ビジネス・インパクトの判別 143

問題の説明 143

問題の送信 144

連絡 142

[タ行]

知識ベース、問題解決の探索 137

[マ行]

問題判別

ビジネス・インパクトの判別 143

問題の説明 143

問題の送信 144

I

IBM Support Assistant、問題解決の探索
137



プログラム番号: 5697-Q03

Printed in Japan

SA88-7231-00



日本アイ・ビー・エム株式会社

〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21